

平成24年度

長久手市市民意識調査
報告書

平成24年12月

長久手市

目 次

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	
(2) 調査の方法	
(3) 調査の内容	
(4) 回収状況	
(5) 集計結果（図表）の見方	
(6) 標本誤差	
(7) 調査結果のポイント	
2 回答者の属性	9
(1) 回答者の状況 （性別、年齢、職業、年金受給の有無、通勤先・通学先、 居住地区、居住小学校区、居住年数、前住所）	
(2) 回答者の世帯の状況 （家庭全体の年収、住まいの形態、同居人の総数、同居 人の状況、家族形態、居住理由）	
(3) 回答者の生活行動の場所	
3 長久手市の住み心地について	27
(1) 住み心地の評価	
(2) 長久手市の印象	
(3) 定住意向とその理由	
4 幸せ感について	40
(1) 現在の幸せ感の評価	
(2) 幸せ感を判断する基準	
(3) 幸せ感を高める手立て	
(4) 社会全体の目標	
(5) 項目別の満足の度合	
(6) 場面ごとの孤立感	
(7) 場面ごとのつながりの必要性	

5 行政サービスについて	60
(1) 市政への関心	
(2) 情報入手の手段	
(3) 市政への関心を高めるための方策	
(4) 市役所の窓口サービス向上のために重要なこと	
6 市民活動やこれからのまちづくりの進め方について	68
(1) 地域の活動への参加状況とその理由	
(2) 参加している地域活動の種類	
(3) 地域活動への参加の頻度	
(4) 基本的な地域活動の単位	
(5) 市民と行政との協働のあり方	
(6) まちづくりの基本的な進め方	
(7) まちづくりの基本的なルールづくりの意義	
(8) 市民、行政、議会それぞれの役割や責任	
7 第5次総合計画について	95
(1) 市政全般の満足度	
(2) 施策ごとの重要度	
(3) 施策ごとの推進度	
(4) 施策ごとの重要度・推進度の関係	
(5) 今後力を入れるべき施策	
8 市政全般について（自由意見）	125
■ 調査票	135

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

長久手市では、「第5次総合計画」（平成21年3月策定）並びに今後4年間の重点的な取り組みをまとめた「新しいまちづくり行程表」（平成24年6月策定）にもとづき、「日本一の福祉のまち」の実現に向けて、まちづくりを進めている。

本調査は、これまでの市政全般の成果を検証し、今後の市政運営などに反映することを目的とする。

(2) 調査の方法

- ①調査地域 長久手市
- ②調査対象 長久手市に在住する満18歳以上の市民
(平成24年9月時点 人口：50,403人、18歳以上人口：39,549人)
- ③標本数 5,000人
- ④抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- ⑤調査方法 郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間 平成24年9月

(3) 調査の内容

- ①回答者自身について
- ②長久手市の住み心地について
- ③回答者の幸せ感について
- ④行政サービスについて
- ⑤市民活動やこれからのまちづくりの進め方について
- ⑥第5次総合計画について
- ⑦市政全般について

(4) 回収状況

標本数	5,000 (100.0%)
回収数 (率)	2,655 (53.1%)
集計不能数 (率)	9 (0.2%)
有効回収数 (率)	2,646 (52.9%)

(5) 集計結果（図表）の見方

- 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計は必ずしも100%にはならない。
- 基数となるべき実数はサンプル数（ $n=〇〇$ ）として掲載した。したがって比率はサンプル数を100%として算出している。また、性別・年齢別・居住小学校区別などで件数が全体数と一致しないが、これはそれぞれの回答が不明なものがあったためである。
- 複数回答が可能な設問は、その項目を選択した回答者が全体の何%を占めるかを表している。そのため、各項目の比率を合計しても100%にはならない。
- 本報告書中の図表の見出し及び文章中において、設問及び回答選択肢などの表現は、一部省略してある場合がある。

(6) 標本誤差

- 本調査では、2,646票の有効回答が得られたが、この結果がどの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することを標本誤差の算出という。
- 下表の見方は、例えば、ある設問で「A」という回答が50%、「B」という回答が20%であった場合、仮に、同じ質問を全市民にたずねた時の回答との誤差の範囲は、「A」が $50 \pm 1.84\%$ 、「B」は $20 \pm 1.47\%$ となる。
- したがって、本調査において回答が最も分散した場合でも、全体の結果は1.84%の誤差しか生じないと考えられ、統計学上有効な調査であるといえる。

	母集団 M	有効回収数 n	50%	40%	30%	20%	10%
				60%	70%	80%	90%
全 体	39,549	2,646	1.84	1.80	1.69	1.47	1.10

(7) 調査結果のポイント

- 本調査の結果について、ポイントを抜粋して整理した。なお、行頭が◆となっているものは、校区別の分析についてコメントを行っている。

■回答者の属性

- 回答者の状況は、以下のとおりとなっている。

・【性別】

「女性」の割合が「男性」より約1割多くなっている。これは、前回調査でも同様の傾向となっている。[p.9 参照]

・【年齢】

「30歳代」及び「40歳代」がそれぞれ3割弱を占めており、回答者の年齢構成がかなり若いといえる。[p.9 参照]

・【職業】

「会社員」が3分の1以上を占め、次いで「家事専従」となっている。また、全体の16.6%が年金を受給している。〔p. 10 参照〕

・【通勤先・通学先】

「名古屋市」が4割強となっている。前回調査より15ポイント程度増えていることから、ベッドタウン化が進んでいる状況がうかがえる。〔p. 11 参照〕

・【居住地区】

旧来の大字長湫地区が全体の8割以上を占めており、前回調査からやや増加している。旧来の大字長湫地区における土地区画整理事業等が影響していると考えられる。〔p. 11 参照〕

・【居住小学校区】

「北小学校区」、「市が洞小学校区」、「南小学校区」がそれぞれ2割前後となっており、「長久手小学校区」と「西小学校区」が15%前後で続いている。なお、「東小学校区」は全体の7%弱となっている。〔p. 12 参照〕

・【居住年数】

10年未満が半数以上で、前回調査より20ポイント以上増加する一方、居住年数が20年以上の回答者は15%程度に減少している。これは、土地区画整理事業等に伴う住宅地開発に伴い、新たに転入してきた市民の割合が高まっていることを表している。〔p. 13～14 参照〕

・【前住所】

「名古屋市」及び「愛知県内」が全体の約7割を占め、約4分の1が「愛知県外」となっている。「生まれた時から長久手市」は5%未満で、前回調査から10ポイント近く少なくなっている。〔p. 15～16 参照〕

○回答者の世帯の状況は、以下のとおりとなっている。

・【家庭全体の年収】

半数以上が500万円以上となっており、全国調査と比較しても高い水準にあることがわかる。〔p. 17 参照〕

・【住まいの形態】

全体の7割弱が持ち家（一戸建て、分譲マンション）となっている。前回調査と比較すると、「一戸建て持ち家」の割合が15ポイントほど低くなり、「分譲マンション」及び「賃貸集合マンション・アパート」の割合が高くなっている。〔p. 18～19 参照〕

・【同居人の総数】

「4人」、「3人」、「2人」がそれぞれ全体の4分の1強ずつとなっており、約6割が3人以下となっている。〔p. 20 参照〕

・【同居人の状況】

「小・中学生」、「小学生未満の乳幼児」がそれぞれ4分の1程度、「高齢者」が15%程度となっている。〔p. 21 参照〕

・【居住理由】

「住環境が良いため」が全体の4分の1を占めており、前回調査より10ポイント近く増え、住環境の良さが評価されている一方、「生まれた時から住んでいるため」が10ポイント以上少なくなっている。〔p. 23 参照〕

○回答者の生活行動の場所について、「食料品の買い物」や「通院」などは市内で大半を占めているものの、「文化活動」や「大型商品の買い物」は名古屋市をはじめとした市外が多くなっている。〔p. 24～26 参照〕

■長久手市の住み心地について

○本市の住み心地について、「住みよい」及び「まあ住みよい」を合わせると約9割を占めている。特に、「住みよい」は前回調査より約10ポイント増加していることから、住み心地はおおむね向上しているといえる。〔p. 27～28 参照〕

◆東小学校区では「住みよい」及び「まあ住みよい」の割合がやや少ない。〔p. 28 参照〕

○長久手市の印象については、「名古屋市近郊の住宅都市」との評価が最も多いものの、前回調査と比べ少なくなっている半面、「万博開催を機に新店舗や公共交通など都市基盤が整備されたまち」というイメージが強くなっている。〔p. 29～31 参照〕

◆北小学校区と西小学校区では「名古屋市近郊の住宅都市」がやや多い。〔p. 30 参照〕

◆東小学校区では「自然環境のよいまち」が多く、「名古屋市近郊の住宅都市」が少ない。〔p. 30 参照〕

◆市が洞小学校区では、「万博開催を機に整備されたまち」が比較的多い。〔p. 30 参照〕

○今後の定住意向は、「住み続けたい」が4分の3以上を占めており、前回調査よりやや多くなっている。住み続けたいとした理由として、自然環境のよさや交通・買い物利便性の高さが評価され、前回調査と比較すると、まちの将来性や魅力、子育て環境などの評価が高まっている。〔p. 32～36 参照〕

◆定住意向は、小学校区別で差は認められない。住み続けたい理由は、東小学校区では自然環境、愛着、人間関係を、長久手小学校区では自然環境を、西小学校区と北小学校区では交通利便性を、市が洞小学校区や南小学校区では買い物利便性をそれぞれ評価している。〔p. 33, 35 参照〕

■幸せ感について

○回答者の幸せ感について10点満点でたずねたところ、8点が最も多く、平均点は7.17点となっている。なお、内閣府が実施した調査では、最も多いのが5点で平均点が6.41点となっていることから、本市における市民の幸せ感はやや高いものとなっている。また、幸せ感の評価は、住み心地や定住意向などの評価と関連しており、住み心地が高い回答者、あるいは定住意向のある回答者の方が幸せ感が高くなっている。〔p. 40～44 参照〕

◆東小学校区では5点がやや多く、全体より0.3ポイントほど平均点が低い。〔p. 41 参照〕

○幸せ感を判断する基準は、「家族関係」や「生活全般」、「健康状況」などに起因していることが多い。また、全国調査と比較すると、「家計の状況」や「健康状況」を基準とする回答割合は少ない。〔p. 45～47 参照〕

◆東小学校区では、「生活全般」及び「家族関係」、「家計の状況」を基準とする回答割合が他の校区に

比べて少ない。[p. 46 参照]

○幸せ感を高める手段は、全国調査とほぼ同様の傾向となっており、「家族との助け合い」や「自身の努力」などの回答が多い。[p. 48～49 参照]

◆長久手小学校区では「自身の努力」が、市が洞小学校区では「家族との助け合い」がそれぞれやや多い。[p. 49 参照]

○社会全体の目標としては、「安全・安心に暮らせる社会」や「他人への思いやりがある人が多い社会」など最も多い。また、全国調査と比較すると、「この地域に暮らせてよかったと思える社会」や「所得の多い社会」とする回答が少なくなっている。[p. 50～52 参照]

◆東小学校区では、「この地域に暮らせてよかったと思える社会」がやや多く、「安全安心に暮らせる社会」並びに「生活満足度が高い社会」はやや少ない。[p. 51 参照]

◆南小学校区では「所得が高い社会」がやや多く、北小学校区では「心のゆとりがある人が多い社会」がやや少ない。[p. 51 参照]

○満足の度合いについては、「生活全般」で約8割が肯定的な評価となっている。項目別で見ると、「家族関係」や「健康状況」、「友人関係」などの満足度が高い一方、「地域コミュニティや近所との関係」や「生きがい」などは低くなっている。[p. 53～57 参照]

◆東小学校区では生活全般の満足度がやや低い。[p. 54 参照]

○場面ごとの孤立感とつながりの必要性をたずねたところ、家庭（家族）や職場では孤立感をほとんど感じておらず、つながりの必要性は高い水準となっている。一方、地域・近所では2割弱が孤立感を感じることもあるものの、8割以上がつながりの必要性を感じている。[p. 58～59 参照]

■行政サービスについて

○市政への関心度は、「非常に関心がある」が約1割、「ある程度関心がある」が6割強となっており、約4分の1は「あまりもしくは全く関心がない」としてこれは前回調査からもほぼ変化がない。[p. 60～61 参照]

◆市政への関心度について、校区別では大きな違いはみられない。[p. 61 参照]

○行政情報の入手手段については、「広報紙」が8割以上を占めている。また、「議会だより」や「回覧板」も多くの割合を占めており、「インターネットやケーブルテレビ」など比較的新しい媒体は2割以下にとどまっている。[p. 62～63 参照]

◆東小学校区では全体と比べて「回覧板」、「新聞」、「ケーブルテレビ」が多い。[p. 63 参照]

○市政への関心を高めるための方策としては、「広報紙やパンフレットなどで詳しく説明する」という回答が約6割にのぼっており、依然として「紙媒体による情報発信」が求められている。[p. 64～65 参照]

◆東小学校区では、「ケーブルテレビの充実」がやや多く、新たな情報伝達サービスの活用が少ない。[p. 65 参照]

◆「広報紙やパンフレットなどで詳しく説明する」という回答は市が洞小学校区でやや多く、西小学校区でやや少ない。[p. 65 参照]

○市役所の窓口サービス向上については休日の開庁」や「ワンストップサービス（総合窓口）の導入」が望まれている一方、「サービスの向上は費用負担を伴うため現状で十分」という回答も15%ほどみられた。〔p. 66～67 参照〕

◆市役所の窓口サービス向上の回答について、校区別に大きな違いはみられない。〔p. 67 参照〕

■市民活動やこれからのまちづくりの進め方について

○市民活動への参加は、「参加した」と「参加していない」がそれぞれ半々となっており、40歳代並びに東小学校区でそれぞれ「参加した」が多くなっている。参加している理由は「当番で回ってくるから」が最も多く、次いで「当然の義務だから」となっている。一方、参加していない理由としては、「興味のある活動が地域にないから」、「関わるのが面倒だから」などとなっている。〔p. 68～69 参照〕

◆「参加した」は東小学校区で多く、西小学校区でやや少ない。〔p. 69 参照〕

○参加している地域活動は、「区や自治会の活動」、「祭りなど伝統的な行事」などが多くを占めており、これらは前回調査より多くなっている。また、子育て世代では「PTAの活動」や「子育てに関する活動」が、高齢者では「シニアクラブの活動」がそれぞれ多い。〔p. 70～73 参照〕

◆東小学校区では、「祭りなど伝統的な行事」をはじめ、参加している地域活動全般を通して他の校区に比べてやや高い。〔p. 72 参照〕

◆南小学校区では、「防災・防犯の活動」がやや多い半面、「祭りなど伝統行事」、「区や自治会の活動」、「環境美化活動」などでやや少ない。〔p. 72 参照〕

○地域活動への参加頻度としては、約4分の1が「月に1回程度」で最も多い。約1割が週に1日以上頻度で参加しており、約半数が3か月～1年に1回となっているなど、頻度にはかなりの差がみられる。〔p. 74～75 参照〕

◆東小学校区の参加頻度が他の校区と比べて高い。〔p. 75 参照〕

○これからの地域活動の単位として好ましい単位として、小学校区が全体の約3分の2を占めるほか、約2割が現在のままでよいとしている。〔p. 76～77 参照〕

◆東小学校区では「現在のままだよ」とする回答がやや多い。〔p. 77 参照〕

○これからの市民参画・地域協働について、市政に市民の意見が反映されていることや市政に関する情報提供が十分に行われていることを4割前後が評価しているほか、約3割が市民の意見を聞く機会が充実しているとしている。また、地域活動やボランティア活動、NPO活動への参加意向は4割弱で、前回調査よりやや減少している。さらに、これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要という項目には、肯定的な回答が8割以上を占めているものの、前回調査と比較して、「そう思う」とした回答は10ポイント以上少なくなった。〔p. 78～86 参照〕

◆市政に市民の意見が反映されていること、市民の意見を聞く機会が充実していること、市政に関する情報提供が十分に行われていることについて、それぞれ東小学校区では他より肯定的な評価が少ない。〔p. 79, 81, 82, 84, 85 参照〕

◆NPO活動への参加意向や市民参画や地域協働の必要性について、校区別の回答結果に大きな違いはみられない。[p. 79, 81, 82, 84, 85 参照]

○まちづくりの基本的な進め方は、「市民、行政、議会それぞれの役割を分担し、必要に応じて協働で進めるべき」が全体の約3分の2を占める。[p. 87~88 参照]

◆校区別の回答結果に大きな違いはみられない。[p. 88 参照]

○まちづくりの基本的なルールの制定については、8割近くが肯定的な意見を寄せている。[p. 89~90 参照]

◆東小学校区で肯定的な意見がわずかに少ない以外、校区別に大きな特徴はみられない。[p. 90 参照]

○それぞれの役割について、市民は「まちづくりへの関心を持つこと」、行政は「常に市民の目線に立つこと」、議会は「市民全体の利益を考え行動すること」とする回答がそれぞれ多くなっている。[p. 91 参照]

■第5次総合計画について

○市政全般の満足度は、約3分の1が肯定的な評価（「満足している」「まあ満足している」）、半数強が「どちらとも言えない」となっており、否定的な評価（「不満である」「やや不満である」）は1割に満たない。前回調査と比較すると、肯定的な評価、否定的な評価もいずれも10ポイント前後少なくなっている分、「どちらとも言えない」が20ポイント以上増えている。[p. 95~96 参照]

◆各校区の回答は、全体とほぼ同様の傾向にある。[p. 96 参照]

○基本施策の重要度については防災・防犯や保健医療、消防・救急など安全・安心なまちづくりについての項目が上位を占めたほか、子育て支援についても高くなっている。[p. 101 参照]

○基本施策の推進度については、公園や道路などの都市基盤整備、自然環境、都市景観などの評価が高くなっている。[p. 103 参照]

◆基本方針1

公園整備：市が洞小学校区（高）、東小学校区（低）【区画整理により公園が整備されている地域と既存集落で一時的規模の公園数が少ない地域の差と思われる。】

◆基本方針2

全般的に東小学校区の評価が低い。【市街化調整区域のため、都市基盤整備が相対的に進んでいないこと、商業に関する施設が少ないことが原因と考えられる。】

公共交通機関：南小学校区及び西小学校区（高）、東小学校区及び市が洞小学校区（低）

【自由意見を見ると、市が洞小学校区はNバスや路線バスの藤が丘駅や市役所、病院へのアクセスの充実、東小学校区はリニモ駅のパーク&ライド駐車場の整備を望む意見が多かった。】

◆基本方針3

子育て支援：市が洞小学校区（低）【保育施設の不足感や学校の児童数増加などが子育て支援全般の推進度を下げていると推察される。】

◆基本方針4

生涯学習：市が洞小学校区（低）【本市の生涯学習拠点である文化の家や図書館から遠いことや関連施設が少ないことなどが原因と考えられる。】

◆基本方針 5

地域自治：東小学校区（高）【既存集落で昔ながらの地域自治組織が相対的に強固な状態で残っていることが原因と推察される。】

以上 [p. 106～107 参照]

○基本施策の重要度と推進度を評点化し、座標に表示したところ、最優先で改善が求められる重要度が高く満足度が低い項目は、防災、防犯、交通安全、公共交通の利便性、高齢者・障がい者の福祉、小中学校の教育、地域での支え合いなど計 8 項目となっている。[p. 113 参照]

◆長久手小学校区、西小学校区、北小学校区、市が洞小学校区では、重要度が高く満足度が低い領域に、市全体と同様の 8 項目が入っている。

◆東小学校では、重要度が高く満足度が低い領域に、市全体と同様の 8 項目に加えて、市民と行政が協働するまちづくりが入っている。

◆南小学校区では、重要度が高く満足度が低い領域に、市全体と同様の 8 項目のうち、公共交通の利便性と小中学校の教育が含まれていない。

以上 [p. 118～120 参照]

○今後力を入れていくべき施策は、「高齢者福祉の充実」や「学校教育の充実」、「防犯対策」、「公共交通機関の整備」、「子育て支援の充実」などが多い。前回調査と比較すると、「高齢者福祉の充実」は 10 ポイント弱少なくなっている一方、「防犯対策」、「公共交通機関の整備」、「学校教育の充実」などは多くなっている。[p. 121～124 参照]

◆東小学校区では、「買い物の利便性」と「高齢者福祉の充実」が多く、「学校教育の充実」が少ない。
[p. 123 参照]

◆南小学校区では、「防犯対策」がやや多い。[p. 123 参照]

◆「公共交通の整備」については、市が洞小学校区でやや多く、西小学校区でやや少ない。[p. 123 参照]

2. 回答者の属性

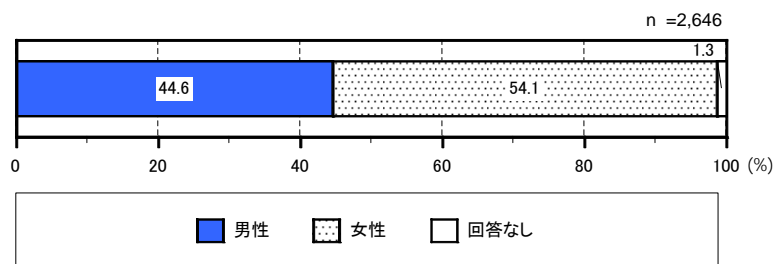
(1) 回答者の状況

1 性別

問1 (1) あなたの性別は、次のうちどれですか。【○は1つ】

回答者の性別は、「女性」が54.1%、「男性」が44.6%となっている（図2-1-1）。

図2-1-1 性別

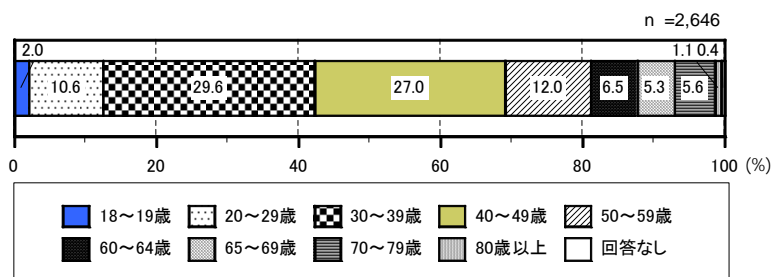


2 年齢

問1 (2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。【○は1つ】

回答者の年齢は、「30～39歳」が29.6%と最も大きく、次いで「40～49歳」(27.0%)となっており、50歳未満が全体の約7割を占めている（図2-1-2）。

図2-1-2 年齢



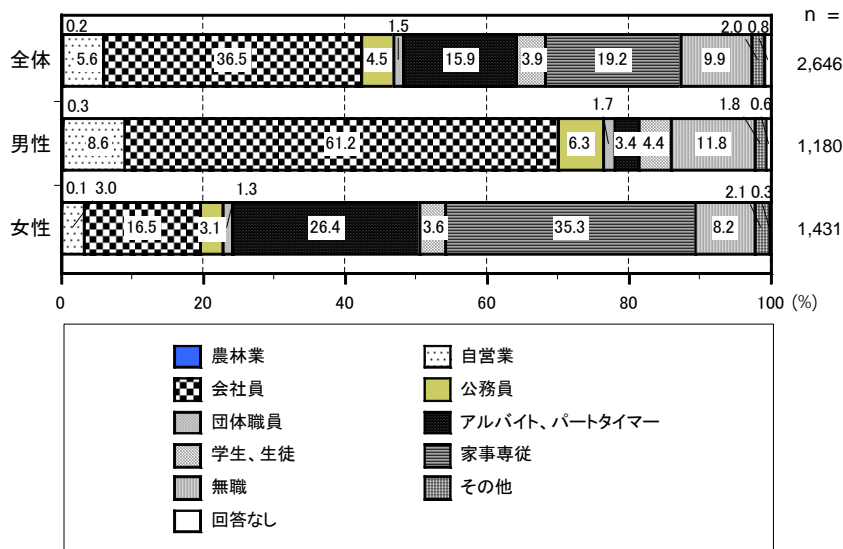
3 職業

問1(3) あなたの職業は、次のうちどれですか。次の中から選んでください。
【○は1つ】

回答者の職業は、「会社員」が36.5%で最も多く、「家事専従」(19.2%)や「アルバイト、パートタイマー」(15.9%)が続いている(図2-1-3)。

○性別で見ると、男性では「会社員」(61.2%)が全体より約25ポイント多く、女性では「家事専従」(35.3%)や「アルバイト、パートタイマー」(26.4%)が全体より10ポイント以上多くなっている(図2-1-3)。

図2-1-3 職業

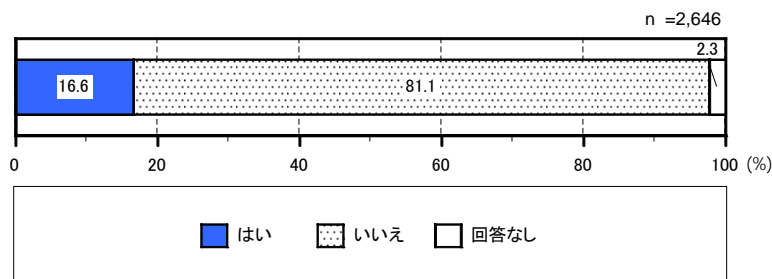


4 年金受給の有無

問1(5) あなたは、現在年金を受給していますか。【○は1つ】

回答者が現在年金を受給しているかをたずねたところ、「はい」が16.6%であった(図2-1-4)。

図2-1-4 年金受給の有無



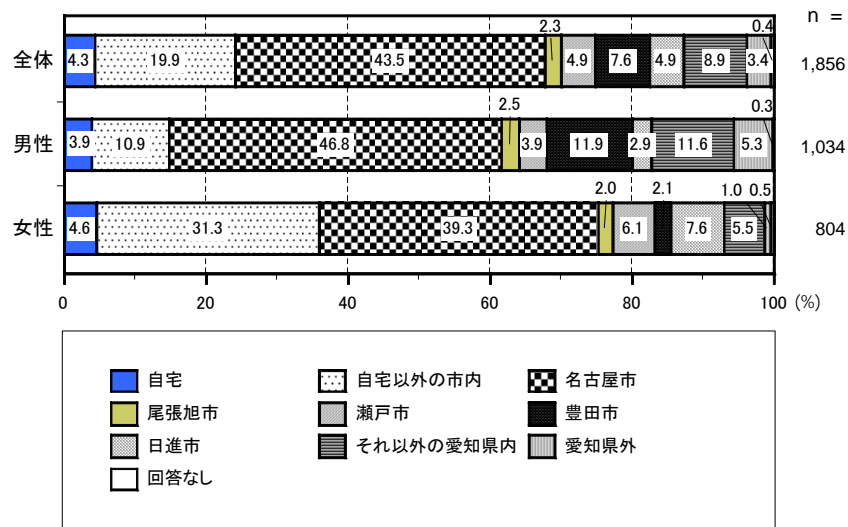
5 通勤先・通学先

問1 (6) あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。【○は1つ】

回答者の通勤先・通学先は、「名古屋市」が43.5%で最も多く、次に「自宅以外の市内」(19.9%)となっている(図2-1-5)。

○性別で見ると、女性では「自宅以外の市内」(31.3%)が多くなっている(図2-1-5)。

図2-1-5 通勤先・通学先

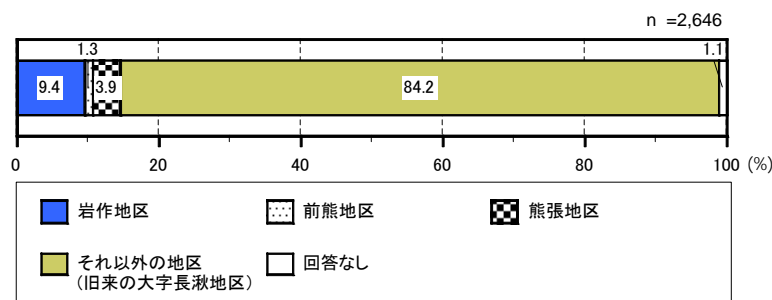


6 居住地区

問1 (11) あなたのお住まいはどこですか。次の中から選んでください。【○は1つ】

回答者の居住地区は、「それ以外の地区(旧来の大字長湫地区)」が84.2%と全体の8割以上を占めている(図2-1-6)。

図2-1-6 居住地区



7 居住小学校区

問1 (12) あなたの小学校区はどこですか。次の中から選んでください。【○は1つ】

回答者の居住小学校区は、「北小学校区」(21.5%)、「市が洞小学校区」(20.4%)、「南小学校区」(18.7%)の順になっている(図2-1-7)。

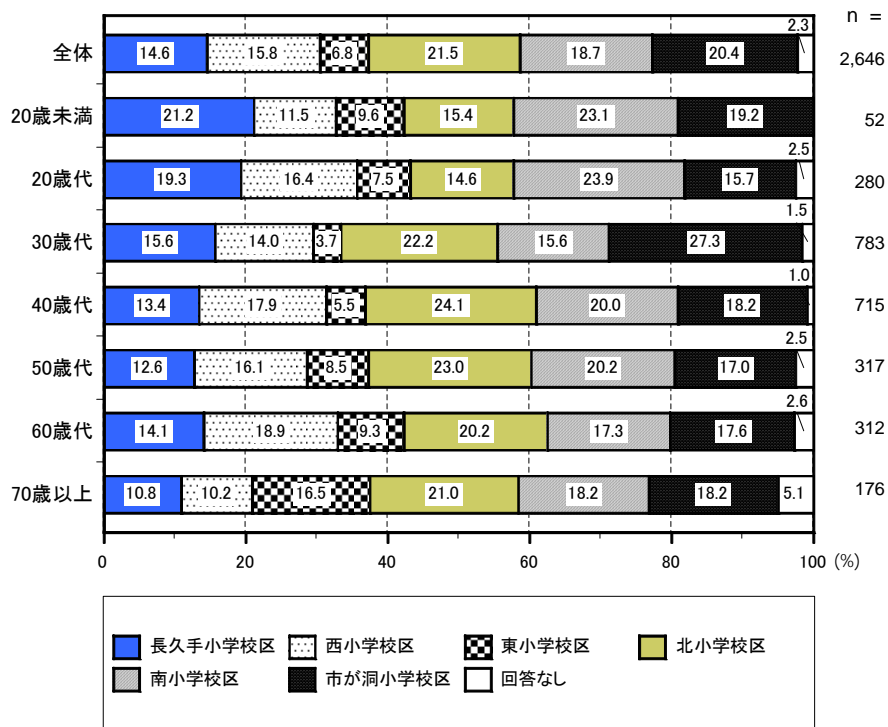
○年齢別でみると、20歳未満では「長久手小学校区」(21.2%)が全体と比べてやや多く、「北小学校区」(15.4%)がやや少なくなっている。

○20歳代では「南小学校区」(23.9%)が全体よりやや多く、「北小学校区」(14.6%)がやや少なくなっている。

○30歳代では「市が洞小学校区」(27.3%)が全体に比べてやや多くなっている。

○70歳以上では「東小学校区」(16.5%)が全体よりやや多く、「西小学校区」(10.2%)がやや少なくなっている(図2-1-7)。

図2-1-7 年齢別 居住小学校区



8 居住年数

問1 (13) あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

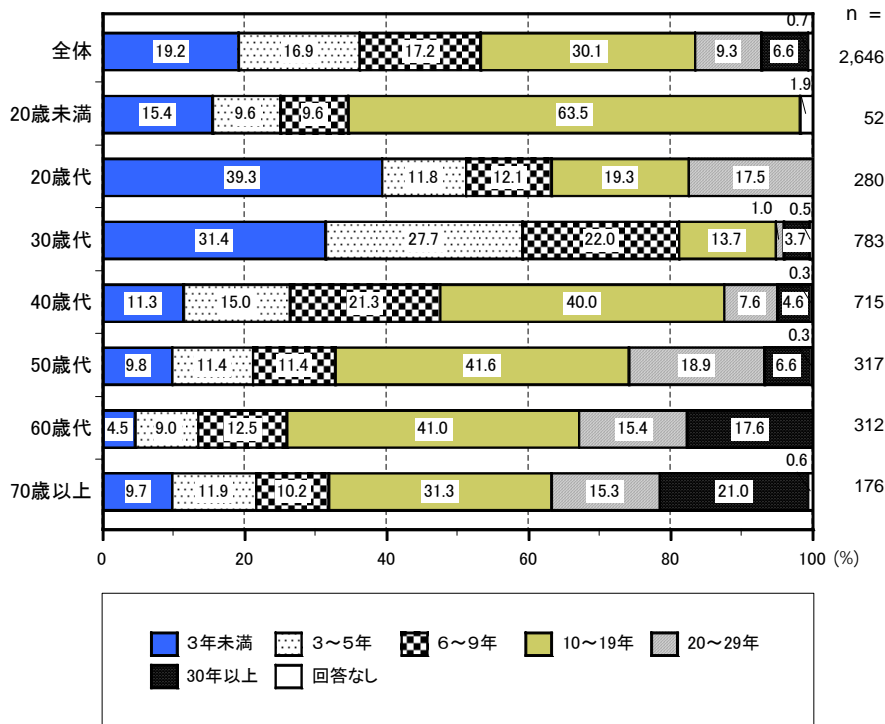
回答者の居住年数は、「10～19年」が30.1%で最も多く、次いで「3年未満」(19.2%)、「6～9年」(17.2%)、「3～5年」(16.9%)と続いており、全体の8割強が居住年数20年未満、半数強が居住年数10年未満となっている(図2-1-8-1)。

○年齢別でみると、20歳未満で「10～19年」(63.5%)が全体と比べ倍以上になっており、20歳代では「3年未満」が20ポイント以上多くなっている。

○30歳代では「3年未満」(31.4%)、「3～5年」(27.7%)がいずれも全体より10ポイント以上多く、居住年数が5年までの回答者が約6割を占めている。

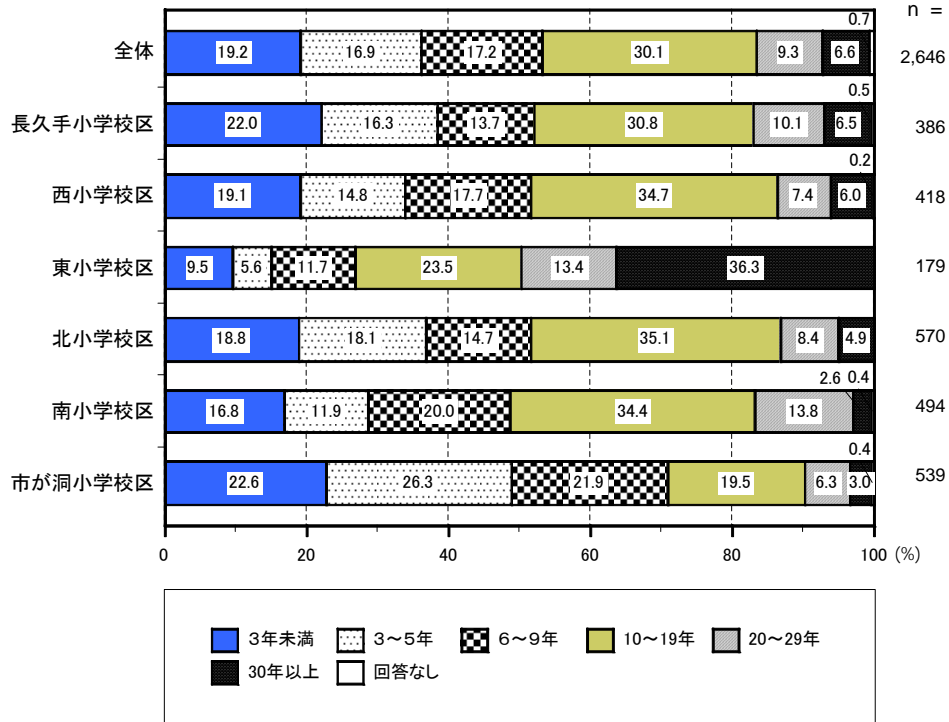
○40歳代から60歳代までは「10～19年」(40歳代：40.0%、50歳代41.6%、60歳代41.0%)が全体より10ポイント前後多く、60歳代及び70歳以上では「30年以上」(60歳代：17.6%、70歳以上：21.0%)で全体より10ポイント以上多くなっている(図2-1-8-1)。

図2-1-8-1 年齢別 居住年数



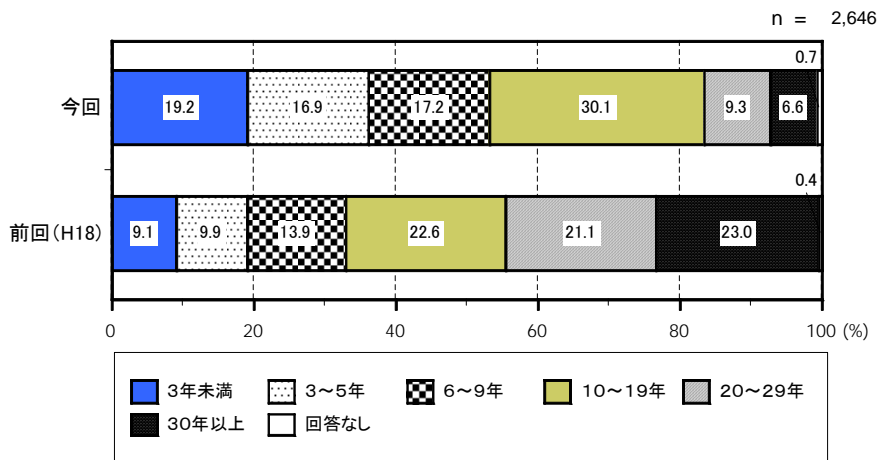
- 小学校区別でみると、東小学校区は「30年以上」(36.3%)が全体と比べて約30ポイント多い半面、10年未満に該当する回答はそれぞれ少ない。
- 北小学校区は「10～19年」(35.1%)が全体よりやや多い。
- 市が洞小学校区は全体と比べて「3～5年」(26.3%)と10ポイント近く多いほか、居住年数10年未満が約7割を占める(図2-1-8-2)。

図 2-1-8-2 小学校区別 居住年数



- 前回調査と比較すると、「3年未満」(9.1%⇒19.2%)が約10ポイント多くなっているほか、「10～19年」(22.6%⇒30.1%)及び「6～9年」(9.9%⇒16.9%)でもやや多くなっている半面、「30年以上」(23.0%⇒6.6%)及び「20～29年」(21.1%⇒9.3%)は10ポイント以上少なくなっている(図2-1-8-3)。

図 2-1-8-3 居住年数 (前年比)



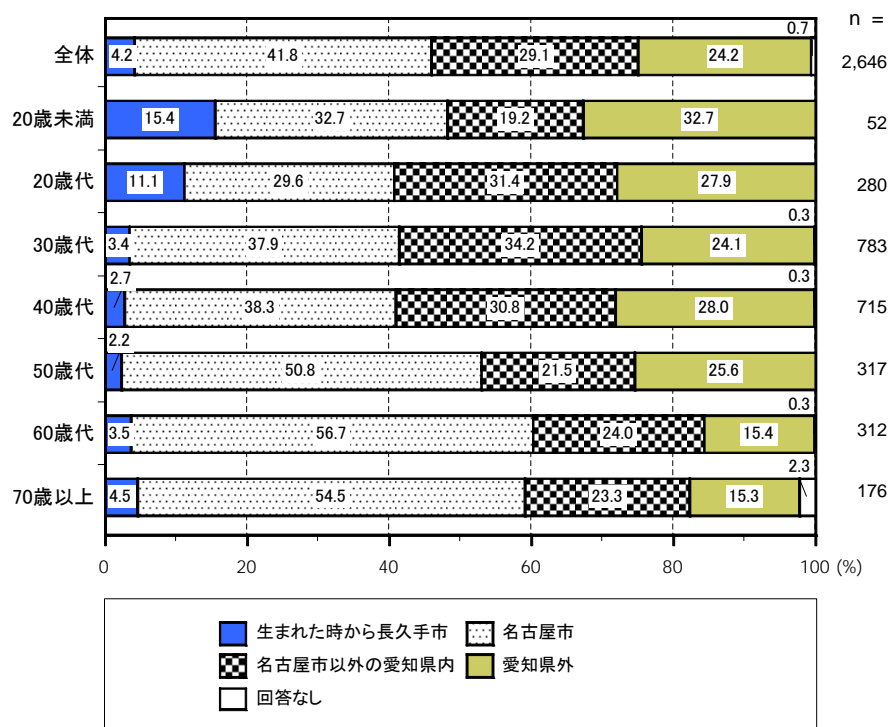
9 前住所

問1 (14) あなたは、長久手市に住む以前はどこにお住まいでしたか。次の中から選んでください。【○は1つ】

回答者の前住所は、「名古屋市」が41.8%で最も多く、「名古屋市以外の愛知県内」(29.1%)、「愛知県外」(24.2%)が続いている。一方、「生まれた時から長久手市」は4.2%となっている(図2-1-9-1)。

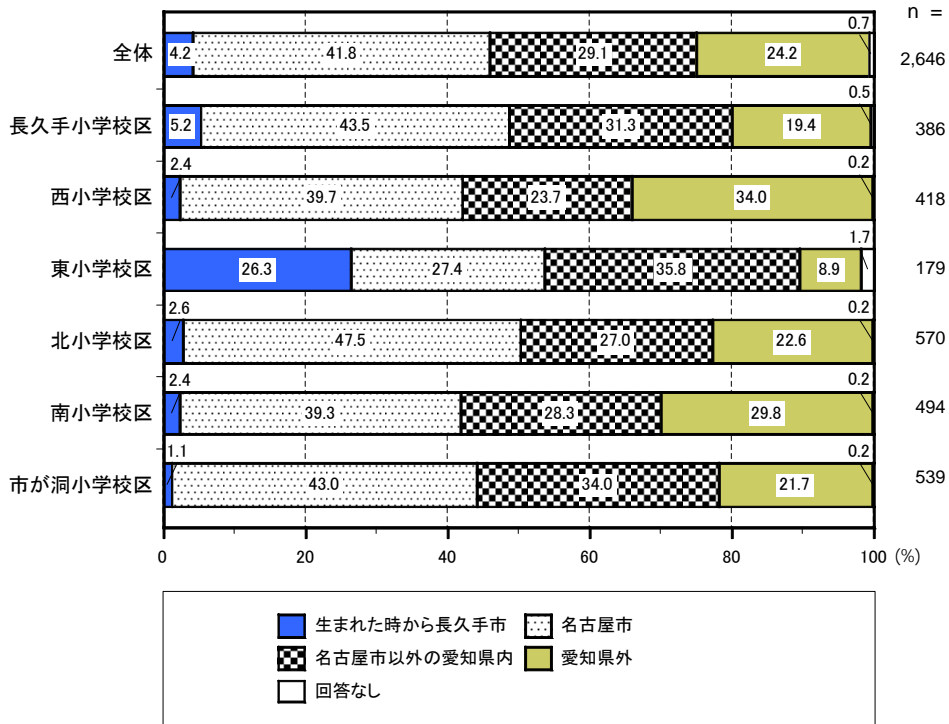
- 年齢別でみると、20歳未満では「生まれた時から長久手市」(15.4%)が全体と比べて10ポイント以上多く、「愛知県外」(32.7%)もやや多くなっている。一方、「名古屋市以外の愛知県内」(19.2%)及び「名古屋市」(32.7%)はやや少なくなっている。
- 20歳代では、「愛知県外」(27.9%)及び「生まれた時から長久手市」(11.1%)が全体よりやや多くなっている半面、「名古屋市」(29.6%)が全体より10ポイント以上少なくなっている。
- 30歳代では、「名古屋市以外の愛知県内」(34.2%)が全体よりやや多くなっている。
- 40歳代は、おおむね全体と同様の回答割合になっている。
- 50歳代では、「名古屋市」(50.8%)が全体よりやや多く、「名古屋市以外の愛知県内」(21.5%)がやや少なくなっている。
- 60歳代では、「名古屋市」(56.7%)が全体より15ポイント近く多い半面、「名古屋市以外の愛知県内」(24.0%)や「愛知県外」(15.4%)が少なくなっている。
- 70歳以上でも、60歳代と同様に「名古屋市」(54.5%)が10ポイント以上多く、「名古屋市以外の愛知県内」(23.3%)や「愛知県外」(15.3%)が少なくなっている(図2-1-9-1)。

図2-1-9-1 年齢別 前住所



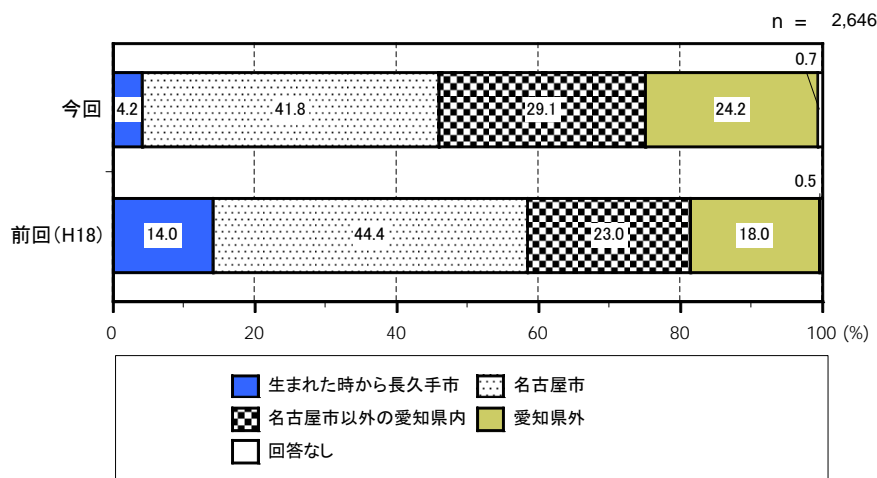
○小学校区別でみると、東小学校区で「生まれた時から長久手市」(26.3%)が全体より20ポイント以上多くなっているほか、「名古屋市以外の愛知県内」(35.8%)もやや多くなっている。
 ○その他、「愛知県外」は西小学校区(34.0%)と南小学校区(29.8%)で、「名古屋市」は北小学校区(47.5%)で、それぞれ全体よりやや多くなっている(図2-1-9-2)。

図2-1-9-2 小学校区別 前住所



○前回調査と比較すると、「生まれた時から長久手市」(14.0%⇒4.2%)が10ポイント近く少なくなっている半面、「愛知県外」(18.0%⇒24.2%)及び「名古屋市以外の愛知県内」(23.0%⇒29.1%)がそれぞれやや多くなっている(図2-1-9-3)。

図2-1-9-3 前住所 (前回比)



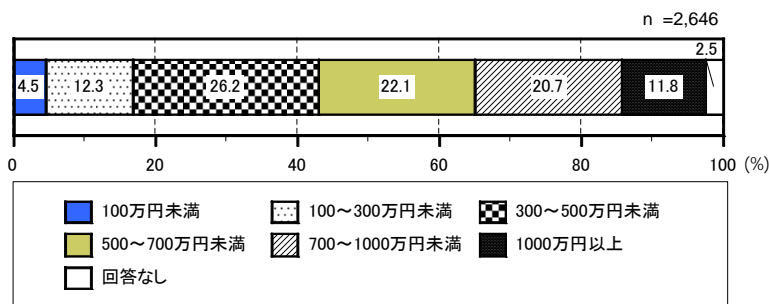
(2) 回答者の世帯の状況

1 家庭全体の年収

問1 (4) あなたの家庭全体の年収は、次のうちどれですか。次の中から選んでください。【○は1つ】

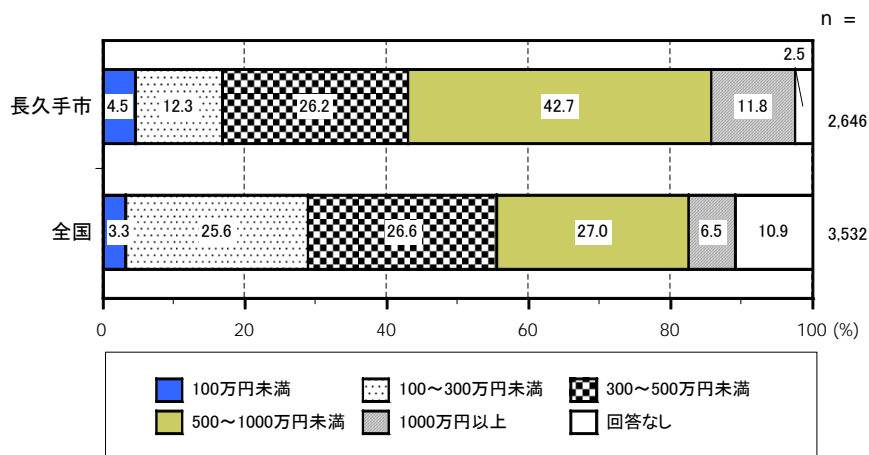
回答者の家庭全体の年収は、「300～500万円未満」が26.2%で最も多く、「500～700万円未満」(22.1%)、「700～1000万円未満」(20.7%)が続いている(図2-2-1)。

図2-2-1 家庭全体の年収



○内閣府が実施した平成22年度国民選好度調査と比較すると、「100～300万円未満」(全国:25.6%、長久手市:12.3%)は10ポイント以上少なくなっている半面、「500～1000万円未満」(全国:27.0%、長久手市:42.7%)は15ポイント以上多いほか、「1000万円以上」(全国:6.5%、長久手市:11.8%)でもやや多い(図2-2-2)。

図2-2-2 家庭全体の年収 (国民選好度比)



2 住まいの形態

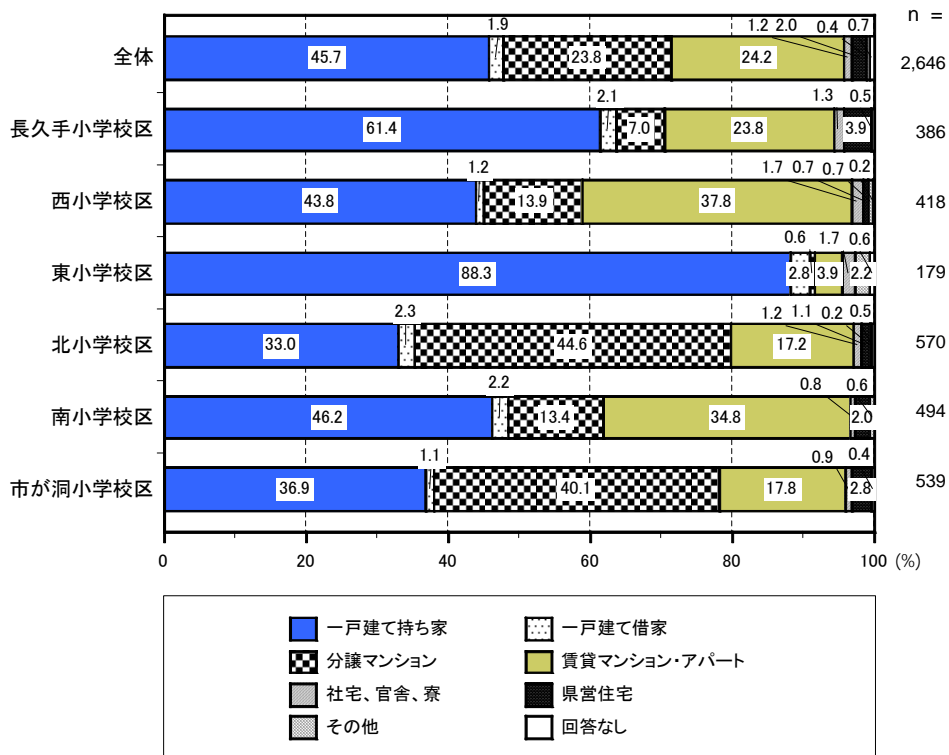
問1 (7) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。次の中から選んでください。
【〇は1つ】

回答者の住まいの形態について、「一戸建て持ち家」が45.7%を占め、次いで「賃貸マンション・アパート」(24.2%)、「分譲マンション」(23.8%)が続いている。また、持ち家の回答を合わせると全体の約7割を占める(図2-2-3)。

○小学校区別でみると「一戸建て持ち家」は東小学校区(88.3%)と長久手小学校区(61.4%)で「分譲マンション」は北小学校区(44.6%)と市が洞小学校区(40.1%)で、それぞれ全体より10ポイント以上多くなっている。

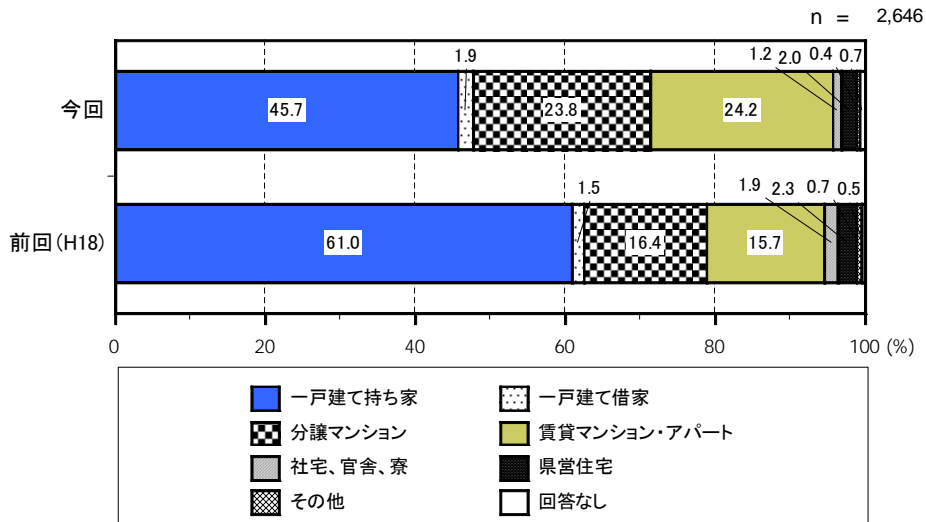
○「賃貸マンション・アパート」は西小学校区(37.8%)と南小学校区(34.8%)で全体と比べて10ポイント以上多くなっている(図2-2-3)。

図2-2-3 小学校区別 住まいの形態



○前回調査と比較すると、「一戸建て持ち家」(61.0%⇒45.7%) が約 15 ポイント少なくなっている半面、「賃貸マンション・アパート」(15.7%⇒24.2%) 及び「分譲マンション」(16.4%⇒23.8%) がやや多くなっている (図 2-2-4)。

図 2-2-4 住まいの形態 (前年比)



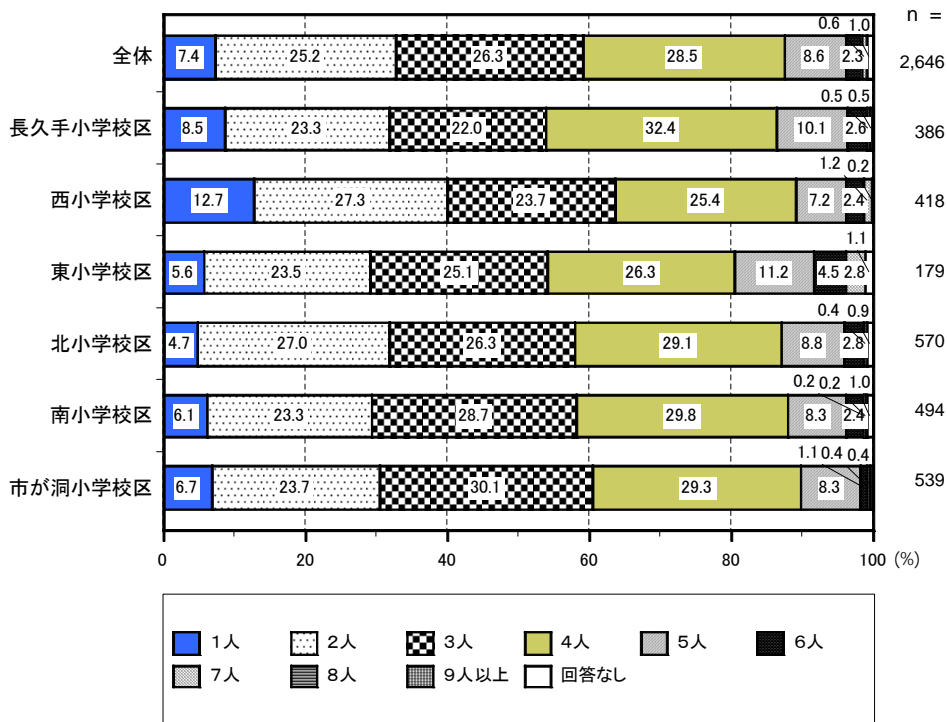
3 同居人の総数

問1 (8) あなたの同居人の総数は、あなたを含めて何人ですか。次の中から選んでください。【○は1つ】

同居人の総数をたずねたところ、「4人」が28.5%で最も多く、「3人」(26.3%)、「2人」(25.2%)が続いている。全体の約6割が3人以下となっている(図2-2-5)。

○小学校区別では、西小学校区で「1人」(12.7%)が全体よりやや多くなっているほかは、大きな違いはみられない(図2-2-5)。

図2-2-5 小学校区別 同居人の総数



4 同居人の状況

問1(9) あなたのお宅にはどのような方が同居していますか。次のうちあてはまるものをすべて選んでください。【○はすべて】

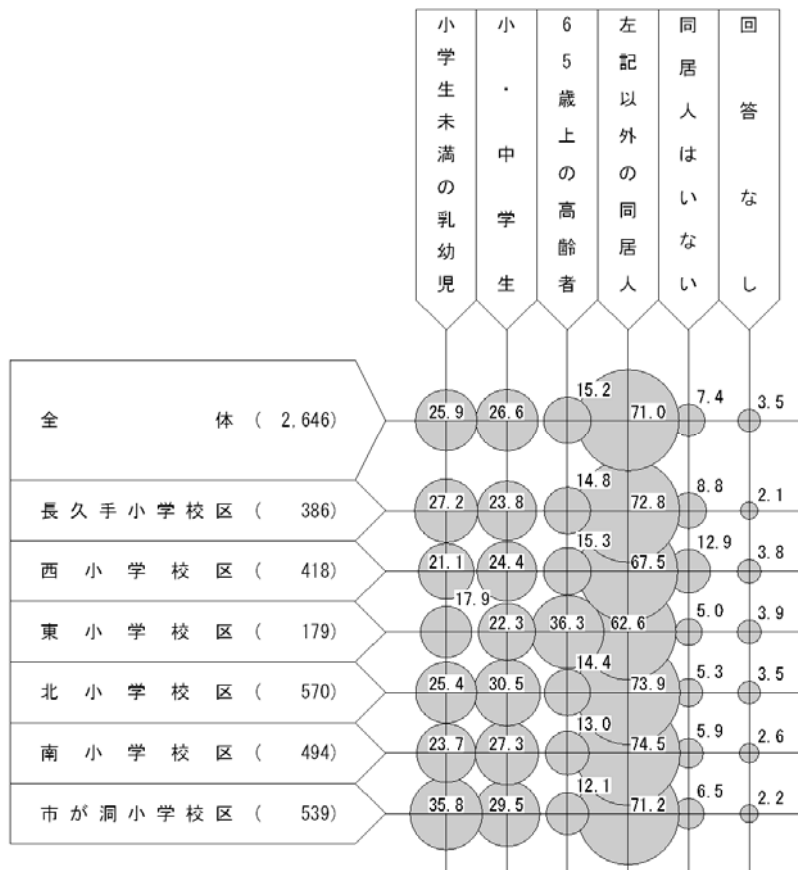
同居人の状況は、「左記（中学生以下の子ども及び高齢者）以外の同居人」が71.0%となっている。

また、回答者の全世帯のうち4分の1程度で「小・中学生」(26.6%)、「小学生未満の乳幼児」(25.9%)がいるほか、おおむね6世帯に1世帯程度で「65歳以上の高齢者」(15.2%)がいる（図2-2-6）。

○小学校区別でみると、東小学校区では「65歳以上の高齢者」(36.3%)が全体より20ポイント以上多い半面、「小学生未満の乳幼児」(17.9%)はやや少ない。

○市が洞小学校区では「小学生未満の乳幼児」(35.8%)が全体より10ポイント近く多い。

図2-2-6 小学校区別 同居人の状況



5 家族形態

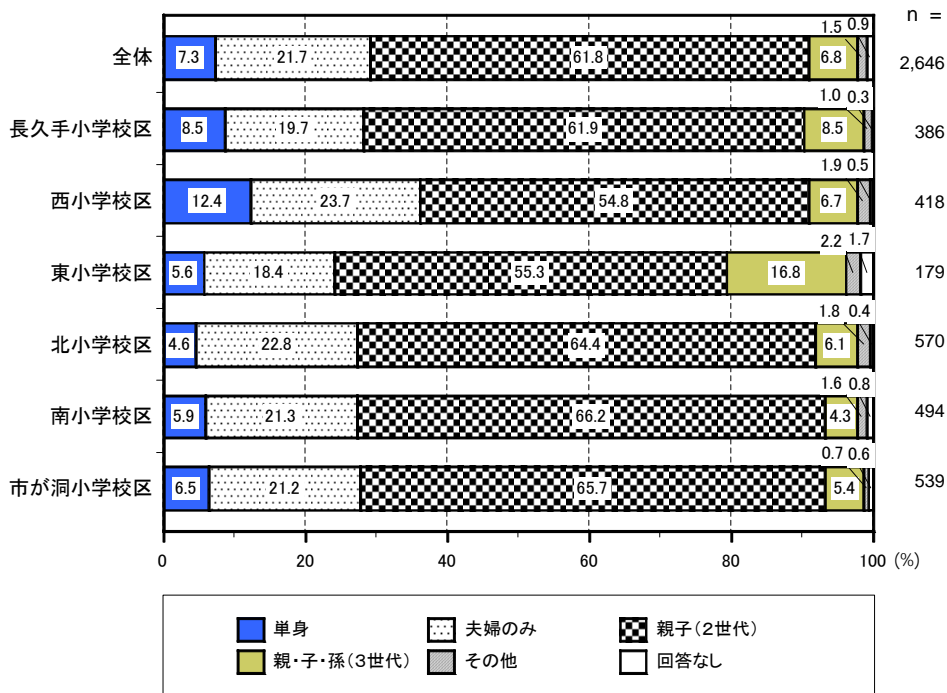
問1 (10) あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

家族の形態は、「親子（2世代）」（61.8%）が全体の約6割を占めており、次いで「夫婦のみ」（21.7%）となっている（図2-2-7）。

○小学校区別で見ると、西小学校区では全体と比べて「単身」（12.4%）がやや多く、「親子（2世代）」（54.8%）がやや少ない。

○東小学校区では、「親・子・孫（3世代）」（16.8%）が全体より10ポイント多く、「親子（2世代）」（55.3%）はやや少ない（図2-2-7）。

図2-2-7 小学校区別 家族形態



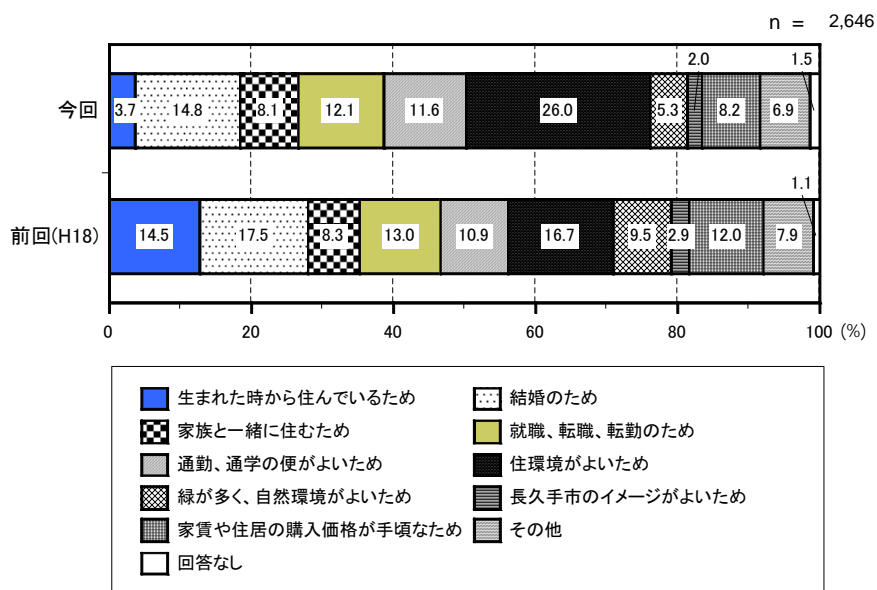
6 居住理由

問1 (15) あなたが長久手市に住んでいる理由はなんですか。次の中から選んでください。【○は1つ】

居住理由は「住環境が良いため」が26.0%で最も多く、次いで「結婚のため」(14.8%)、「就職、転職、転勤のため」(12.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「生まれた時から住んでいるため」(14.5%⇒3.7%)が10ポイント以上少なくなり、「住環境が良いため」(16.7%⇒26.0%)が10ポイント近く増えている(図2-2-8)。

図2-2-8 居住理由 (前回比)



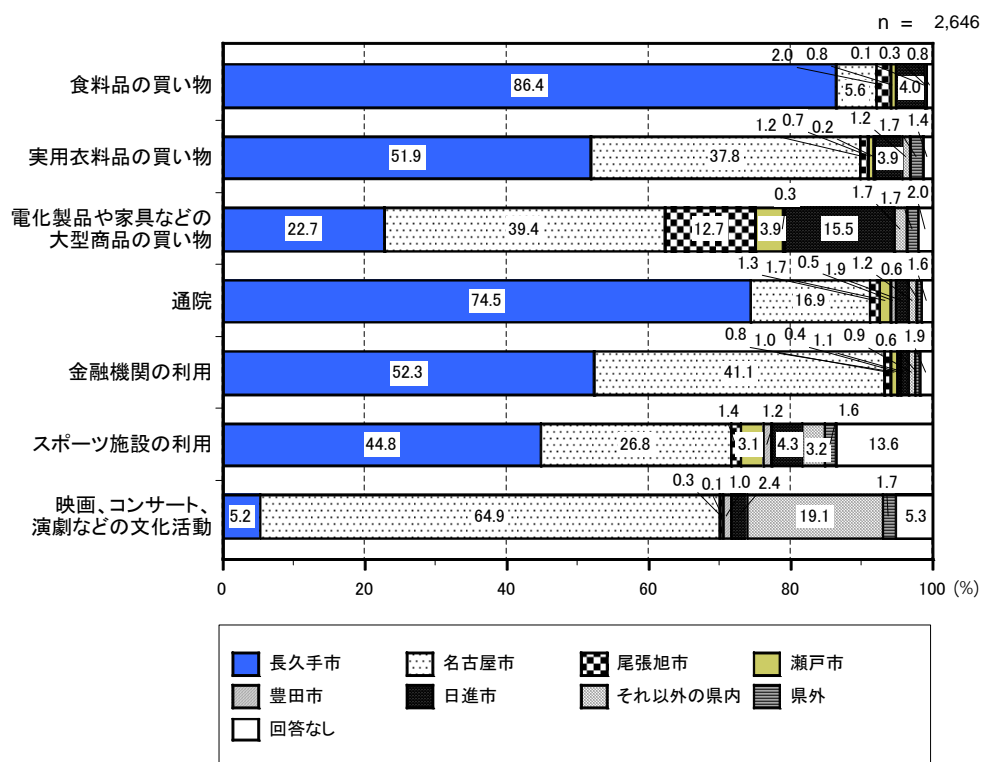
(3) 回答者の生活行動の場所

1 生活行動の場所

問1 (16) あなたは、次のア～キの生活行動について、主にどこで行動していますか。1～8からそれぞれ1つずつ選んでください。

回答者がそれぞれの生活行動を行う場所についてたずねたところ、食料品の買い物(86.4%)、通院(74.5%)などは「長久手市内」が多い半面、映画・コンサートや電化製品や家具などの大型商品の買い物は「名古屋市」をはじめ周辺の自治体が多い(図2-3-1-1)。

図2-3-1-1 生活行動の場所



○前回調査と比較すると、行動場所を「長久手市」とした項目は、食料品の買い物(80.7%⇒86.4%)で多くなったものの、電化製品や家具などの大型商品の買い物(37.9%⇒22.7%)や金融機関の利用(59.8%⇒52.3%)では少なくなっている。なお、電化製品や家具などの大型商品の買い物は「日進市」(3.7%⇒15.5%)、金融機関は「名古屋市」(36.0%⇒41.1%)がそれぞれ多くなっている(図2-3-1-2～図2-3-1-8)。

図2-3-1-2 ア 食料品の買い物 (前回比)

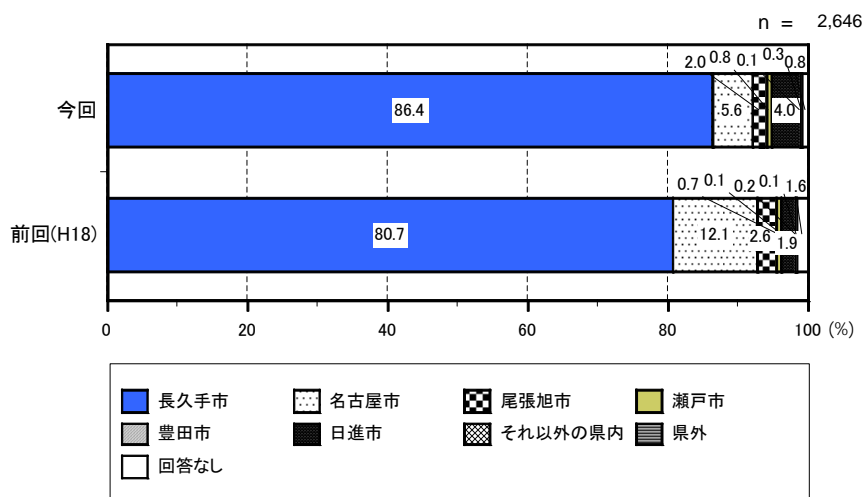


図 2-3-1-3 イ 実用衣料品の買い物（前回比）

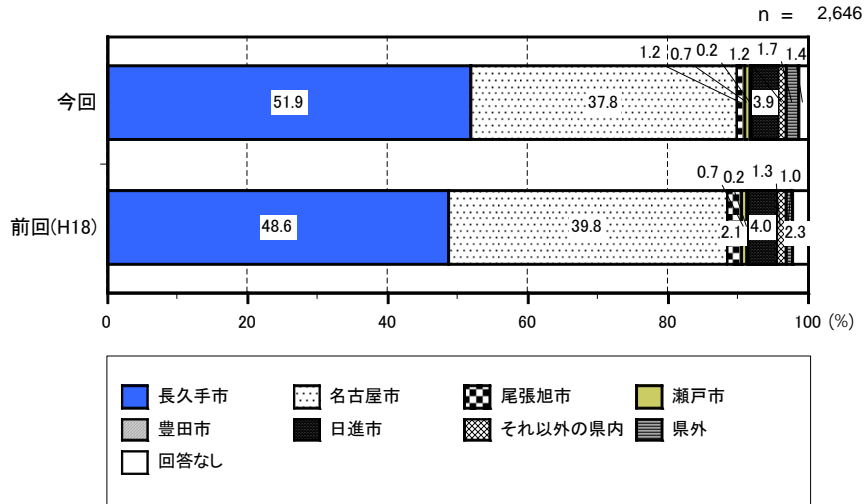


図 2-3-1-4 ウ 電化製品や家具などの大型商品の買い物（前回比）

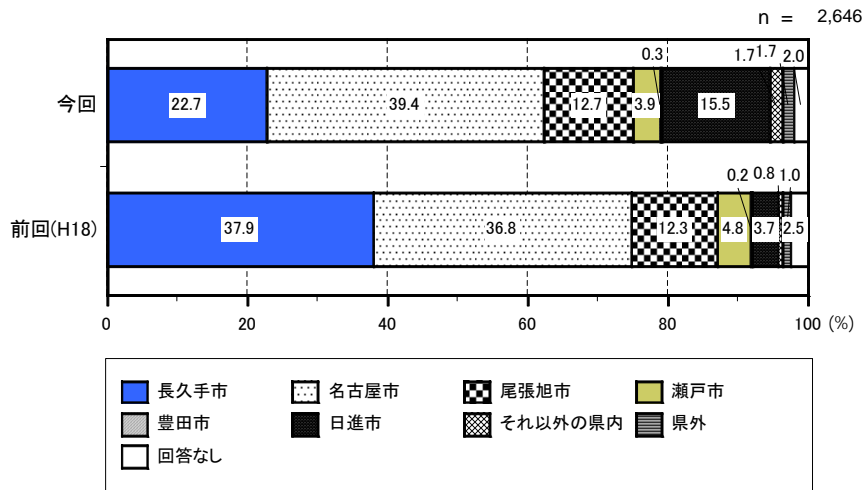


図 2-3-1-5 エ 通院（前回比）

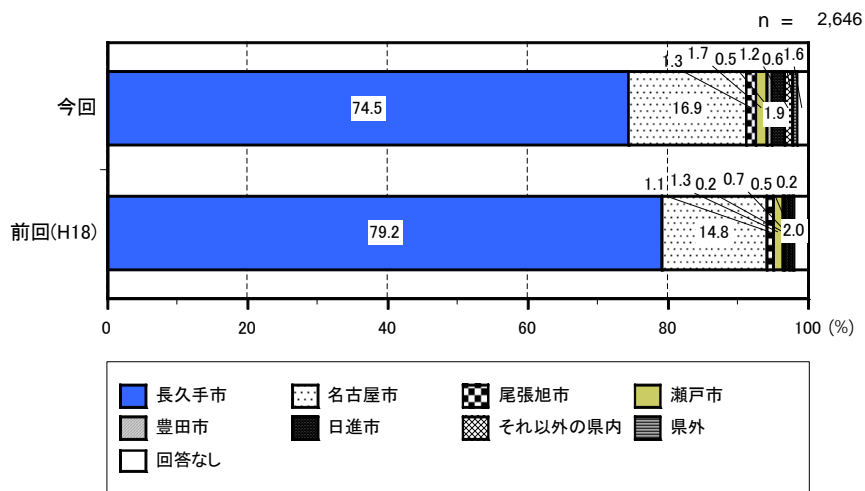


図 2-3-1-6 オ 金融機関の利用（前回比）

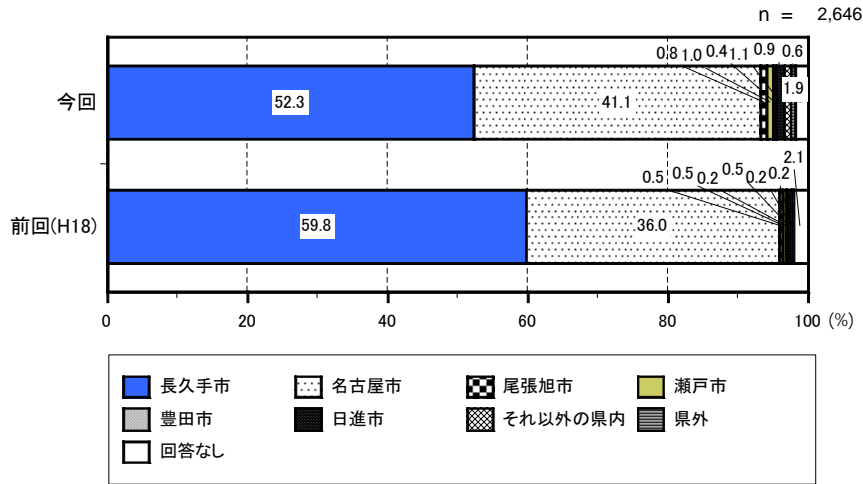


図 2-3-1-7 カ スポーツ施設の利用（前回比）

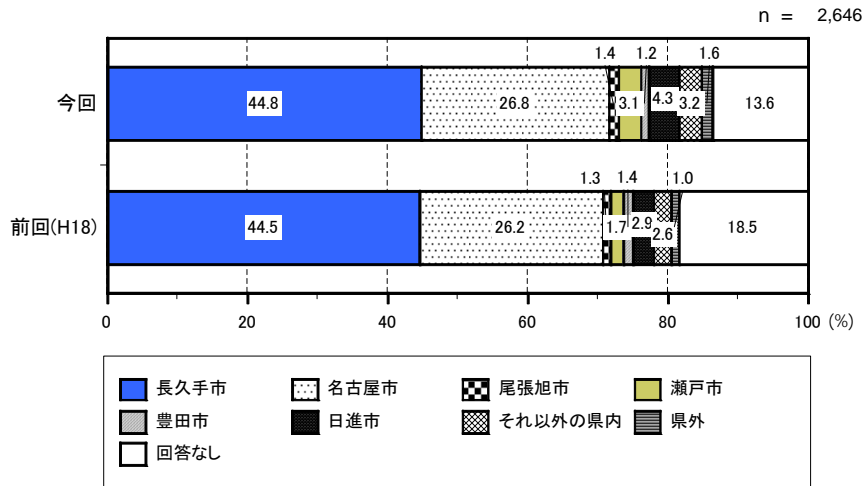
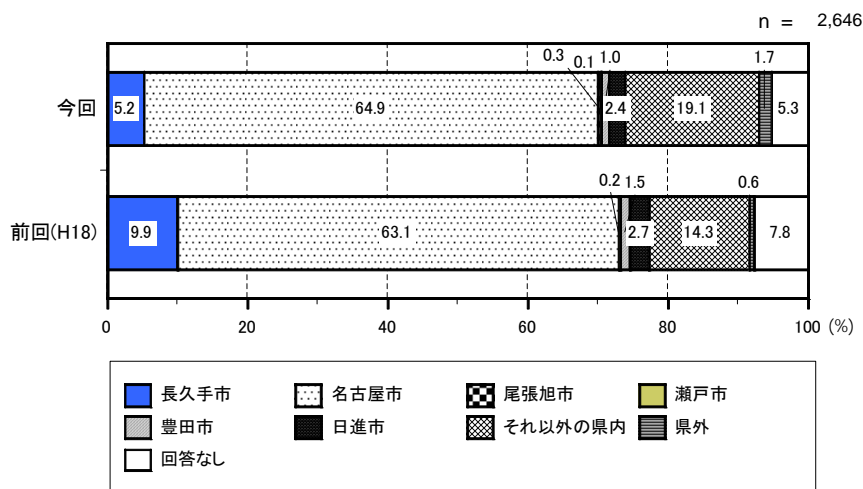


図 2-3-1-8 キ 映画、コンサート、演劇などの文化活動（前回比）



3. 長久手市の住み心地について

(1) 住み心地の評価

住み心地について

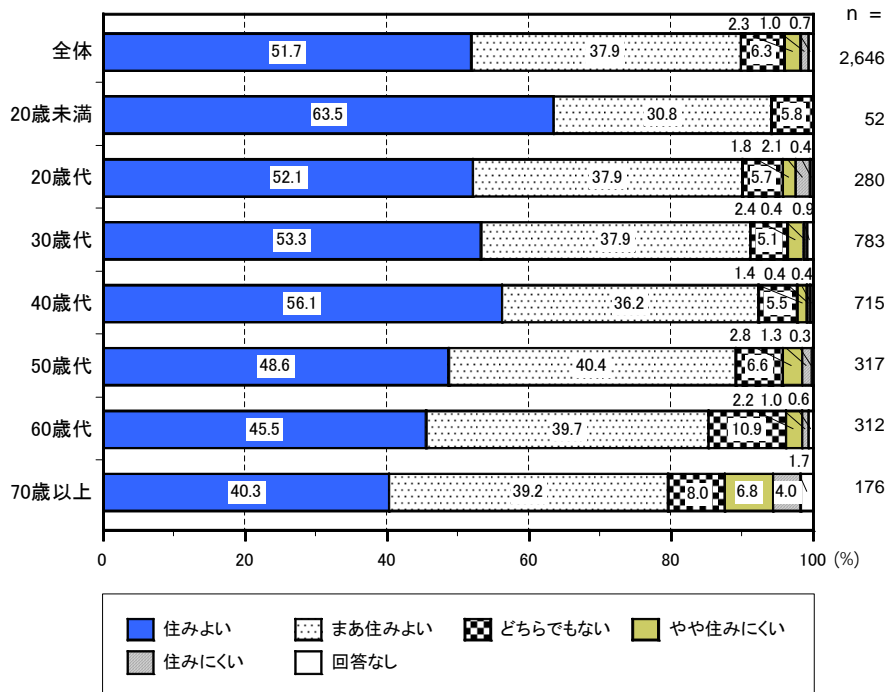
問2 あなたは、長久手市を住みよいまちだと思えますか。次の中から選んでください。
【〇は1つ】

長久手市の住み心地については、「住みよい」が51.7%、「まあ住みよい」が37.9%となっており、合わせると89.6%を占める（図3-1-1）。

○年齢別でみると、「住みよい」が20歳未満（63.5%）で全体に比べて10ポイント以上多い半面、70歳以上（40.3%）で10ポイント以上少なく、60歳代（45.5%）でもやや少ない。

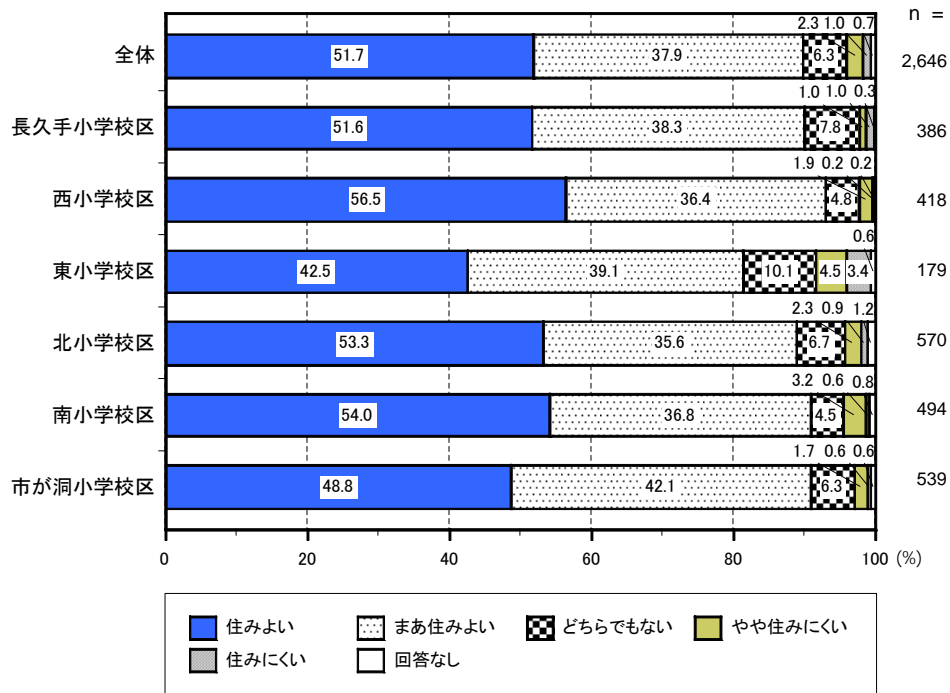
○また、「住みよい」、「まあ住みよい」の合計でみると、20歳未満（計94.3%）で全体よりやや多いものの、70歳以上（計79.5%）で10ポイント近く少ない（図3-1-1）。

図3-1-1 年齢別 住み心地



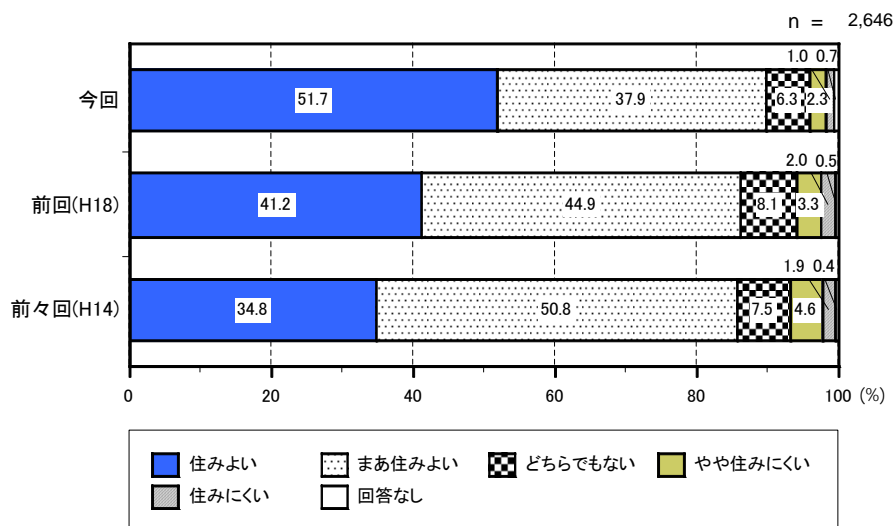
○小学校区別でみると、「住みよい」が東小学校区（42.5%）で全体よりやや少ない。
 ○また、「住みよい」、「まあ住みよい」の合計も、東小学校区（計 81.6%）で全体よりやや少ない（図 3-1-2）。

図 3-1-2 小学校区別 住み心地



○前回及び前々回の調査と比較すると、「住みよい」(34.8%⇒41.2%⇒51.7%)は前回より約 10 ポイント、前々回より 15 ポイント以上多くなっている (図 3-1-3)。

図 3-1-3 住み心地 (前回・前々回比)



(2) 長久手市の印象

長久手市の印象について

問3 あなたは、長久手市に対してどのような印象をお持ちですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

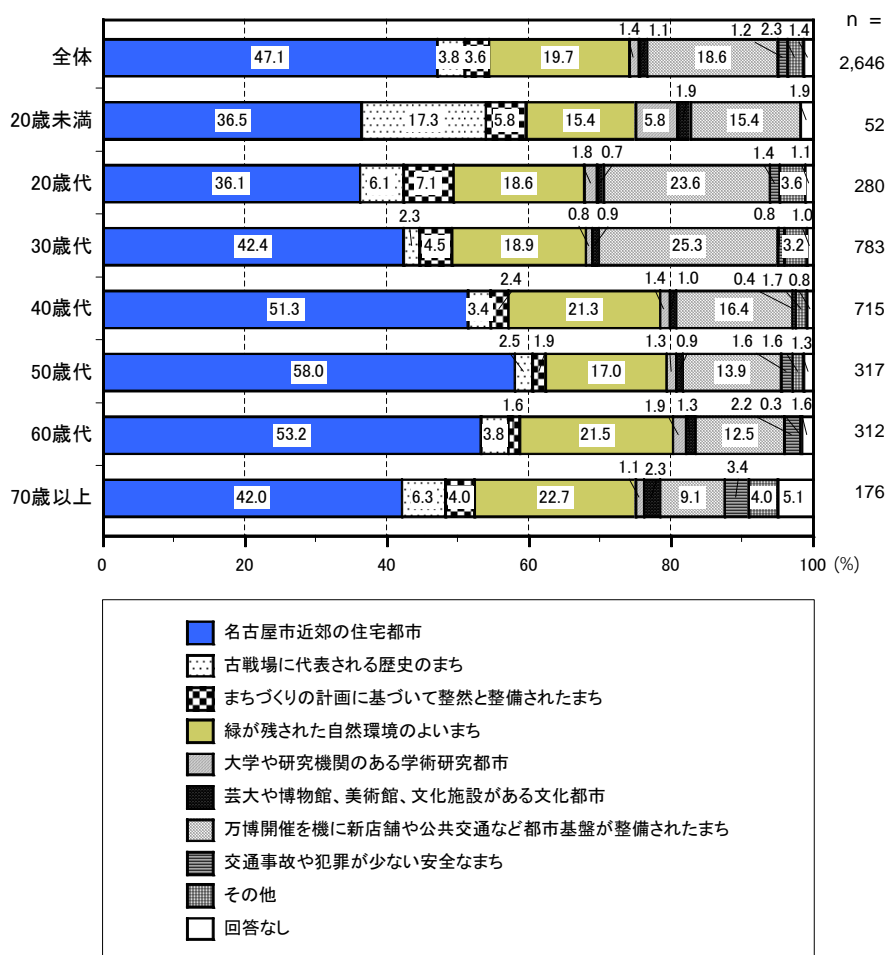
長久手市の印象についてたずねたところ、「名古屋市近郊の住宅都市」が47.1%で最も多く、次いで「緑が残された自然環境のよいまち」(19.7%)、「万博開催を機に新店舗や公共交通など都市基盤が整備されたまち」(18.6%)の順になっている(図3-2-1)。

○年齢別でみると、「名古屋市近郊の住宅都市」は、全体と比べ50歳代(58.0%)で約10ポイント多く、60歳代(53.2%)でもやや多くなっているものの、20歳代(36.1%)及び20歳未満(36.5%)で約10ポイント少なく、70歳以上(42.0%)でもやや少ない。

○「万博開催を機に新店舗や公共交通など都市基盤が整備されたまち」は、30歳代(25.3%)及び20歳代(23.6%)で全体よりやや多く、70歳以上(9.1%)及び60歳代(12.5%)でやや少ない。

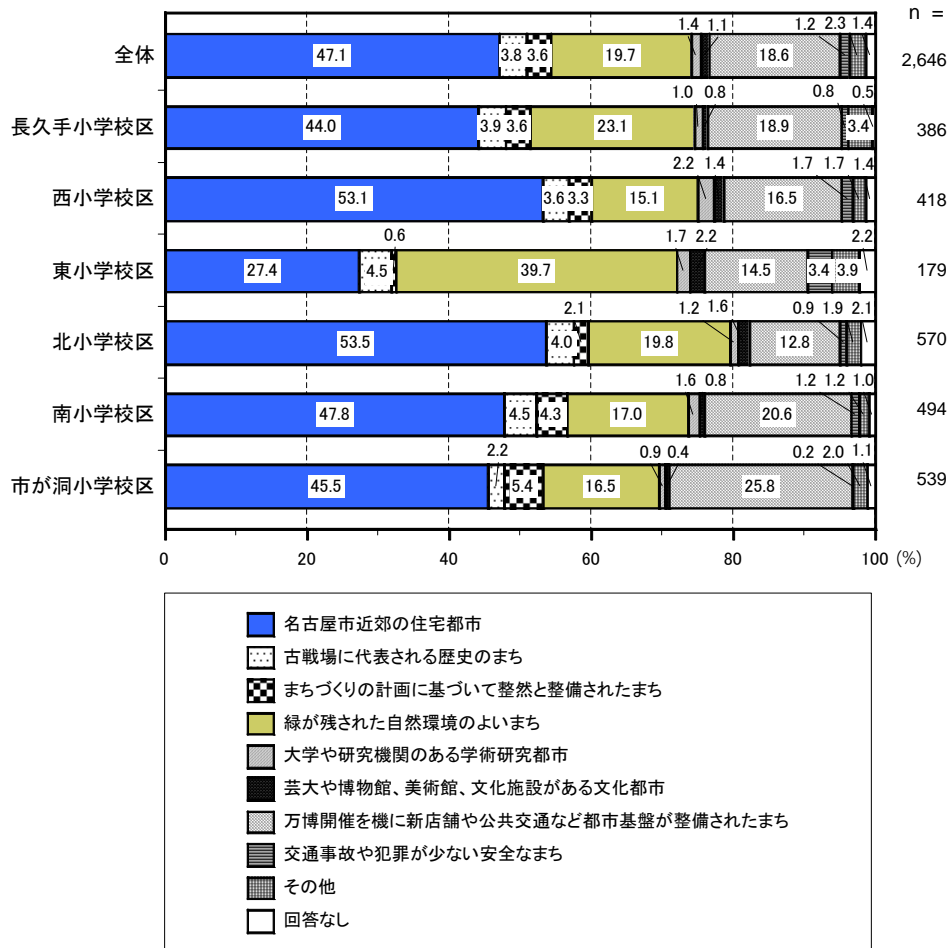
○その他、20歳未満では「古戦場に代表される歴史のまち」(17.3%)が全体より10ポイント以上多い(図3-2-1)。

図3-2-1 年齢別 長久手市の印象



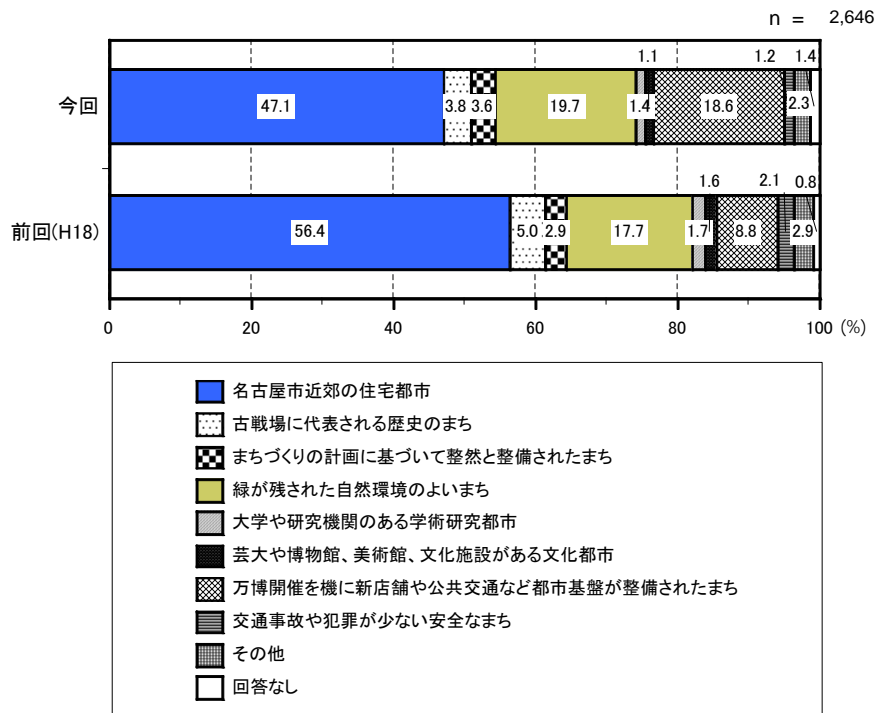
- 小学校区別でみると、東小学校区では「緑が残された自然環境のよいまち」(39.7%)が全体と比べて20ポイント多く、「名古屋市近郊の住宅都市」(27.4%)は20ポイント近く少ない。
- 「名古屋市近郊の住宅都市」は、北小学校区(53.5%)及び西小学校区(53.1%)で全体よりやや多い。
- 「万博開催を機に新店舗や公共交通など都市基盤が整備されたまち」は、全体に比べて市が洞小学校区(25.8%)でやや多く、北小学校区(12.8%)でやや少ない(図3-2-2)。

図 3-2-2 小学校区別 長久手市の印象



○前回調査と比較すると、「名古屋市近郊の住宅都市」(56.4%⇒47.1%)はやや少なくなった半面、「万博開催を機に新店舗や公共交通など都市基盤が整備されたまち」(8.8%⇒18.6%)は10ポイント近く多くなっている(図3-2-3)。

図3-2-3 長久手市の印象(前回比)



(3) 定住意向とその理由

定住意向

問4 あなたは、今後も長久手市に住み続けたいですか。次の中から選んでください。
【〇は1つ】

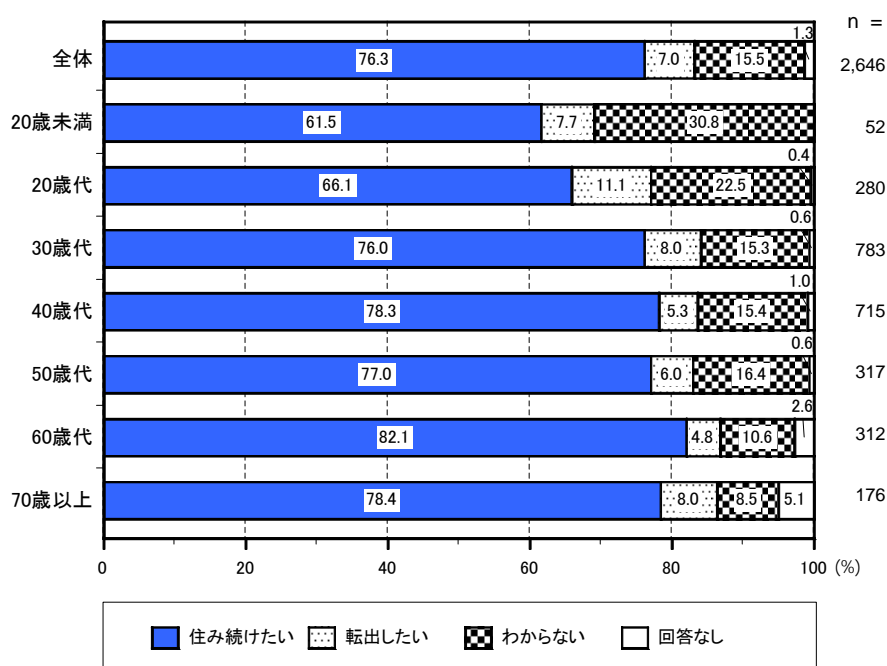
今後の定住意向についてたずねたところ、「住み続けたい」が76.3%と全体の4分の3を占める一方、「転出したい」は7.0%となっている（図3-3-1）。

○年齢別でみると、20歳未満では「住み続けたい」（61.5%）が全体より約15ポイント少なく、「わからない」（30.8%）が約15ポイント多い。

○20歳代においても「住み続けたい」（66.1%）が全体に比べて約10ポイント少なく、「わからない」（22.5%）がやや多い。

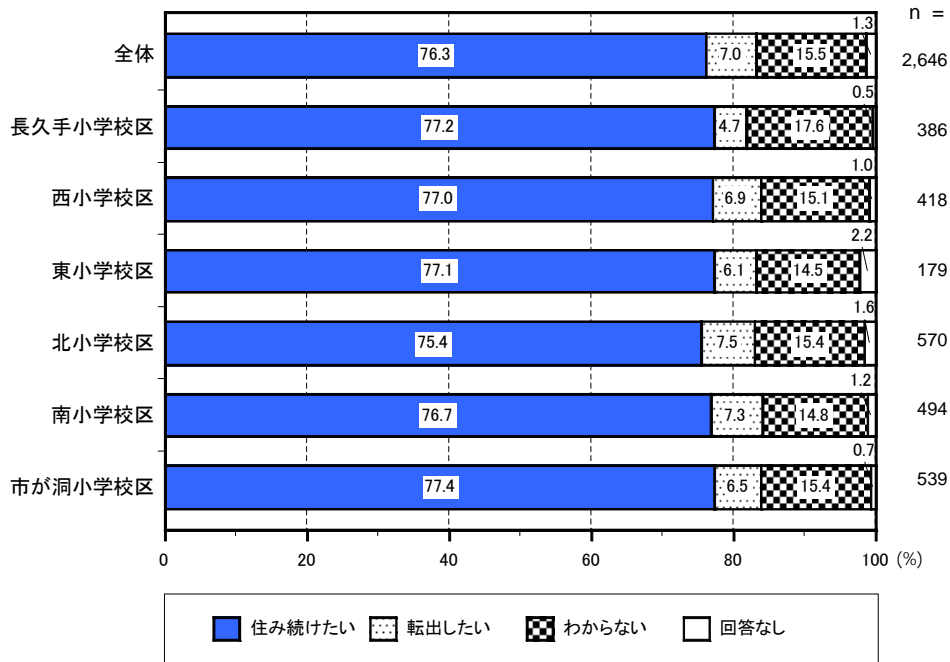
○「住み続けたい」は60歳代（82.1%）で全体と比べてやや多い（図3-3-1）。

図3-3-1 年齢別 定住意向



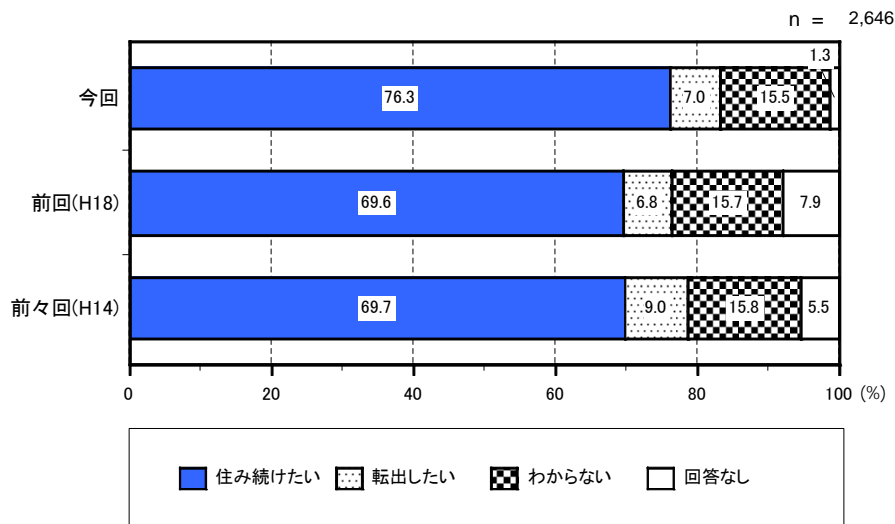
○小学校区別では、定住意向に大きな違いはみられない（図 3-3-2）。

図 3-3-2 小学校区別 定住意向



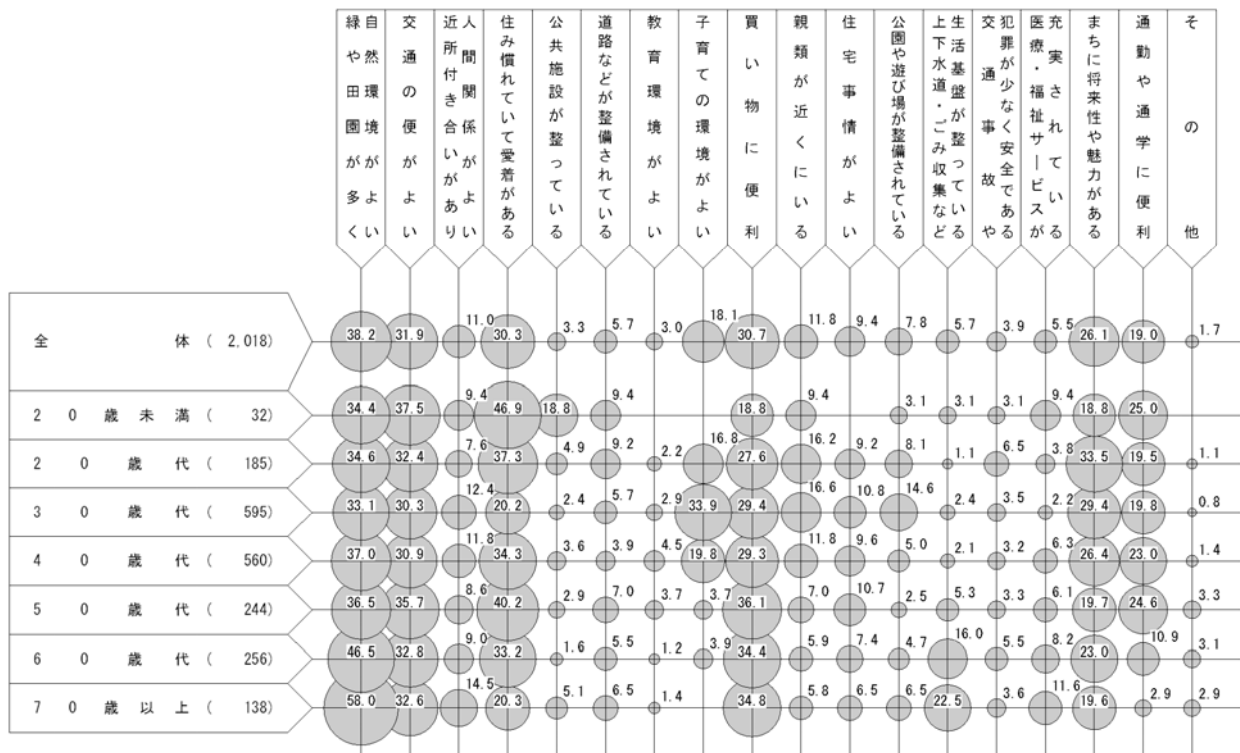
○前回及び前々回の調査と比較すると、「住み続けたい」(69.7%⇒69.6%⇒76.3%) はやや多くなっている（図 3-3-3）。

図 3-3-3 定住意向（前回・前々回比）



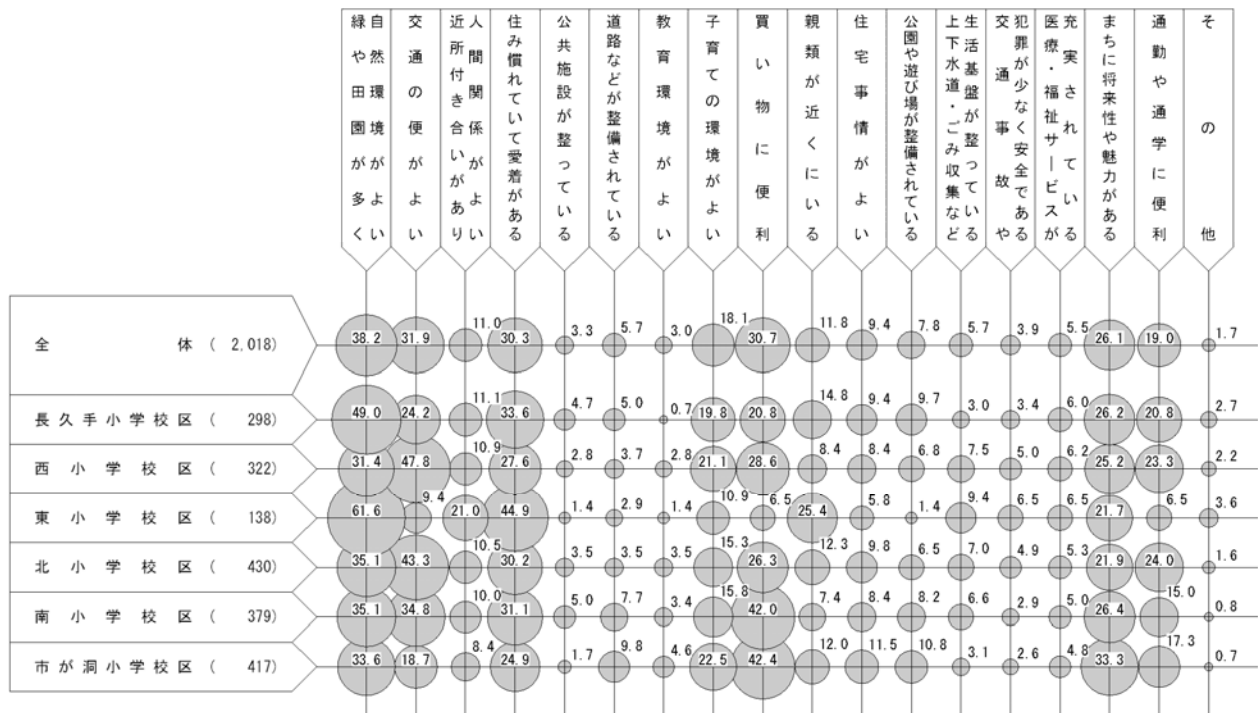
- 問4で「住み続けたい」と回答した 2,018 名に対し、その理由をたずねたところ、「緑や田園が多く自然環境がよい」が 38.2%で最も多く、「交通の便がよい」(31.9%)、「買い物に便利」(30.7%)、「住み慣れていて愛着がある」(30.3%)などが続いている。
- 年齢別でみると、20 歳未満では全体に比べ、「住み慣れていて愛着がある」(46.9%)や「公共施設が整っている」(18.8%)は全体より 10 ポイント以上多く、「買い物に便利」(18.8%)は 10 ポイント以上少ない。
- 30 歳代では「子育ての環境がよい」(33.9%)が全体より 15 ポイントほど多く、「住み慣れていて愛着がある」(20.2%)は約 10 ポイント少ない。
- 70 歳以上では「緑や田園が多く自然環境がよい」(58.0%)が全体と比べ約 20 ポイント、「上下水道・ごみ収集など生活基盤が整っている」(22.5%)が約 15 ポイント、それぞれ多く、一方で「住み慣れていて愛着がある」(20.3%)は 10 ポイント少ない(図 3-3-4)。

図 3-3-4 年齢別 住み続けたい理由



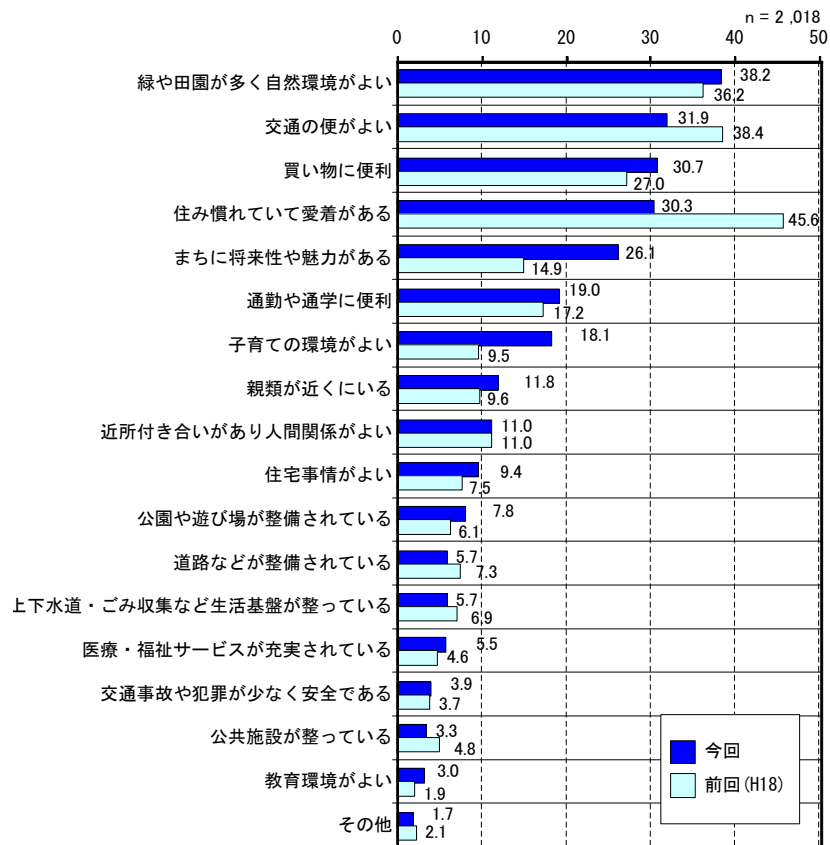
- 小学校区別でみると、「緑や田園が多く自然環境がよい」は東小学校区（61.6%）及び長久手小学校区（49.0%）で全体よりかなり多く、「住み慣れていて愛着がある」は東小学校区（44.9%）で10ポイント以上多い。
- 「交通の便がよい」については、西小学校区（47.8%）及び北小学校区（43.3%）で全体と比較して10ポイント以上多い半面、東小学校区（9.4%）や市が洞小学校区（18.7%）で10ポイント以上少ない。
- 「買い物に便利」は市が洞小学校区（42.4%）や南小学校区（42.0%）で10ポイント以上多く、東小学校区（6.5%）で20ポイント以上少ない。
- 東小学校区では、「住み慣れていて愛着がある」（44.9%）、「親類が近くにいる」（25.4%）、「近所付き合いがあり人間関係がよい」（21.0%）で全体より10ポイント以上多い（図3-3-5）。

図3-3-5 小学校区別 住み続けたい理由



- 前回調査と比較すると、「まちに将来性や魅力がある」(14.9%⇒26.1%)が10ポイント以上多く、「子育ての環境がよい」(9.5%⇒18.1%)がやや多くなっている。
- 一方、「住み慣れていて愛着がある」(45.6%⇒30.3%)が約15ポイント少なくなっており、「交通の便がよい」(38.4%⇒31.9%)がやや少なくなっている(図3-3-6)。

図3-3-6 住み続けたい理由(前回比)



- 問4で「転出したい」と回答した184名に対し、その理由をたずねたところ、「交通の便がよい」(39.7%)で最も多く、「その他」(23.9%)、「通勤や通学に不便」(22.3%)などが続いている。
- サンプル数が少ないため大きな差とは認めづらいものの、年齢別で見ると、「交通の便がよい」が、60歳代(60.0%)及び70歳以上(57.1%)で全体より20ポイント前後多く、20歳未満(25.0%)では10ポイント強少ない。
- また、30歳代では「親類が近くにいない」(36.5%)、40歳代では「通勤や通学に不便」(34.2%)などでそれぞれ全体と比べて10ポイント以上多い(図3-3-7)。
- 「その他」について、具体的には実家・出身地に戻る予定があるなどの理由が挙げられている(図3-3-8)。

図3-3-7 年齢別 転出したい理由

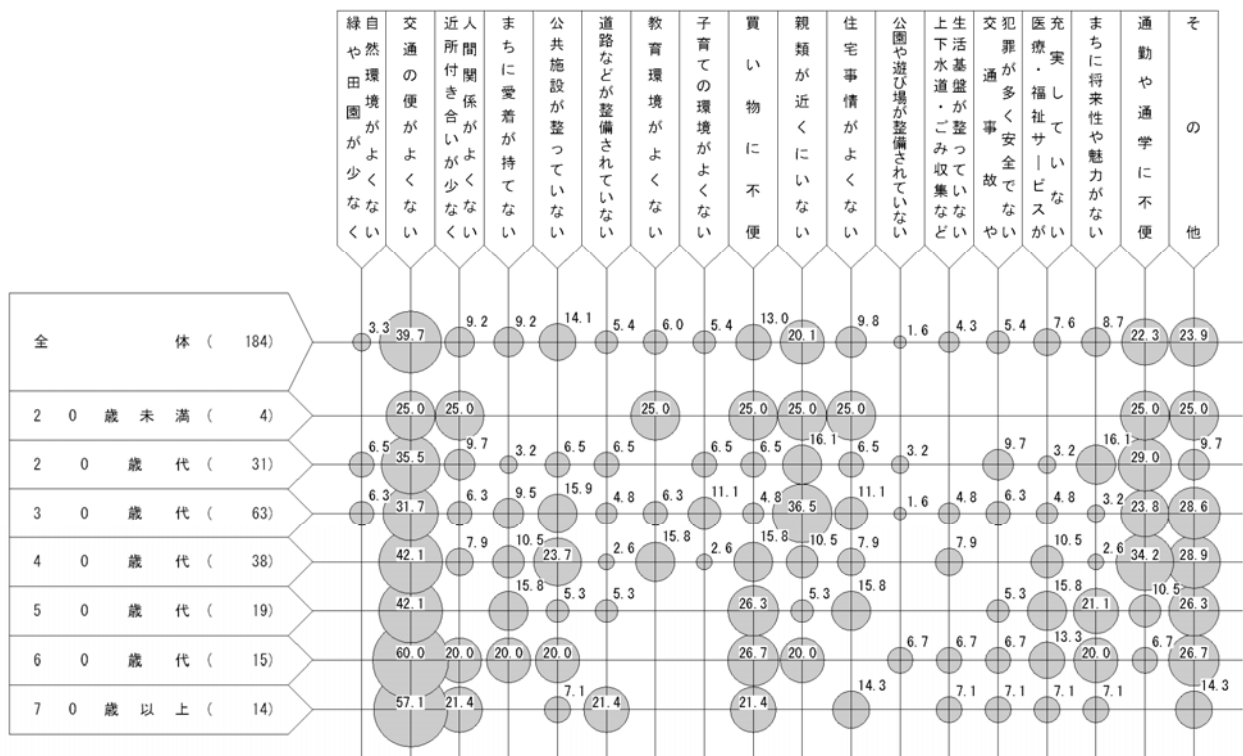
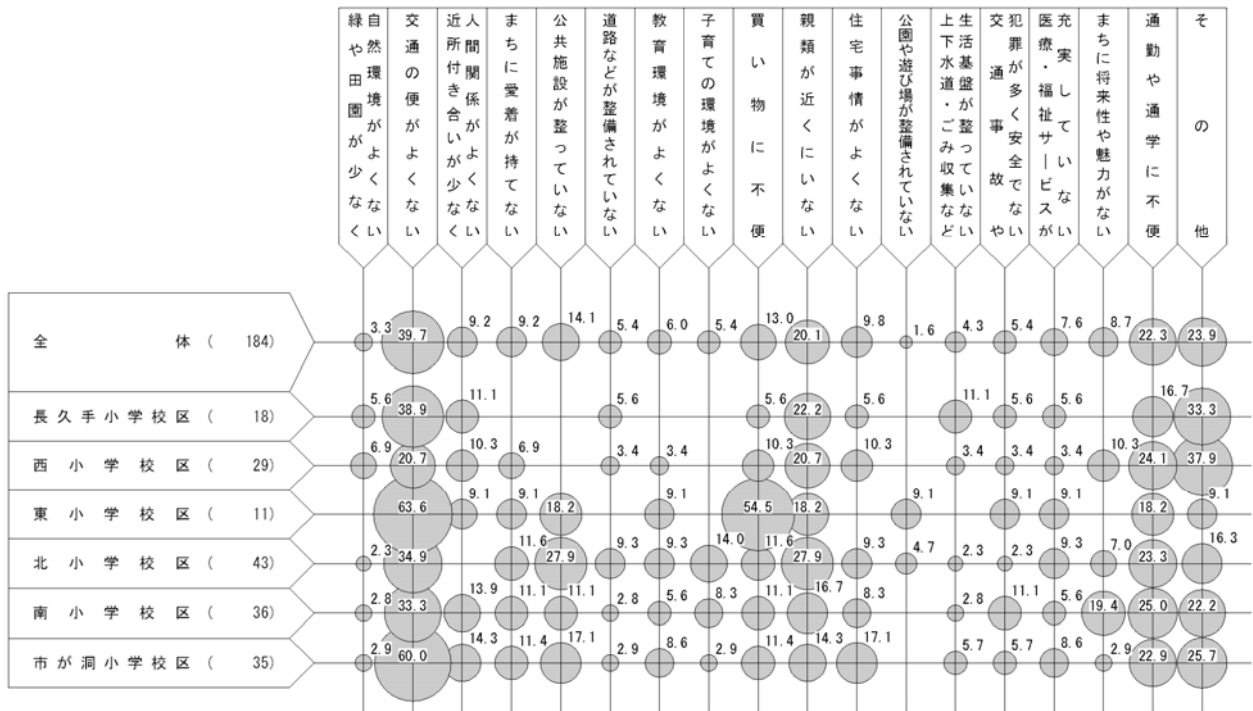


図3-3-8 転出したい理由 (その他の内容)

- 実家に帰る。
- 実家で家を建てたいから。
- 転勤で来たので。いずれは出身地に戻る。
- 永住とは考えてないから。
- 大型店の立地に伴い交通量の増加やマナーの低下により、住みにくくなったから。
- 新規・転入者が急激に増加し、住環境が変化したため。
- 緑地が減ってきているから。
- 水道代・住民税が高い。
- 家賃・土地の値段が高い。
- 知り合いが少ない。
- 幼稚園が少ない。
- 公共の高齢者施設がない。

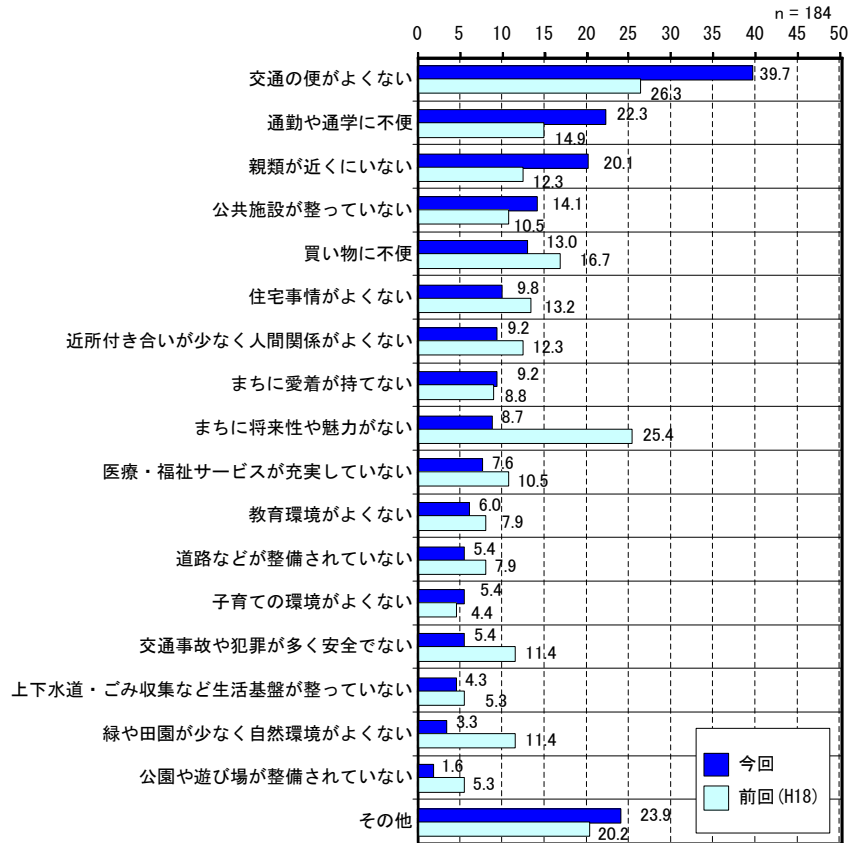
- 小学校区別でみると、東小学校区で「買い物に不便」(54.5%)や「交通の便がよくない」(63.6%)で全体より20ポイント以上多くなっているほか、市が洞小学校区でも「交通の便がよくない」(60.0%)が20ポイント以上多い。
- 西小学校区では「その他」(37.9%)が、北小学校区では「公共施設が整っていない」(27.9%)がそれぞれ全体と比べて10ポイント以上多い(図3-3-8)。

図3-3-8 小学校区別 転出したい理由



- 前回調査と比較すると、「交通の便がよくない」(26.3%⇒39.7%)が10ポイント以上多く、「親類が近くにいない」(12.3%⇒20.1%)や「通勤や通学に不便」(14.9%⇒22.3%)がやや多くなっている。
- 一方、「まちに将来性や魅力がない」(25.4%⇒8.7%)は15ポイント以上少なくなっている(図3-3-9)。

図 3-3-9 転出したい理由 (前回比)



4. 幸せ感について

(1) 現在の幸せ感の評価

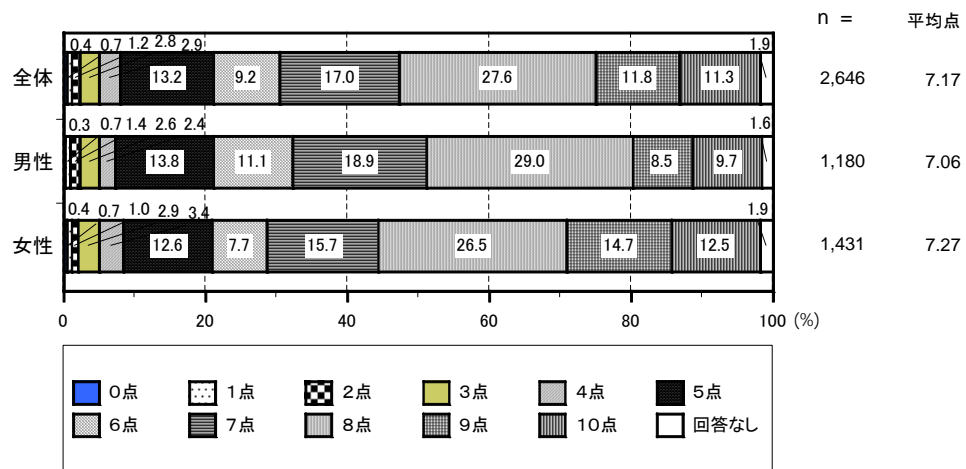
幸福度について

問5 あなたは現在幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる数字を選んでください。【〇は1つ】

0～10の数値で現在の幸せ感をたずねたところ、「8点」が27.6%で最も多く、次いで「7点」(17.0%)、「5点」(13.2%)が続いている(図4-1-1)。

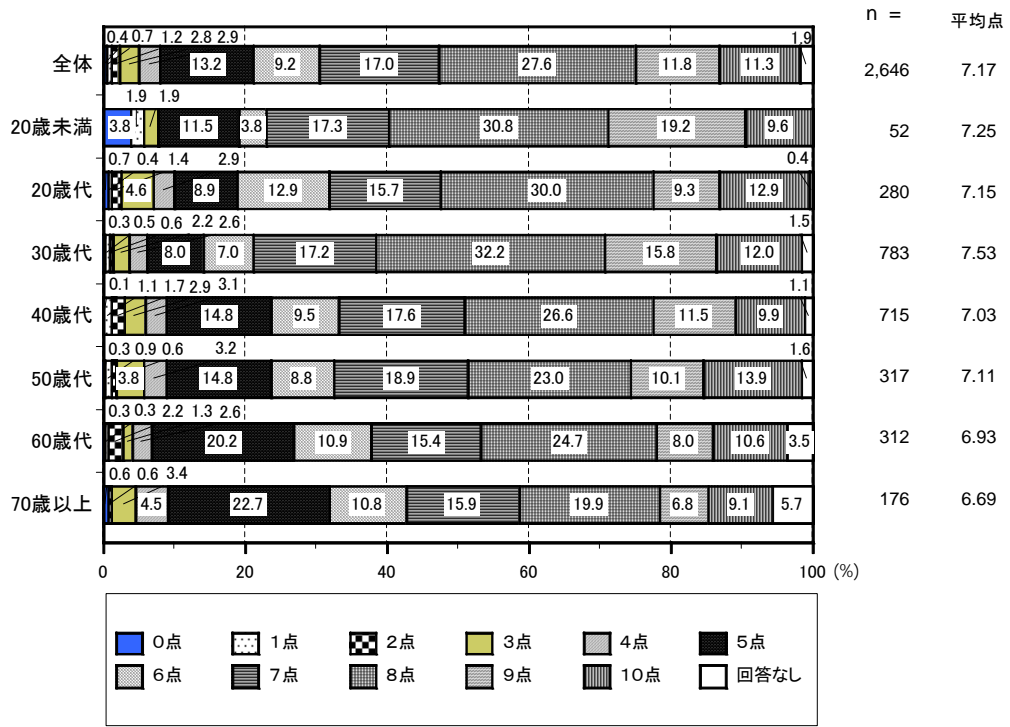
○性別でみると、大きな違いはみられない(図4-1-1)。

図4-1-1 性別 幸福度



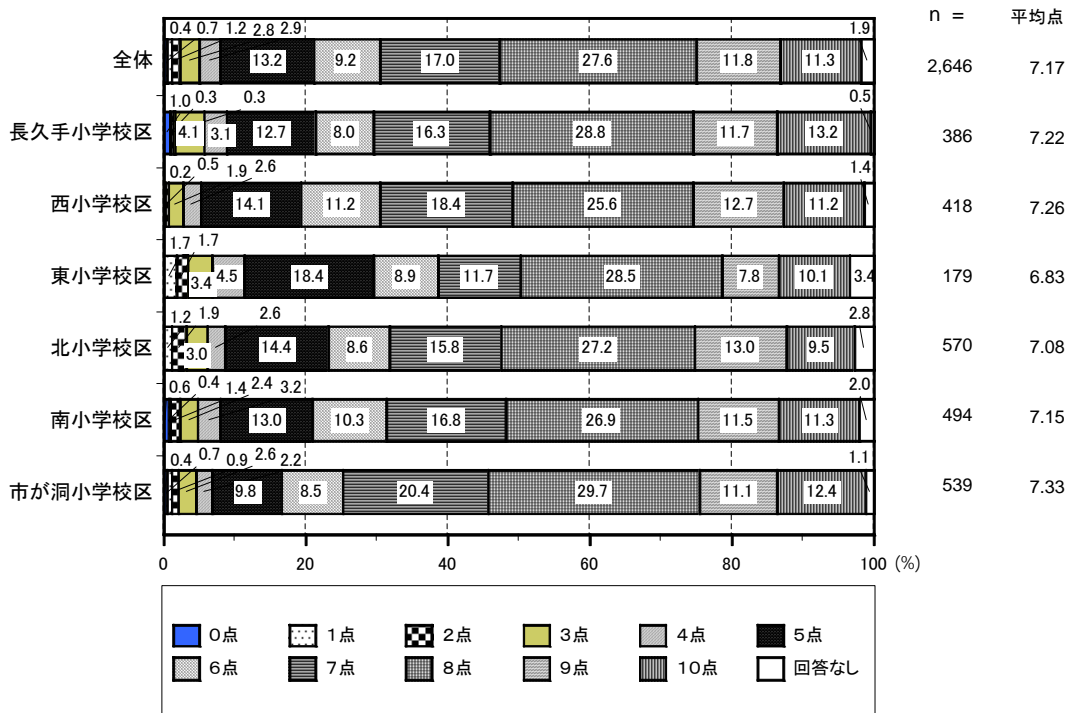
- 年齢別でみると、20歳未満で「9点」(19.2%)が全体と比べてやや多く、「6点」(3.8%)がやや少ない。
- 70歳以上では、「5点」(22.7%)が全体よりやや多く、「8点」(19.9%)及び「9点」(6.8%)がやや少ない(図4-1-2)。

図4-1-2 年齢別 幸福度



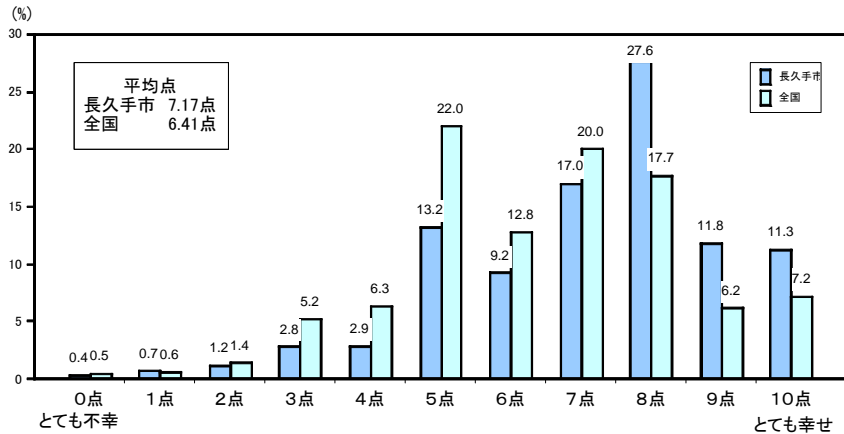
- 小学校区別でみると、東小学校区で「5点」(18.4%)が全体よりやや多い(図4-1-3)。

図4-1-3 小学校区別 幸福度



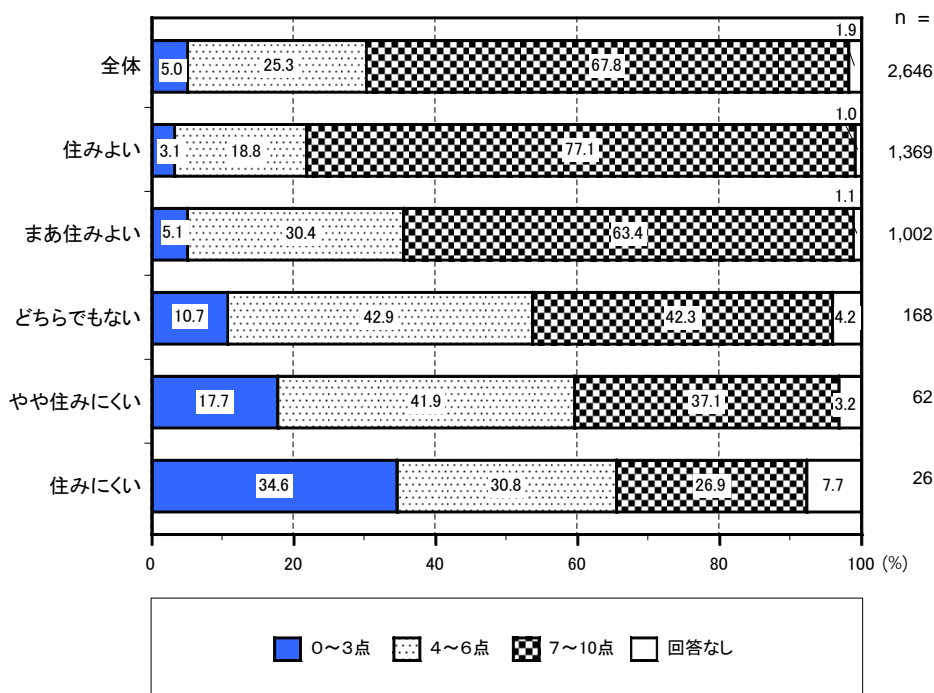
- 内閣府が実施した平成 23 年度国民選好度調査と比較すると、概して本調査の幸せ感の方が高くなっており、「8点」では全国と比べて約 10 ポイント多い。
- また、平均点を比較すると、全国が 6.41 点であるのに比べ長久手市は 7.17 点となっている（図 4-1-4）。

図 4-1-4 幸福度（国民選好度比）



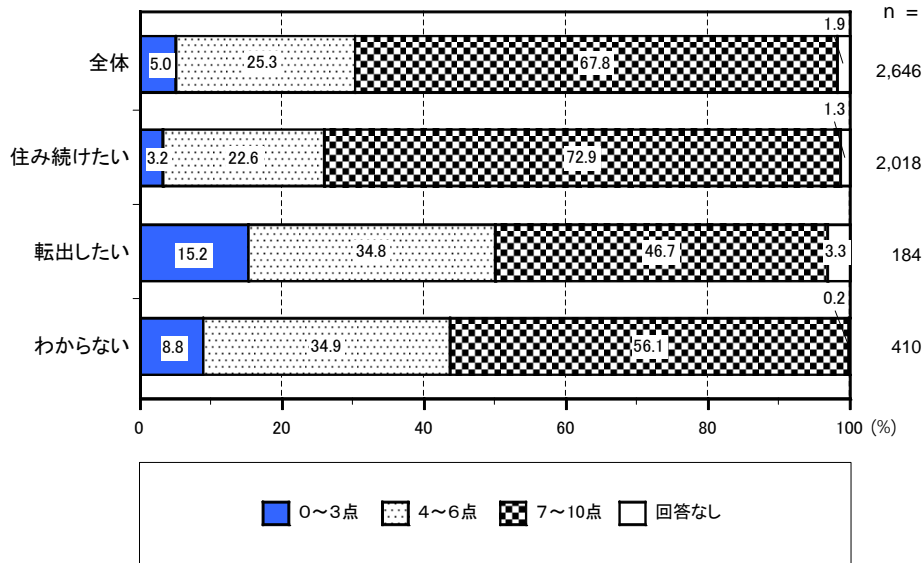
- 幸福度の評価を「0～3点」、「4～6点」、「7～10点」にまとめ、住み心地別【問2】で比較すると、「住みよい」とした回答者は、「7～10点」(77.1%) が全体より 10 ポイント近く多い。
- 以降、住み心地の評価が低くなるほど幸福度も低下する傾向にあり、「やや住みにくい」とした回答者は、「0～3点」(17.7%) 及び「4～6点」(41.9%) が全体と比較して 10 ポイント以上多い。さらに「住みにくい」とした回答者は、「0～3点」(34.6%) が全体より 30 ポイント近く多い（図 4-1-5）。

図 4-1-5 住み心地別 幸福度



○定住意向別【問4】で比較すると、「7～10点」は‘住み続けたい’回答者（72.9%）で全体よりやや多く、‘転出したい’回答者（46.7%）では20ポイント以上少ない（図4-1-6）。

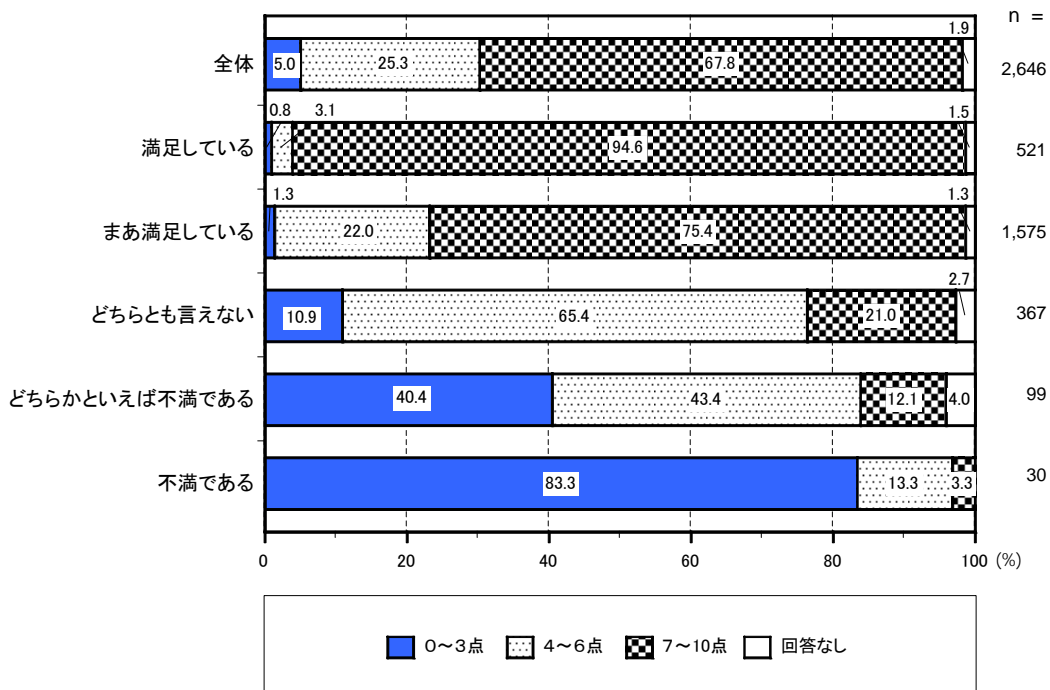
図4-1-6 定住意向別 幸福度



○生活全般の満足度【問9（1）】別で比較すると、‘満足している’回答者のうちが「7～10点」が94.6%を占め、‘まあ満足している’回答者（75.4%）でも全体よりやや多い。

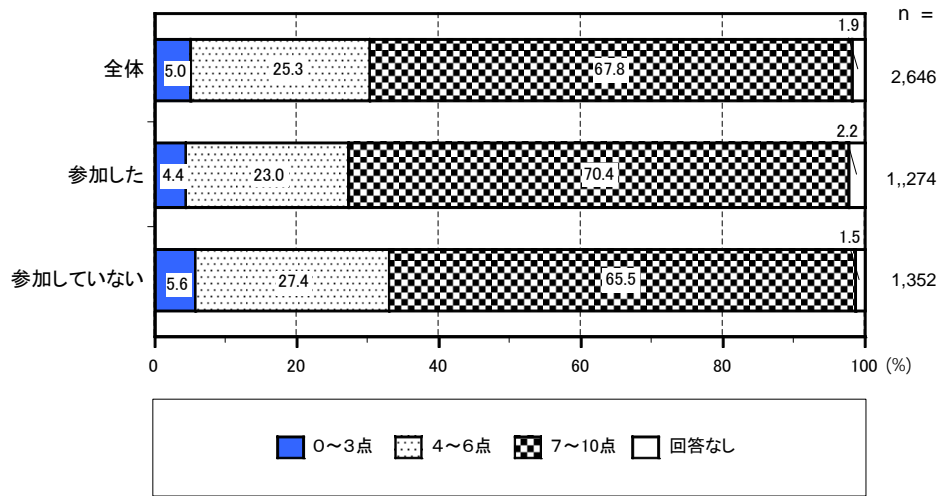
○‘どちらとも言えない’とした回答者では「4～6点」が全体より40ポイントほど多く、‘どちらかといえば不満である’回答者では、「0～3点」（40.4%）と「4～6点」（43.4%）で全体の8割以上を占める。‘不満である’回答者では、「0～3点」が83.3%となっている（図4-1-7）。

図4-1-7 生活全般の満足度別 幸福度



○市民活動の参加有無別【問 15】で比較すると、参加の有無による幸福度の違いはみられない（図 4-1-8）。

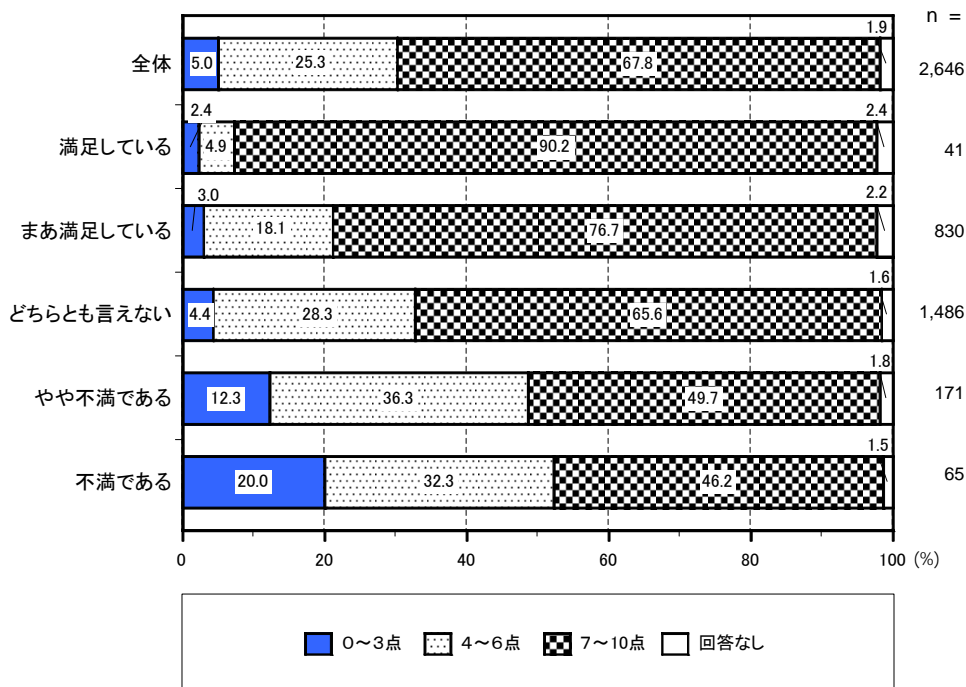
図 4-1-8 市民活動の参加有無別 幸福度



○市政全般の満足度別【問 23】で比較すると、‘満足している’回答者の90.2%が「7～10点」となっており、‘まあ満足している’回答者（76.7%）もやや多い。

○‘やや不満である’回答者では、「4～6点」（36.3%）が全体より10ポイント以上多く、‘不満である’回答者では「0～3点」（20.0%）が15ポイント多い（図 4-1-9）。

図 4-1-9 市政全般の満足度別 幸福度



(2) 幸せ感を判断する基準

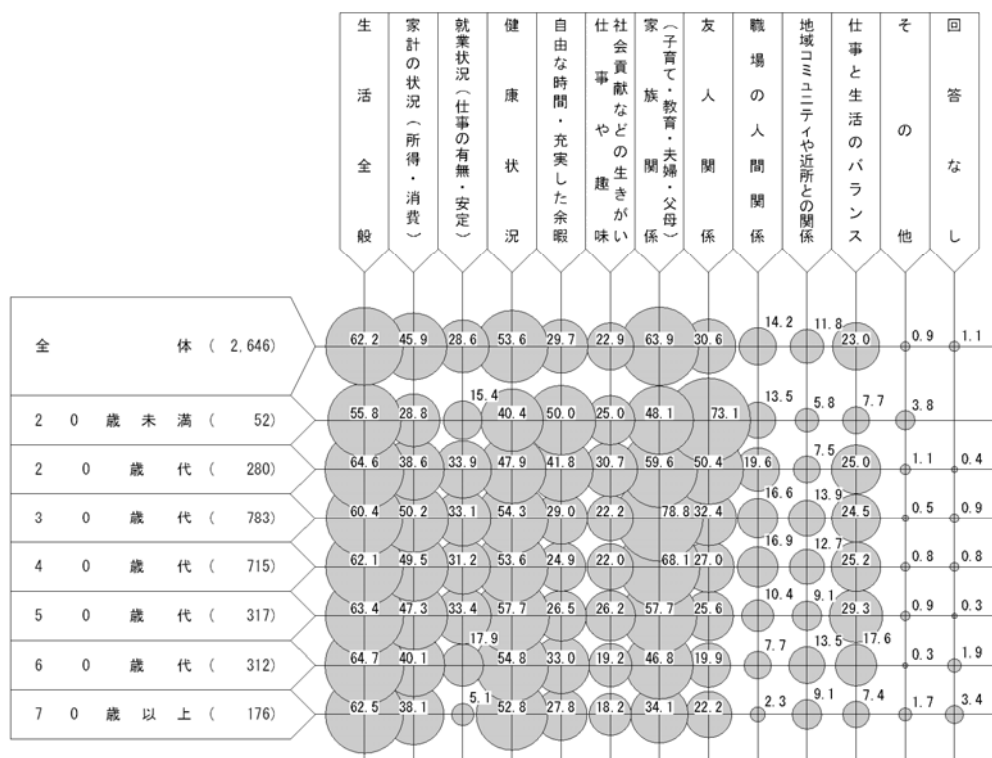
幸福度の判断基準について

問6 「問5」で幸せ感を判断する際に重視した基準は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

幸せ感を判断する際に重視した基準については、「家族関係（子育て、教育、夫婦、父母）」が63.9%で最も多く、続いて「生活全般」（62.2%）、「健康状況」（53.6%）、「家計の状況（所得・消費）」（45.9%）などとなっている（図4-2-1）。

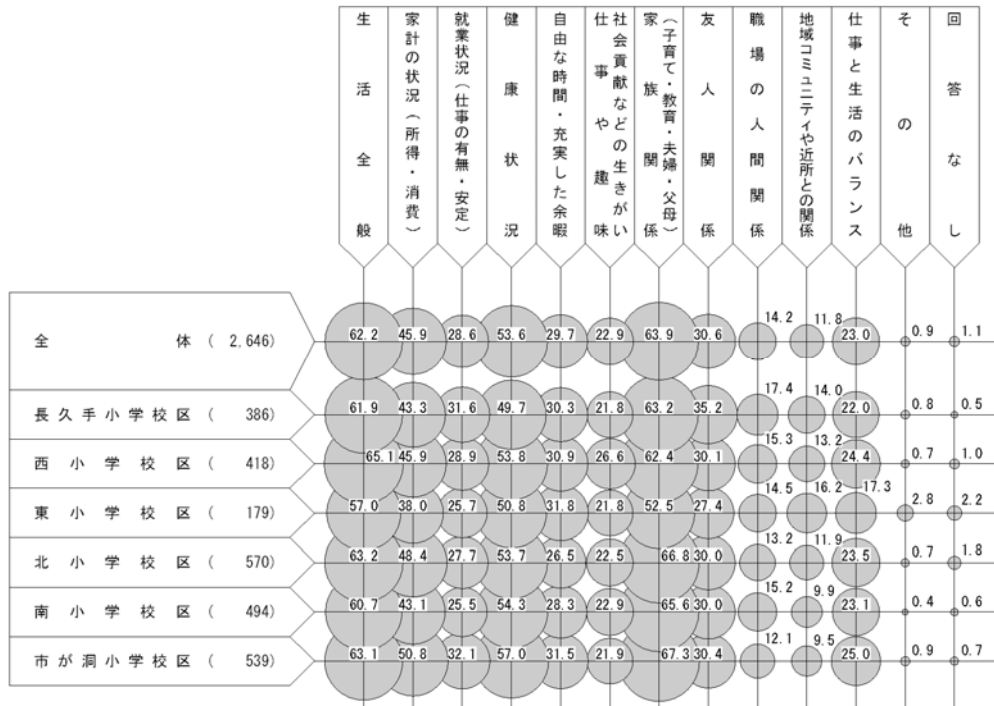
- 年齢別で見ると、「家族関係（子育て、教育、夫婦、父母）」は30歳代（78.8%）で全体より15ポイントほど多い半面、70歳以上（34.1%）、60歳代（46.8%）、20歳未満（48.1%）では15ポイント以上少ない。
- 「生活全般」は20歳未満（55.8%）で、「健康状況」は20歳未満（40.4%）及び20歳代（47.9%）で、それぞれ全体よりやや少ない。
- 20歳未満及び20歳代では、「友人関係」（20歳未満：73.1%、20歳代：50.4%）や「自由な時間・充実した余暇」（20歳未満：50.0%、20歳代：41.8%）で全体と比較して多い（図4-2-1）。

図4-2-1 年齢別 幸福度の判断基準



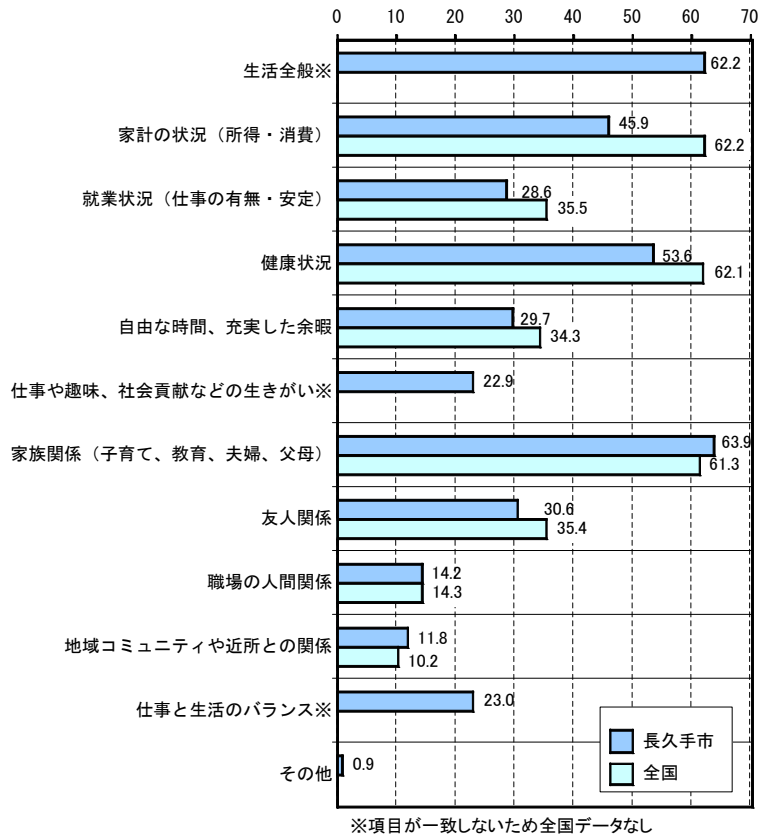
○小学校区別でみると、東小学校区では、「家族関係（子育て、教育、夫婦、父母）」（52.5%）が全体と比較して10ポイント以上少ないほか、「家計の状況（所得・消費）」（38.0%）や「生活全般」（57.0%）などでやや少ない（図4-2-2）。

図4-2-2 小学校区別 幸福度の判断基準



○内閣府が実施した平成23年度国民選好度調査と比較すると、「家計の状況（所得・消費）」（全国：62.2%、長久手市：45.9%）は15ポイント以上少ないほか、「健康状況」（全国：62.1%、長久手市：53.6%）や「就業状況（仕事の有無・安定）」（全国：35.5%、長久手市：28.6%）でもやや少ない（図4-2-3）。

図4-2-3 幸福度の判断基準（国民選好度比）



(3) 幸せ感を高める手立て

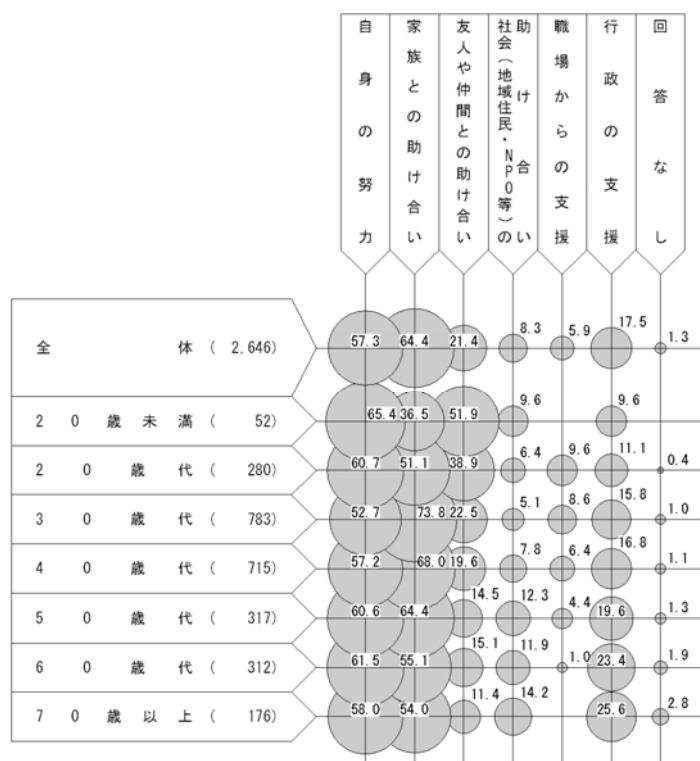
幸福感を高める有効手段

問7 あなたの幸せ感を高めるために有効な手立ては何ですか。あなたの考えに近いものを次の中から選んでください。【○は2つまで】

幸せ感を高めるための有効な手立てとしては、「家族との助け合い」が64.4%で最も多く、次いで「自身の努力」(57.3%)となっている(図4-3-1)。

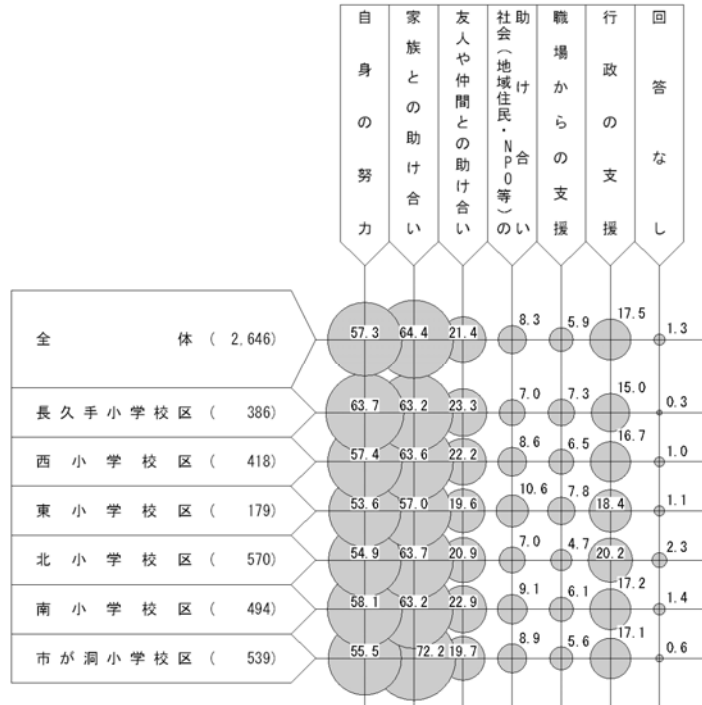
- 年齢別でみると、「家族との助け合い」は30歳代(73.8%)で全体よりやや多いものの、20歳未満(36.5%)や20歳代(51.1%)、70歳以上(54.0%)では10ポイント以上少ない。
- 「自身の努力」は20歳未満(65.4%)で全体と比較してやや多い。
- 「友人や仲間との助け合い」は20歳未満(51.9%)及び20歳代(38.9%)で多い半面、年齢が高くなるほど少なくなる傾向にある。
- 「行政の支援」は年齢が高くなるほど多くなる傾向にあり、20歳未満(9.6%)及び20歳代(11.1%)で全体より少なく、70歳以上(25.6%)及び60歳代(23.4%)でやや多い(図4-3-1)。

図4-3-1 年齢別 幸福感を高める有効手段



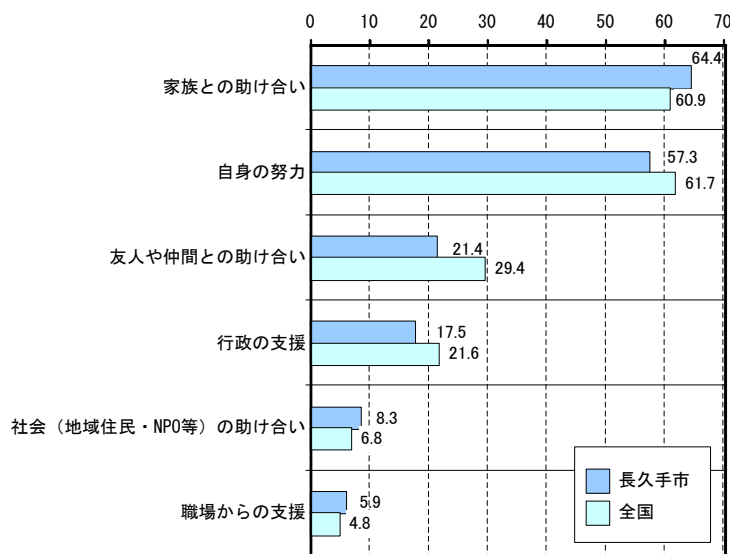
- 小学校区別でみると、「家族との助け合い」は市が洞小学校区（72.2%）で全体と比較してやや多く、東小学校区（57.0%）でやや少ない。
- 「自身の努力」は長久手小学校区（63.7%）でやや多い（図 4-3-2）。

図 4-3-2 小学校区別 幸福感を高める有効手段



- 内閣府が実施した平成 23 年度国民選好度調査と比較すると、「友人や仲間との助け合い」(全国 : 29.4%、長久手市 : 21.4%) がやや少ない (図 4-3-3)。

図 4-3-3 幸福感を高める有効手段 (国民選好度比)



(4) 社会全体の目標

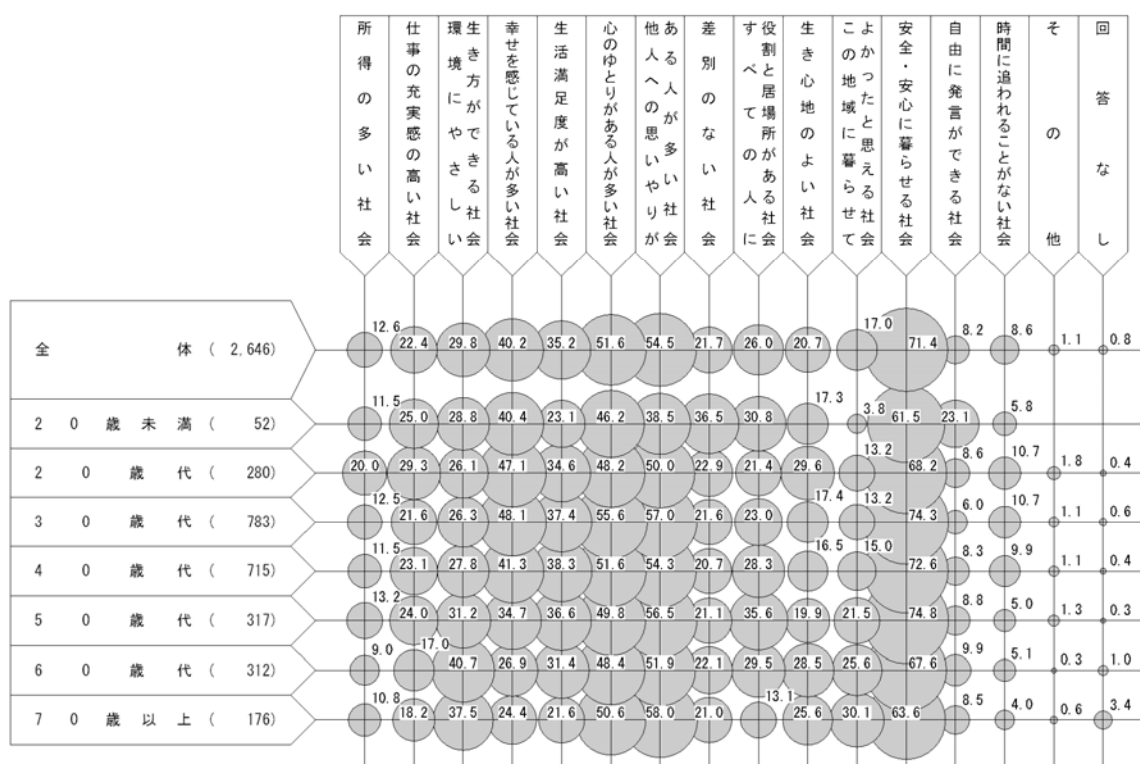
社会全体の目標

問8 あなたは、社会全体の目標とすべき点はどのようなことだと思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から選んでください。【○は5つまで】

社会全体の目標とすべき点についてたずねたところ、「安全・安心に暮らせる社会」が71.4%で最も多く、「他人への思いやりがある人が多い社会」(54.5%)、「心のゆとりがある人が多い社会」(51.6%)が続いている(図4-4-1)。

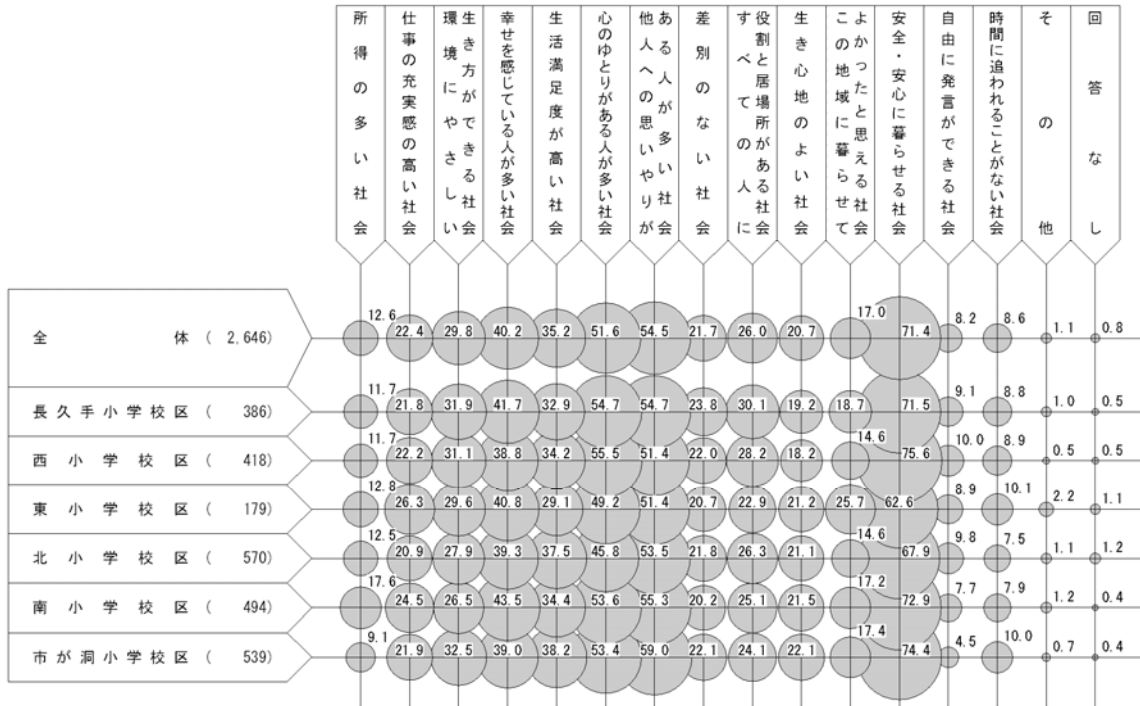
- 年齢別で見ると、「安全・安心に暮らせる社会」は20歳未満(61.5%)及び70歳以上(63.6%)で全体に比べてやや少ない。
- 20歳未満では、「他人への思いやりがある人が多い社会」(38.5%)が全体より15ポイント以上少なく、「心のゆとりがある人が多い社会」(46.2%)がやや少ない。
- 「幸せを感じている人が多い社会」は30歳代(48.1%)及び20歳代(47.1%)で全体よりやや多く、70歳以上(24.4%)及び60歳代(26.9%)で10ポイント以上少ない。
- その他、20歳未満は「自由に発言ができる社会」(23.1%)で、60歳代は「環境にやさしい生き方ができる社会」(40.7%)で、70歳以上は「この地域に暮らせてよかったと思える社会」(30.1%)で、それぞれ全体より10ポイント以上多い(図4-4-1)。

図4-4-1 年齢別 社会全体の目標



- 小学校区別でみると、東小学校区では「この地域に暮らしてよかったと思える社会」(25.7%)が全体よりやや多く、「安全・安心に暮らせる社会」(62.6%)及び「生活満足度が高い社会」(29.1%)でやや少ない。
- 南小学校区では「所得の高い社会」(17.6%)が全体と比べてやや多く、北小学校区では「心のゆとりがある人が多い社会」(45.8%)がやや少ない(図4-4-2)。

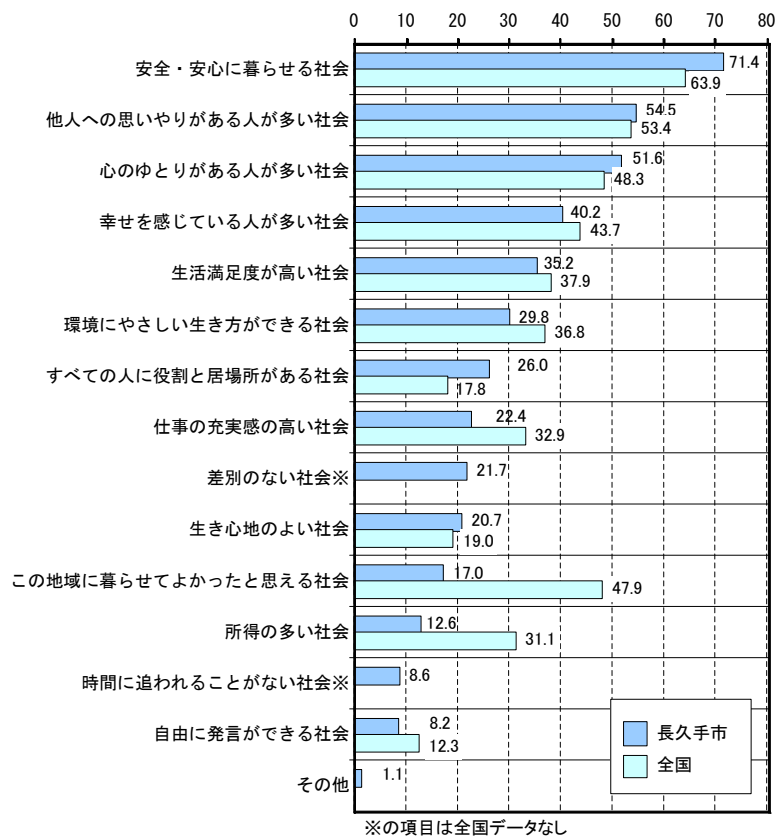
図4-4-2 小学校区別 社会全体の目標



○内閣府が実施した平成 23 年度国民選好度調査と比較すると、「この地域に暮らせてよかったと思える社会」（全国：47.9%、長久手市：17.0%）、「所得の多い社会」（全国：31.1%、長久手市：12.6%）、「仕事の充実感の高い社会」（全国：32.9%、長久手市：22.4%）で長久手市の方が 10 ポイント以上少なく、「環境にやさしい生き方ができる社会」（全国：36.8%、長久手市：29.8%）でもやや少ない。

○一方、「すべての人に役割と居場所がある社会」（全国：17.8%、長久手市：26.0%）や「安全・安心に暮らせる社会」（全国：63.9%、長久手市：71.4%）では長久手市の方がやや多い（図 4-4-3）。

図 4-4-3 社会全体の目標（国民選好度比）



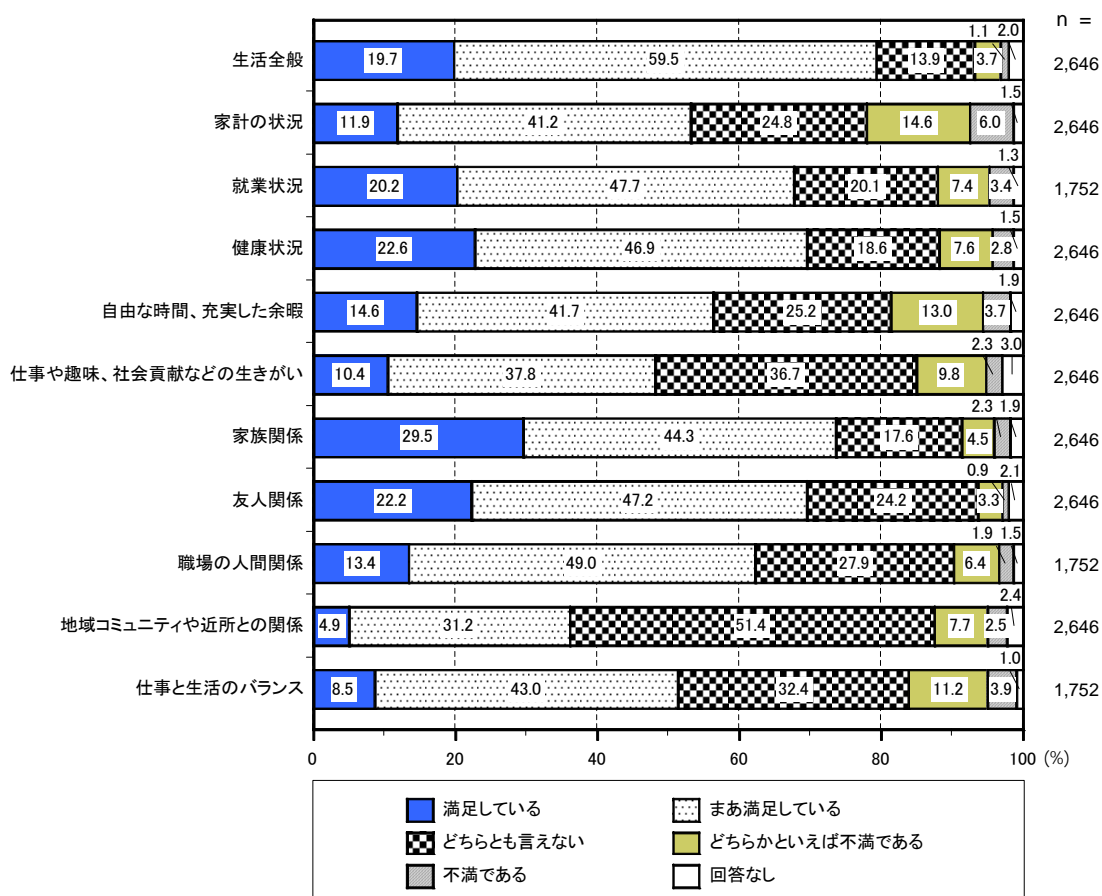
(5) 項目別の満足度合い

生活の満足度について

問9 あなたは、次のそれぞれの項目についてどの程度満足していますか。(1)から(11)までの事柄について、あなたのお気持ちに近いものを1～5の中から1つずつ選んでください。

生活の満足度について、生活全般では「満足している」(19.7%)及び「まあ満足している」(59.5%)を合わせると79.2%を占める。項目別で見ると、「家族関係」(計73.8%)、「健康状況」(計69.5%)、「友人関係」(計69.4%)、「就業状況」(計67.9%)で満足度が高い。一方、「地域コミュニティや近所との関係」(計36.1%)、「仕事や趣味、社会貢献などの生きがい」(計48.2%)では満足度が低い(図4-5-1)。

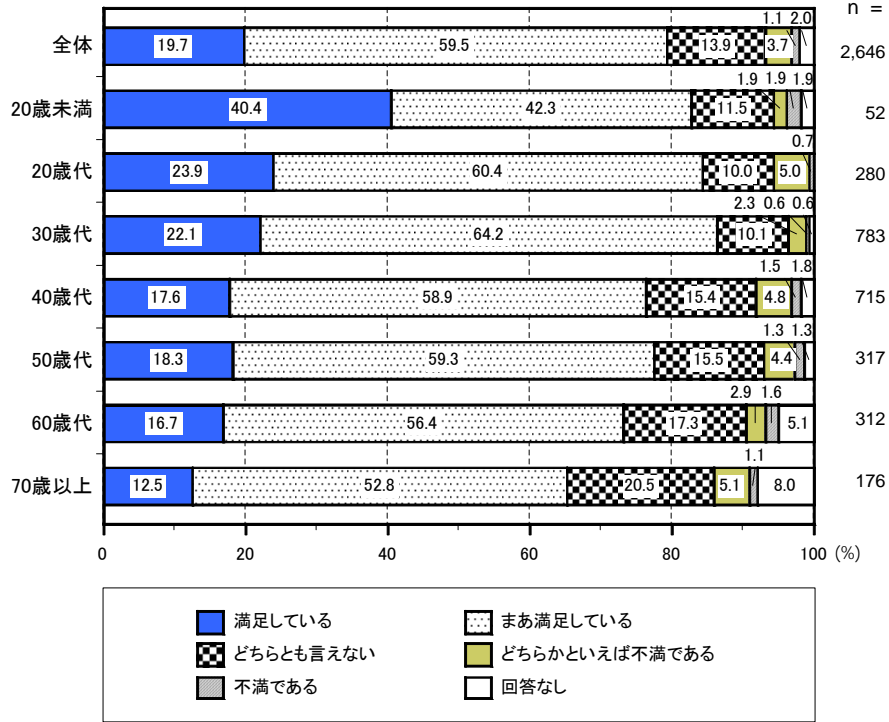
図4-5-1 生活の満足度



○生活全般の評価について年齢別で比較すると、「満足している」は年齢が低いほど多くなっており、20歳未満（40.4%）では全体より20ポイントほど多い。

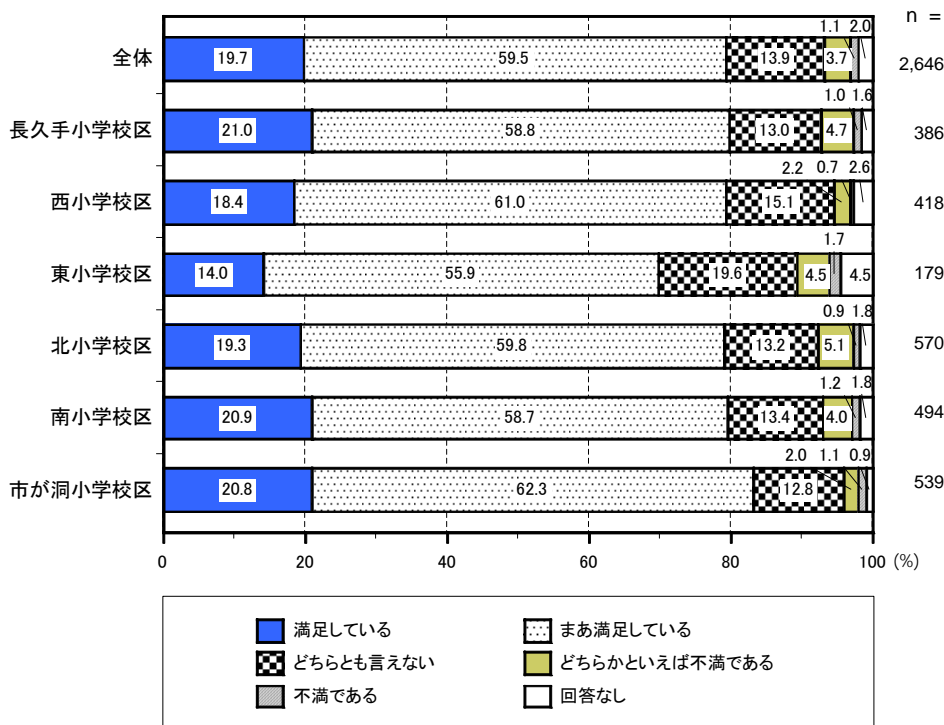
○一方、70歳以上は「満足している」（12.5%）及び「まあ満足している」（52.8%）で全体と比較してやや少ない半面、「どちらとも言えない」（20.5%）がやや多い（図4-5-2）。

図4-5-2 年齢別 生活全般



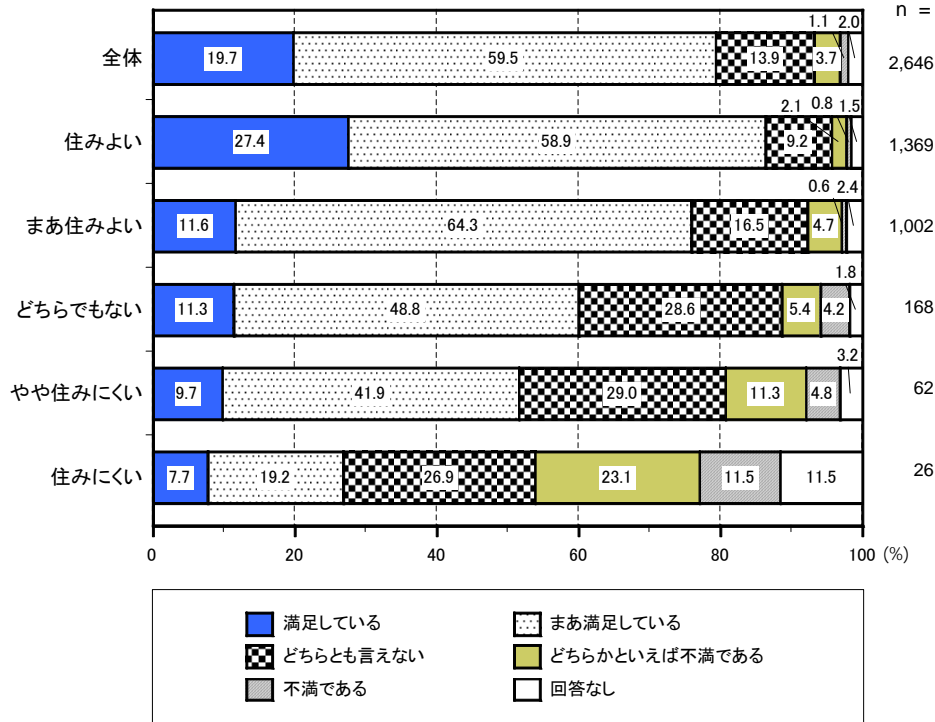
○生活全般の評価について小学校区別で比較すると、東小学校区では「満足している」（14.0%）がやや少なく、「どちらとも言えない」（19.6%）がやや多い（図4-5-3）。

図4-5-3 小学校区別 生活全般



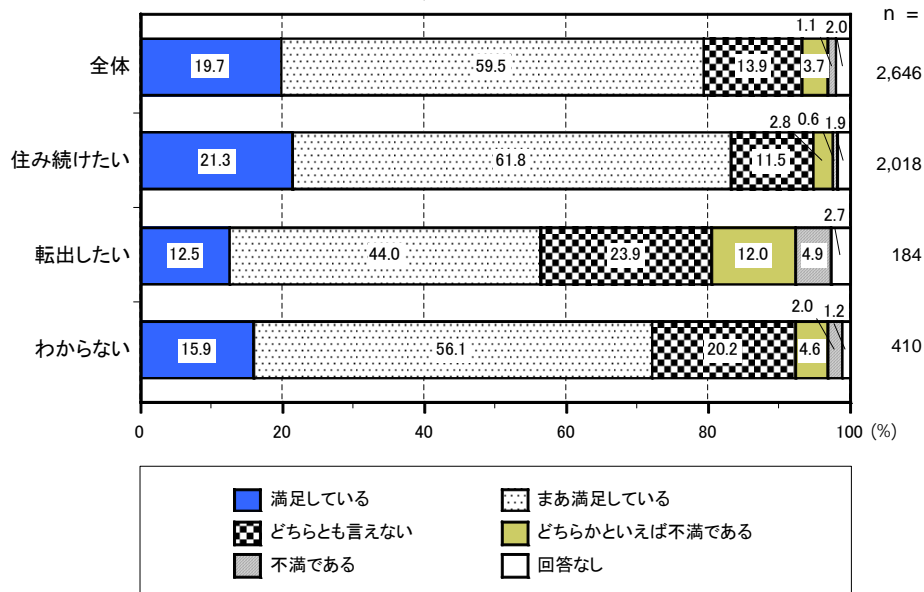
- 生活全般の評価について住み心地別【問2】で比較すると、「満足している」は‘住みよい’とした回答者（27.4%）で全体よりやや多い。
- 一方、「どちらかといえば不満である」は‘住みにくい’とした回答者（23.1%）で全体と比較して約15ポイント多く、‘やや住みにくい’とした回答者（11.3%）でもやや多くなっている。また、「不満である」は‘住みにくい’とした回答者（11.5%）で全体よりやや多い（図4-5-4）。

図4-5-4 住み心地別 生活全般



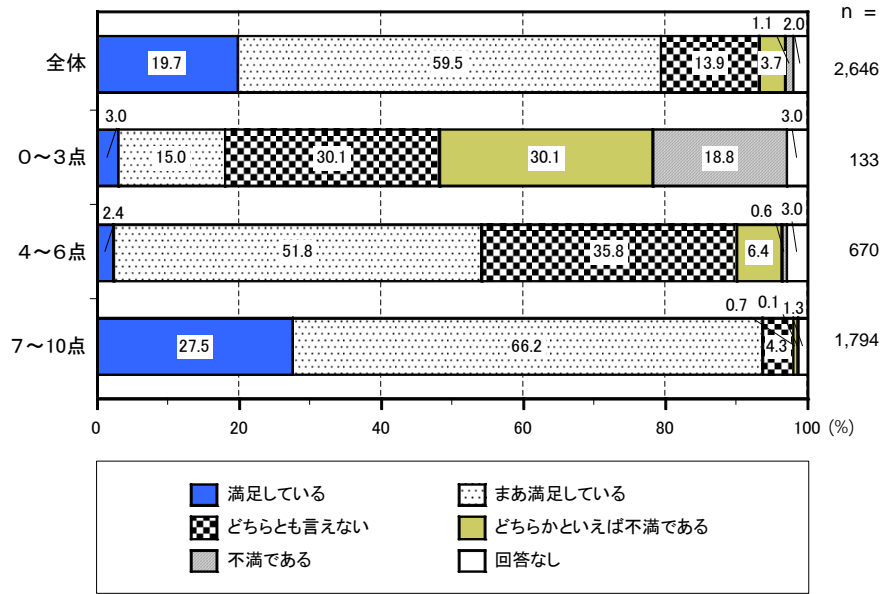
- 生活全般の評価について定住意向別【問4】で比較すると、「転出したい」とした回答者は「まあ満足している」（44.0%）で全体より15ポイントほど少なく、「満足している」（12.5%）でもやや少ない。一方で、「どちらかといえば不満である」（12.0%）で全体よりやや多く、「どちらとも言えない」（23.9%）は10ポイント多い（図4-5-5）。

図4-5-5 定住意向別 生活全般



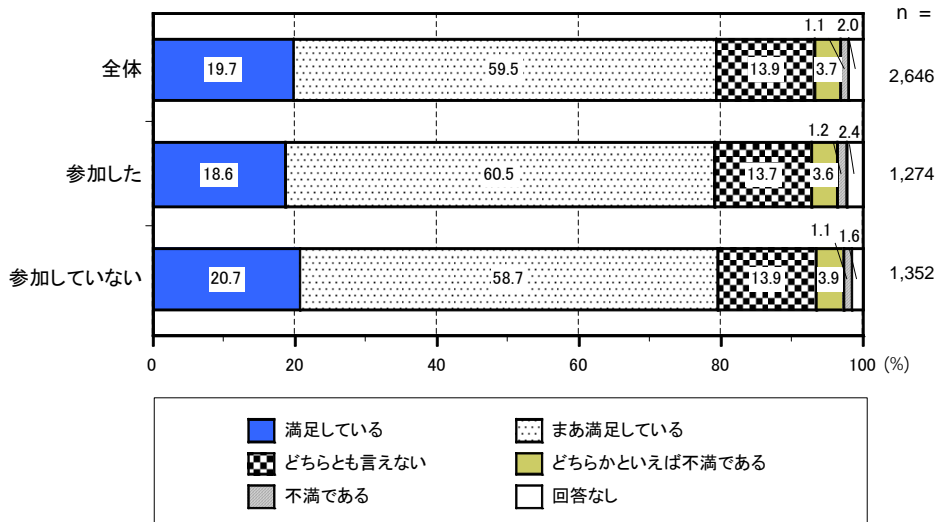
- 生活全般の評価について幸福度別【問5】で比較すると、‘0～3点’とした回答者は「どちらかといえば不満である」(30.1%)、「不満である」(18.8%)、「どちらとも言えない」(30.1%)でそれぞれ全体と比べて15ポイント以上多い。
- ‘4～6点’とした回答者では、「満足している」(2.4%)が全体に比べて15ポイント以上少ないほか、「まあ満足している」(51.8%)もやや少ない。一方、「どちらとも言えない」(35.8%)は全体よりやや多い
- ‘7～10点’とした回答者では、「満足している」(27.5%)と「まあ満足している」(66.2%)を合わせると9割以上を占める(図4-5-6)。

図 4-5-6 幸福度別 生活全般



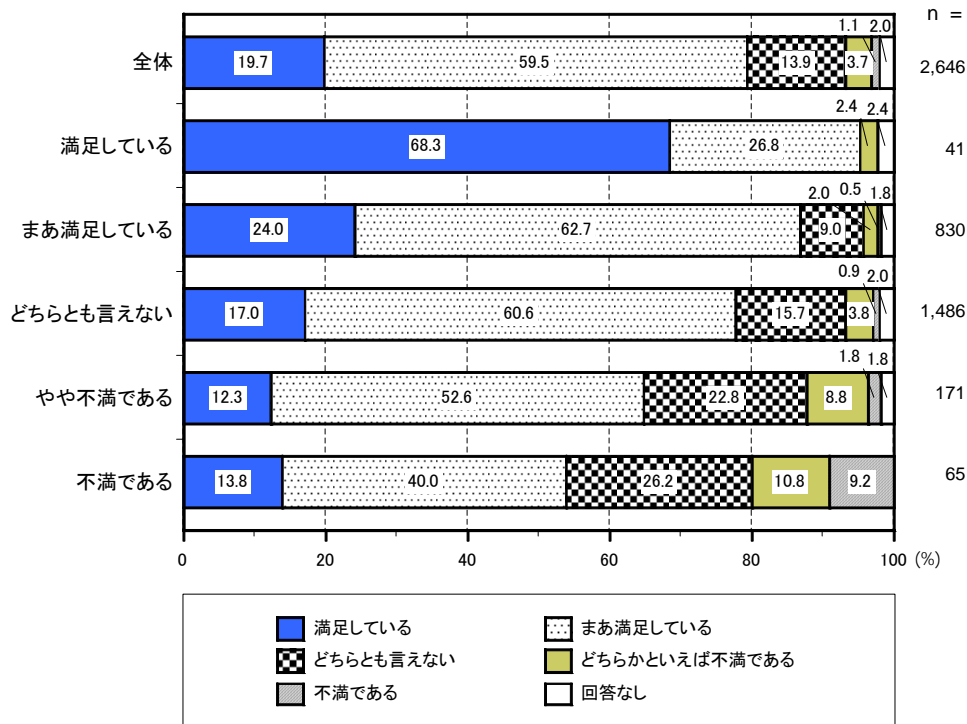
- 生活全般の評価について市民活動の参加有無別【問15】で比較すると、注目すべき違いはみられない(図4-5-7)。

図 4-5-7 市民活動の参加有無別 生活全般



- 生活全般の評価について市政全般の満足度別【問 23】と比較すると、市政全般に‘満足している’回答者は、生活全般について「満足している」(68.3%)が全体より50ポイント近く多い。
- 一方、市政全般の評価が‘不満である’とした回答者は、生活全般について「どちらとも言えない」(26.2%)が全体と比べ10ポイント以上多く、「どちらかといえば不満である」(10.8%)もやや多い。
- 市政全般の評価が‘やや不満である’とした回答者は、生活全般について「どちらとも言えない」(22.8%)及び「どちらかといえば不満である」(8.8%)が全体よりやや多い(図4-5-8)。

図4-5-8 市政全般の満足度別 生活全般



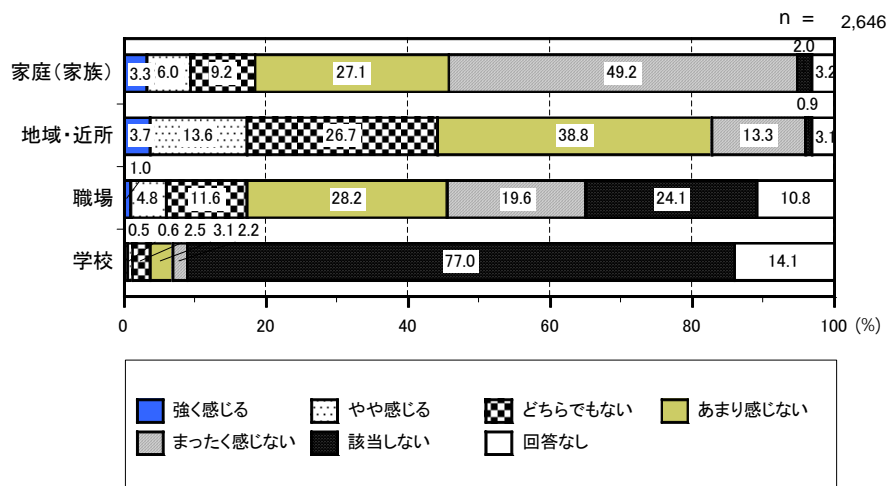
(6) 場面ごとの孤立感

孤立感・つながりの必要性

問10 あなたは、家庭、地域、職場、学校等の日常生活の様々な場面において、孤立感やつながりの必要性をどのように感じていますか。孤立感、つながりの必要性について、あなたのお気持ちに最も近い番号を1～6の中から1つずつ選択してください。該当する場面がない場合（学生の方で「職場」に該当する場を持たない方などは、「6」の「該当しない」を選んでください。）

日常生活のいくつかの場面において、孤立感を感じる状況をたずねたところ、地域・近所において「強く感じる」(3.7%)と「やや感じる」(13.6%)を合わせると2割弱にのぼる。また、「どちらでもない」は地域・近所(26.7%)で全体の4分の1を占めるほか、職場(11.6%)や家庭(9.2%)でも1割前後となっている(図4-6-1)。

図 4-6-1 孤立感



(7) 場面ごとのつながりの必要性

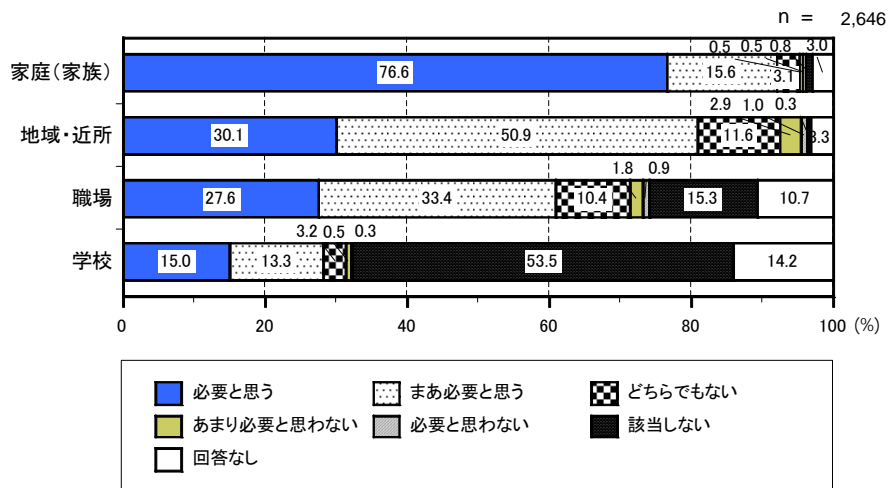
孤立感・つながりの必要性

問10 あなたは、家庭、地域、職場、学校等の日常生活の様々な場面において、孤立感やつながりの必要性をどのように感じていますか。孤立感、つながりの必要性について、あなたのお気持ちに最も近い番号を1～6の中から1つずつ選択してください。該当する場面がない場合（学生の方で「職場」に該当する場を持たない方などは、「6」の「該当しない」を選んでください。）

日常生活のいくつかの場面におけるつながりの必要性をたずねたところ、家庭では「必要と思う」(76.6%)、「まあ必要と思う」(15.6%)を合わせると9割強を占める。

その他、「必要と思う」は地域・近所(30.1%)や職場(27.6%)でも約3割にのぼり、「該当しない」が半数を超える学校においても15.0%ととなっている(図4-7-1)。

図4-7-1 つながりの必要性



5. 行政サービスについて

(1) 市政への関心

市政の関心度

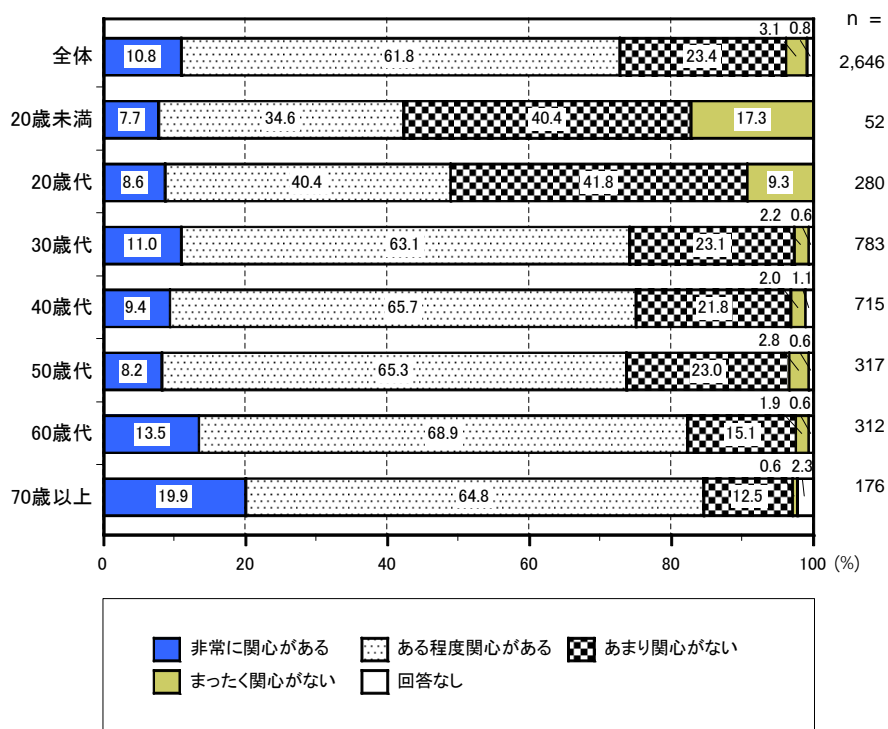
問 11 あなたは、市政にどの程度関心がありますか。次の中から選んでください。【○は1つ】

市政にどの程度関心があるかをたずねたところ、「ある程度関心がある」(61.8%)が最も多く、「非常に関心がある」(10.8%)を合わせると全体の7割強を占める。一方、「あまり関心がない」(23.4%)と「まったく関心がない」(3.1%)を合わせると全体の4分の1強となる(図5-1-1)

○年齢別でみると、70歳以上では、「非常に関心がある」(19.9%)が全体と比べてやや多く、「ある程度関心がある」を合わせた関心のある回答者は、おおむね年齢が高くなるほど多い。

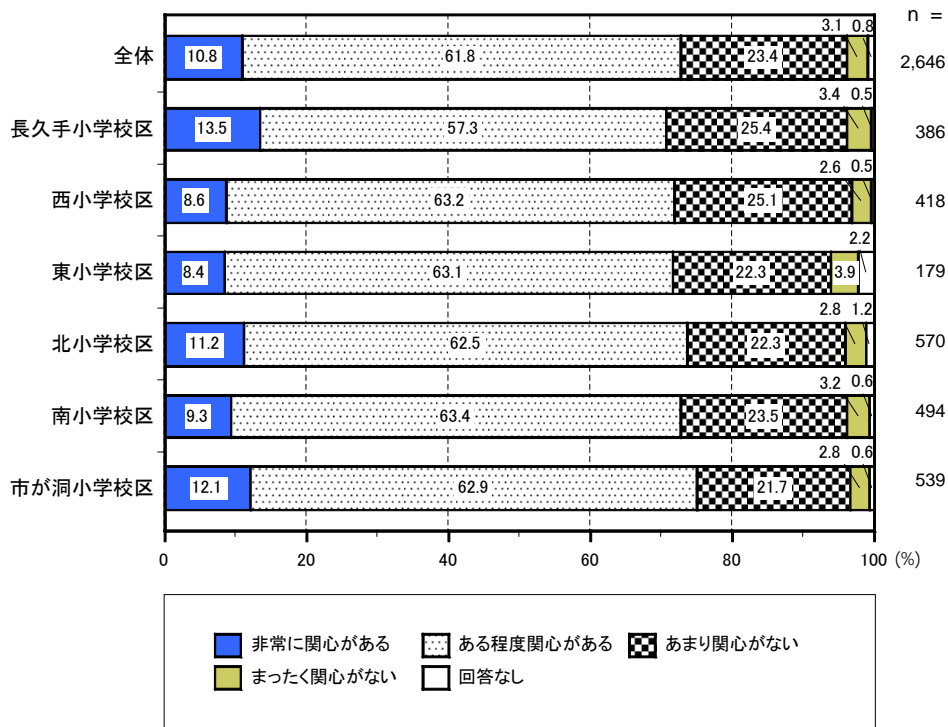
○一方、20歳代及び20歳未満では、「あまり関心がない」(20歳代：41.8%、20歳未満：40.4%)が全体に比べ15ポイント以上多い(図5-1-1)。

図5-1-1 年齢別 市政の関心度



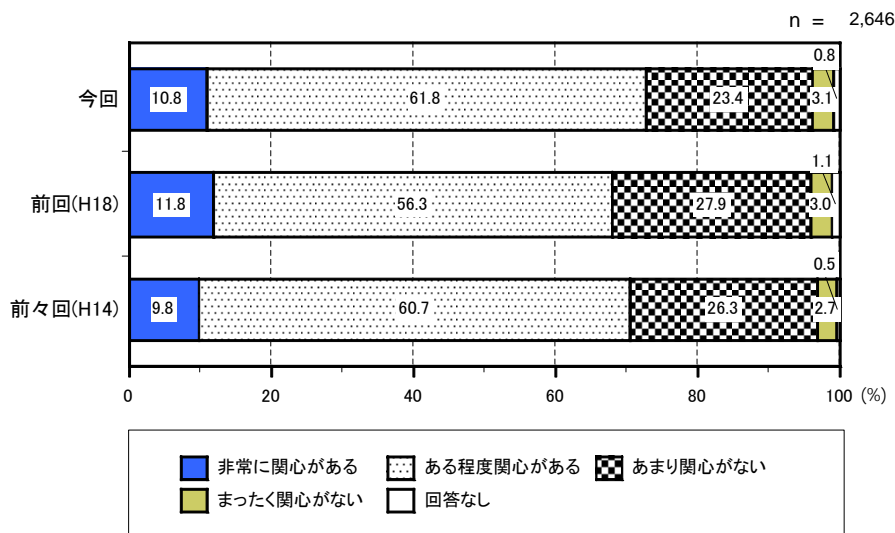
○小学校区別でみると、大きな違いはみられず、おおむね全体と同様の回答傾向になっている（図5-1-2）。

図 5-1-2 小学校区別 市政の関心度



○前回及び前々回の調査と比較すると、大きな変化はないものの、「ある程度関心がある」（60.7%⇒56.3%⇒61.8%）がやや多くなっている（図5-1-3）。

図 5-1-3 市政の関心度（前回・前々回比）



(2) 情報入手の手段

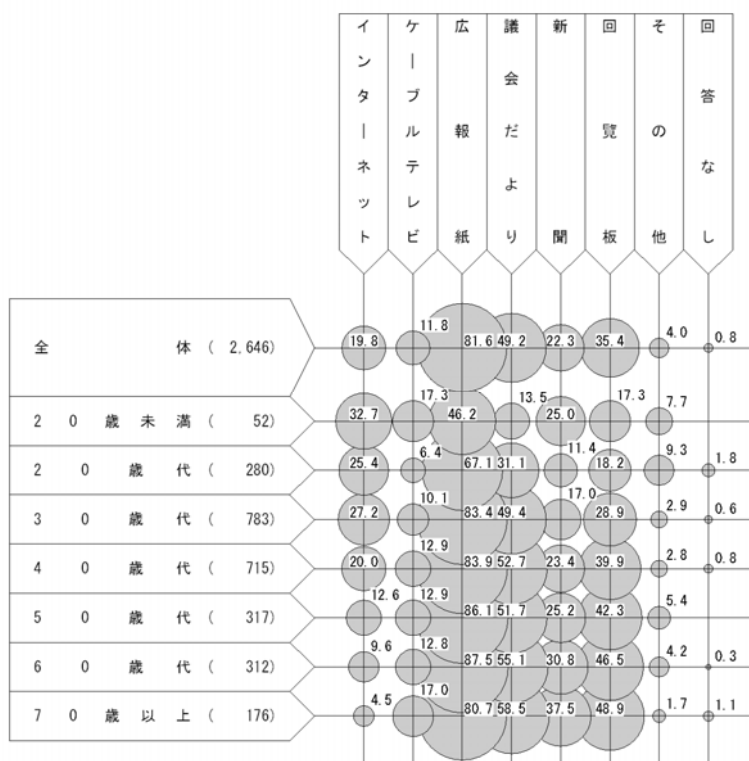
行政情報の入手手段

問 12 あなたは、長久手市の情報をどのように得ていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

行政に関する情報を入手する手段をたずねたところ、「広報紙」が 81.6%で最も多く、次いで「議会だより」(49.2%)、「回覧板」(35.4%)となっている(図 5-2-1)。

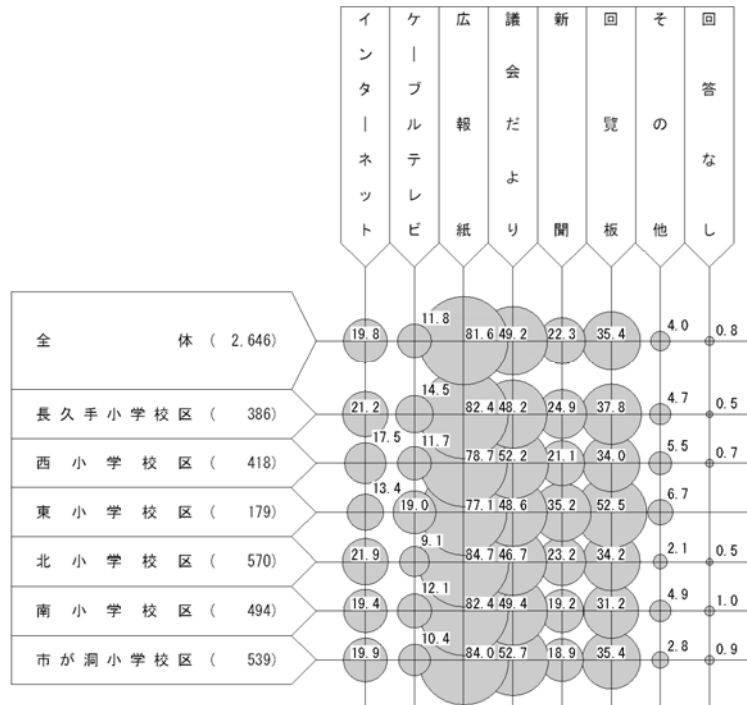
- 年齢別でみると、「広報紙」は 20 歳未満(46.2%)及び 20 歳代(67.1%)で全体と比べてかなり少なく、60 歳代(87.5%)でやや多い。また、「議会だより」も同様で、20 歳未満(13.5%)及び 20 歳代(31.1%)でかなり少なく、70 歳以上(58.5%)及び 60 歳代(55.1%)でやや多い。
- 「回覧板」も、年齢が高くなるほど多くなっており、20 歳未満(17.3%)及び 20 歳代(18.2%)で全体よりかなり少なく、70 歳以上(48.9%)及び 60 歳代(46.5%)で 10 ポイント以上多い。
- 一方、「インターネット」については、20 歳未満(32.7%)が全体より 10 ポイント以上多いところから、年齢が高くなるほど少なくなっている(図 5-2-1)。

図 5-2-1 年齢別 行政情報の入手手段



○小学校区別でみると、東小学校区では「回覧板」(52.5%)や「新聞」(35.2%)が全体より10ポイント以上多く、「ケーブルテレビ」(19.0%)もやや多い。一方、「インターネット」(13.4%)はやや少ない(図5-2-2)。

図5-2-2 小学校区別 行政情報の入手手段



(3) 市政への関心を高めるための方策

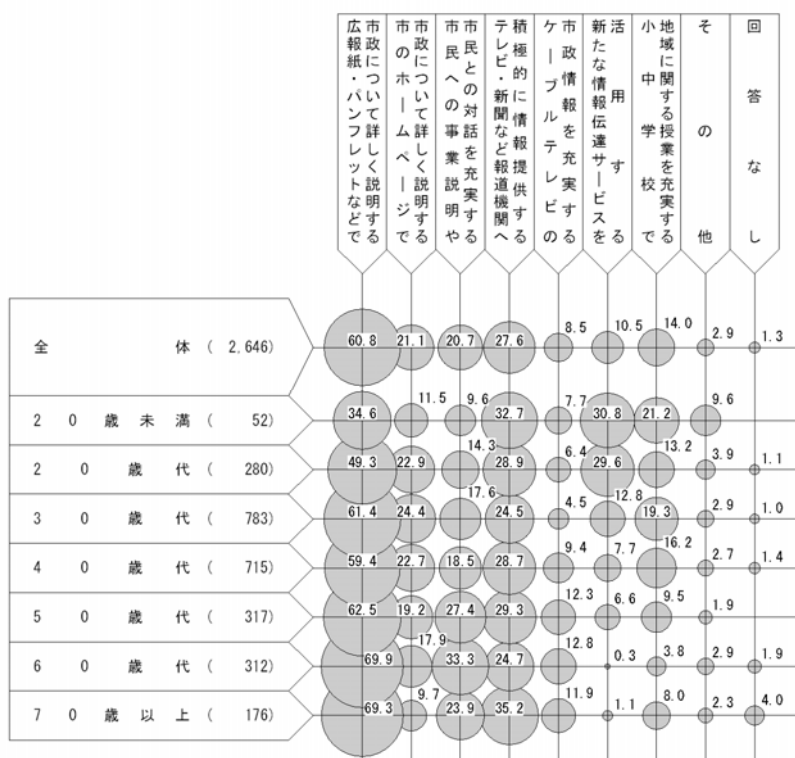
市政の関心度向上に向けた手立て

問 13 あなたは、市政に関心を持ってもらうためには、市はどうしたらよいと思いますか。特に重要と思うものを次の中から選んでください。【○は2つまで】

市民の市政に対する関心を高めるための手法について、「広報紙・パンフレットなどで市政について詳しく説明する」が 60.8%と最も多く、「テレビ・新聞など報道機関へ積極的に情報提供する」(27.6%)、「市のホームページで市政について詳しく説明する」(21.1%)、「市民への事業説明や市民との対話を充実する」(20.7%)などが続いている(図 5-3-1)。

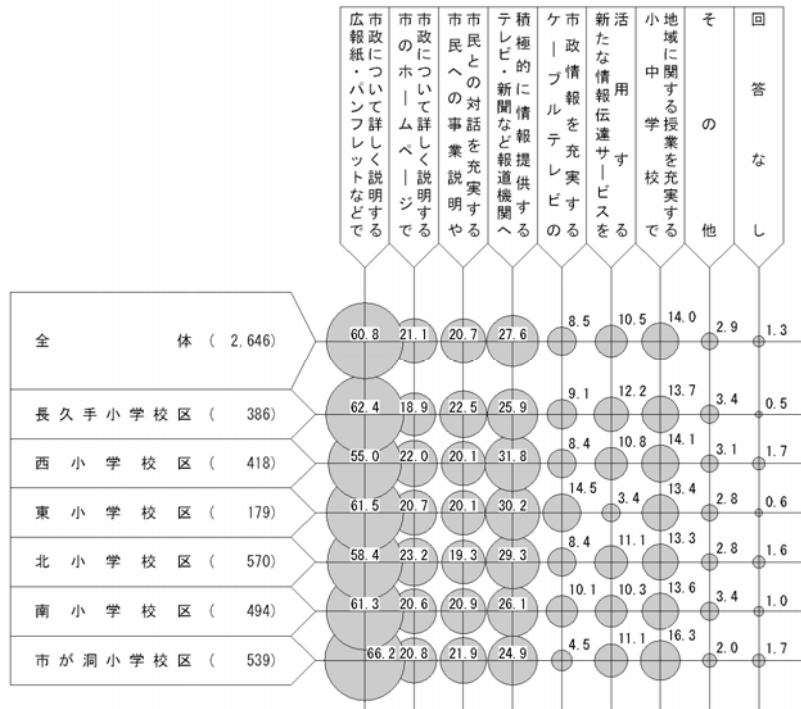
- 年齢別で見ると、「広報紙・パンフレットなどで市政について詳しく説明する」は 20 歳未満(34.6%)及び 20 歳代(49.3%)で全体より 10 ポイント以上少ない半面、60 歳代(69.9%)及び 70 歳以上(69.3%)ではやや多い。
- 70 歳以上と 20 歳未満では、「テレビ・新聞など報道機関へ積極的に情報提供する」(70 歳以上: 35.2%、20 歳未満: 32.7%)が全体と比較してやや多い半面、「市のホームページで市政について詳しく説明する」(70 歳以上: 9.7%、20 歳未満: 11.5%)は 10 ポイント前後少ない。
- 「市民への事業説明や市民との対話を充実する」は 60 歳代(33.3%)及び 50 歳代(27.4%)で全体よりやや多く、20 歳未満(9.6%)及び 20 歳代(14.3%)でやや少ない。
- 「新たな情報伝達サービスを活用する」が 20 歳未満(30.8%)及び 20 歳代(29.6%)で 20 ポイント前後多くなっている(図 5-3-1)。

図 5-3-1 年齢別 市政の関心度向上に向けた手立て



- 小学校区別でみると、「広報紙・パンフレットなどで市政について詳しく説明する」は市が洞小学校区（66.2%）で全体と比べてやや多く、西小学校区（55.0%）でやや少ない。
- 東小学校区では、「ケーブルテレビの市政情報を充実する」（14.5%）が全体よりやや多く、「新たな情報伝達サービスを活用する」（3.4%）がやや少ない（図 5-3-2）。

図 5-3-2 小学校区別 市政の関心度向上に向けた手立て



(4) 市役所の窓口サービス向上のために重要なこと

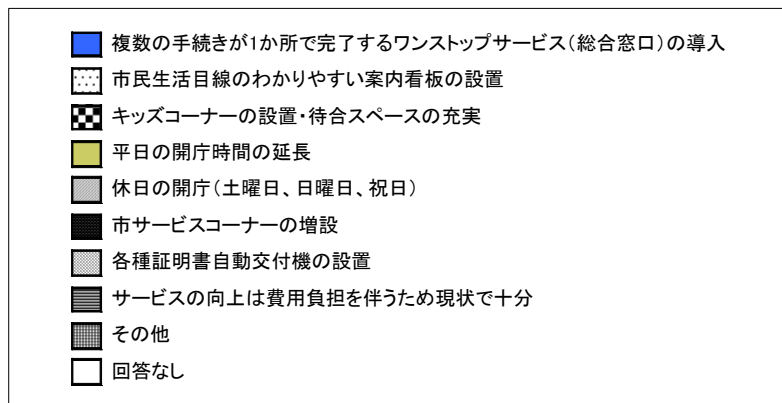
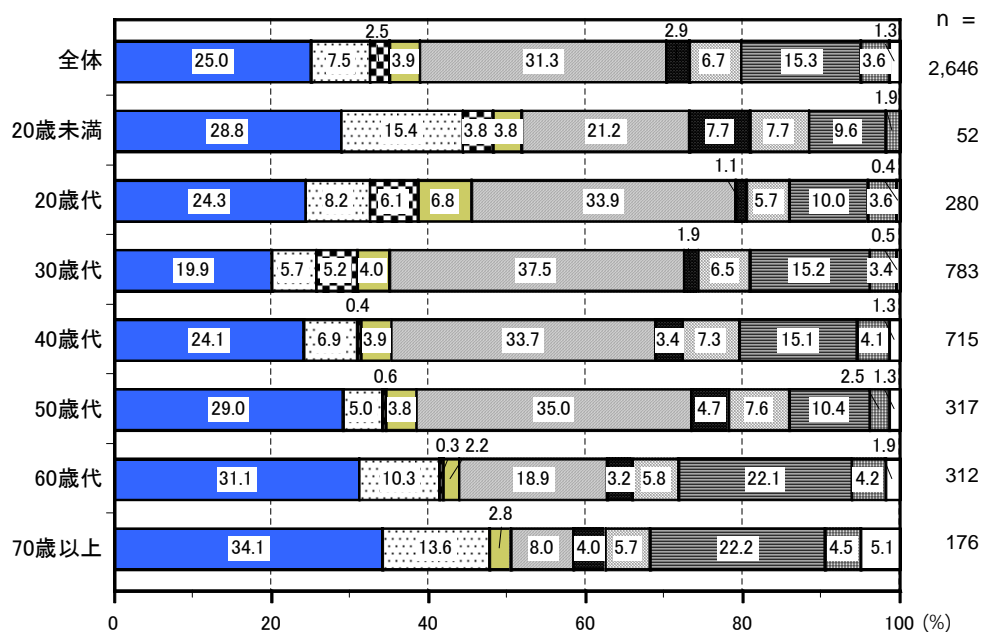
窓口サービス向上のために重要なこと

問 14 あなたは、市役所の窓口サービス向上について、どのような点が重要と思いますか。最も重要と思うものを次の中から選んでください。【○は1つ】

窓口サービス向上のために重要なことをたずねたところ、「休日の開庁(土曜日、日曜日、祝日)」が 31.3%と最も多く、次いで「複数の手続きが1か所で完了するワンストップサービス(総合窓口)の導入」(25.0%)となっている一方、「サービスの向上は費用負担を伴うため現状で十分」が 15.3%となっている(図 5-4-1)。

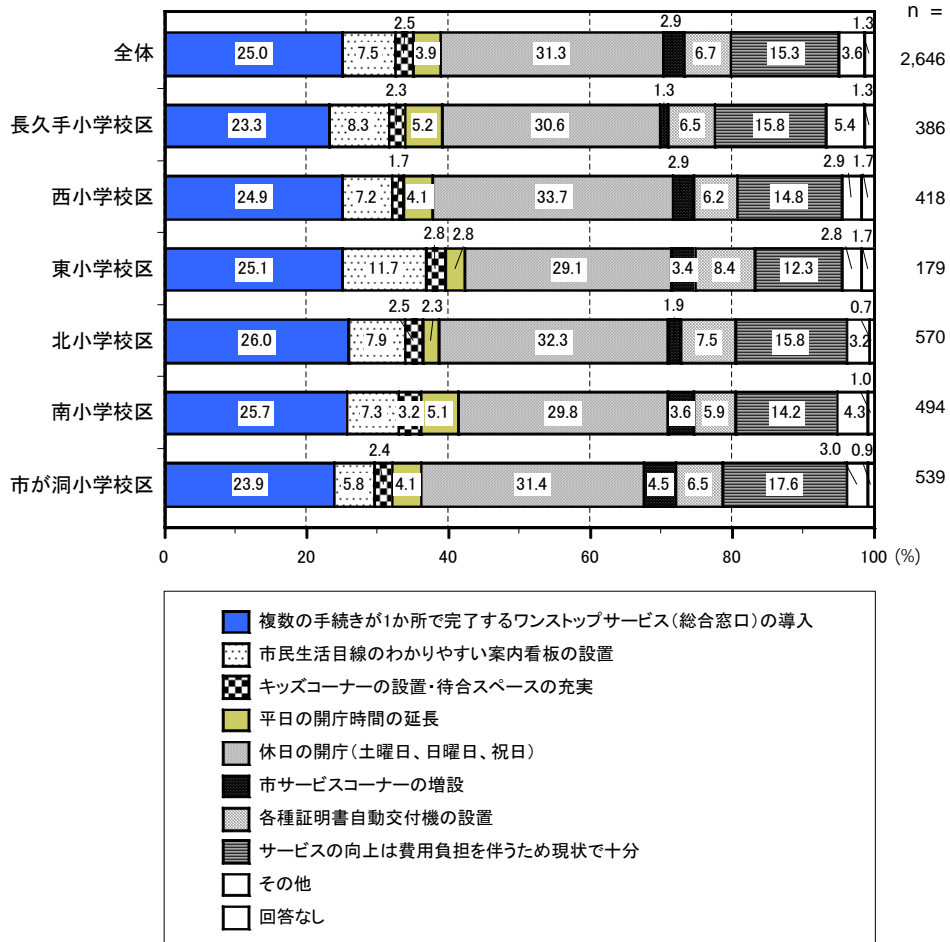
- 年齢別で見ると、「休日の開庁(土曜日、日曜日、祝日)」は 30 歳代(37.5%)が全体よりやや多く、70 歳以上(8.0%)、60 歳代(18.9%)、20 歳未満(21.2%)では少ない。
- 「複数の手続きが1か所で完了するワンストップサービス(総合窓口)の導入」は 70 歳以上(34.1%)及び60 歳代(31.1%)で全体と比べてやや多く、30 歳代(19.9%)でやや少ない。
- 「サービスの向上は費用負担を伴うため現状で十分」は 70 歳以上(22.2%)及び60 歳代(22.1%)で全体よりやや多く、20 歳未満(9.6%)及び20 歳代(10.0%)でやや少ない。
- 「市民生活目線のわかりやすい案内看板の設置」は 20 歳未満(15.4%)と 70 歳以上(13.6%)で全体と比べてやや多い(図 5-4-1)。

図 5-4-1 年齢別 窓口サービス向上のために重要なこと



○小学校区別でみると、おおむね全体と同様の回答で、大きな違いはみられない（図 5-4-2）。

図 5-4-2 小学校区別 窓口サービス向上のために重要なこと



6. 市民活動やこれからのまちづくりの進め方について

(1) 地域の活動への参加状況とその理由

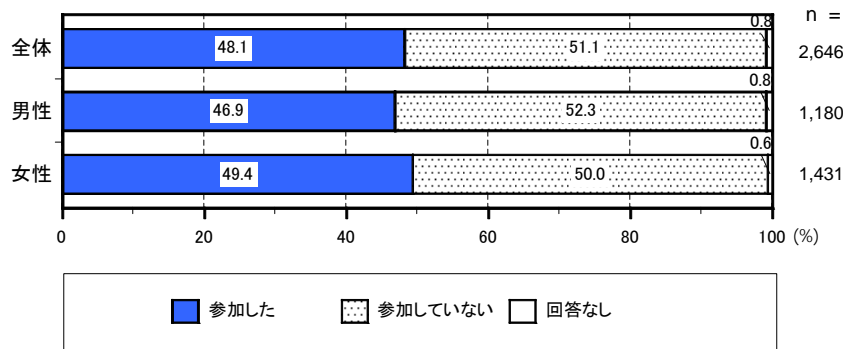
市民活動の参加有無

問 15 あなたやあなたのご家族は、過去3年以内に地域の活動に参加しましたか。次の中から選んでください。【○は1つ】

過去3年以内の市民活動への参加状況をたずねたところ、「参加していない」(51.1%)と「参加した」(48.1%)がほぼ半々となっている(図6-1-1)。

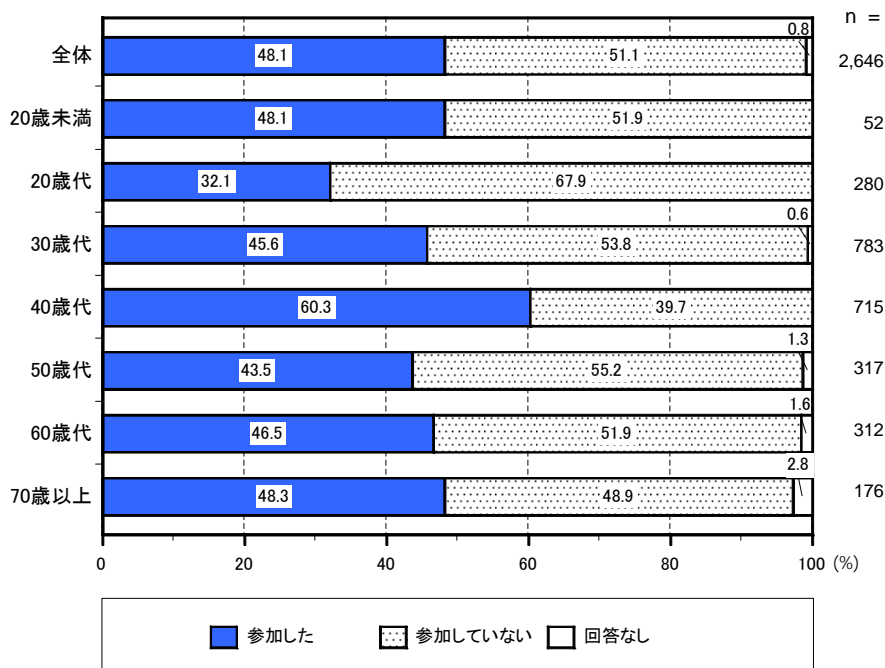
○性別でみると、大きな違いはみられない(図6-1-1)。

図6-1-1 性別 市民活動の参加有無



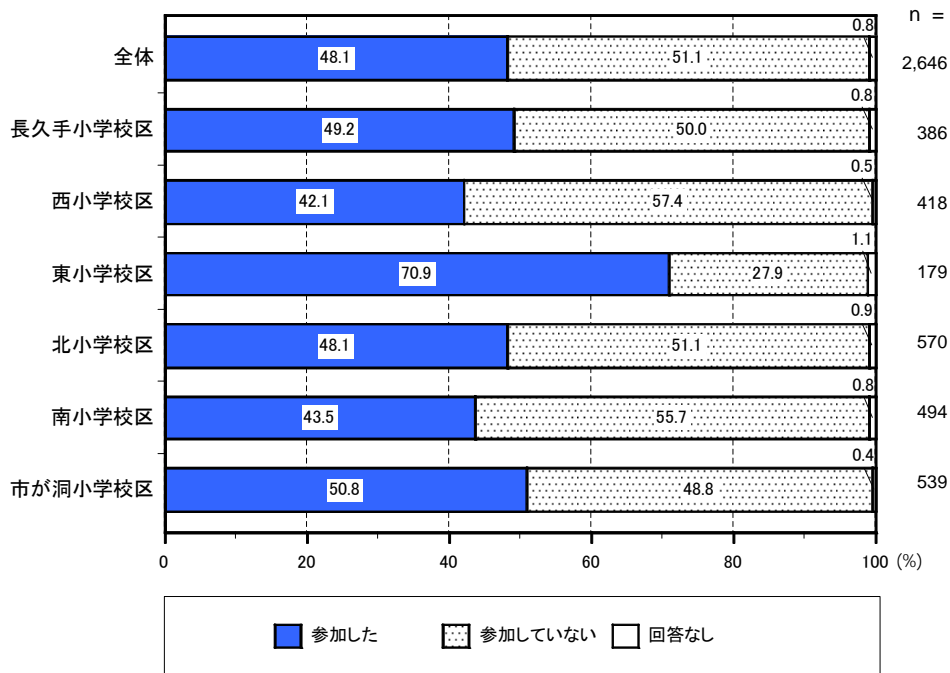
○年齢別でみると、「参加した」は40歳代(60.3%)で全体より10ポイント以上多く、20歳代(32.1%)で15ポイントほど少ない(図6-1-2)。

図6-1-2 年齢別 市民活動の参加有無



○小学校区別でみると、「参加した」は東小学校区（70.9%）で全体より20ポイント以上多く、西小学校区（42.1%）でやや少ない（図6-1-3）。

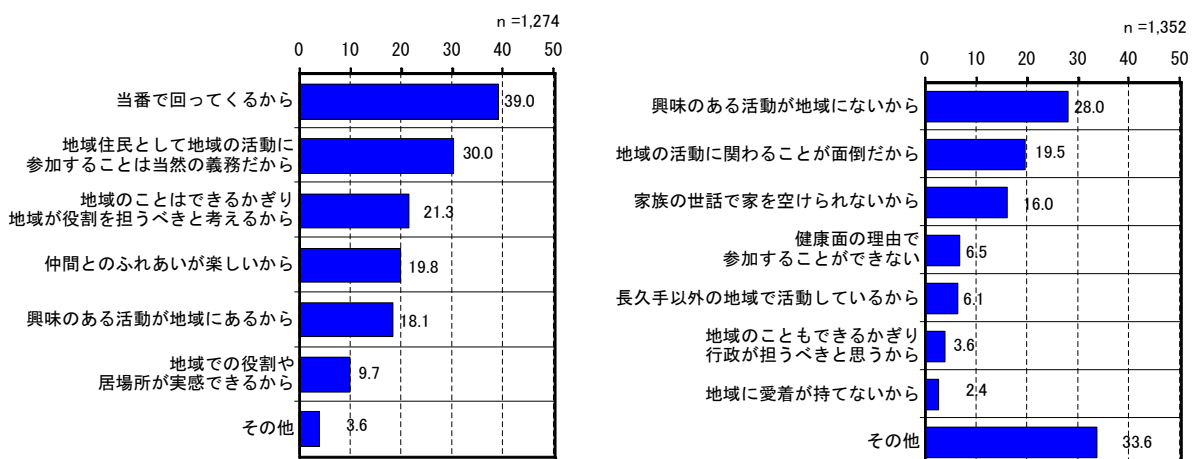
図6-1-3 小学校区別 市民活動の参加有無



○問15で「参加した」と回答した1,274人を対象に参加した理由たずねたところ、「当番で回ってくるから」（39.0%）で最も多く、次いで「地域住民として地域の活動に参加することは当然の義務だから」（30.0%）となっている。

○一方、問15で「参加していない」と回答した1,352人を対象に参加していない理由たずねたところ、引っ越してきて間がない、誘われていないなどの「その他」（33.6%）が最も多く、次いで「興味のある活動が地域にないから」（28.0%）となっている（図6-1-2）。

図6-1-4 参加した理由・参加していない理由



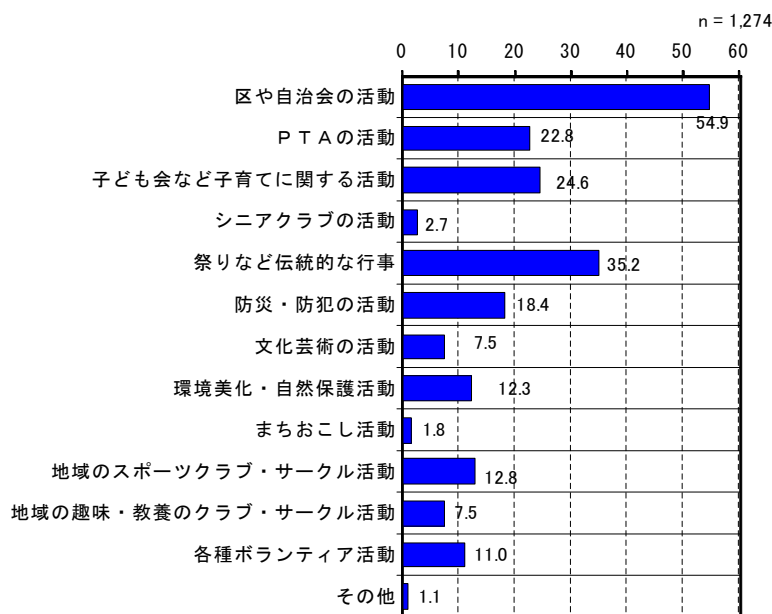
(2) 参加している地域活動の種類

参加している地域活動の種別

問 16 問 15 で「1 参加した (参加している)」と回答した方にお聞きします。あなたやあなたのご家族は、地域でどのような活動に参加していますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

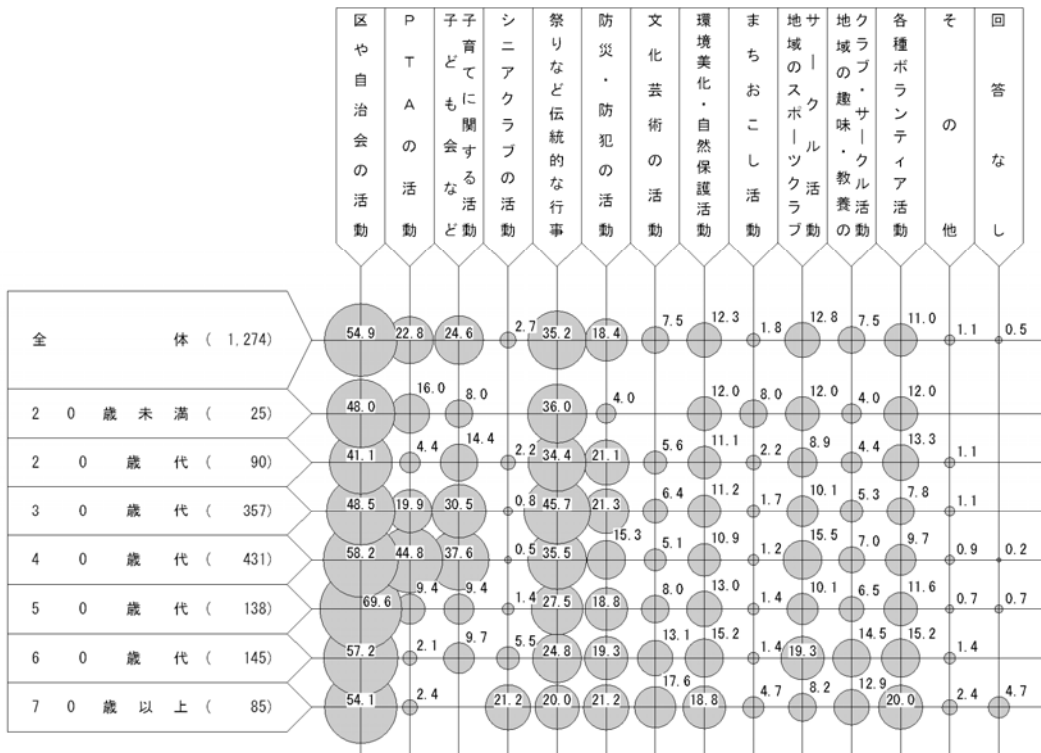
問 15 で「参加した」と回答した 1,274 人に参加している地域活動の種類をたずねたところ、「区や自治会の活動」が 54.9% で最も多く、次いで「祭りなど伝統的な行事」(35.2%) となっている。また、「子ども会など子育てに関する活動」(24.6%) や「PTA の活動」(22.8%) など子どもに関連した活動も多くなっている (図 6-2-1)。

図 6-2-1 参加している地域活動の種別



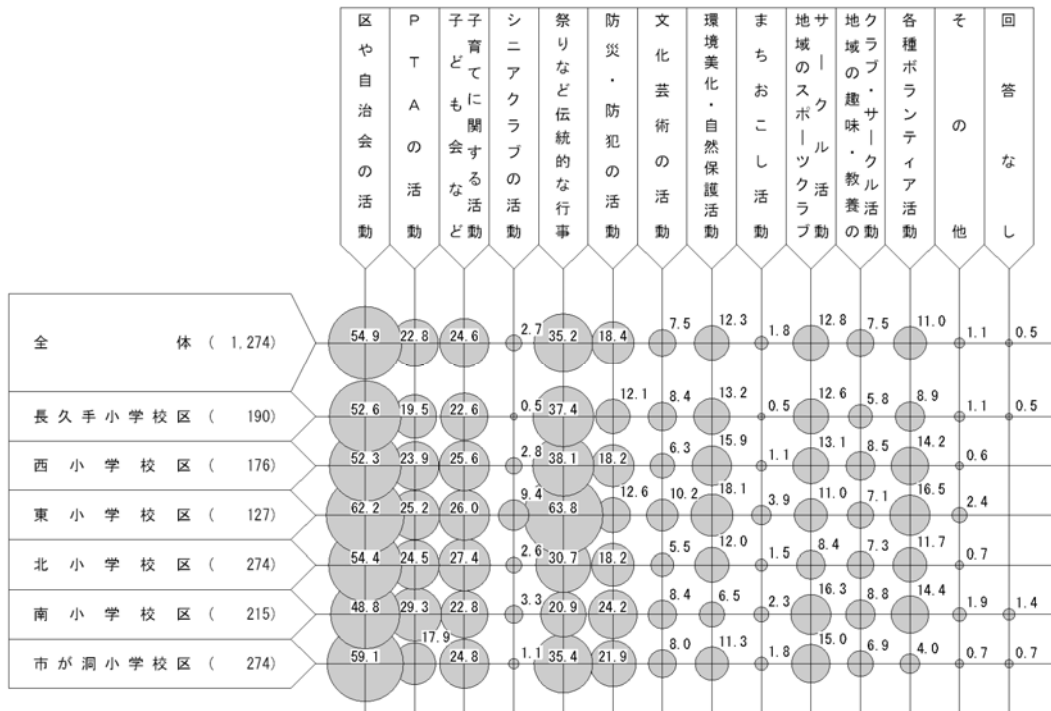
- 年齢別で見ると、「区や自治会の活動」は50歳代（69.6%）で全体より10ポイント以上多い半面、20歳代（41.1%）で10ポイント以上少なく、20歳未満（48.0%）や30歳代（48.5%）でもやや少ない。
- 「祭りなど伝統的な行事」は30歳代（45.7%）で全体と比較して10ポイントほど多く、70歳以上（20.0%）及び60歳代（24.8%）で少ない。
- 40歳代では、「PTAの活動」（44.8%）や「子ども会など子育てに関する活動」（37.6%）が全体より多くなっており、「子ども会など子育てに関する活動」については30歳代（30.5%）でもやや多くなっている。
- 70歳以上では、「シニアクラブの活動」（21.2%）や「文化芸術の活動」（17.6%）が全体より10ポイント以上多くなっている（図6-2-2）。

図6-2-2 年齢別 参加している地域活動の種別



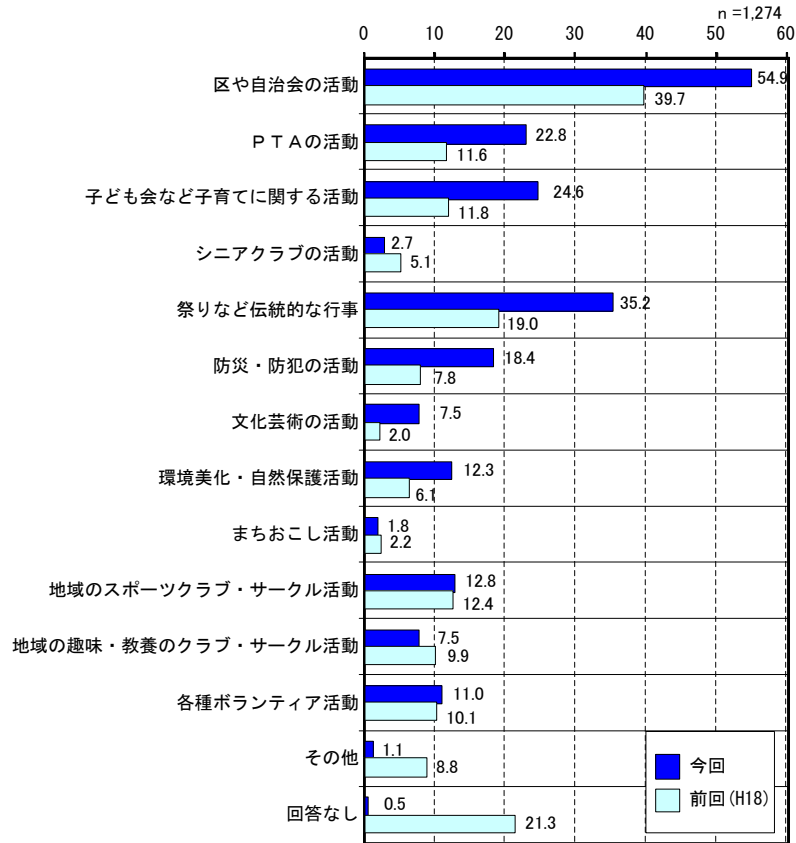
- 小学校区別でみると、東小学校区では、「祭りなど伝統的な行事」(63.8%)で全体より30ポイント近く多いほか、「区や自治会の活動」(62.2%)、「シニアクラブの活動」(9.4%)、「環境美化・自然保護活動」(18.1%)、「各種ボランティア活動」(16.5%)でもやや多い。一方、「防災・防犯の活動」(12.6%)はやや少ない。
- 南小学校区では、「防災・防犯の活動」(24.2%)で全体よりやや多い半面、「祭りなど伝統的な行事」(20.9%)で15ポイント近く少なく、「区や自治会の活動」(48.8%)や「環境美化・自然保護活動」(6.5%)でもやや少ない(図6-2-3)。

図6-2-3 小学校区別 参加している地域活動の種別



○前回調査と比較すると、「区や自治会の活動」(39.7%⇒54.9%)が15ポイント近く多くなっているのははじめ、「祭りなど伝統的な行事」(19.0%⇒35.2%)や「子ども会など子育てに関する活動」(11.8%⇒24.6%)、「防災・防犯の活動」(7.8%⇒18.4%)、「PTAの活動」(11.6%⇒22.8%)も10ポイント以上多くなっている(図6-2-4)。

図6-2-4 参加している地域活動の種別(前回比)



(3) 地域活動への参加の頻度

地域活動への参加頻度

問 17 問 15 で「1 参加した (参加している)」と回答した方にお聞きします。あなたやあなたのご家族は、地域活動にどの程度参加していますか。(ご家族のうち複数の方が地域の活動に参加している場合、最も多く参加している方について回答してください。) 次の中から選んでください。【○は1つ】

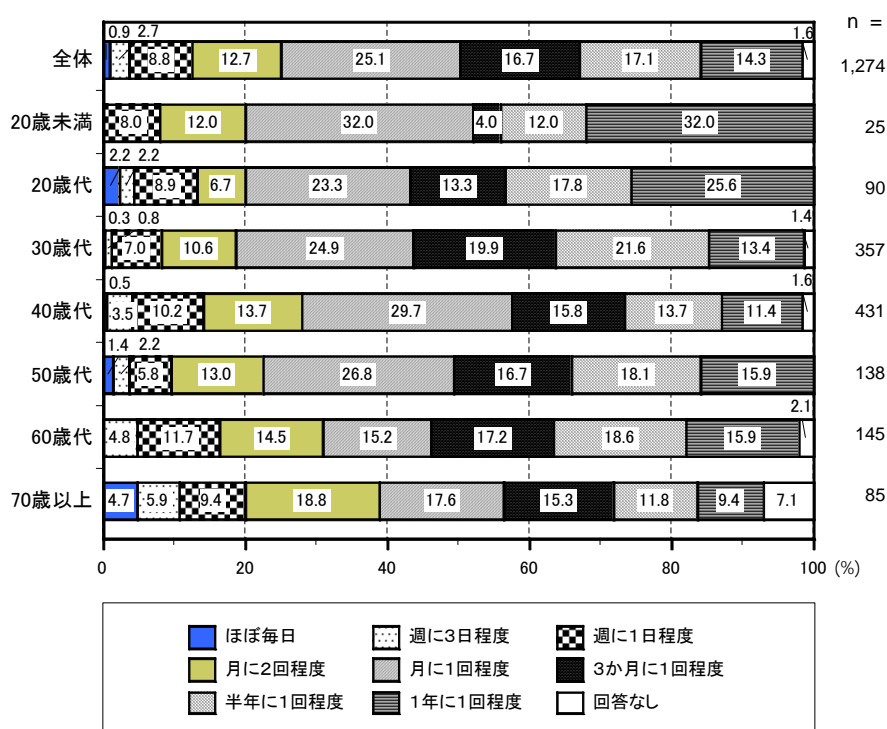
問 15 で「参加した」と回答した 1,274 人に参加頻度をたずねたところ、「月に 1 回程度」が 25.1%で最も多く、「半年に 1 回程度」(17.1%)、「3 か月に 1 回程度」(16.7%)、「1 年に 1 回程度」(14.3%) などが続いている (図 6-3-1)。

○年齢別でみると、20 歳未満では「1 年に 1 回程度」(32.0%) が全体より 15 ポイント以上多いほか、「月に 1 回程度」(32.0%) もやや多い半面、「3 か月に 1 回程度」(4.0%) では 10 ポイント以上、「半年に 1 回程度」(12.0%) もやや少ない。

○20 歳代では、「1 年に 1 回程度」(25.6%) が全体と比較して 10 ポイント以上多く、「月に 2 回程度」(6.7%) がやや少ない。

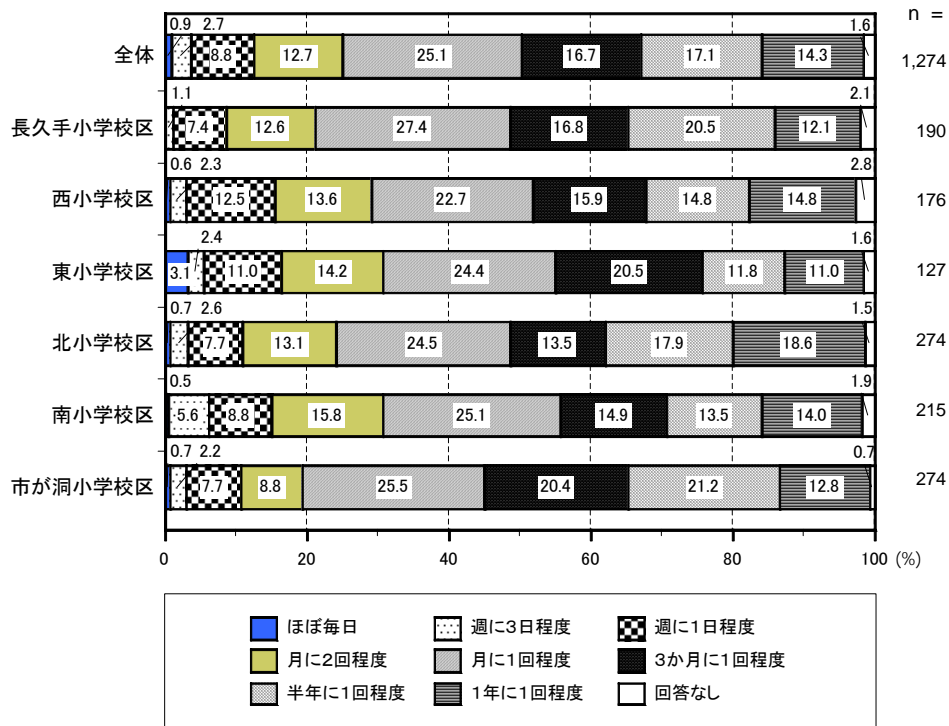
○70 歳以上では「月に 2 回程度」(18.8%) が全体よりやや多く、「月に 1 回程度」(17.6%) や「半年に 1 回程度」(11.8%) はやや少ない (図 6-3-1)。

図 6-3-1 年齢別 地域活動への参加頻度



○小学校区別でみると、東小学校区で「半年に1回程度」(11.8%)が全体と比較してやや少ないほかは、おおむね全体と同様の傾向を示している(図6-3-2)。

図6-3-2 小学校区別 地域活動への参加頻度



(4) 基本的な地域活動の単位

基本的な地域活動の単位

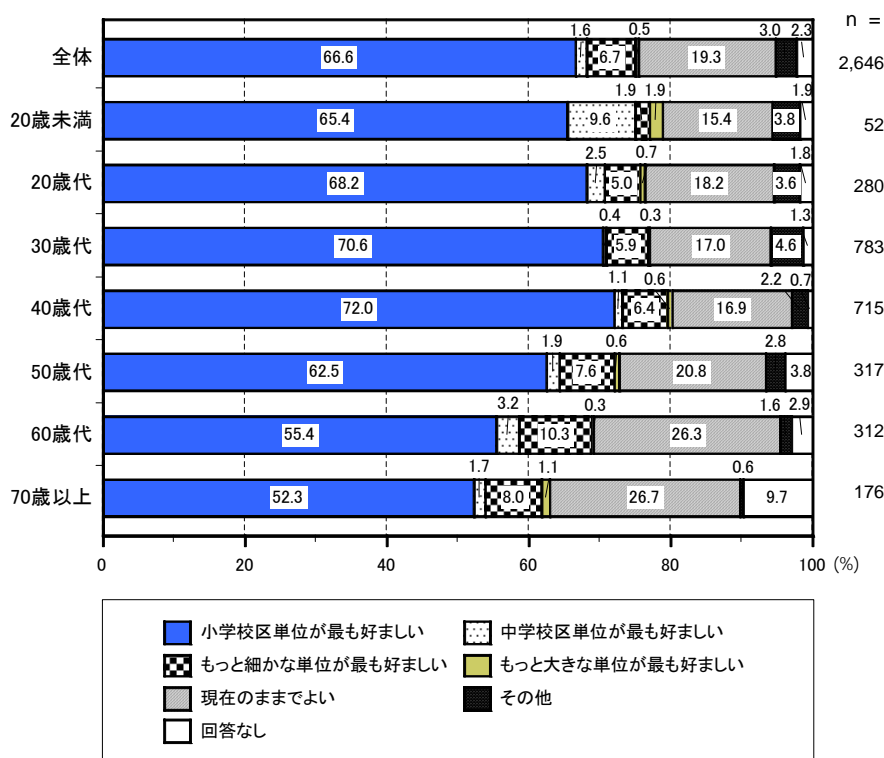
問 18 現在市では、防災・防犯など日常生活に密着した地域活動について、小学校区単位での活動を進めていきたいと考えています。基本的な地域活動の単位について、あなたはどのように思いますか。(現在の自治会や区会を再編するものではありません。)次の中から選んでください。【〇は1つ】

日常生活に密着した地域活動の単位について、「小学校区単位が最も好ましい」が66.6%で最も多く、次いで「現在のままでよい」が19.3%となっている。

○年齢別で見ると、70歳以上及び60歳代で「現在のままでよい」(70歳以上：26.7%、60歳代：26.3%)が全体と比較してやや多く、「小学校区単位が最も好ましい」(70歳以上：52.3%、60歳代：55.4%)が10ポイント以上少ない。

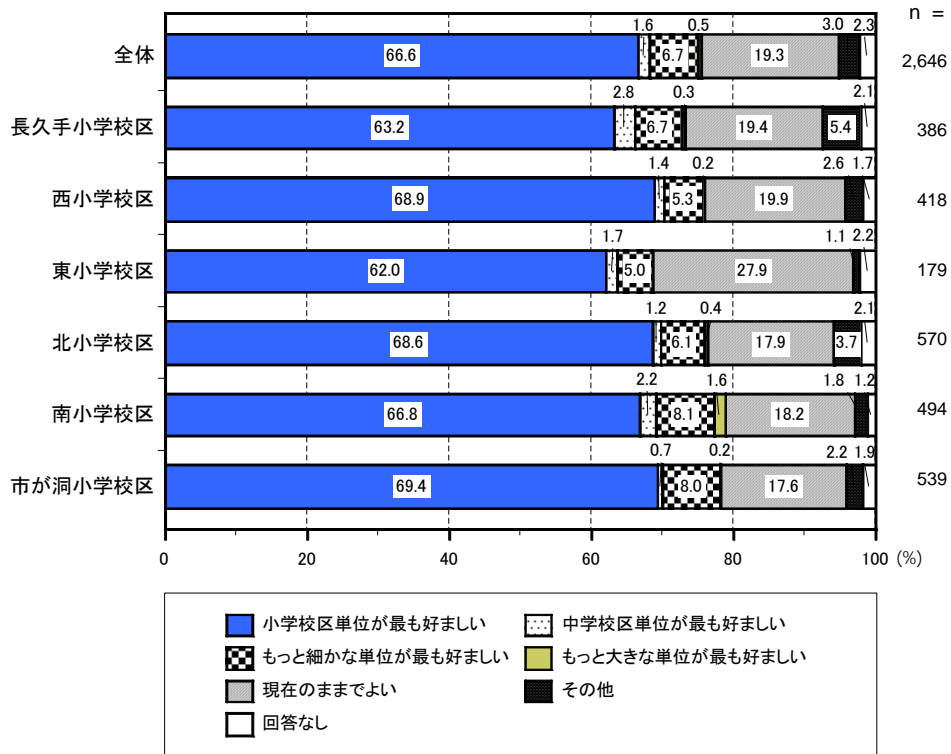
○20歳未満では、「中学校区単位が最も好ましい」(9.6%)が全体よりやや多い(図6-4-1)。

図 6-4-1 年齢別 基本的な地域活動の単位



○小学校区別でみると、東小学校区で「現在のままでよい」(27.9%)が全体よりやや多いほかは、全体と同様の傾向となっている(図6-4-2)。

図6-4-2 小学校区別 基本的な地域活動の単位



(5) 市民と行政との協働のあり方

市民参画・地域協働に関する5項目の考え

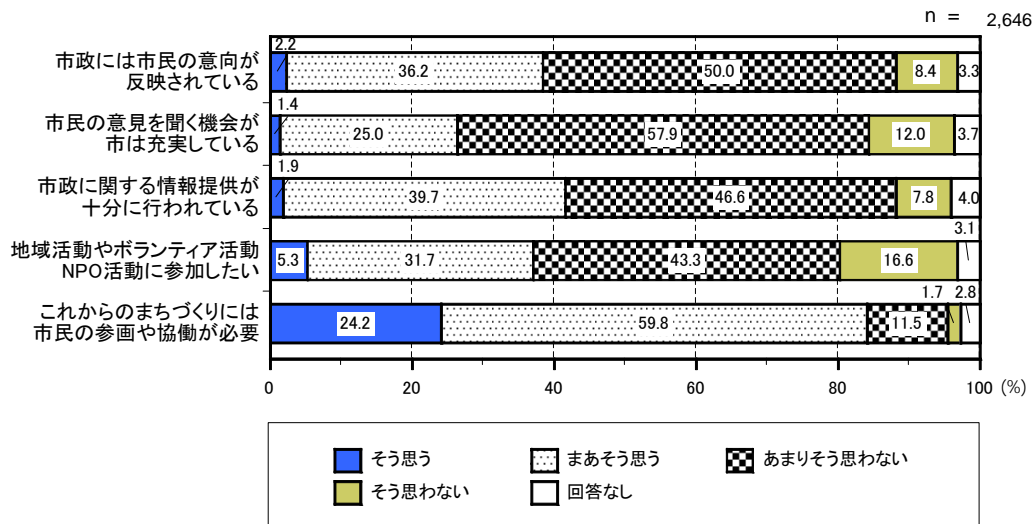
問 19 あなたは、市政運営への市民参画や、市民と行政との協働に関してどのように思いますか。(1)～(5)の項目について、1～4の中から1つずつ選んでください。

市民参画及び地域協働に関する考えについて5つの項目の質問をしたところ、これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要という考え方について「そう思う」(24.2%)及び「まあそう思う」(59.8%)を合わせると8割以上を占めている。

一方、現状に対する評価である「そう思う」及び「まあそう思う」の合計は、市民の意見を聞く機会が市は充実している(計26.4%)、市政には市民の意見が反映されている(計38.4%)、市政に関する情報提供が十分に行われている(計41.6%)となっている。

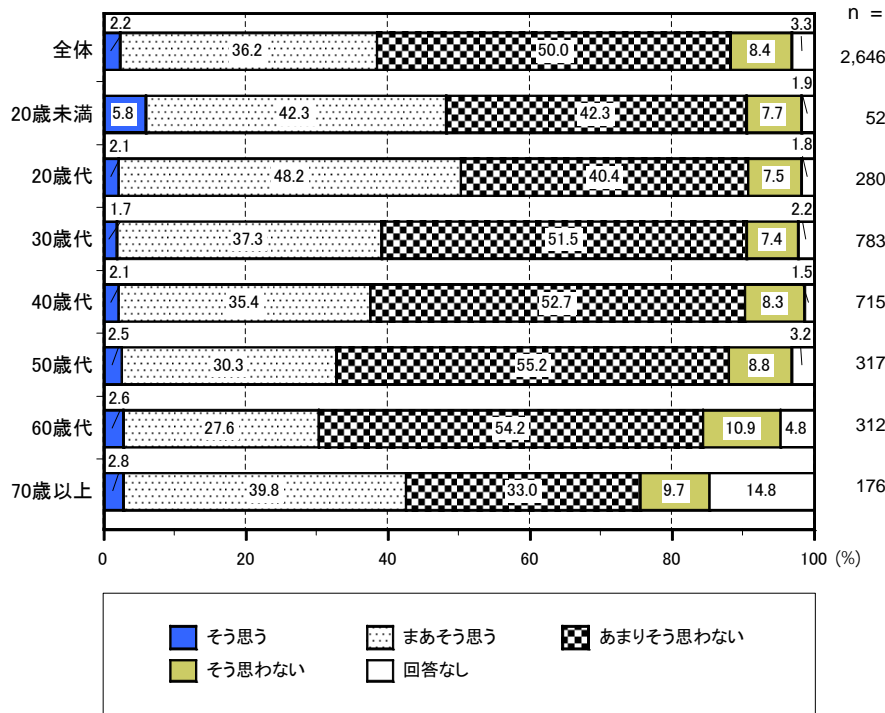
今後、地域活動やボランティア活動、NPO活動に参加したいは「そう思う」(5.3%)と「まあそう思う」(31.7%)は合わせて4割弱となっている(図6-5-1)。

図 6-5-1 市民参画・地域協働に関する考え



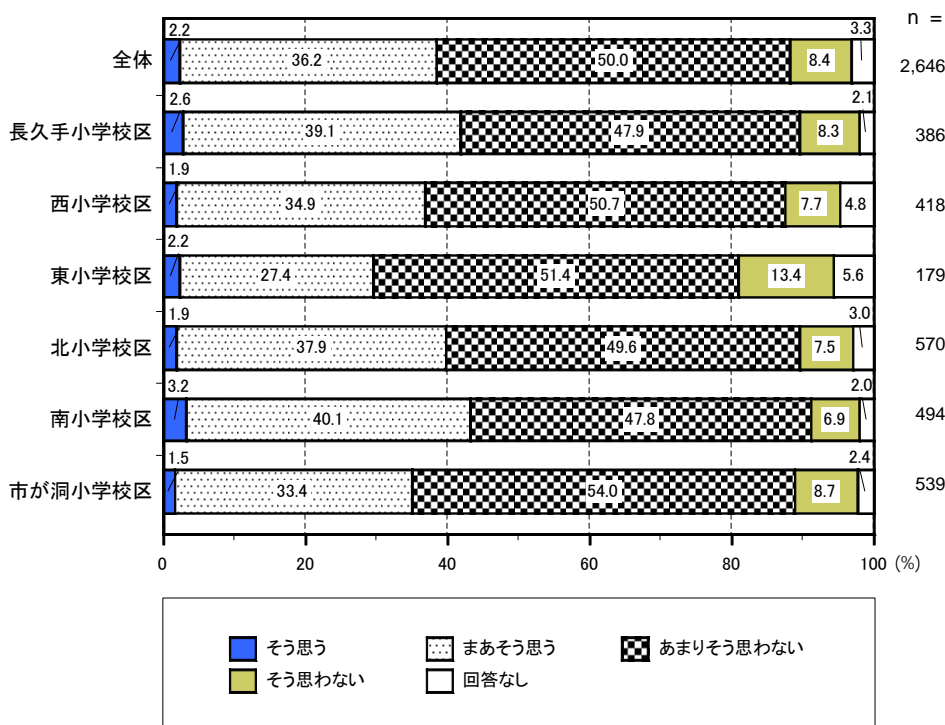
○市政への市民の意向の反映について年齢別でみると、「まあそう思う」は20歳代（48.2%）で全体と比較して10ポイント以上多いほか、20歳未満（42.3%）でもやや多い半面、60歳代（27.6%）及び50歳代（30.3%）でやや少ない。また、50歳代では「あまりそう思わない」（55.2%）が全体と比較してやや多い（図6-5-2）。

図6-5-2 年齢別 市政への市民の意向の反映



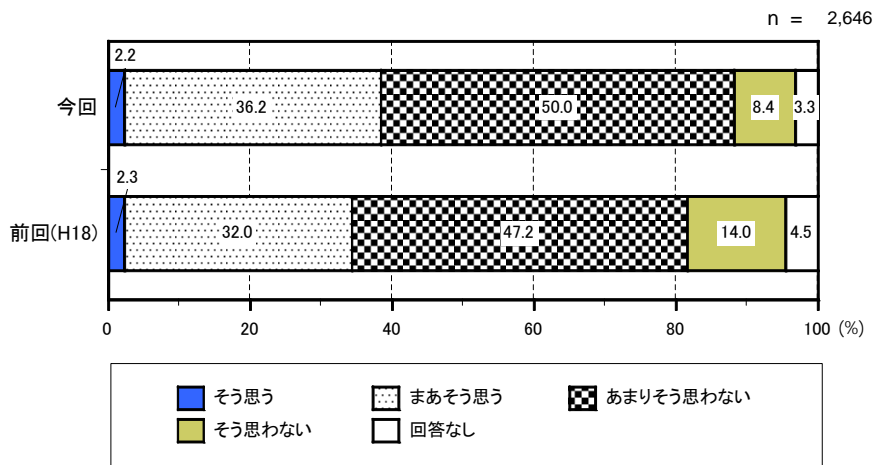
○市政への市民の意向の反映について小学校区別でみると、東小学校区で「そう思わない」（13.4%）が全体よりやや多い（図6-5-3）。

図6-5-3 小学校区別 市政への市民の意向の反映



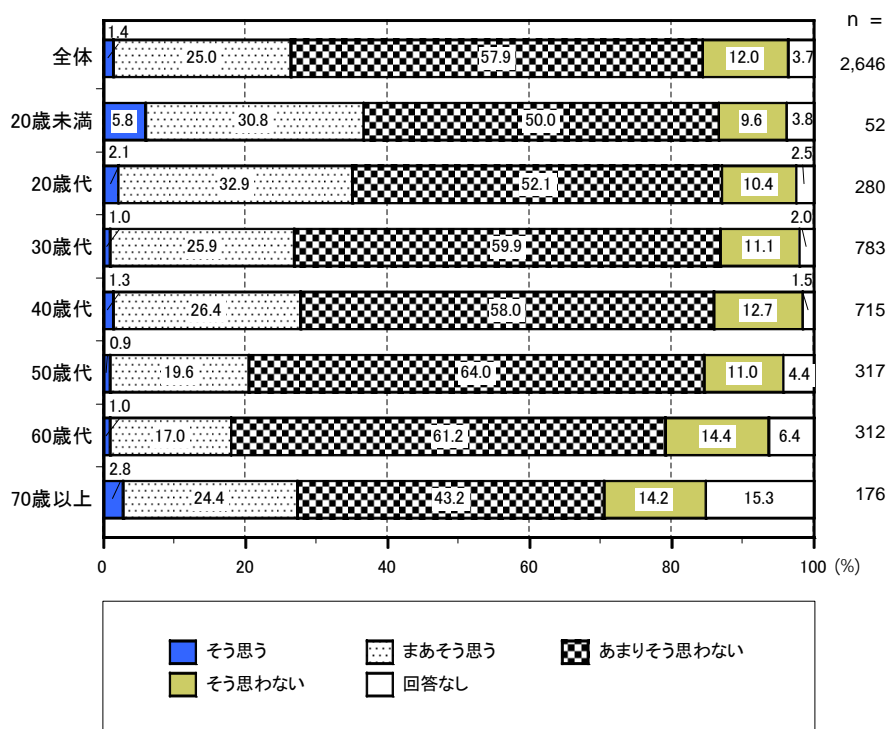
○市政への市民の意向の反映について前回調査と比較すると、「そう思わない」(14.0%⇒8.4%)
 がやや少なくなっている(図6-5-4)。

図6-5-4 市政への市民の意向の反映(前回比)



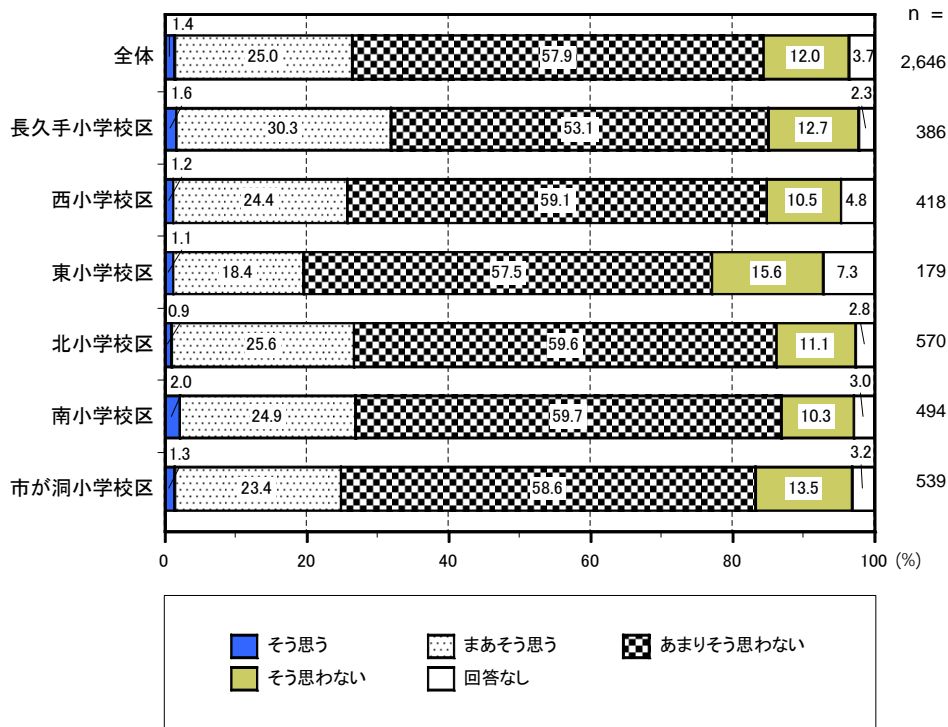
○市民の意見を聞く機会の充実について年齢別でみると、「あまりそう思わない」が50歳代
 (64.0%)及び60歳代(61.2%)で全体と比較してやや多い半面、70歳以上(43.2%)では10
 ポイント以上少なく、20歳未満(50.0%)や20歳代(52.1%)でもやや少ない(図6-5-5)。

図6-5-5 年齢別 市民の意見を聞く機会の充実



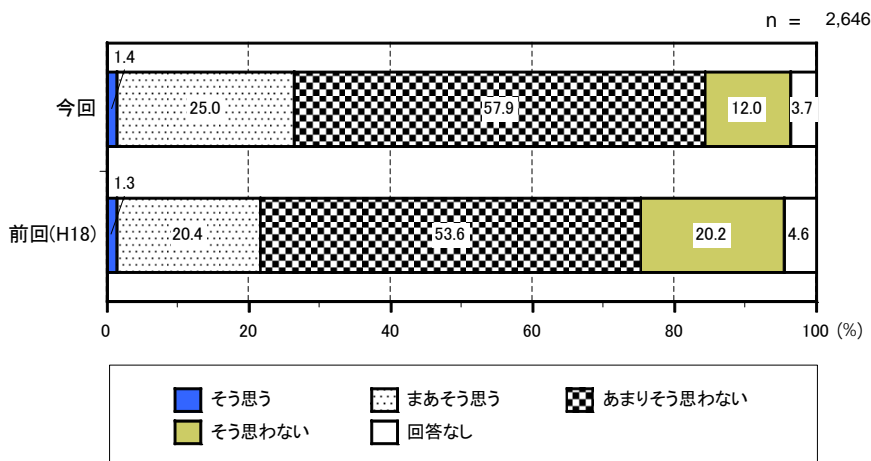
○市民の意見を聞く機会の充実について小学校区別でみると、「まあそう思う」は長久手小学校区（30.3%）が全体よりやや多く、東小学校区（18.4%）でやや少ない（図 6-5-6）。

図 6-5-6 小学校区別 市民の意見を聞く機会の充実



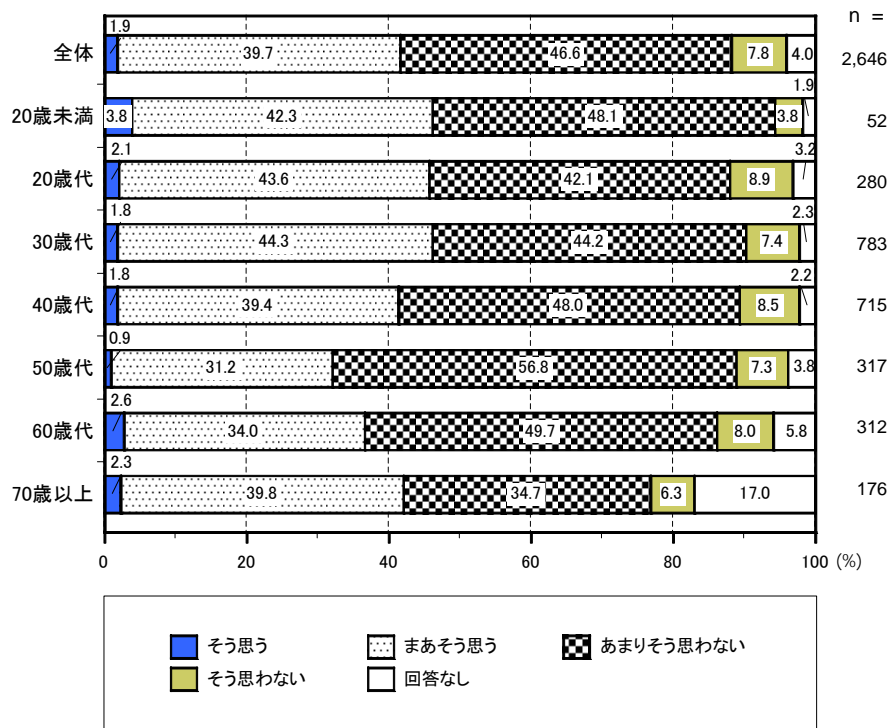
○市民の意見を聞く機会の充実について前回調査と比較すると、「そう思わない」(20.2%⇒12.0%)がやや少なくなっている（図 6-5-7）。

図 6-5-7 市民の意見を聞く機会の充実（前回比）



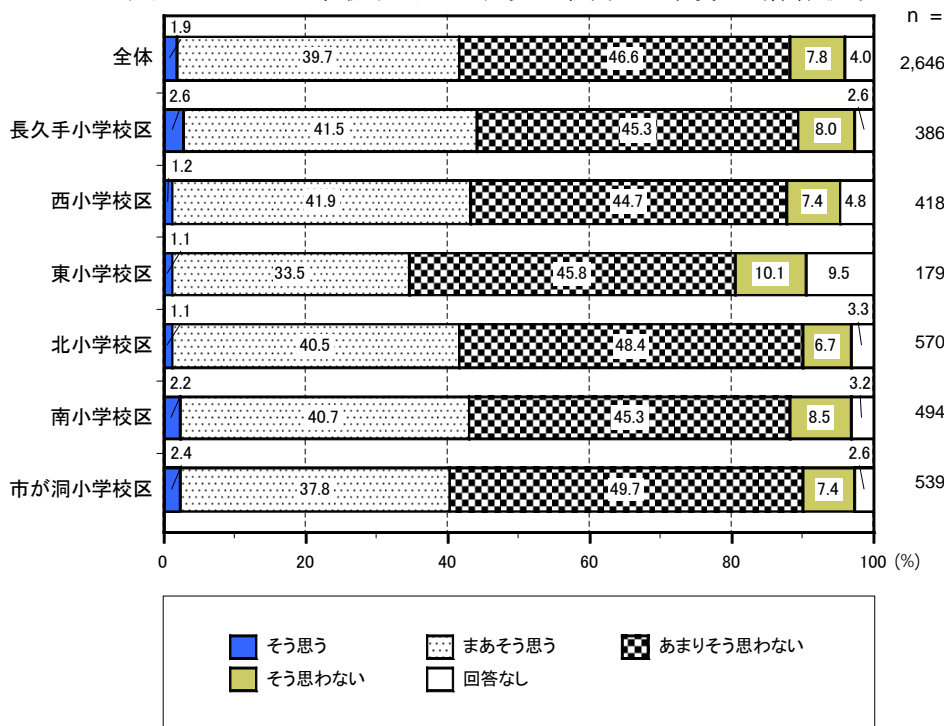
○市政に関する情報提供が十分かについて年齢別で見ると、50歳代では「あまりそう思わない」(56.8%)が全体と比較して10ポイントほど多く、「まあそう思う」(31.2%)がやや少ない。
 ○70歳以上では、「あまりそう思わない」(34.7%)が全体より10ポイント以上少なく、60歳代では、「まあそう思う」(34.0%)がやや少ない(図6-5-8)。

図6-5-8 年齢別 市政に関する十分な情報提供



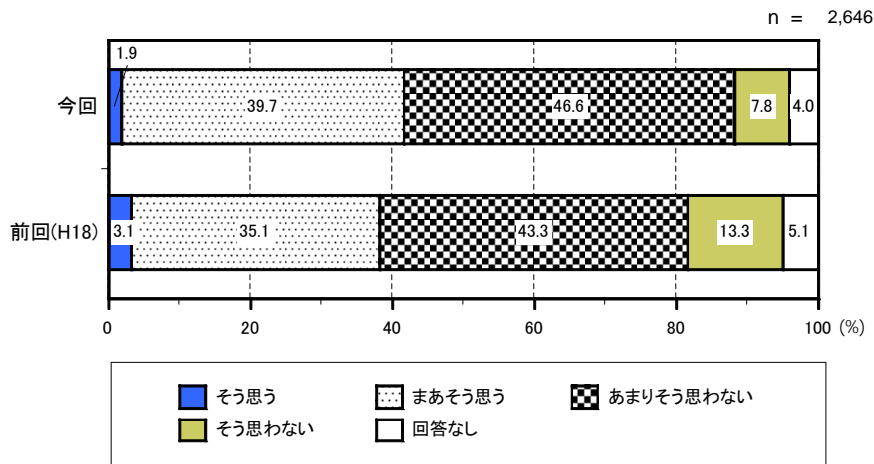
○市政に関する情報提供が十分かについて小学校区別で見ると、「まあそう思う」が東小学校区(33.5%)で全体よりやや少ない(図6-5-9)。

図6-5-9 小学校区別 市政に関する十分な情報提供



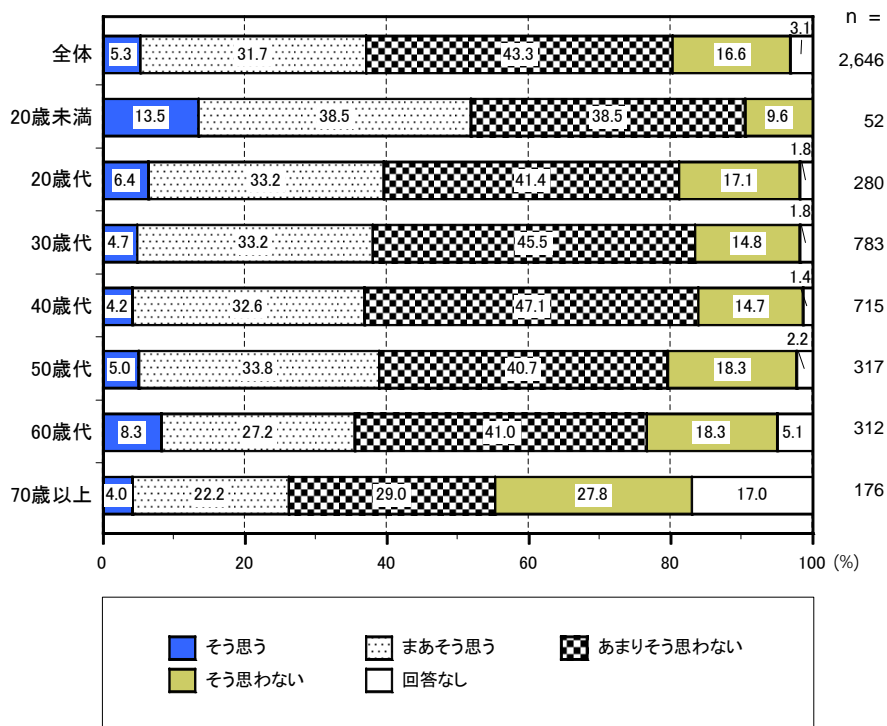
○市政に関する情報提供が十分かについて前回調査と比較すると、「そう思わない」(13.3%⇒7.8%)がやや少なくなっている(図6-5-10)。

図6-5-10 市政に関する十分な情報提供(前回比)



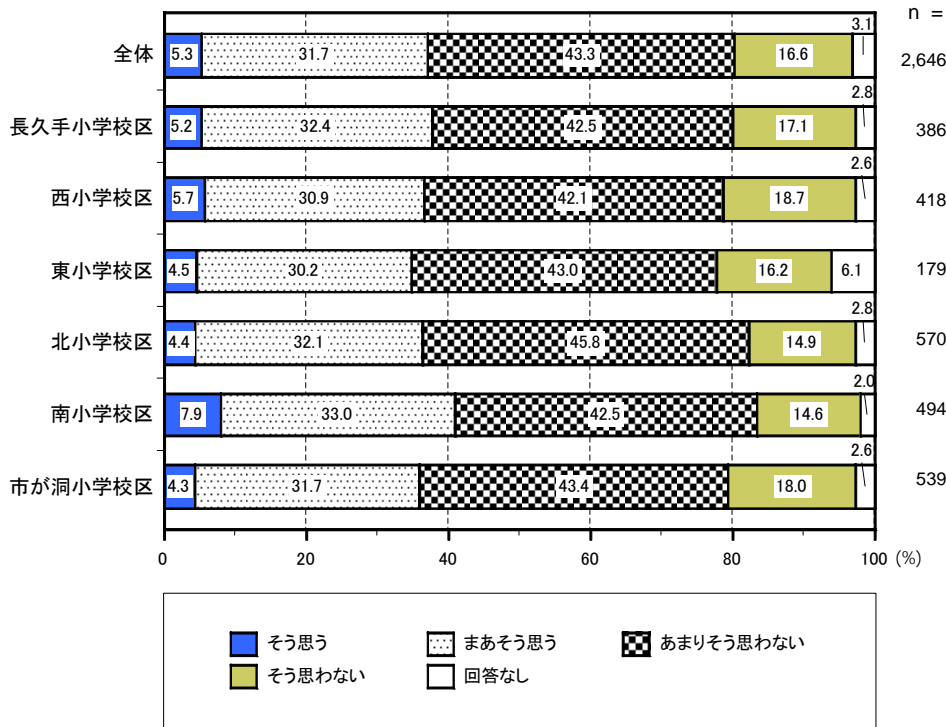
○地域活動・ボランティア・NPOへの参加について年齢別で見ると、20歳未満は「そう思う」(13.5%)並びに「まあそう思う」(38.5%)が全体と比較してやや多く、70歳以上は「そう思わない」(27.8%)が10ポイント以上多い(図6-5-11)。

図6-5-11 年齢別 地域活動・ボランティア・NPOへの参加



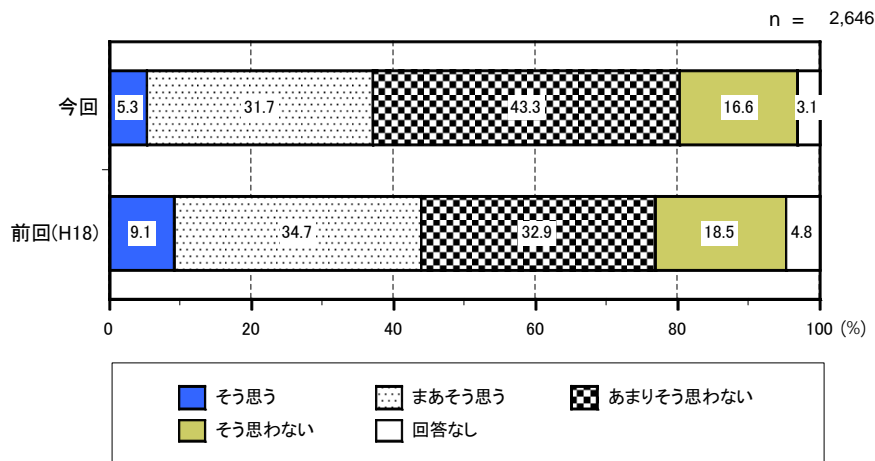
○地域活動・ボランティア・NPOへの参加について小学校区別でみると、大きな違いはみられず、全体と同様の回答となっている（図6-5-12）。

図6-5-12 小学校区別 地域活動・ボランティア・NPOへの参加



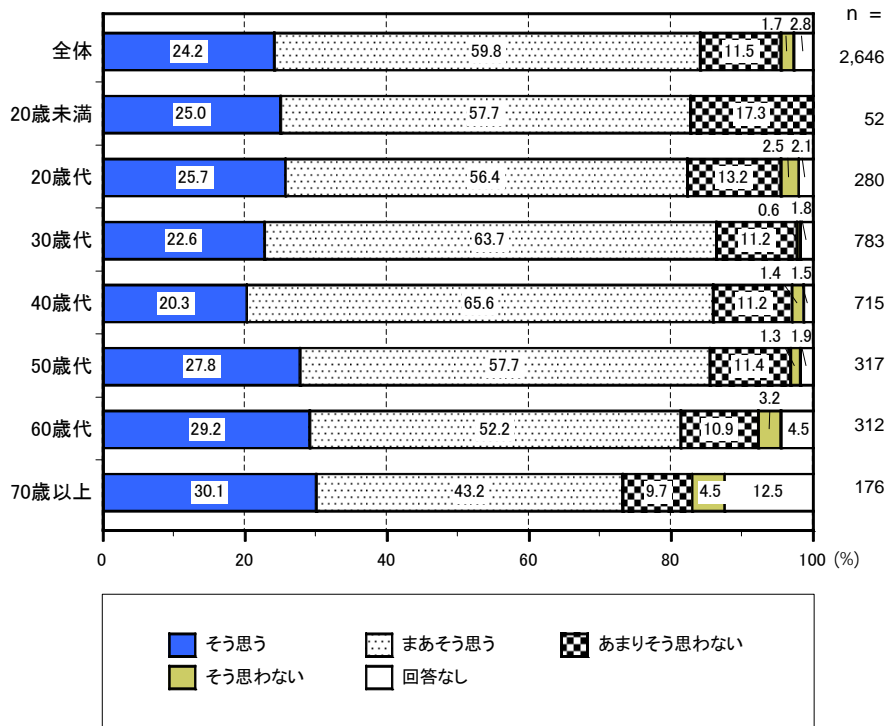
○地域活動・ボランティア・NPOへの参加について前回調査と比較すると、「あまりそう思わない」(32.9%⇒43.3%)がやや多くなっている（図6-5-13）。

図6-5-13 地域活動・ボランティア・NPOへの参加（前回比）



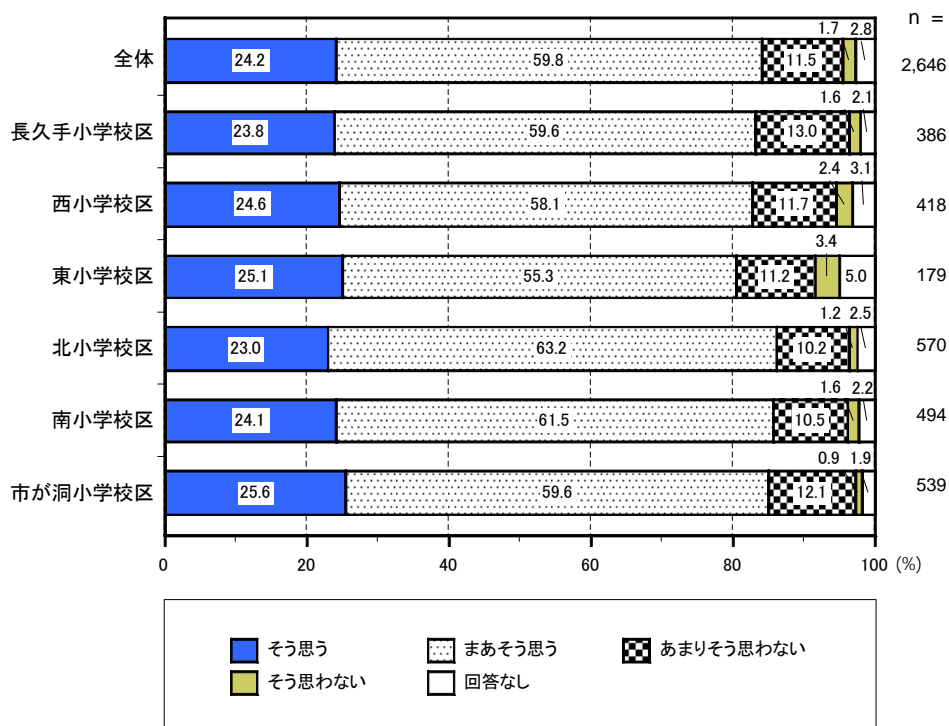
○市民参画や地域協働の必要性について年齢別でみると、「あまりそう思わない」が20歳未満(17.3%)で、「まあそう思う」が40歳代(65.6%)でそれぞれ全体と比較してやや多い。
 ○「そう思う」は70歳以上(30.1%)及び60歳代(29.2%)で全体よりやや多い(図6-5-14)。

図6-5-14 年齢別 市民参画や地域協働の必要性



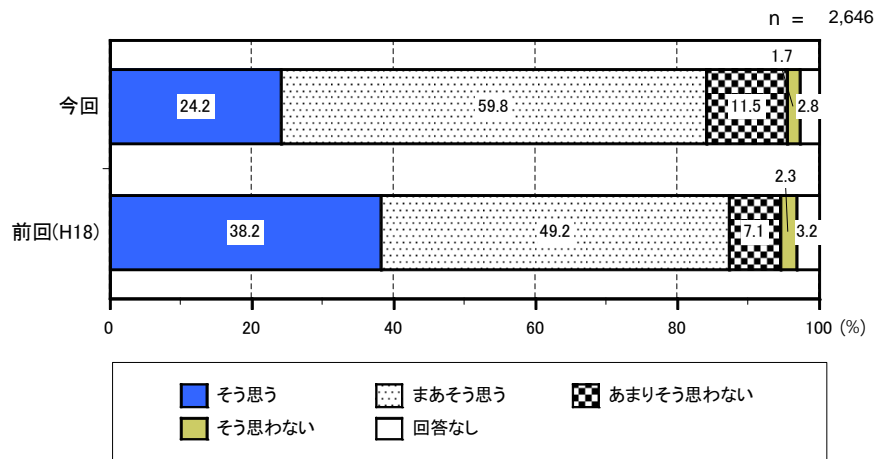
○市民参画や地域協働の必要性について、小学校区別では大きな違いはみられない(図6-5-15)。

図6-5-15 小学校区別 市民参画や地域協働の必要性



○市民参画や地域協働の必要性について前回調査と比較すると、「そう思う」(38.2%⇒24.2%)はが10ポイント以上少なくなり、「まあそう思う」(49.2%⇒59.8%)は約10ポイント多くなっている(図6-5-16)。

図6-5-16 市民参画や地域協働の必要性(前回比)



(6) まちづくりの基本的な進め方

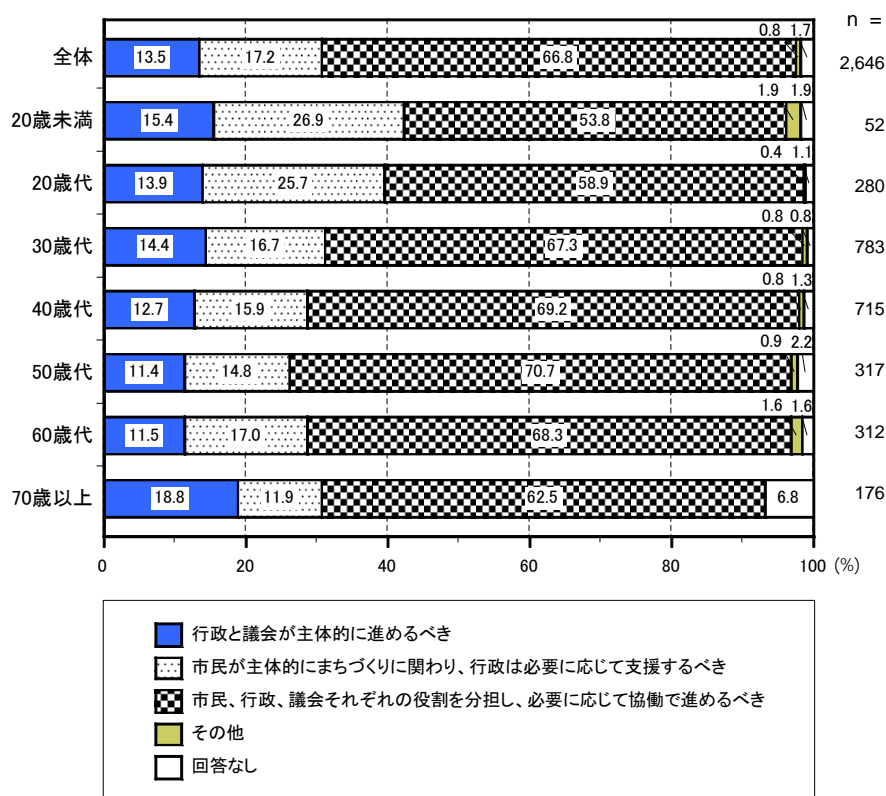
まちづくりの基本的な進め方

問 20 あなたは、まちづくりの基本的な進め方についてどのように思いますか。次の中から選んでください。【○は1つ】

今後のまちづくりの基本的な進め方について考え方をたずねたところ、「市民、行政、議会それぞれの役割を分担し、必要に応じて協働で進めるべき」が 66.8%を占め、「市民が主体的にまちづくりに関わり、行政は必要に応じて支援するべき」(17.2%)、「行政と議会が主体的に進めるべき」(13.5%)の順で続いている(図 6-6-1)。

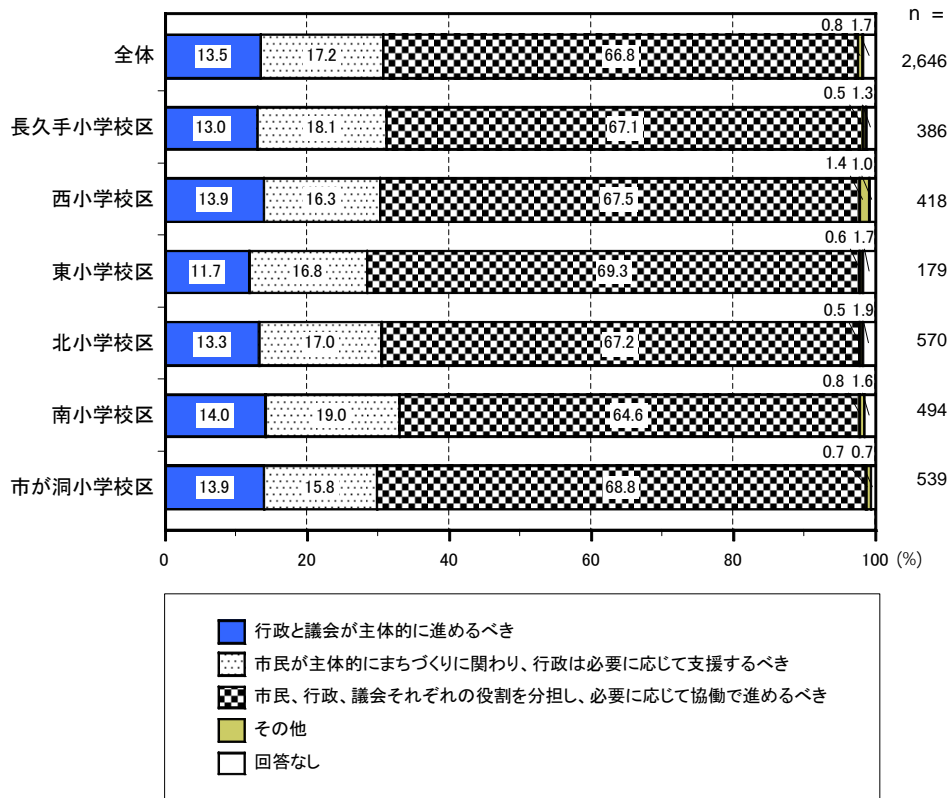
○年齢別でみると、20歳未満及び20歳代では、「市民が主体的にまちづくりに関わり、行政は必要に応じて支援するべき」(20歳未満:26.9%、20歳代:25.7%)が全体よりやや多い。一方70歳以上では、「行政と議会が主体的に進めるべき」(18.8%)がやや多い(図 6-6-1)。

図 6-6-1 年齢別 まちづくりの基本的な進め方



○小学校区別でみると、大きな違いはみられず全体と同様の傾向を示している（図 6-6-2）。

図 6-6-2 小学校区別 まちづくりの基本的な進め方



(7) まちづくりの基本的なルールづくりの意義

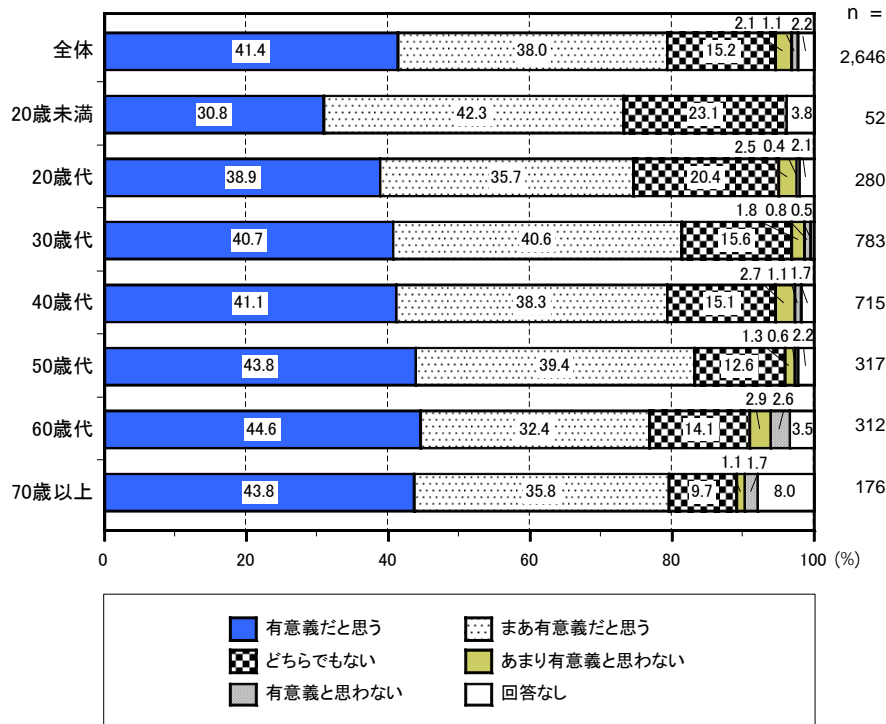
まちづくりの基本的ルールづくりの意義

問 21 市では現在、市民・行政・議会それぞれの役割や、市政への市民参画の方法（例えば住民投票制度など）などを定めた、まちづくりの基本的なルールの制定について検討しています。あなたはどのように思いますか。次の中から選んでください。
【〇は1つ】

まちづくりの基本的なルールの制定について、「有意義だと思う」が41.4%で最も多く、続く「まあ有意義だと思う」(38.0%)と合わせると、全体の8割近くを占める(図6-7-1)。

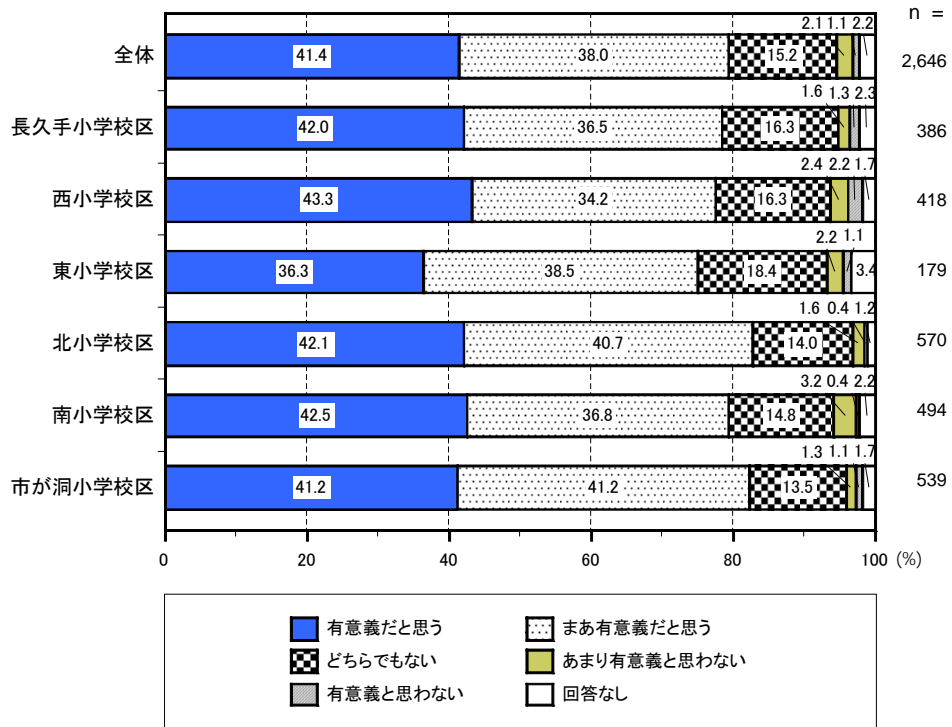
○年齢別で見ると、「どちらでもない」が20歳代(20.4%)及び20歳未満(23.1%)で全体よりやや多く、70歳以上(9.7%)でやや少ない(図6-7-1)。

図6-7-1 年齢別 まちづくりの基本的ルールづくりの意義



○小学校区別でみると、「有意義だと思う」が東小学校区（36.3%）で全体と比べてやや少ないほかは、大きな特徴はみられない（図6-7-2）。

図6-7-2 小学校区別 まちづくりの基本的ルールづくりの意義



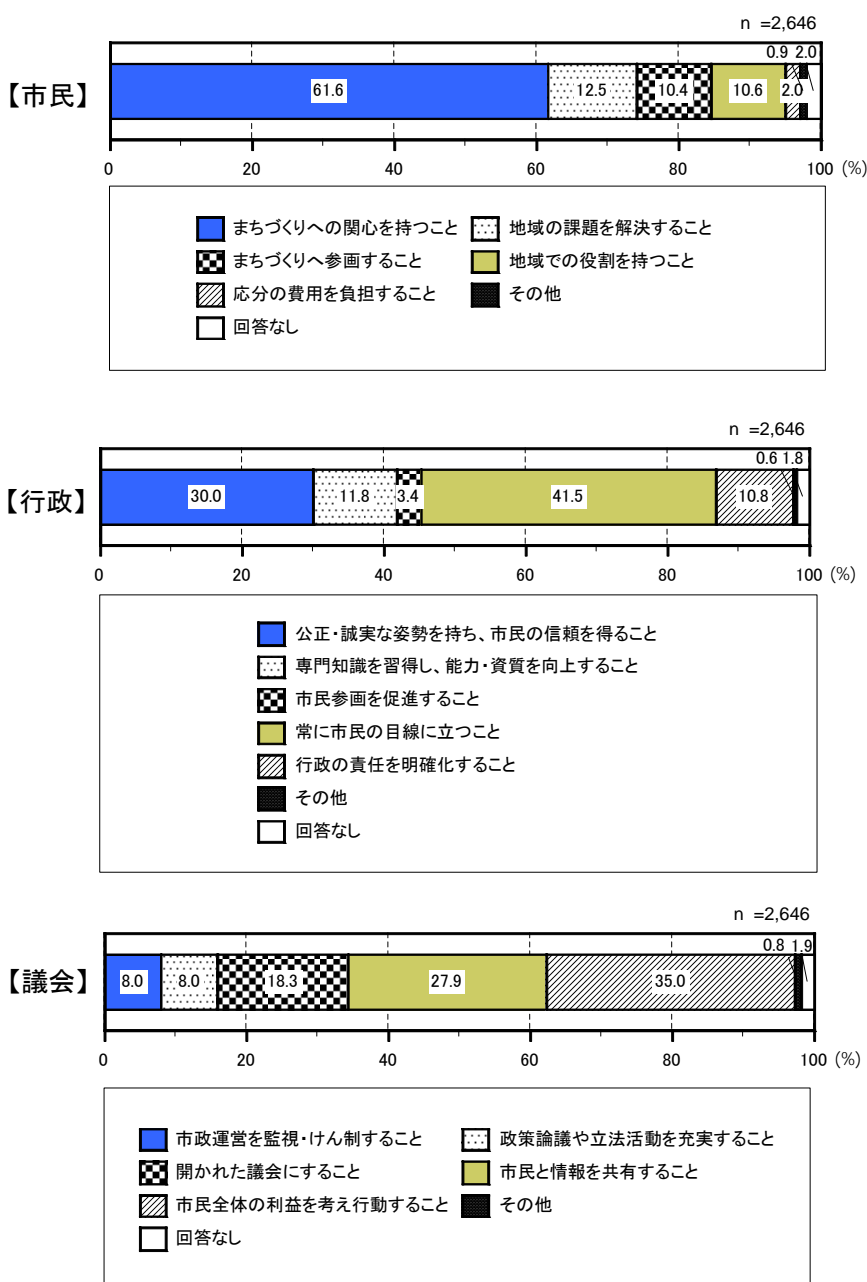
(8) 市民、行政、議会それぞれの役割や責任

役割や責任で重要なもの

問 22 あなたは、市民、行政、議会それぞれの役割や責任についてどのように考えますか。次の中から最も重要と考えるものを1つずつ選んでください。

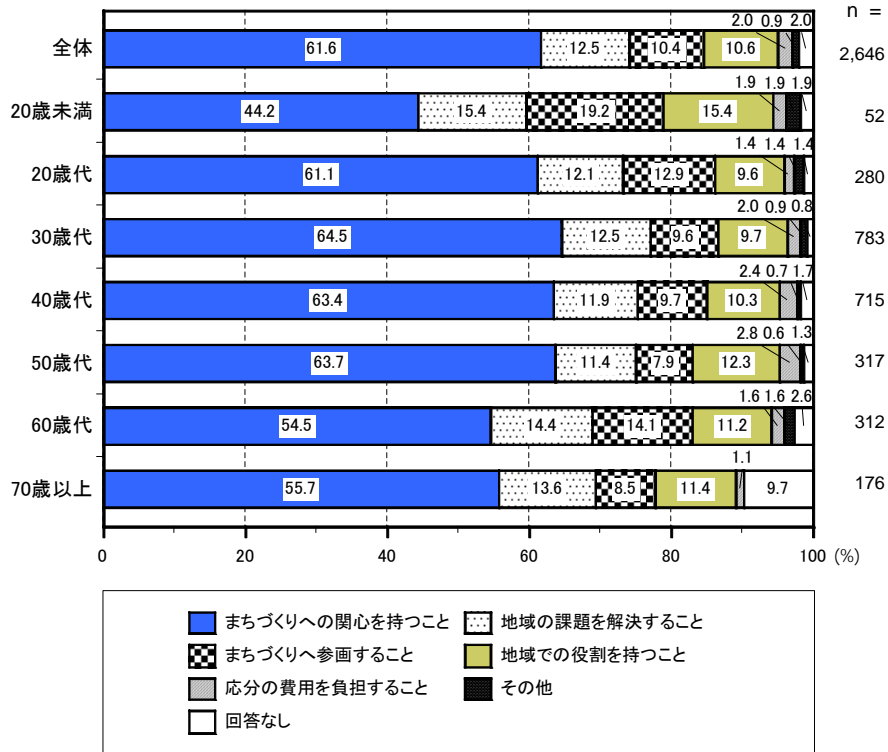
それぞれの役割や責任について重要なことをたずねたところ、市民は「まちづくりへの関心を持つこと」(61.6%)が、行政は「常に市民の目線に立つこと」(41.5%)と「公正・誠実な姿勢を持ち、市民の信頼を得ること」(30.0%)が、議会は「市民全体の利益を考え行動すること」(35.0%)と「市民と情報を共有すること」(27.9%)がそれぞれ多い(図6-8-1。)

図 6-8-1 それぞれの役割や責任で重要なもの



- 市民の役割や責任について年齢別で見ると、20歳未満では、「まちづくりへの関心を持つこと」(44.2%)が全体に比べて15ポイント以上少なく、「まちづくりへ参画すること」(19.2%)がやや多い。
- また、60歳代や70歳以上でも「まちづくりへの関心を持つこと」(60歳代：54.5%、70歳以上：55.7%)がやや少ない(図6-8-2)。

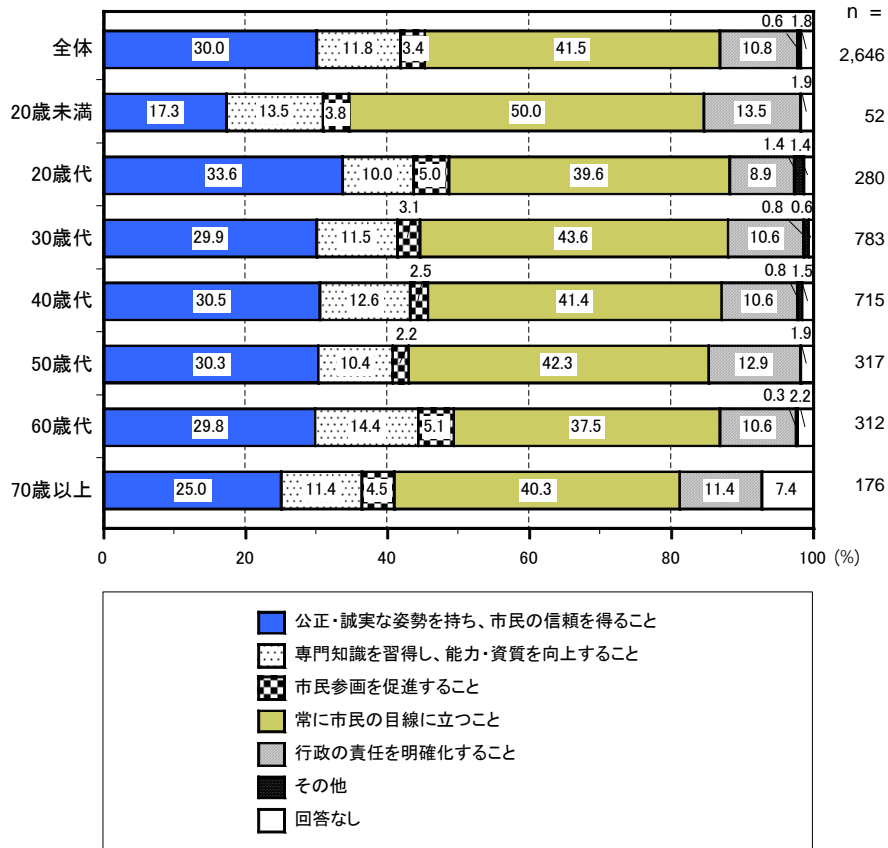
図6-8-2 (1) 市民 年齢別 役割や責任で重要なもの



○行政の役割や責任について年齢別でみると、20歳未満では、「常に市民の目線に立つこと」(50.0%)で全体よりやや多い半面、「公正・誠実な姿勢を持ち、市民の信頼を得ること」(17.3%)は10ポイント以上少ない。

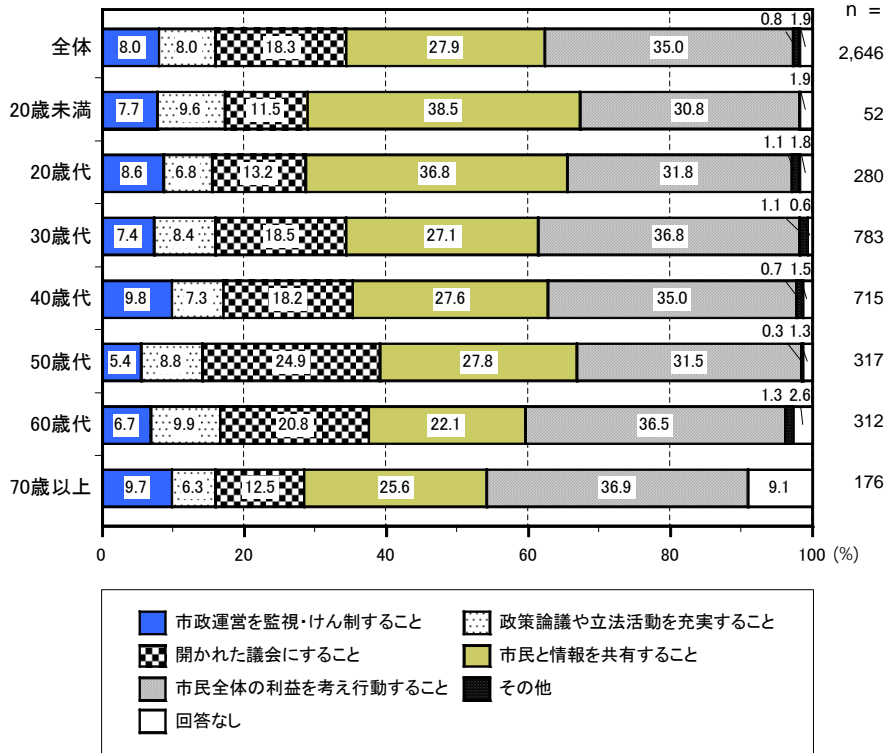
○また、70歳以上でも「公正・誠実な姿勢を持ち、市民の信頼を得ること」(25.0%)がやや少ない(図6-8-3)。

図6-8-3 (2) 行政 年齢別 役割や責任で重要なもの



- 議会の役割や責任について年齢別で見ると、「市民と情報を共有すること」では、20歳未満（38.5%）で全体より10ポイント以上多く、20歳代（36.8%）でもやや多い半面、60歳代（22.1%）ではやや少ない。
- 「開かれた議会にすること」では、50歳代（24.9%）は全体と比べてやや多いものの、20歳未満（11.5%）、70歳以上（12.5%）、20歳代（13.2%）ではやや少ない（図6-8-4）。

図6-8-4 (3) 議会 年齢別 役割や責任で重要なもの



7. 第5次総合計画について

(1) 市政全般の満足度

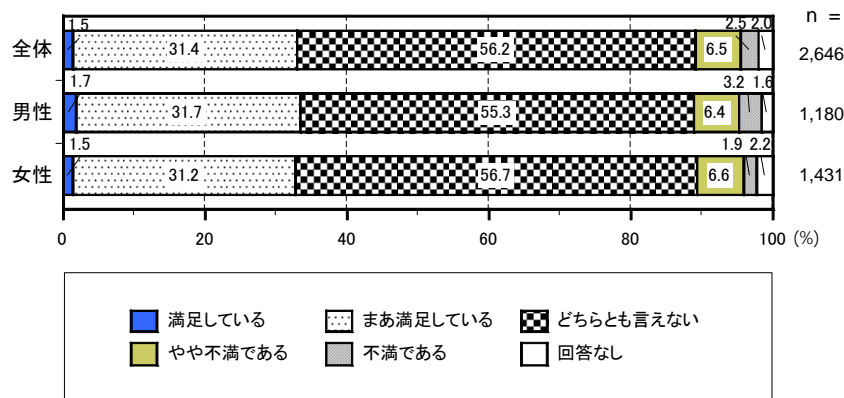
市政全般の満足度

問 23 あなたは、市政全般についてどの程度満足していますか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

市政全般の満足度については、「どちらとも言えない」が56.2%で最も多く、「満足している」(1.5%)、「まあ満足している」(31.4%)を合わせると約3分の1となっている(図7-1-1)。

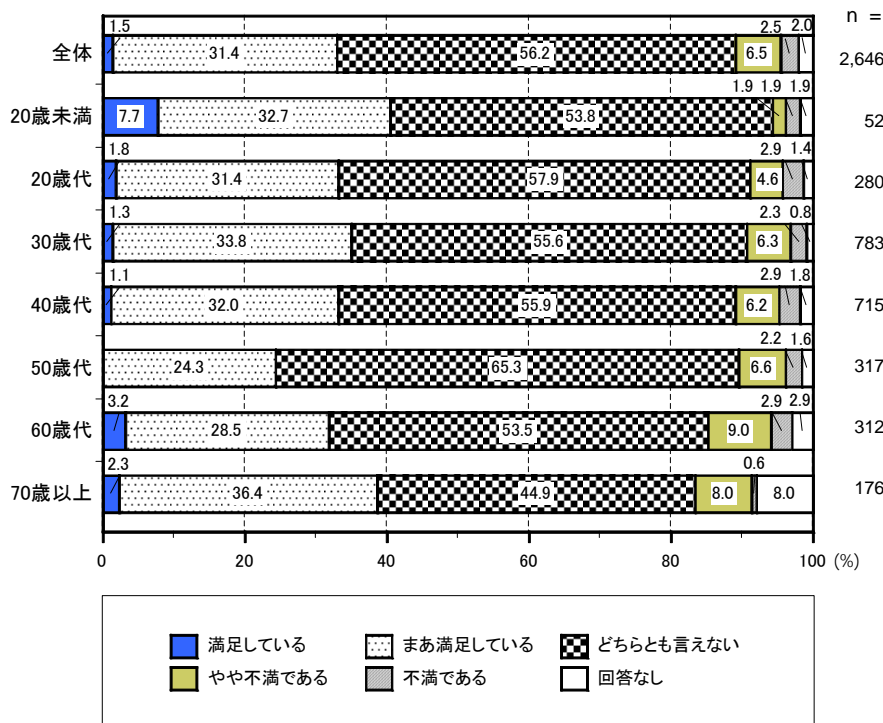
○性別でみると、ほとんど違いはみられない(図7-1-1)。

図 7-1-1 性別 市政全般の満足度



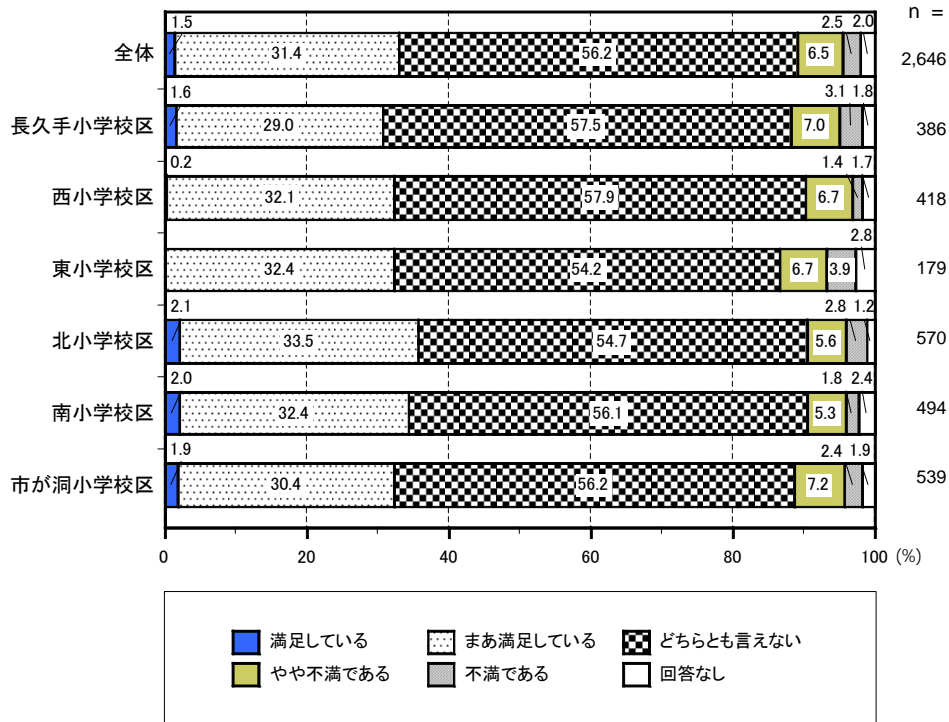
○年齢別でみると、「どちらとも言えない」が50歳代(65.3%)で全体と比べて10ポイント近く多い半面、70歳以上(44.9%)では10ポイント以上少ない(図7-1-2)。

図 7-1-2 年齢別 市政全般の満足度



○小学校区別でみると、大きな違いはみられない（図 7-1-3）。

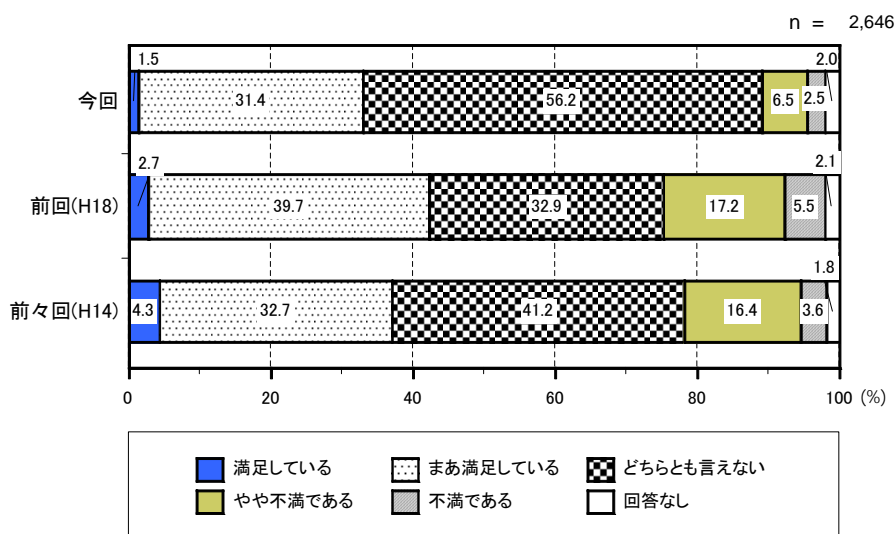
図 7-1-3 小学校区別 市政全般の満足度



○前回調査及び前々回調査と比較すると、「まあ満足している」(32.7%⇒39.7%⇒31.4%)がやや少なくなっている一方、「どちらとも言えない」(41.2%⇒32.9%⇒56.2%)はかなり多くなっている。

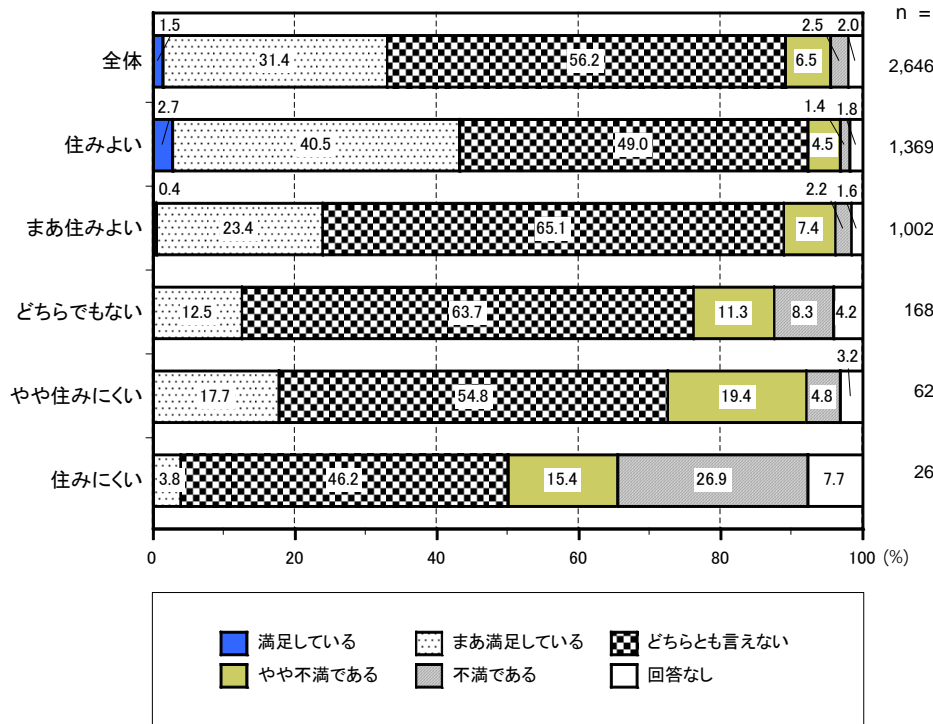
○また、「やや不満である」(16.4%⇒17.2%⇒6.5%)が10ポイント近く少なくなっている（図 7-1-4）。

図 7-1-4 市政全般の満足度（前回・前々回比）



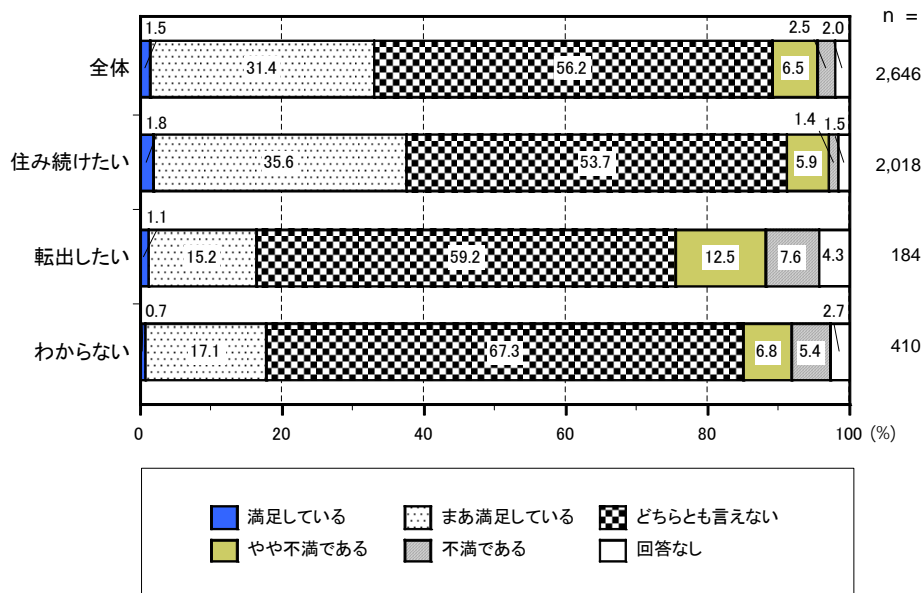
- 住み心地別【問2】でみると、「住みよい」とした回答者は「まあ満足している」(40.5%)が全体よりやや多い一方、「まあ住みよい」あるいは「どちらでもない」とした回答者は「どちらとも言えない」(「まあ住みよい」:65.1%、「どちらでもない」:63.7%)がやや多い。
- 「住みにくい」あるいは「やや住みにくい」とした回答者は「まあ満足している」(「住みにくい」:3.8%、「やや住みにくい」:17.7%)が10ポイント以上少ない半面、「やや不満である」(「住みにくい」:15.4%、「やや住みにくい」:19.4%)が10ポイント前後多く、「住みにくい」とした回答者は「不満である」(26.9%)がかなり多い(図7-1-5)。

図7-1-5 住み心地別 市政全般の満足度



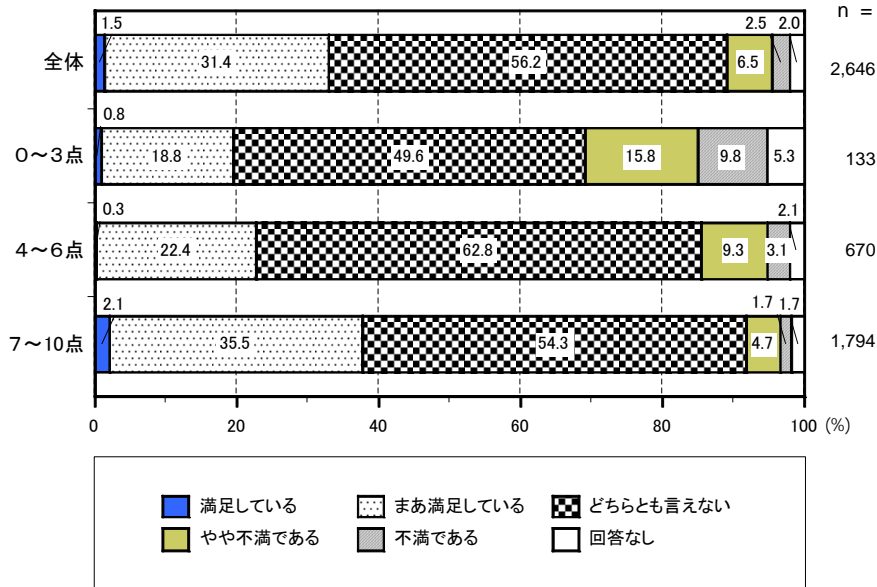
- 定住意向別【問4】でみると、「転出したい」あるいは「わからない」とした回答者は「まあ満足している」(「転出したい」:15.2%、「わからない」:17.1%)が全体と比べて15ポイント前後少ない。また、「転出したい」回答者では「やや不満である」(12.5%)がやや多い(図7-1-6)。

図7-1-6 定住意向別 市政全般の満足度



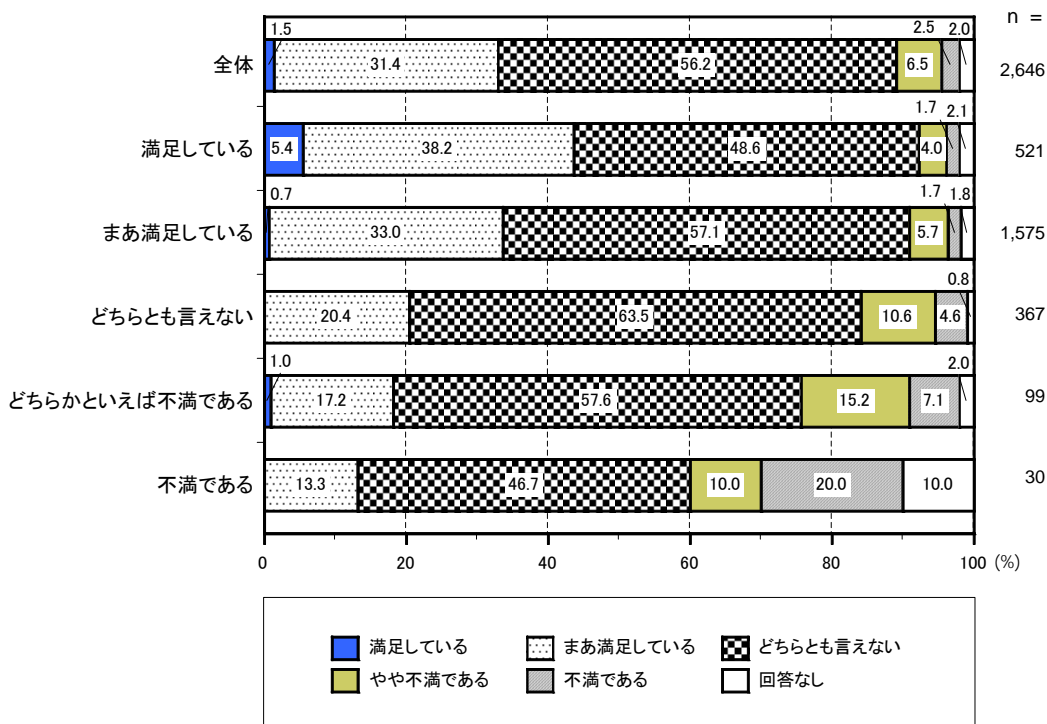
- 幸福度別【問5】でみると、‘0～3点’とした回答者は「まあ満足している」(18.8%)が全体と比べて10ポイント以上少なく、「どちらとも言えない」(49.6%)でやや少ない半面、「やや不満である」(15.8%)及び「不満である」(9.8%)でやや多い。
- ‘4～6点’とした回答者は「まあ満足している」(22.4%)がやや少なく、「どちらとも言えない」(62.8%)でやや多い(図7-1-7)。

図7-1-7 幸福度別 市政全般の満足度



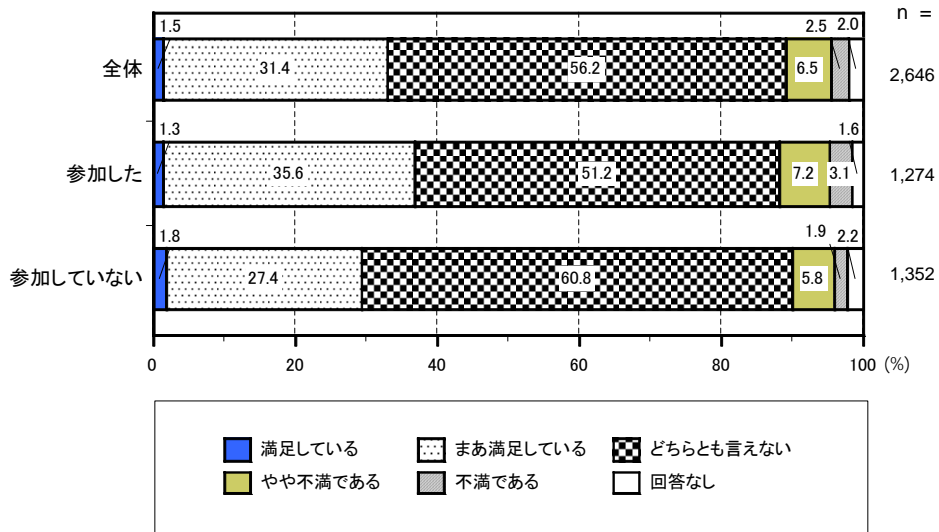
- 生活全般の満足度別【問9(1)】でみると、‘満足している’回答者は「まあ満足している」(38.2%)が全体よりやや多い。
- ‘どちらかといえば不満である’とした回答者は「やや不満である」(15.2%)が、‘不満である’とした回答者は「不満である」(20.0%)がそれぞれ10ポイント以上多い(図7-1-8)。

図7-1-8 生活全般の満足度別 市政全般の満足度



○市民活動の参加有無別【問 15】で見ると、‘参加した’回答者は「どちらとも言えない」(51.2%)
 でやや少ないほかは、大きな違いはみられない(図 7-1-9)。

図 7-1-9 市民活動の参加有無別 市政全般の満足度



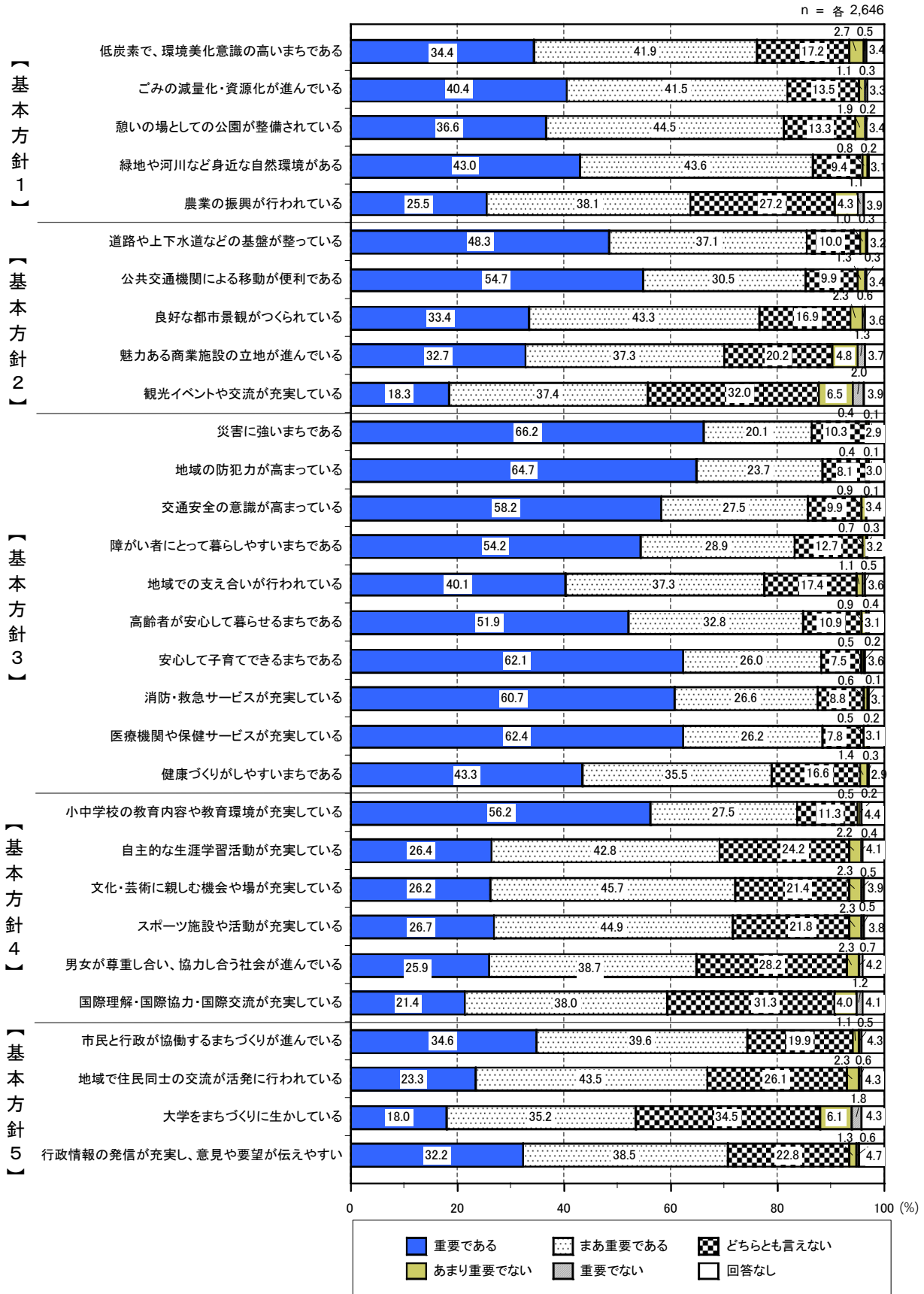
(2) 施策ごとの重要度

基本施策の重要度・推進度

問 24 長久手市では、平成21年3月に「第5次長久手市総合計画」を策定し、「人が輝き 緑があふれる 交流都市 長久手」を将来目標に、5つの基本方針に基づきまちづくりに取り組んでいます。そこで、以下の30項目について、どの程度重要だと思いますか。また、どの程度進んでいると思いますか。次の(1)～(30)の項目について、重要度と推進度を1～5の中から1つずつ選んでください。

基本施策の重要度をたずねたところ、「重要である」が多かった項目は、「災害に強いまちである(66.2%)」、「地域の防犯力が高まっている(64.7%)」、「医療機関や保健サービスが充実している(62.4%)」、「安心して子育てできるまちである(62.1%)」、「消防・救急サービスが充実している(60.7%)」の順になっている。

図 7-2 基本施策の重要度



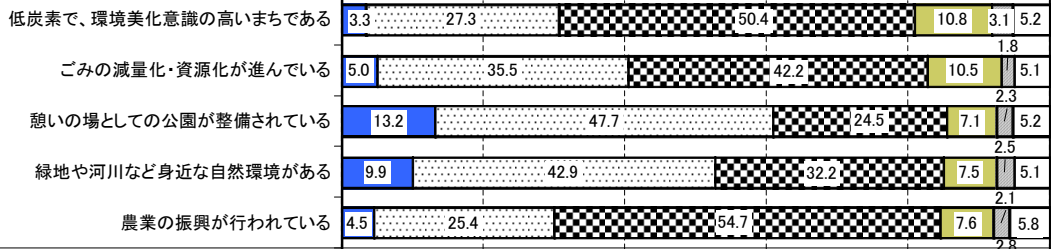
(3) 施策ごとの推進度

基本施策の推進度をたずねたところ、「進んでいる」が多かった項目は、順に、〔憩いの場としての公園が整備されている（13.2%）〕、〔道路や上下水道などの基盤が整っている（13.0%）〕、〔緑地や河川など身近な自然環境がある（9.9%）〕、〔良好な都市景観がつけられている（7.2%）〕、〔文化・芸術に親しむ機会や場が充実している（6.3%）〕となっている。また、「進んでいる」と「まあ進んでいる」を合わせたものを多い順に並べると〔道路や上下水道などの基盤が整っている（計 61.0%）〕、〔憩いの場としての公園が整備されている（計 60.9%）〕、〔緑地や河川など身近な自然環境がある（計 52.8%）〕となっている（図 7-3-1）。

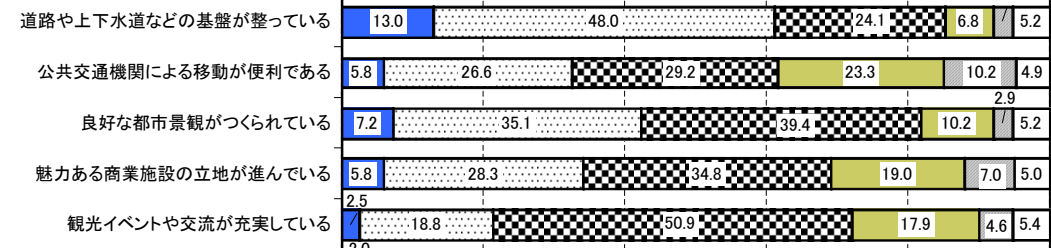
図 7-3-1 基本施策の推進度

n = 各 2,646

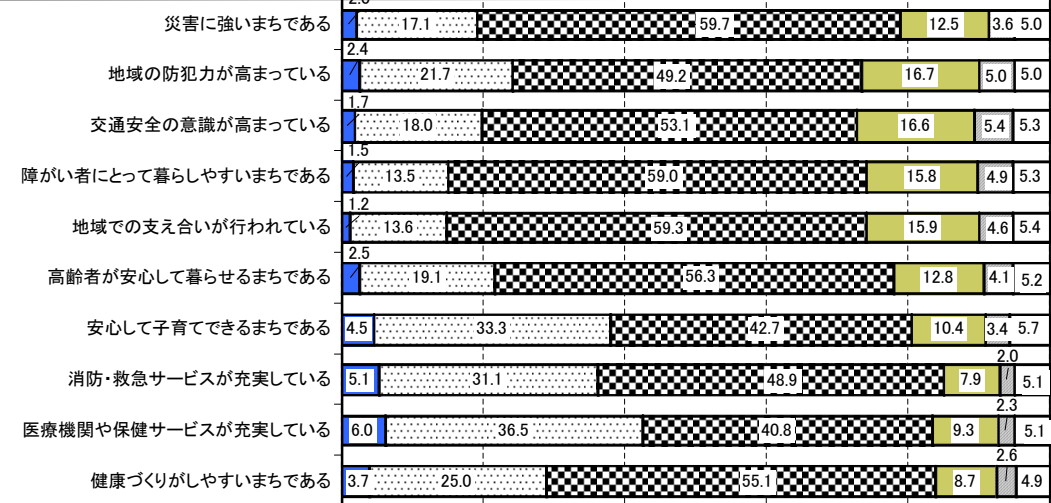
【基本方針 1】



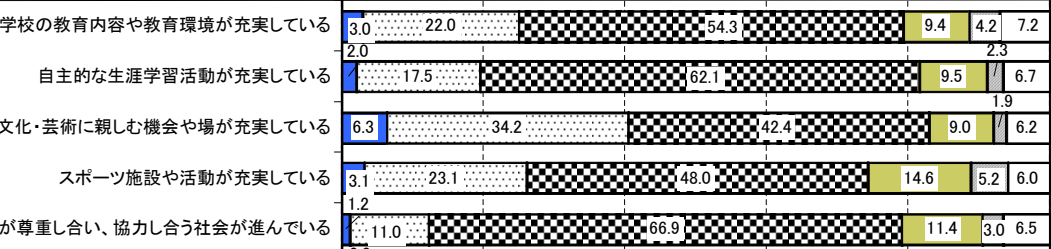
【基本方針 2】



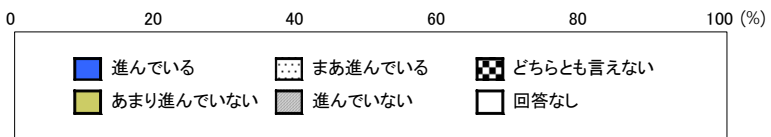
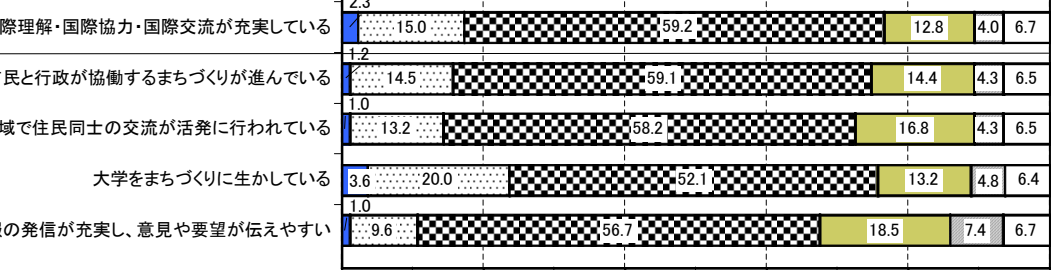
【基本方針 3】



【基本方針 4】

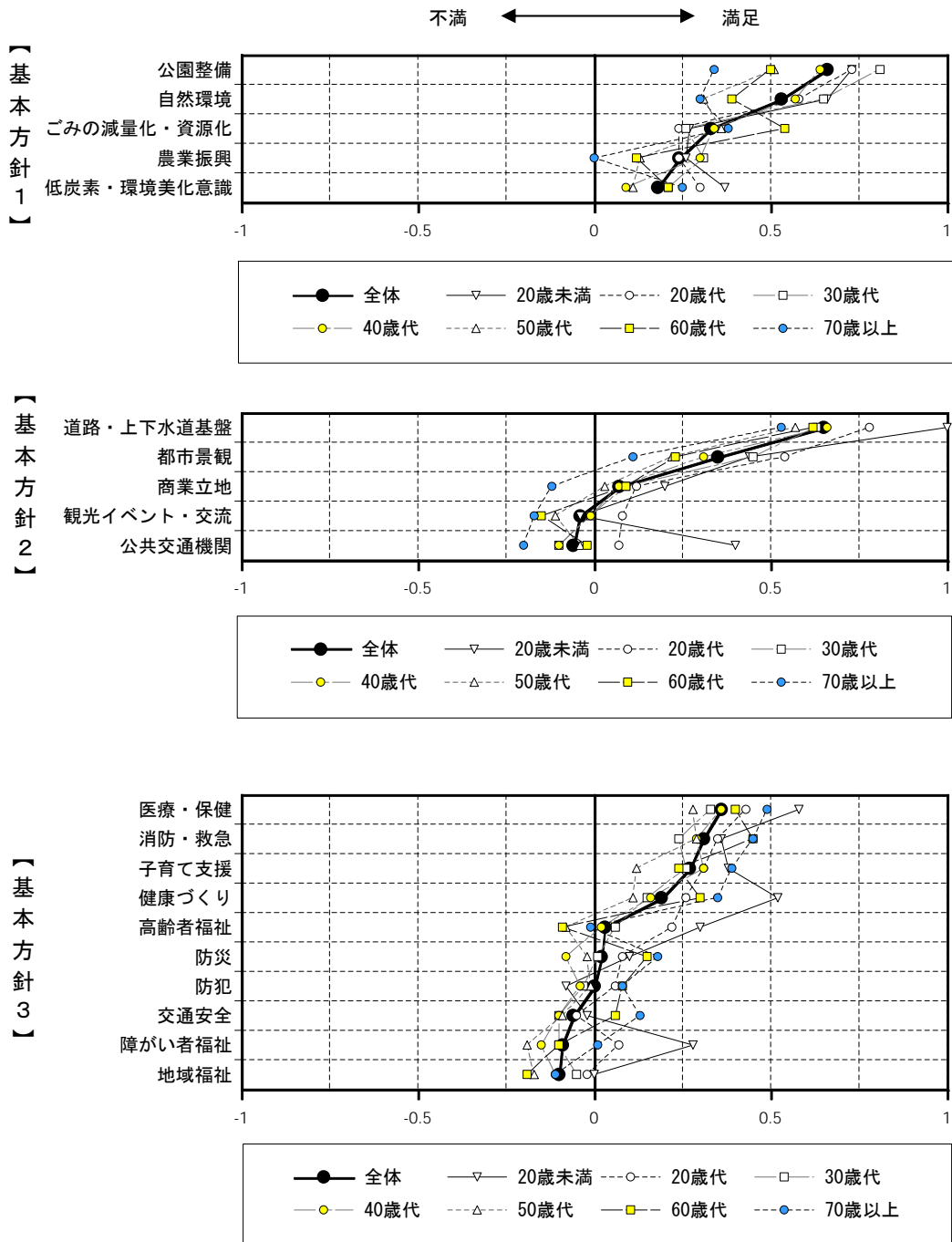


【基本方針 5】

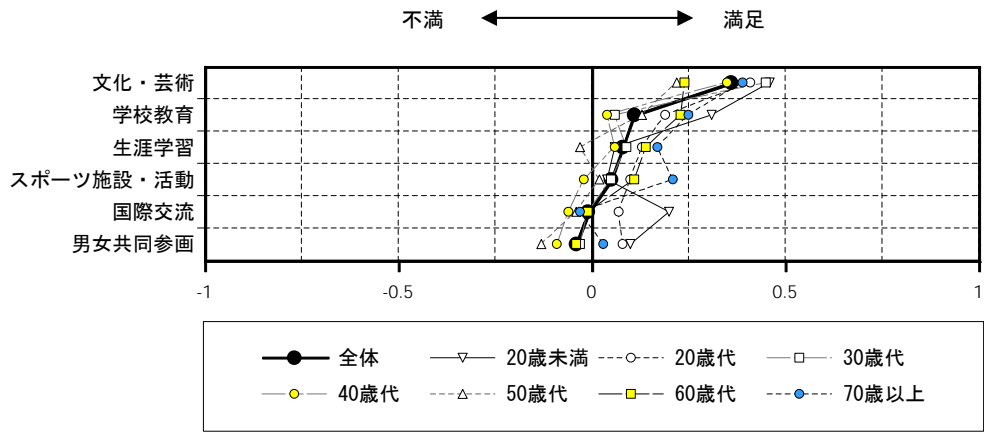


○年齢別の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目で世代によって評価が分かれていることがわかる（図 7-3-2）。

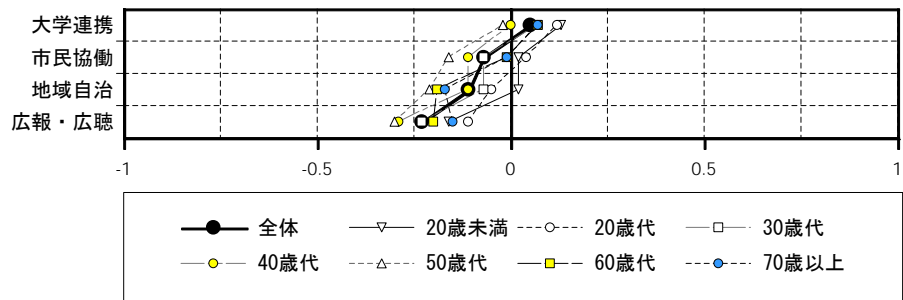
図 7-3-2 基本施策の推進度（年齢別評価）



【基本方針4】

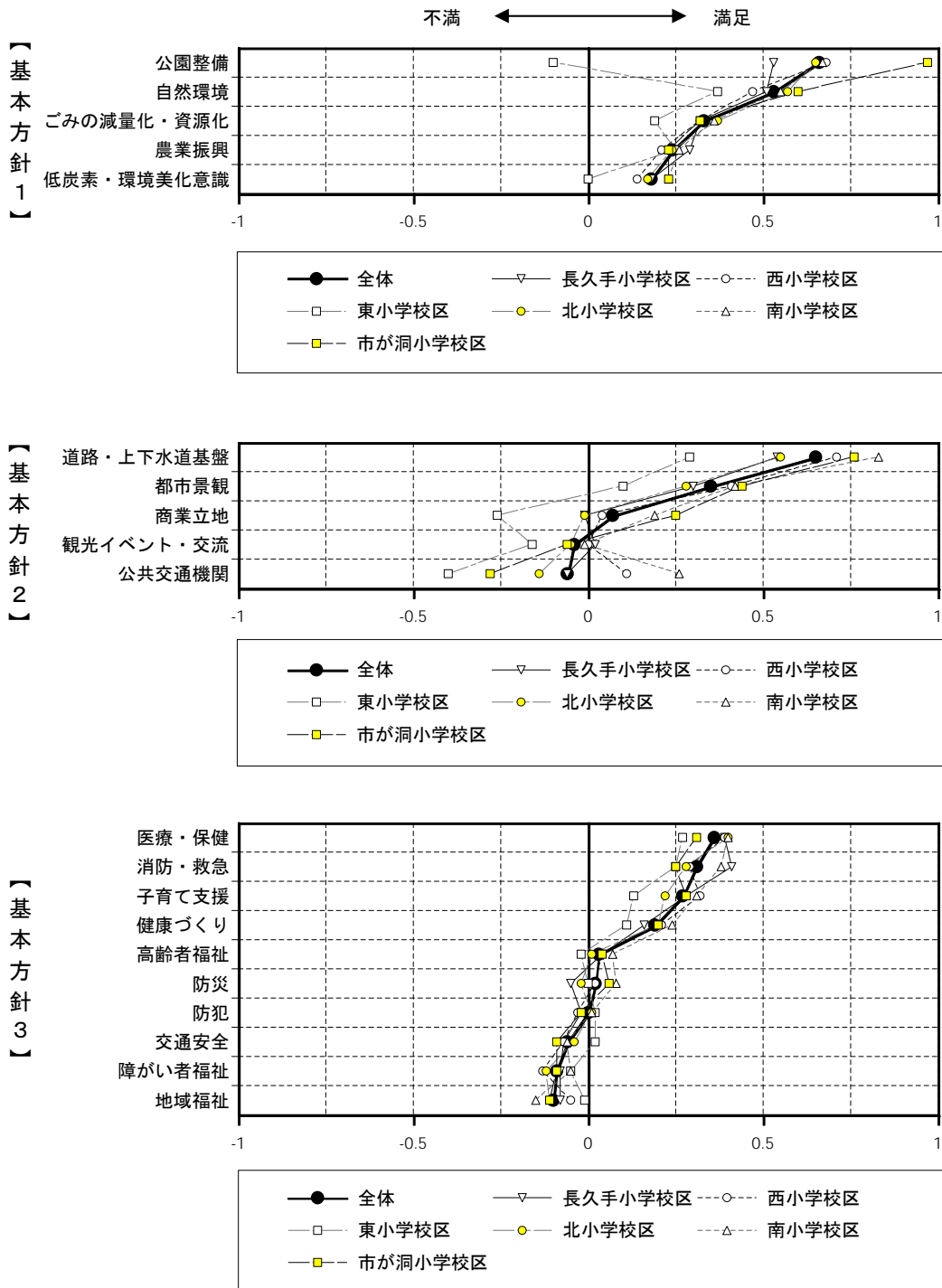


【基本方針5】

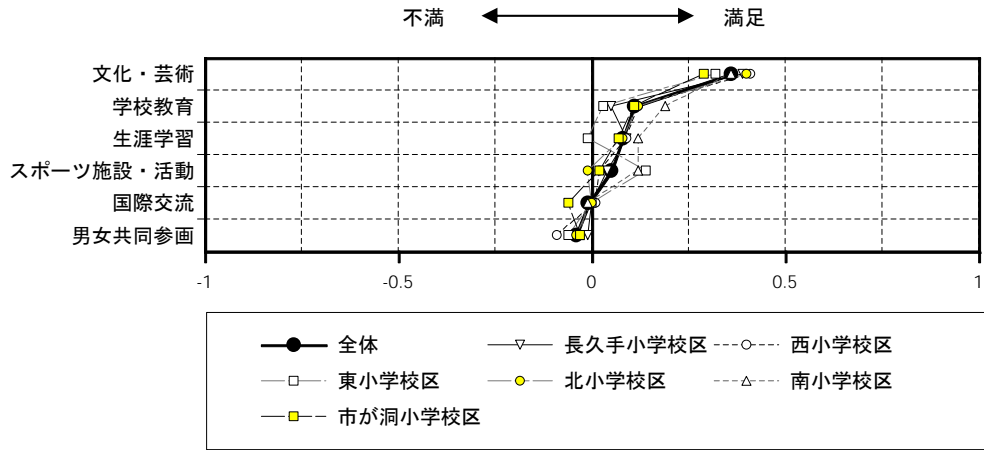


○小学校区別の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目が居住小学校区によって評価が分かれていることがわかる（図7-3-3）。

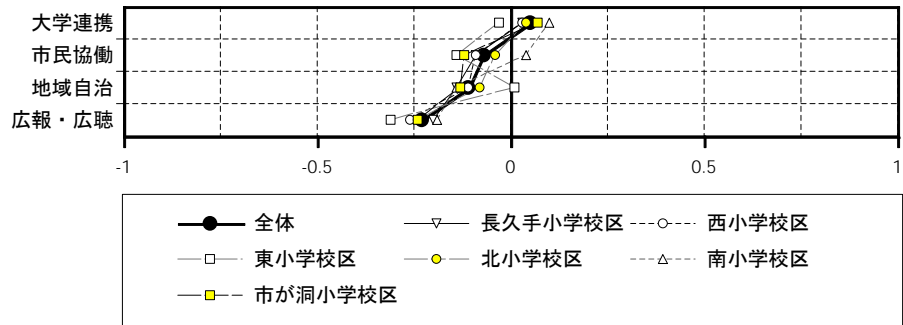
図7-3-3 基本施策の推進度（小学校区別評価）



【基本方針4】

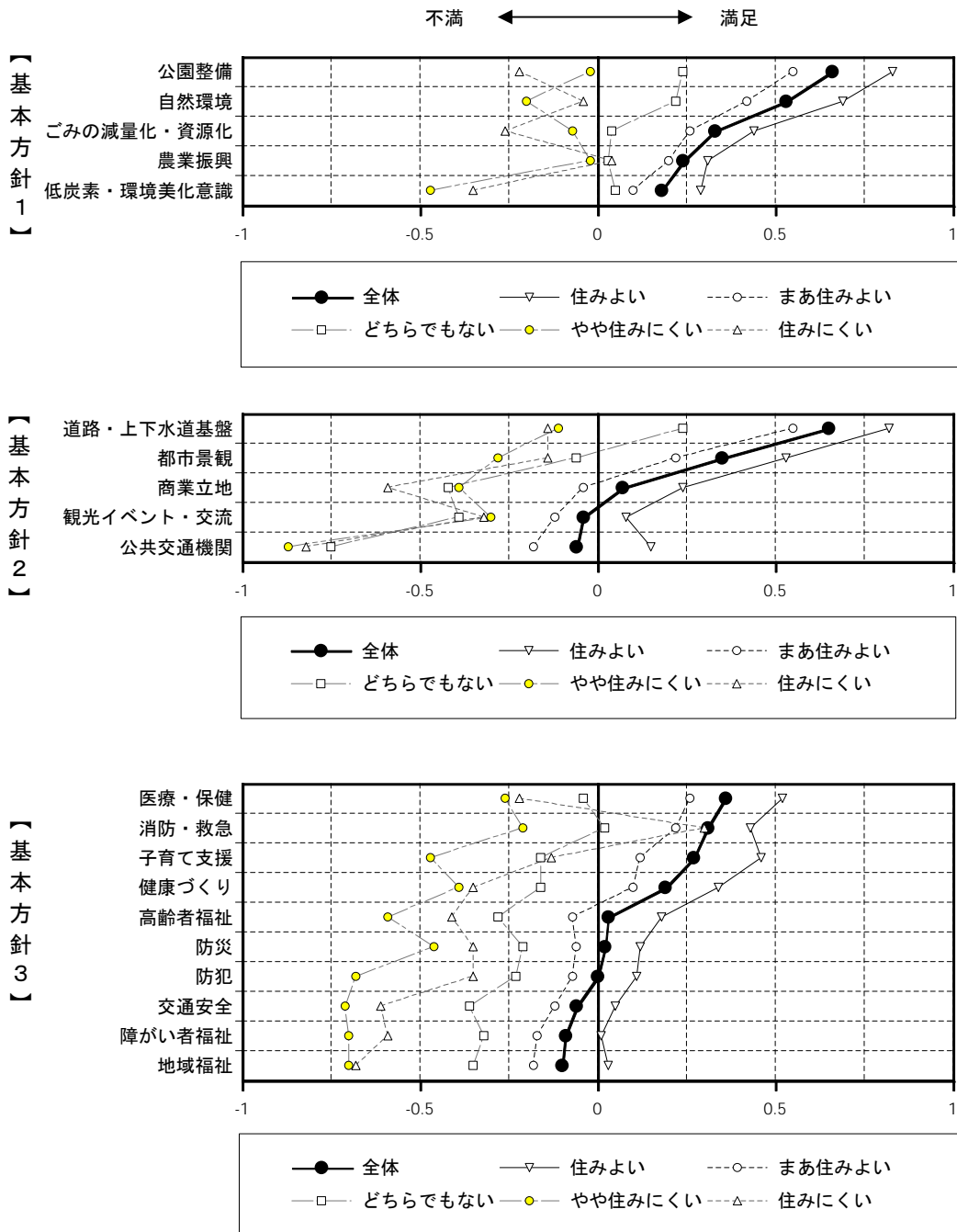


【基本方針5】

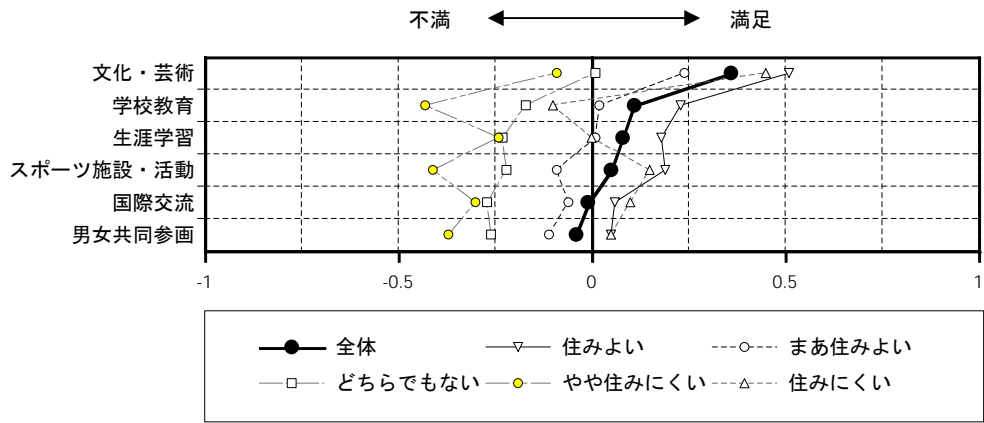


○住み心地別【問2】の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目が住み心地の回答によって評価が分かれていることがわかる（図7-3-4）。

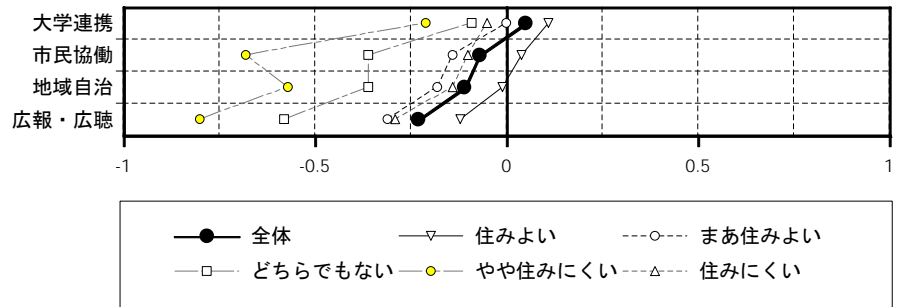
図7-3-4 基本施策の推進度（住み心地別評価）



【基本方針4】

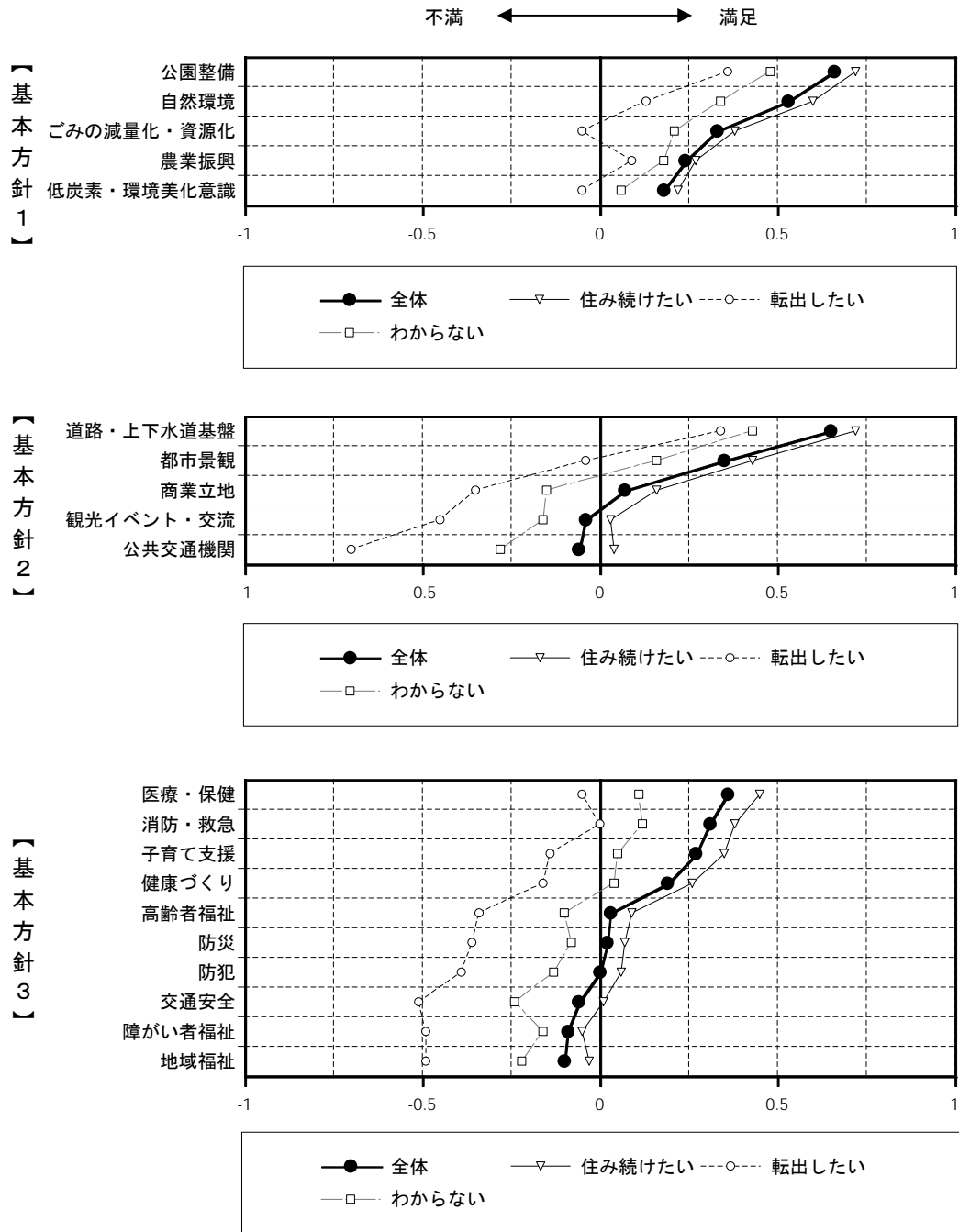


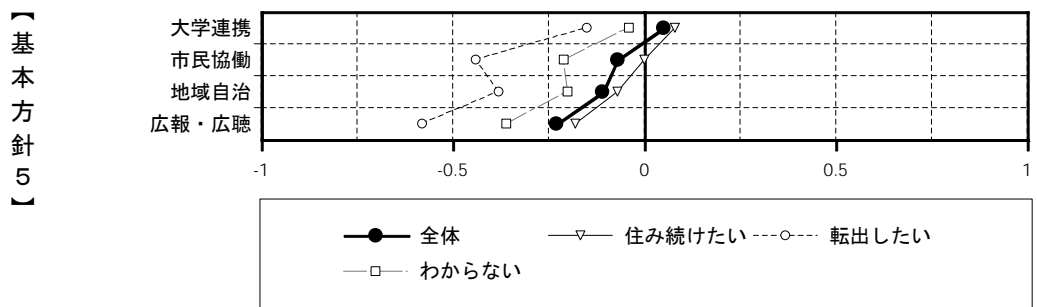
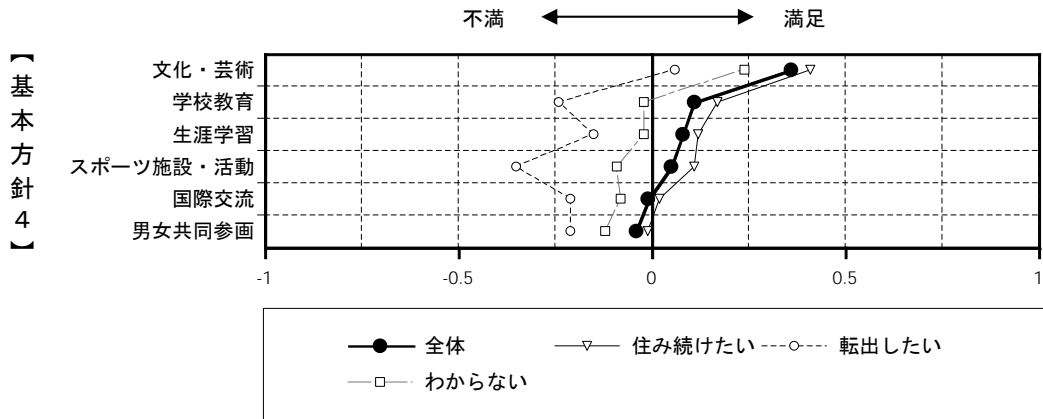
【基本方針5】



○定住意向別【問4】の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目が定住意向によって評価が分かれていることがわかる（図7-3-5）。

図7-3-5 基本施策の推進度（定住意向別評価）





○前回調査と比較すると、前回と同様に公園や道路などの整備や保健医療の施策が評価されているほか、自然環境や文化・芸術の振興について、前回より評価が高まっている（図7-3-6）。

図7-3-6 基本施策の推進度（前回比）

順位	今回調査：推進度の高い5項目	前回調査：推進度の高い5項目
1	憩いの場としての公園が整備されている	道路・上下水道・公園などが整備されている
2	道路や上下水道などの基盤が整っている	史跡・文化財・棒の手や祭りなどの民俗伝統文化が保全・活用されている
3	緑地や河川など身近な自然環境がある	健康診断など保健予防サービスや健康増進対策が充実している
4	医療機関や保健サービスが充実している	消防・救急体制が充実している
5	文化・芸術に親しむ機会や場が充実している	ごみの減量化、資源化が行われている

(4) 施策ごとの重要度・推進度の関係

施策の重要度と推進度について、それぞれ「重要である」「進んでいる」を+2点、「まあ重要である」「まあ進んでいる」を+1点、「どちらとも言えない」を0点、「あまり重要でない」「あまり進んでいない」を-1点、「重要でない」「進んでいない」を-2点として集計し、推進度を横軸に、重要度を縦軸にそれぞれ設定して平面座標上に図示したものが図7-4-1である。

施策の重要度と推進度それぞれの平均値で分割し、4つの領域に区分けした場合、重要度が高く推進度が低い領域は、最優先で改善が求められる項目であるといえる。

図7-4-1 「施策の満足度と重要度」の模式図

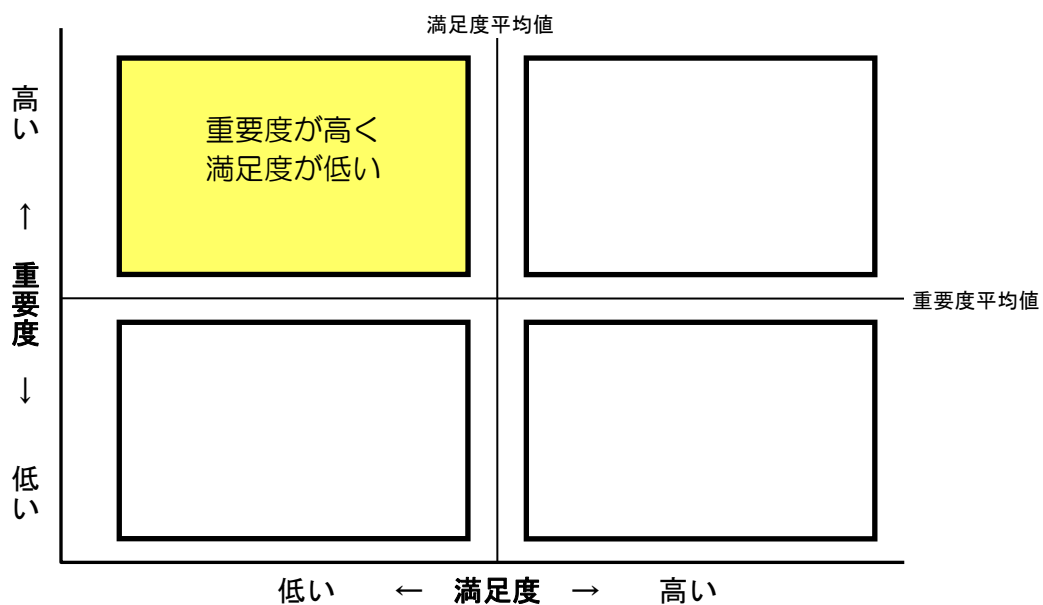


図 7-4-5 基本施策の重要度・推進度 (30 歳代)

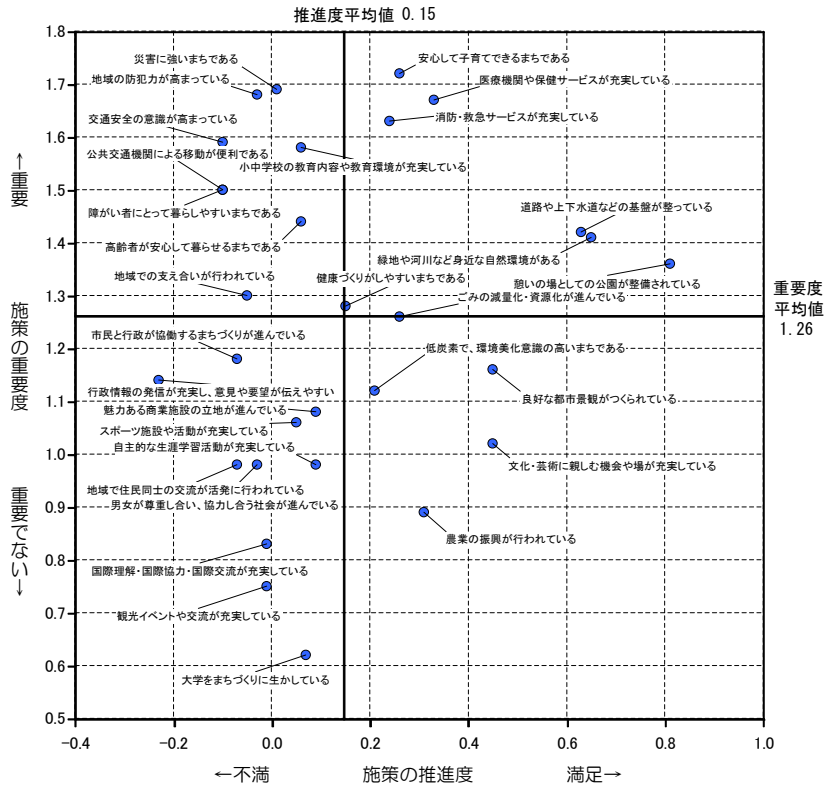


図 7-4-6 基本施策の重要度・推進度 (40 歳代)

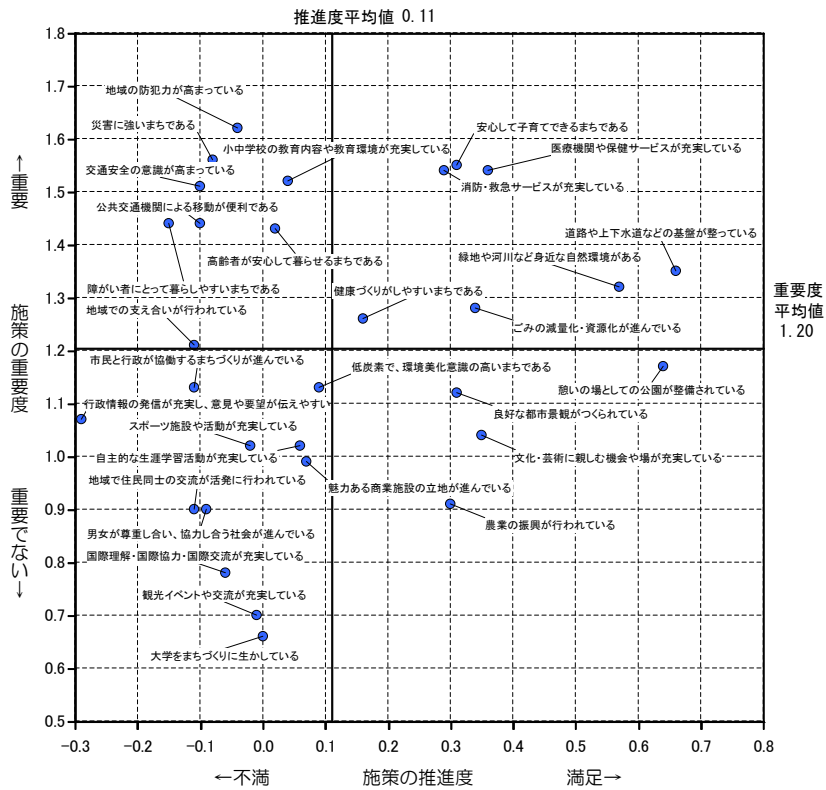


図 7-4-7 基本施策の重要度・推進度 (50 歳代)

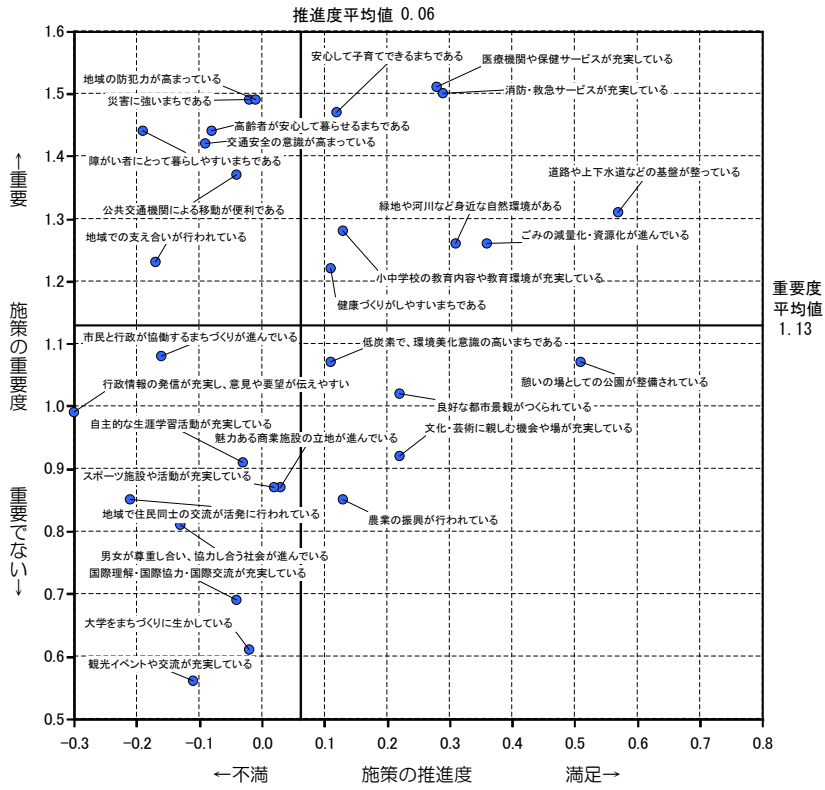


図 7-4-8 基本施策の重要度・推進度 (60 歳代)

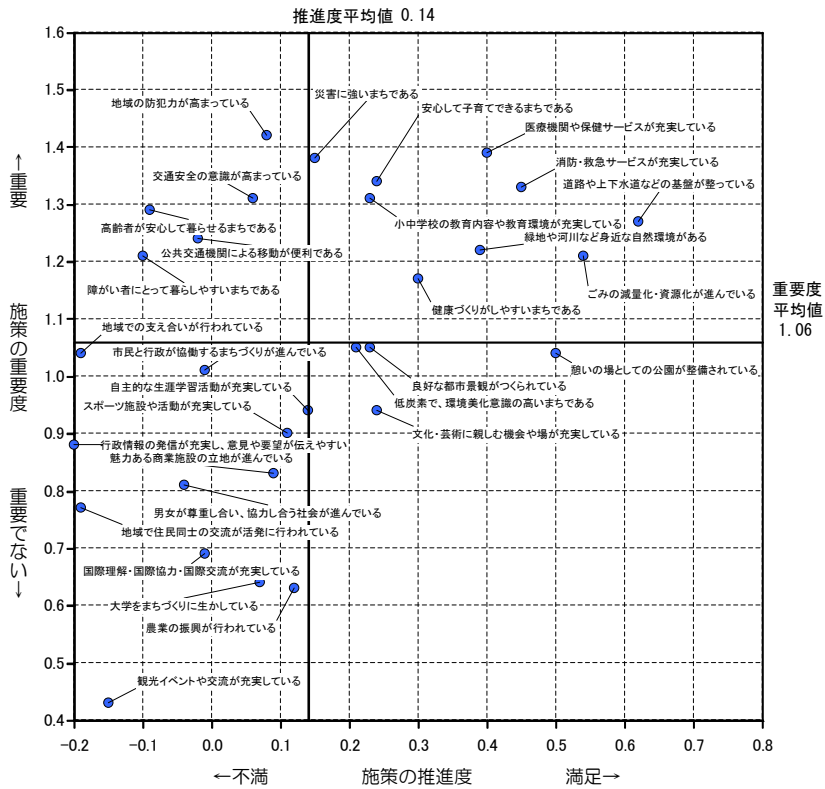
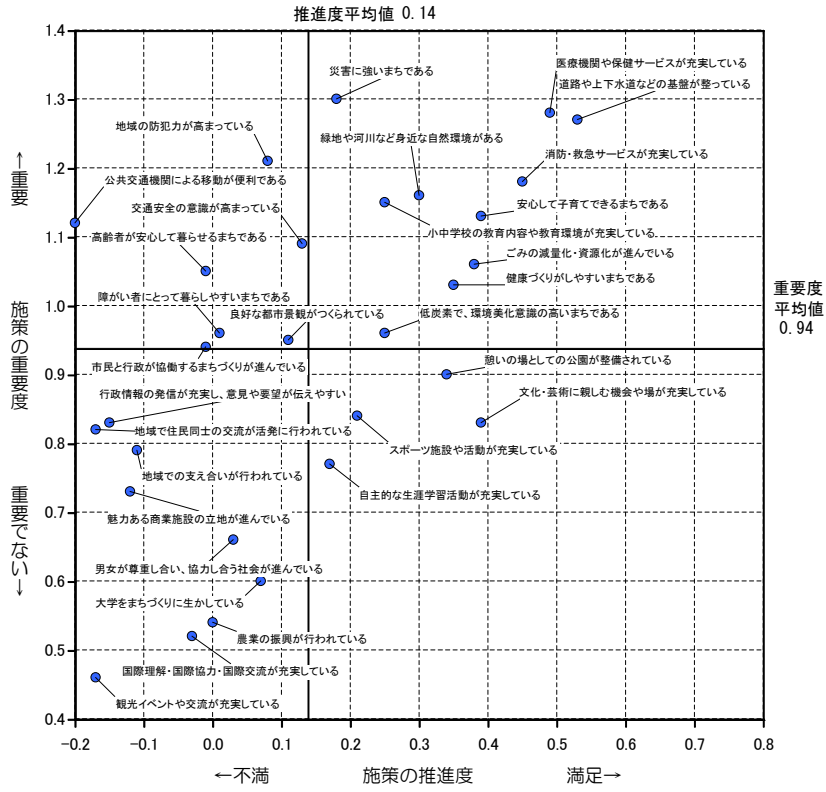


図 7-4-9 基本施策の重要度・推進度 (70 歳以上)



○小学校別でみると、施策の重要度が高く、推進度が低い項目はそれぞれ以下のとおりとなっている（図7-4-10～図7-4-15）。

図7-4-10 基本施策の重要度・推進度（長久手小学校区）

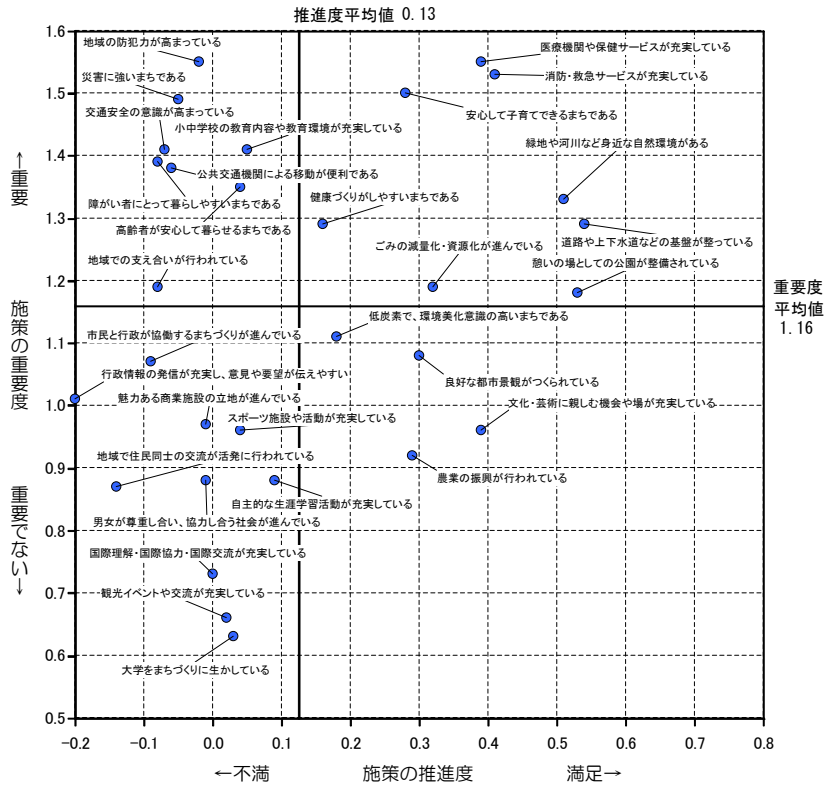


図7-4-11 基本施策の重要度・推進度（西小学校区）

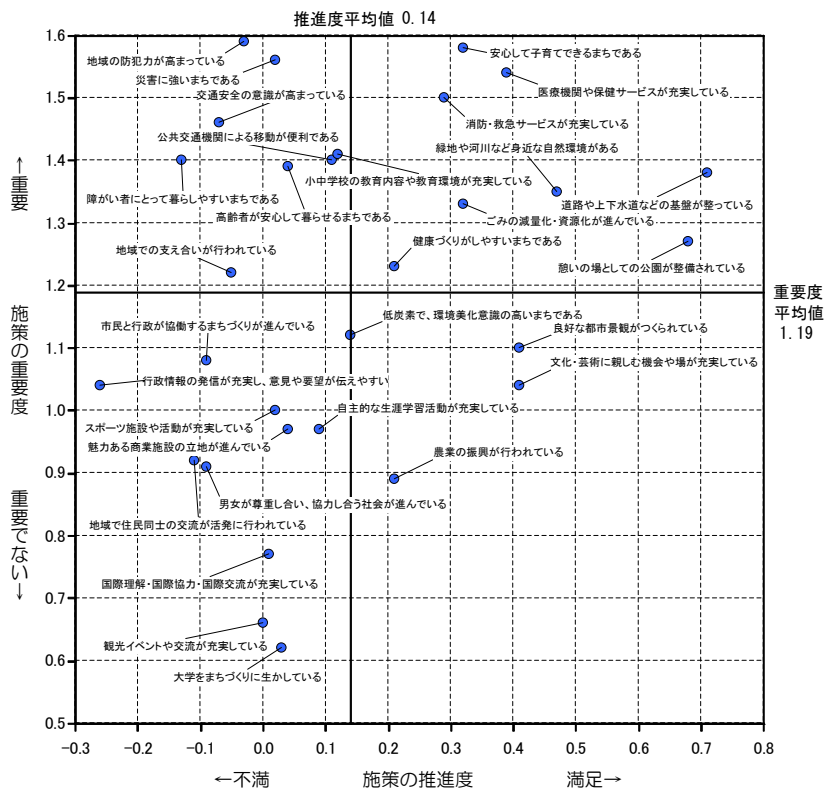


図 7-4-12 基本施策の重要度・推進度（東小学校区）

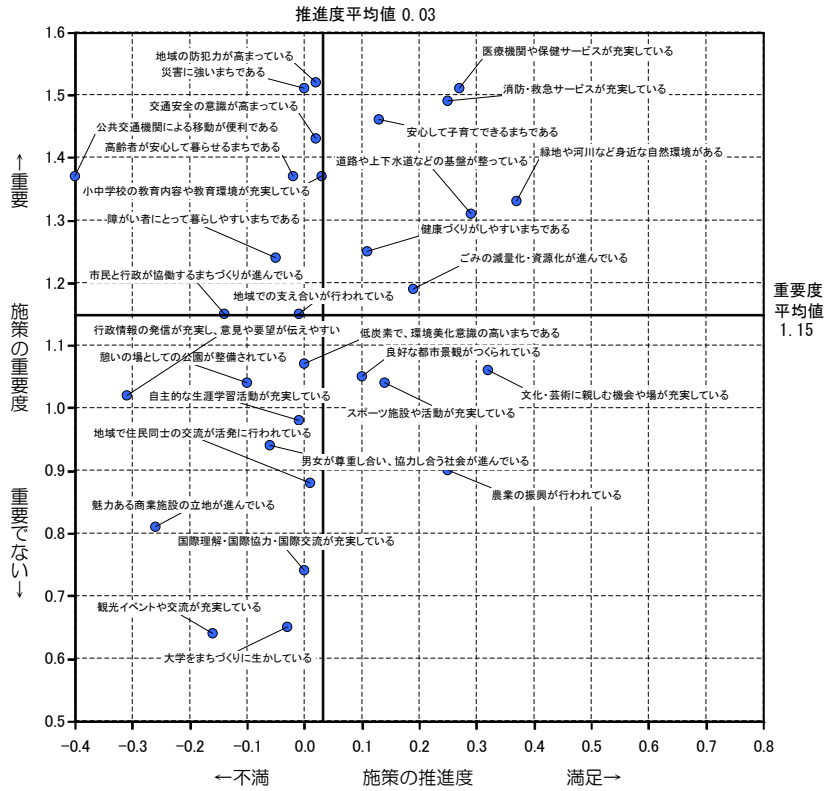


図 7-4-13 基本施策の重要度・推進度（北小学校区）

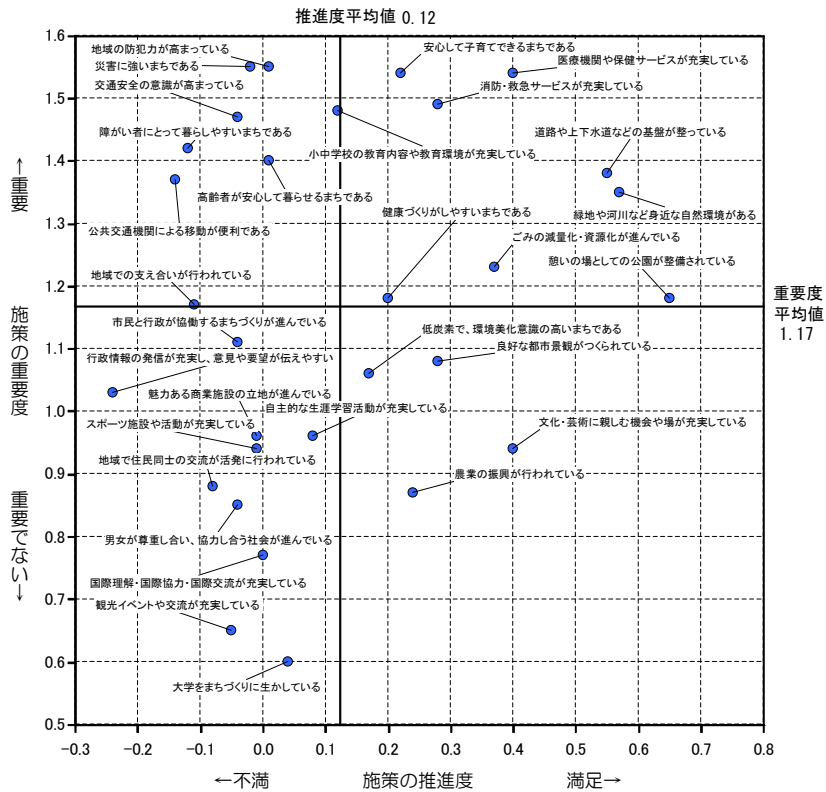


図 7-4-14 基本施策の重要度・推進度（南小学校区）

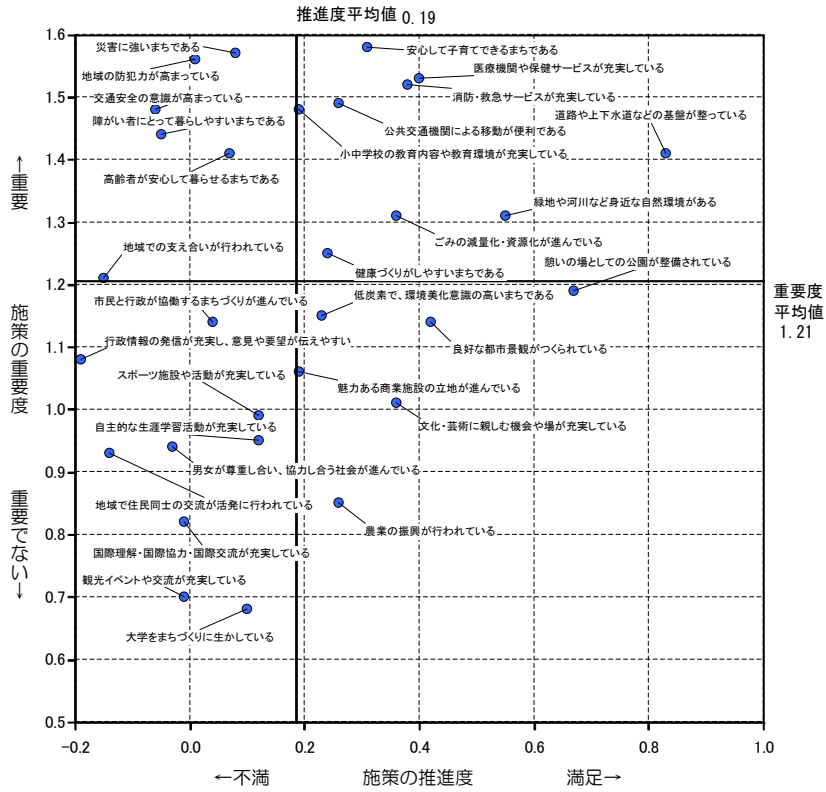
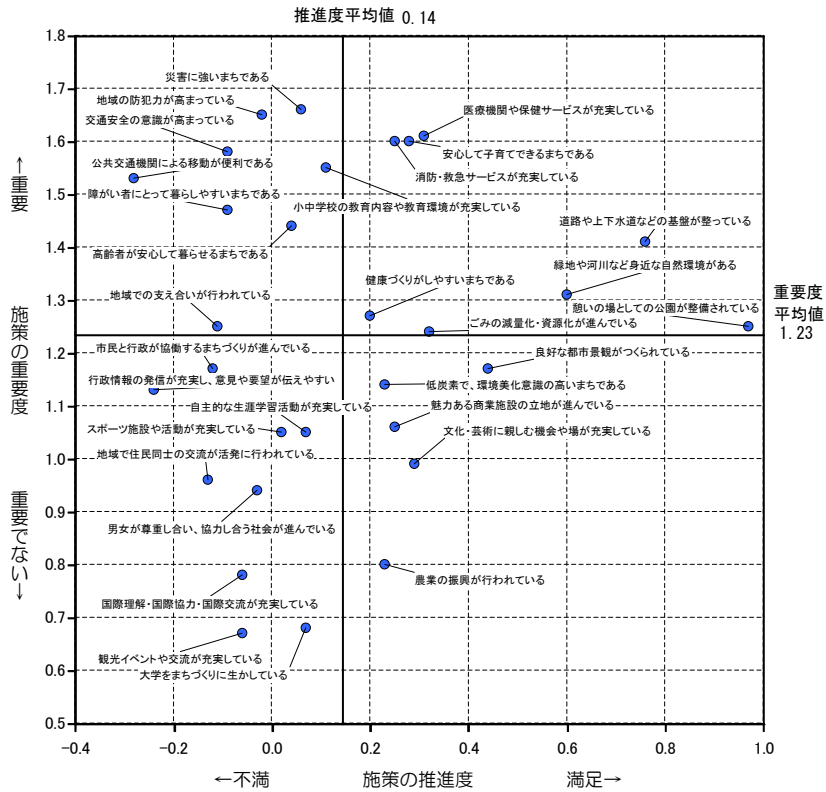


図 7-4-15 基本施策の重要度・推進度（市が洞小学校区）



(5) 今後力を入れるべき施策

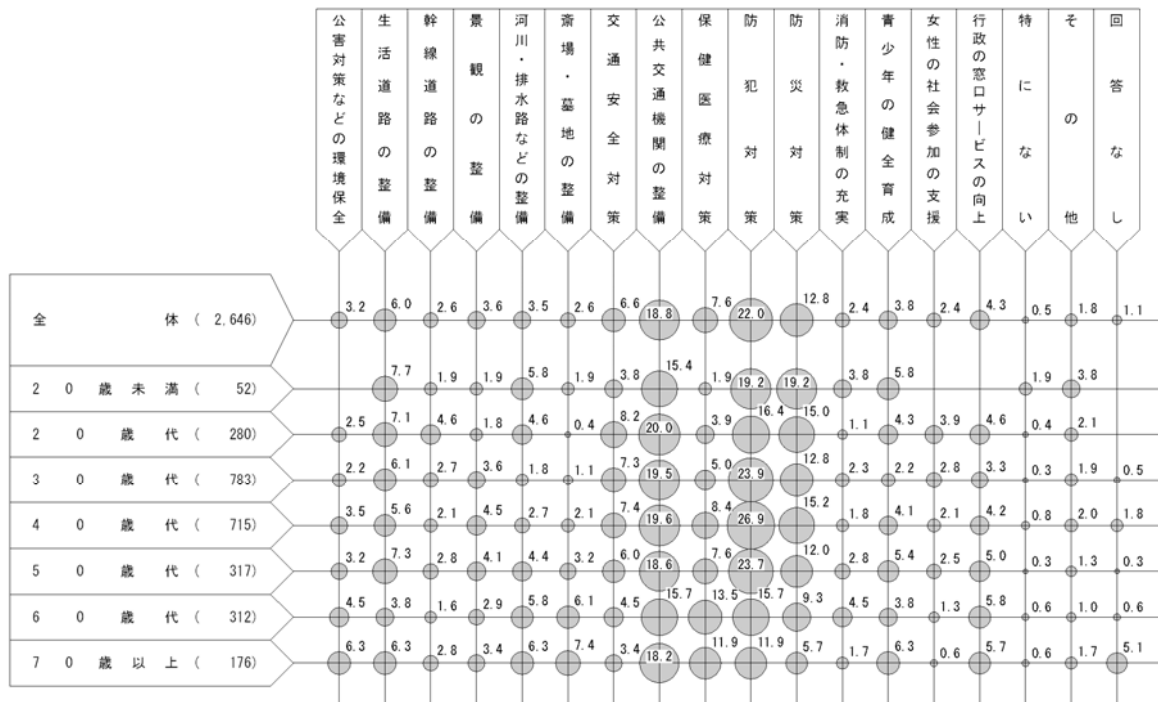
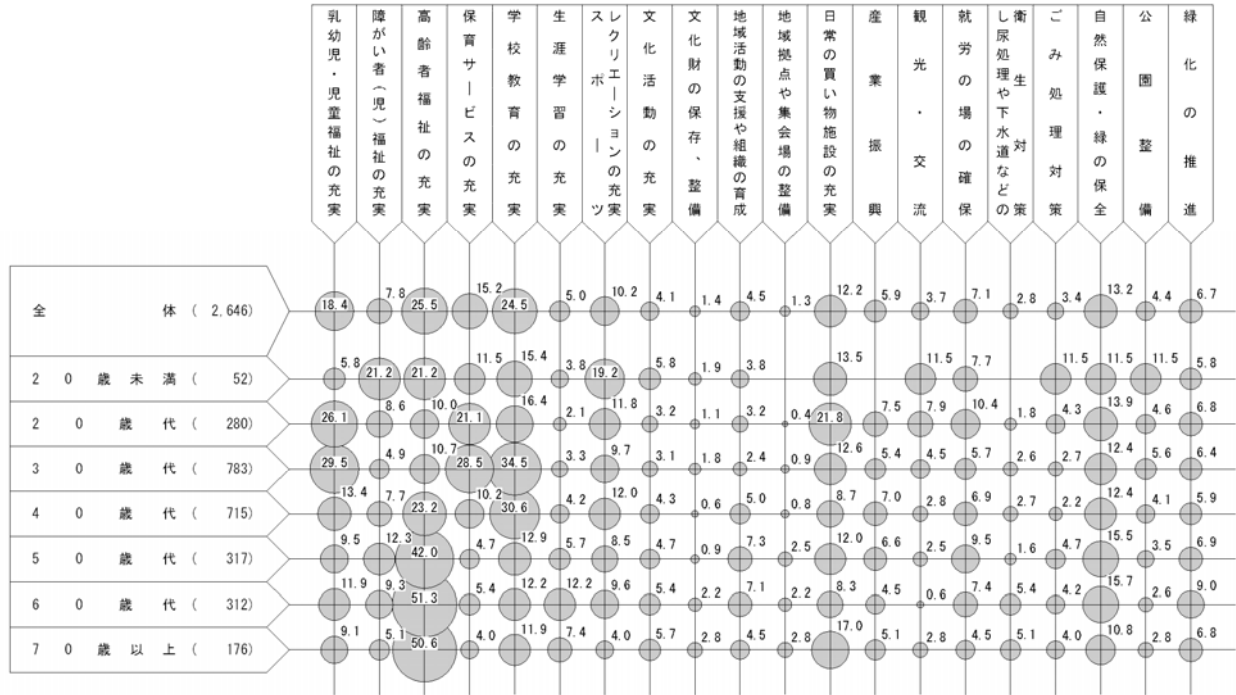
今後の重点施策

問 25 今後長久手市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から選んでください。【○は3つまで】

長久手市が今後、力を入れていくべき施策をたずねたところ、「高齢者福祉の充実」(25.5%)が最も多く、「学校教育の充実」(24.5%)、「防犯対策」(22.0%)、「公共交通機関の整備」(18.8%)、「乳幼児・児童福祉の充実」(18.4%)などが続いている(図7-5-1)。

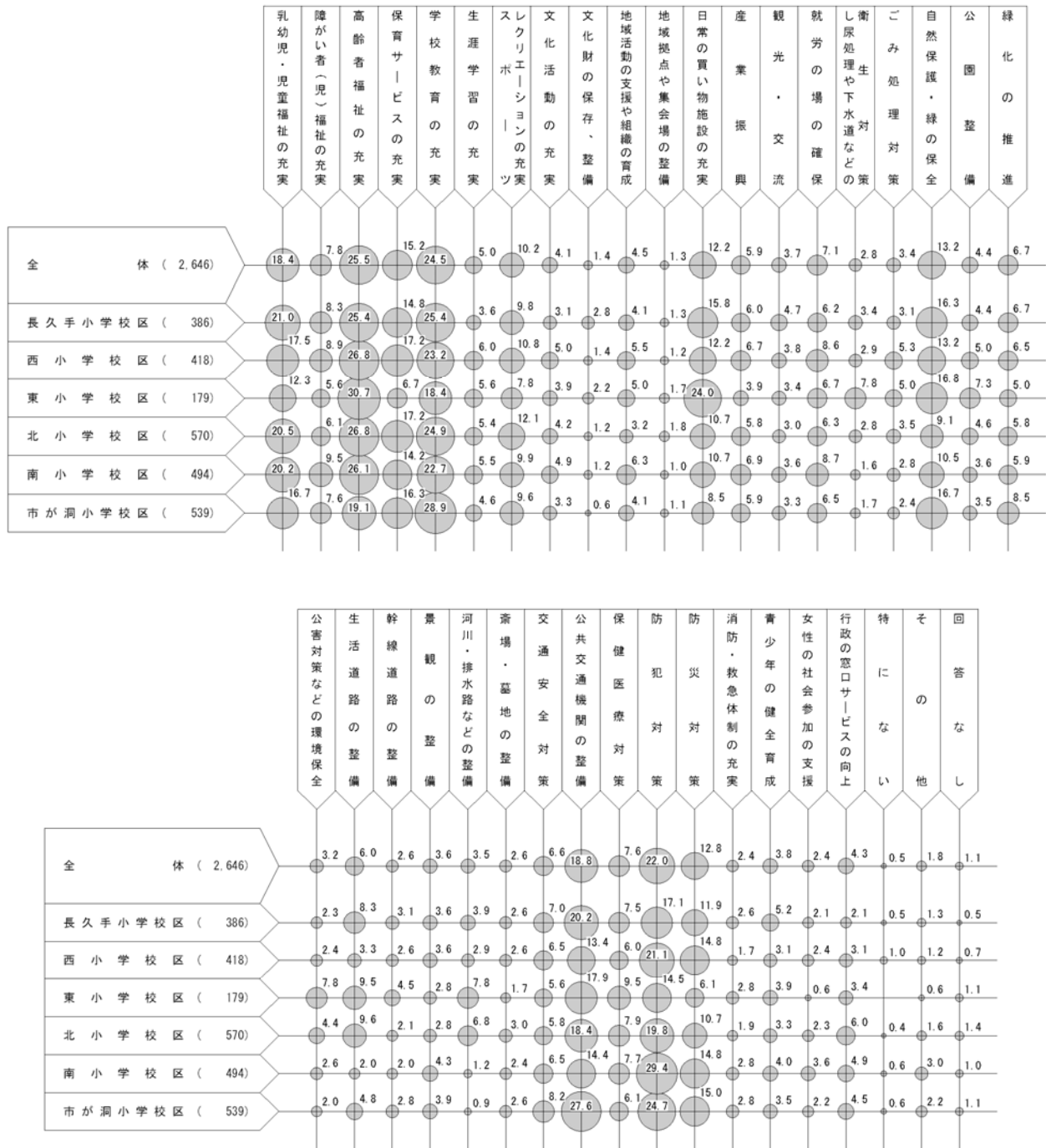
- 年齢別でみると、「高齢者福祉の充実」は60歳代(51.3%)、70歳以上(50.6%)、50歳代(42.0%)でそれぞれ全体より15ポイント以上多く、20歳代(10.0%)及び30歳代(10.7%)で15ポイントほど少ない。
- 「学校教育の充実」については30歳代(34.5%)で全体と比べて10ポイント多いほか、40歳代(30.6%)でもやや多い。
- 「防犯対策」については70歳以上(11.9%)で全体より10ポイントほど少ないほか、60歳代(15.7%)や20歳代(16.4%)でもやや少ない。
- そのほか、30歳代及び20歳代では「乳幼児・児童福祉の充実」(30歳代:29.5%、20歳代:26.1%)や「保育サービスの充実」(30歳代:28.5%、20歳代:21.1%)で全体と比較して10ポイント前後多い(図7-5-1)。

図 7-5-1 年齢別 今後の重点施策



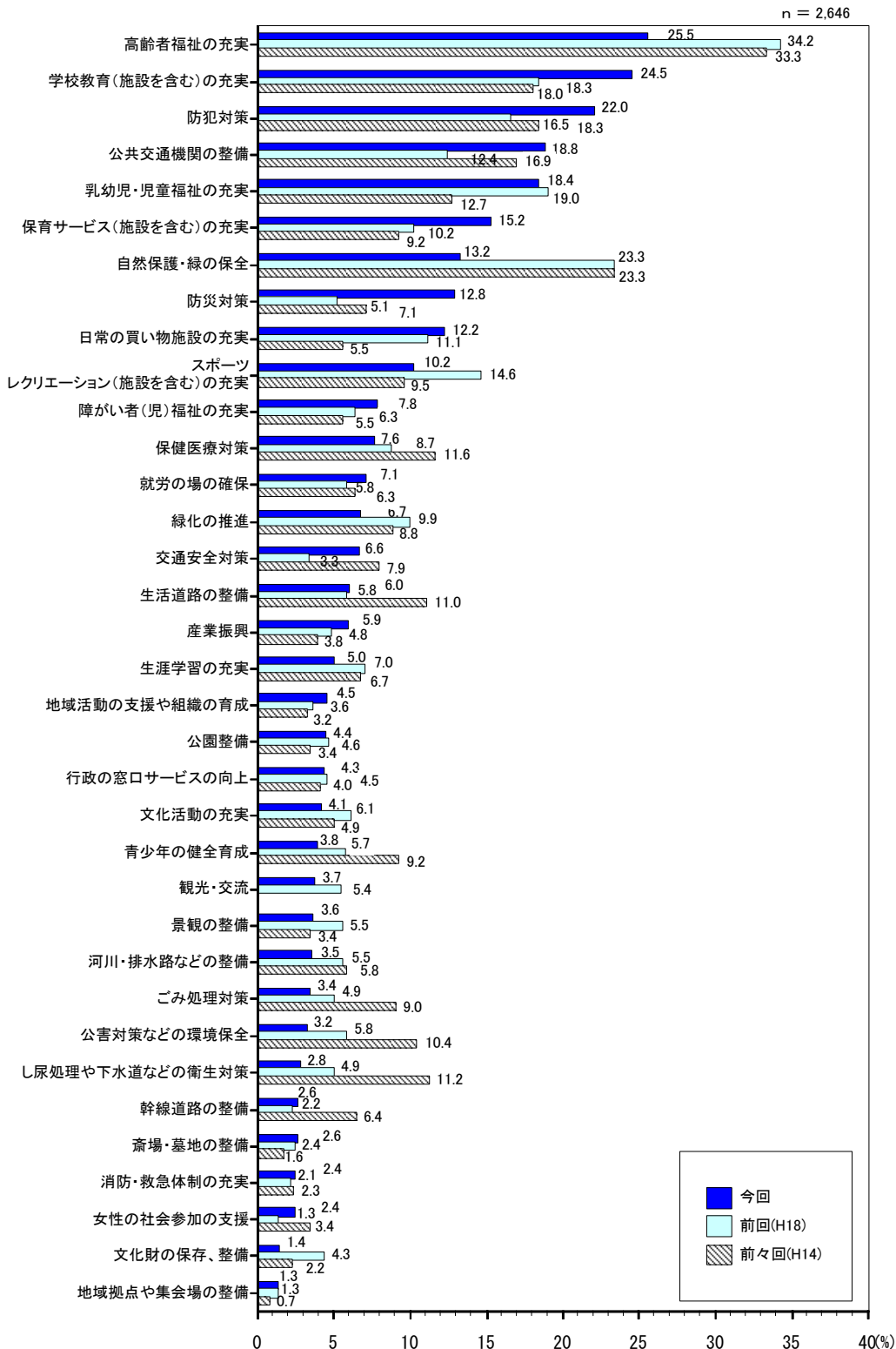
- 小学校区別でみると、東小学校区では、「日常の買い物施設の充実」(24.0%)で全体より10ポイント以上多いほか、「高齢者福祉の充実」(30.7%)でもやや多い半面、「学校教育の充実」(18.4%)ではやや少ない。
- 「防犯対策」については、南小学校区(29.4%)で全体と比べてやや多く、東小学校区(14.5%)ではやや少ない。
- 「公共交通機関の整備」については、市が洞小学校区(27.6%)で全体よりやや多い半面、西小学校区(13.4%)でやや少ない(図7-5-2)。

図7-5-2 小学校区別 今後の重点施策



- 前回及び前々回調査と比較すると、「自然保護・緑の保全」(23.3%⇒23.3%⇒13.2%)や「高齢者福祉の充実」(33.3%⇒34.2%⇒25.5%)で10ポイント前後少なくなっている。
- 一方、「防災対策」(7.1%⇒5.1%⇒12.8%)、「公共交通機関の整備」(16.9%⇒12.4%⇒18.8%)、「学校教育(施設を含む)の充実」(18.0%⇒18.3%⇒24.5%)、「防犯対策」(18.3%⇒16.5%⇒22.0%)、「保育サービス(施設を含む)の充実」(9.2%⇒10.2%⇒15.2%)でやや多くなっている(図7-5-3)。

図7-5-3 今後の重点施策(前回・前々回比)



8. 市政全般について(自由意見)

8-1 自由意見

問 46 長久手市のまちづくりについてご意見がありましたら、自由にご記入ください。

長久手市のまちづくりについて、回答者のお考えを自由記述方式でたずねたところ、述べ1,318件のご意見をいただきました。なお、1人で複数の分野にわたりご意見を記入している場合、それぞれの分野(基本施策)に分類しても文脈が損なわれないものは分類し、文脈が損なわれると判断したご意見については、最も多く記述している分野のご意見としました。

次ページ以降、第5次総合計画の施策体系に合わせ、基本施策に関係する主なご意見を抜粋してご紹介します。

施策名	意見数
1 万博理念を継承し、自然環境にこだわるまち	123
1 環境保全	10
2 ごみ対策・リサイクル	33
3 公害対策	7
4 公園緑地	15
5 自然環境保全	40
6 河川	10
7 農業(田園パレー)	8
19 その他	0
2 リンゴでにぎわい交流するまち	402
1 市街地整備	30
2 住宅・宅地	9
3 道路	76
4 上水道	4
5 下水道	5
6 公共交通	127
7 駐車場・駐輪場	18
8 都市景観	17
9 商工業	76
10 観光交流	21
19 その他	19
3 人がいきいきとつながるまち	294
1 防災	7
2 防犯	63
3 交通安全	18
4 障がい者福祉	9
5 ひとり親家庭等福祉	0
6 地域福祉	6
7 生活支援	2
8 高齢者福祉	15
9 子育て支援	126
10 消防・救急	3
11 地域医療	6
12 保健衛生	7
13 健康増進	6
14 食育	0
15 墓園	4
16 勤労者福祉	2
17 消費者保護	0
19 その他	20

施策名	意見数
4 文化をみがき、人が輝くまち	181
1 学校教育	77
2 生涯学習	33
3 青少年健全育成	3
4 文化・芸術	25
5 スポーツ	30
6 男女共同参画社会	7
7 国際交流	3
19 その他	3
5 みんなの力を結集する自治と協働のまち	208
1 地域協働	18
2 地域自治	29
3 大学連携	7
4 広報・広聴	41
5 行政運営	43
6 人事管理(窓口サービス含む)	24
7 財政運営	17
19 その他	29
アンケートについて	70
市政運営全般に関する意見	27
市政運営以外に関する意見	13
全意見数	1,318

1 万博理念を継承し、自然環境にこだわるまち（意見数：123）

1 環境保全（意見数：10）

- 過度の資源分別であると感じる一方、車中心のまちであり、化石燃料の消費が気になる。コミュニティバスも路線はあるが本数が不足している等、環境を意識した政策だろうが表面的であるように感じる。市民が無意識にでもエコな生活ができるくらいの政策を期待したい。（男性、30～39歳、長久手小学校区）
- 近所に犬のフンが多く落ちている。市民として恥ずかしい気持ちがある。一般的なマナーを学ばなければならない人がいるのだと思う。（男性、30～39歳、西小学校区）

2 ごみ対策・リサイクル（意見数：33）

- ごみ出しの際、カラスにつつかれてごみが散乱しているのをよく見かけるのでごみにかぶせるネットを早急に用意してほしい。ごみを出す場所も新しく引っ越してきた人にも分かりやすいと思う。（男性、30～39歳、西小学校区）
- 燃えないごみの持ち去りがひどいので何とかしてほしい。袋に入れた物を勝手に外に出されて回収してもらえないことが多々ある。（女性、20～29歳、南小学校区）

3 公害対策（意見数：7）

- 市役所の方々の日々の努力に感謝している。生活していて道路が増え、車の交通量が増えたので騒音、大気汚染が気になる。（女性、40～49歳、西小学校区）
- 低炭素で環境美化意識の高い市を目指してもらいたいが、農業で出た枯れ草と一緒に有害物質を燃やす所がある。尾張旭のごみ焼却場が近いのか臭い匂いがする。この2点、なんとかならないものか。（女性、65～69歳、西小学校区）

4 公園緑地（意見数：15）

- 市が洞の貯水池のまわりにできた散策路だが、ペットの散歩がOKにならないか？誰も歩いているところを見たことがないので人が集わなければ整備したのにもったいない気がする。（女性、30～39歳、市が洞小学校区）
- 近くにある公園名が「第〇号公園」となっているので、子どもが馴染みやすい、かわいらしい公園名になると良いと思う。（女性、30～39歳、市が洞小学校区）

5 自然環境保全（意見数：40）

- 人口が増えていくにしたがって様々な施設、店舗が急ピッチで作られていくが、長久手の良さである自然との共生が、ないがしろにされているようにも感じ、残念でならない。開発の際もっと自然を残す試みを行ってもよいのではないか。（男性、40～49歳、市が洞小学校区）
- 都会と田舎の2つの面をもっている長久手市が大好き。自然を壊さず、便利なまち、安心して暮らせるまちにしてほしい。（男性、20～29歳、西小学校区）

6 河川（意見数：10）

- 堤防両側をよく散歩しているが、雑草が目立つ。流れる川の中にも雑草が多い。整備が必要。（男性、60～64歳、-）
- 緑がどんどん無くなっている。このままでは、緑のない長久手になってしまう。香流川沿いにバーベキュー等ができる場所があるといい。川沿いをきれいに整備して川にもっと親しめるよう、自然の大切さを教えていきたい。川を昔のようにきれいにしてほしい。（女性、50～59歳、長久手小学校区）

7 農業（田園バレー）（意見数：8）

- 自然環境の保有が重要。また農業の振興は最重要。高齢化により手離される土地を市として地域としてどう守っていくか考えるべき。（男性、40～49歳、北小学校区）
- 若い人が多い長久手市。農業と連携をする事で、他の市には無い特色が出てくるのではない

か？モクモクファームのような農業と観光が一体化したまちも良いと思う。(男性, 30～39 歳, 市が洞小学校区)

2 リニモでにぎわい交流するまち (意見数 : 402)

1 市街地整備 (意見数 : 30)

- 市の西部は開発が進んでいるが東部は遅れている。開発ありきというわけではないが、利便性の格差をなくす必要性を感じる。地域住民の意見を取り入れた計画的な開発が必要。(男性, 30～39 歳, 市が洞小学校区)
- リニモの各駅周辺がさみしく感じる。学校・お店・住宅などが駅周辺に集まるとにぎやかになると思う。他県なども沿線が人気なので。(女性, 30～39 歳, 南小学校区)

2 住宅・宅地 (意見数 : 9)

- 急激な住宅開発はしない。同世代ばかりの世帯となり、マンモス小学校ができたり、ある時期から空洞化したりと良くないことが起こる。様々な世代がバランス良く助けあって生活している市であってほしい。(男性, 30～39 歳, 長久手小学校区)
- リニモを利用したまちづくりを目指してほしい。例えば、リニモ近くに戸建て、マンション、団地等の住宅地を増やし、将来は7万、10万都市を目指してほしい。(男性, 50～59 歳, 西小学校区)

3 道路 (意見数 : 76)

- 市が洞地区のまちづくりがとても進んで便利になってきたが、道路が大混乱しているので車線を増やすなど道路整備をし解消してほしい。(女性, 20～29 歳, 市が洞小学校区)
- 岩作地区は狭い道路がたくさん残っている。市がセットバック部分を買取る等の対策をして救急車、消防車が通れる安心な道路環境を整備してほしい。(女性, 30～39 歳, 長久手小学校区)
- 人口の増加により道路の拡充が追いついていない。地下鉄の車庫に名古屋市と長久手市で協力して、人が通れる橋をかけてほしい。車庫のすぐ横の道路はとても危険。(女性, 40～49 歳, 西小学校区)

4 上水道 (意見数 : 4)

- 長久手市は水道料金が高すぎる。転居して来て驚いた。(女性, 50～59 歳, 長久手小学校区)

5 下水道 (意見数 : 5)

- 下水道の整備がすすんでいる地域でも、まだ排水溝の臭気のある場所がある。下水道への各家庭の接続を徹底したいものだ。(女性, 50～59 歳, 西小学校区)
- し尿処理や下水道などの衛生面は、長く住んでいくにはとても重要な事だと思う。新しい人(若い世代)が多いからこそ、その子、孫の代まで考えての”まちづくり”には基本的な事こそきちんとしてほしい。(女性, 30～39 歳, 東小学校区)

6 公共交通 (意見数 : 127)

- N-バスについて、せっかくあるのに自宅から行きたいと思う目的地に行くのがやはり不便。何とか行きは使えたとしても、そろそろ帰ろうと思う頃にバスが無くて結局利用しなくなる。もっと便利に使えたらよいのと思う。(女性, 40～49 歳, 西小学校区)
- N-バスの路線拡大と便数を増やしてほしい。文化の家への交通アクセスを見直してほしい。文化の家はすばらしい施設なので、市外からでも多くの人に来やすいようにしてほしい。特に夜。(女性, 40～49 歳, 北小学校区)
- 公共交通機関の整備を！今とても不便。このままだと活動の場を名古屋に求めてしまう。(女性, 60～64 歳, 西小学校区)
- 高齢者で身体にハンデがある我々にはどこへ行くにも交通の便が悪く大変。もっと交通の便を

良くしてほしい。(男性, 70~79 歳, 南小学校区)

- リニモ沿線開発を早期に実行してほしい。リニモの赤字負担について、市が直接的に出資を増やして支援するのではなく、リニモ沿線のまちづくりを進めて、リニモの乗客数増加を支援するという間接的な支援にするべきだと思う。(男性, 30~39 歳, 西小学校区)
- リニモの乗客数が相変わらず少ないので経営状態を心配している。愛・地球博後、沿線にもっと住宅が増えるかと思っていた。(女性, 60~64 歳, 北小学校区)

7 駐車場・駐輪場 (意見数 : 18)

- 中央図書館を子どもとよく利用しているが、坂の上で、歩き・自転車などでの利用がしにくいのに、N-バスや自家用車の時の駐車場がとても不便で、小さい子連れの利用がしづらい。(女性, 30~39 歳, 市が洞小学校区)
- リニモ駅に安い駐車場 (パーク&ライド) をつくる。例えばアピタなどとの連携はできないか。(男性, 60~64 歳, 長久手小学校区)

8 都市景観 (意見数 : 17)

- 開発することで緑地が失われ、単なる便利で無機質なまちになってほしくない。希望としてはケヤキ、アンバー等の街路樹の充実、グリーンロード、図書館通りなど緑豊かな道路をつくってほしい。通勤で使う藤が丘までの桜並木は四季を通して歩きたくなる道だ。(女性, 50~59 歳, 市が洞小学校区)
- ただ新しい施設をつくるのではなく、今あるものを手入れし、修理して使い続けられるようなまちづくりが必要。新旧のバランスを保って改善する努力を。また、それらを可能にする制度や支援が必要。デザイン・美しさ・快適さ、まちや景観をメンテナンスし、より良い環境へ変えていくような作業に参画してみたい。(男性, 40~49 歳, 南小学校区)

9 商工業 (意見数 : 76)

- 岩作 (市役所) あたりにもっと商業施設を増やしてほしい。長久手南の方ばかりに発達しているように感じるため。(男性, 30~39 歳, 長久手小学校区)
- 税収が見込める企業の誘致、地元での雇用促進、公共交通機関の充実。行きすぎない宅地開発。あぐりん村をもっと活用して、周辺市から人を呼び込める知恵を出す。公金を使わず、ござらっせを民間営業とする。単なるベッドタウンとならないよう、ユニークな市になる手腕を発揮できる人材の育成。(女性, 65~69 歳, 北小学校区)
- リニモを活用してもらうために大型ショッピング施設の誘致を早く具体化してほしい。(女性, 40~49 歳, 北小学校区)

10 観光交流 (意見数 : 21)

- せっかくある長久手トラベラーズだが、毎回出演者が少ないので、フルメンバーで見たい。(女性, 30~39 歳, 長久手小学校区)
- モリコロパークをもっと人が集まるような施設をつくるとかテーマパークにするとか、長久手をもっとアピールしてほしい。(女性, 40~49 歳, 南小学校区)

3 人がいきいきとつながるまち (意見数 : 294)

1 防災 (意見数 : 7)

- 総論も大切だが、この震災の時期だからこそ、備蓄品 (薬・食品・トイレ)、ライフライン切断時の通信手段など市民がわかるようにしてほしい。誰もがネット、携帯を使っているわけではないので、みんなにわかるようにしてほしい。(男性, 40~49 歳, 北小学校区)
- 東海、東南海、南海の三連動地震対策として、早急に亜炭抗跡の調査と地盤強化に取り組んでほしい。また、その進捗状況を市民に伝えてほしい。(男性, 30~39 歳, 南小学校区)

<p>2 防犯（意見数：63）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 回覧の中に防犯あいちを読み、また近くで犯罪が多いのにはびっくりした。近くで事件があっても無関心な人が多いのにも驚いた。ワースト2の犯罪地区の意識を持ってほしい。交番が少なすぎる。自治会の未加入が多いので、長久手市に住む時に必ず入ってもらい、隣近所にどんな人が住んでいるかみんな知って地域で交流することが大事。（女性、50～59歳、南小学校区） ● 連れ去り未遂や痴漢等の事件が多く、警察に届けるとたいへん傷つくことが多いため、届け出をしない人がほとんど。防犯カメラや防犯灯、見回りの強化をしてほしい。見た目だけがきれいなまちでは、何の意味もない。防犯カメラはプライバシーの問題もあるが、どんどん配置していくべきだと思う。（女性、40～49歳、南小学校区） ● 万博後、急速に人口が増加、他市からの人、車の流入が増え、犯罪の急増が心配されるため、もう少し身近に交番などがあれば防犯にもなり、安心が得られると思う。ぜひ、設置の推進をお願いします。（女性、65～69歳、市が洞小学校区）
<p>3 交通安全（意見数：18）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 路上駐車が多く（歩道に停めている車もある）子どもや高齢者が車のかげになって危険。取り締まりを強化してほしい。（女性、30～39歳、北小学校区） ● 住宅地内の交通安全、スピードを出させない工夫を図ってほしい。（男性、60～64歳、-）
<p>4 障がい者福祉（意見数：9）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者にやさしいまちづくりを行ってほしい。他の市町村とはちがう長久手独自のサービスや補助など、障がい者・高齢者が安心・安全・満足するような。（男性、65～69歳、南小学校区） ● 障がい者の就労の場が不足している。かわせみ工房のような民間の就労の場が増えることを希望。あわせて、障がい者の就労支援（訓練）施設をつくる必要がある。養護学校、中・高等部卒業後の就職先が圧倒的に不足している。（女性、40～49歳、南小学校区）
<p>6 地域福祉（意見数：6）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 「日本一の福祉のまち」の言葉を見た時、とても嬉しく思った。高齢者、障がいのある人、小さな子どもがいる家庭、周囲が理解して助け合っているまちになってほしい。（女性、50～59歳、南小学校区） ● ボランティア活動の場は必要だと思うが、必要以上に求めるのはどうかと思う。また地域の人々との交流を好む人、好まない人もいるので強制的に人数集めする必要はないと考えている。（女性、30～39歳、北小学校区）
<p>7 生活支援（意見数：2）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢で要介護者を抱えている家庭や母子家庭、低所得家庭、生活保護受給者の方々の悩みや苦勞、不安に対する支援を充実していただき、最低限の生活の保障のレベルアップをしていただきたい。個人のまちづくりへの参画努力も必要だが、格差の少ない地域づくりをお願いしたい。（女性、50～59歳、北小学校区） ● 生活保護は最低賃金以下にすべき。（男性、20～29歳、長久手小学校区）
<p>8 高齢者福祉（意見数：15）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 税金を使っただけの介護保険だけでは、先々相当厳しい。元気な老人が少し弱った老人を助け、ポイントとして先で使える組織をつくってほしい。まだまだ働ける人は生きがいを必死で探している。人の役に立ちたい人が大勢いる。皆、老後の不安でいっぱい。（女性、65～69歳、西小学校区） ● 長久手市は比較的、若い人の多い市だと思う。将来、長久手市に住み骨を埋めようとする人のために、今から介護施設、高齢者の福祉施設の充実を力を入れて、安心して住める市にすることが大切だと思う。（男性、65～69歳、西小学校区）

9 子育て支援（意見数：126）

- 育児について、第1子の時は妊婦の時から出産後も保健センターで交流の場を設けてもらったが、第2子より交流の場が全然なく、下の子の友達をつくる機会も少なく、私もママたちになかなか出会う事ができなくてさびしく感じている。公園については乳幼児から使いやすい用具や親子で過ごしやすい公園が増えるとよいと思う。（女性、30～39歳、北小学校区）
- 子育て支援のもの（離乳食、交流会など）が第1子に限定されているものが多い。第2子、3子などを長久手で出産した時に友だちができない。第1子を別の土地で出産した転入者が多い地域なので、そのような人の交流ができる場をつくってほしい。1才児などの2ヶ月に一度の遊びの会では顔見知りになる機会にはならない。せめて、1ヶ月に一度にしてほしい。（男性、30～39歳、市が洞小学校区）
- 子育て世代が多いまちなので保育施設の充実等に力を入れてほしい。待機児童が多すぎて、女性の社会進出をむしろ阻害している。病児保育施設が少ない。不妊治療の助成金を充実させてほしい（春日井市は充実している）。高齢者福祉にフォーカスしすぎ。（男性、30～39歳、北小学校区）
- 転勤の人が多い地域なので子育て支援として、母親のリフレッシュ保育（預かり）制度を求める。（名古屋市、春日井市等では長時間保育がある。）日曜日の乳児の遊び場（子育て支援センター等）の提供を願う。子育てに悩む親たちへ、育児講座の充実を。（女性、30～39歳、西小学校区）
- 共働き世代が増えている中、子どもの預け先、保育園、児童クラブ、学童の整備が不十分と感じる。児童クラブと学童の格差もありすぎるため、格差を無くし安心して子どもを預け、働ける環境をつくってほしい。（女性、40～49歳、長久手小学校区）
- 保育施設、保育園・幼稚園が少ない。特に加配保育のある幼稚園が少なすぎる。発達に遅れのある子どもは行かせてもらえる園がなく、近くの市の園へ通っている。加配保育が必要な子が保育園に通う場合の、親の就労条件をなくしてほしい。（女性、30～39歳、北小学校区）

10 消防・救急（意見数：3）

- 人口5万人程度のまちとしては全国的にみても非常に住環境も良く、伝統的な祭事等も継承されており、バランスの良い住みやすいまちなのではないか。行政の方々ほか、皆の努力のたまものだと思う。ただ、消防、救急サービスは行政規模上の限界があり、他から見ても劣っている部分かと思うので、何らかの対策が必要ではないだろうか。（男性、30～39歳、南小学校区）
- とても住みやすいきれいなまちだと思う。住み始めて2年経つが、気に入っている。ただ消防など一部の活動において、一部の市民に偏り過ぎ。負担がかかっていると思う。市全体で団員参加を呼びかけるなど、一部の善意ある市民に負担のかからぬよう配慮していただきたい。（女性、20～29歳、南小学校区）

11 地域医療（意見数：6）

- 東小のあたりは店や病院が無く生活しにくい。都市の方だけでなく田園の広がる地域にも病院や店があるとよい。ござらっせ内に病院があると、N-バスともつながっているので便利。（女性、40～49歳、東小学校区）
- 病院が少ない。クリニックばかり。（男性、30～39歳、東小学校区）

12 保健衛生（意見数：7）

- がん検診は40才からだだが、若くてもがんにかかる人はいるので、もっと早い年齢から検診が受けられるようになると思う。（女性、40～49歳、東小学校区）
- 子宮頸がんなど、女性特有のガン検診を年1回市が負担して受けられるようにしてほしい。5年に1回じゃあまり意味がないと思う。尾張旭市は年1回受けられるらしい。（女性、20～29歳、市が洞小学校区）

13 健康増進（意見数：6）

- 禁煙都市にすべき。（男性, 20～29 歳, 長久手小学校区）
- 健康のために早朝杖ヶ池公園をウォーキングしている。近頃は多くの人々が歩いたり走ったり体操したりしている。身近に緑が多くて、安心安全なこのような場所があまりないので、もう一ヶ所つくってほしい。（女性, 65～69 歳, 市が洞小学校区）

15 墓園（意見数：4）

- 急速な人口増加と将来の高齢化を考え、共同墓地、特に森林を生かした自然公園的なものの建設を行ってほしい。（男性, 50～59 歳, 市が洞小学校区）
- 友引の翌日で八事の火葬場が混雑。ずいぶん待たされた上に人数制限されて大切な知人の遺骨を拾う事ができなかった。これを我が身に替えた時、すごく寂しい。友人、知人が遠くからわざわざ来てくれて葬場まで足を運んでくれても、すぐそこでストップされるのはつらい。是非、長久手に火葬場をつくってほしい。（男性, 70～79 歳, 市が洞小学校区）

16 勤労者福祉（意見数：2）

- 就労の機会の増加。（女性, 40～49 歳, 南小学校区）

4 文化をみがき、人が輝くまち（意見数：181）

1 学校教育（意見数：77）

- 市が洞小学校について。大きすぎ。早急に新しい小・中学校のさらなる増校考えては？子どもたちが埋もれてしまう。市が洞に来たために、一学年の人数が多すぎて学芸会や部活動で中心になれる可能性がほとんどない状態。少しでも多く子どもたちに、主役になれる、なりやすい環境をつくってあげたい。（男性, 30～39 歳, 市が洞小学校区）
- 給食でのアレルギー対応が卵、牛乳のみでなくその他の食品も、除去ではなく代替えで対応できるようにしてほしい。（女性, 30～39 歳, 市が洞小学校区）
- 中学の学力レベルが名古屋市に比べて劣っている点の改善を検討されてはと思う。私自身も長久手町立の中学出身だが、名古屋市より当時も学力レベルが劣っていて高校受験が不利であったと記憶している。改善されると良いと思う。（男性, 40～49 歳, 市が洞小学校区）
- 緑の大切さは良く認識しているが、学校に緑を増やす緑化推進よりも、以前からずっと要望の高い小・中学校のトイレの改修の方が市民は望んでいる。市民にアンケートを実施してほしいくらい。子どもたちの毎日の学校生活環境を第一に考えてほしい。（女性, 30～39 歳, 長久手小学校区）

2 生涯学習（意見数：33）

- 生涯学習など個人の問題に対して市が関与する必要性がわからない。個人や地域に任せるところは任せ、市にしかできないことに市は集中するといった、役割分担、割り切りが必要と思う。（男性, 30～39 歳, 西小学校区）
- 図書館はもう1つあってもいいと思う、もっと自由に勉強ができる施設があれば、学生としてはありがたい。図書館、文化の家は常に満席。（女性, 18～19 歳, 長久手小学校区）

3 青少年健全育成（意見数：3）

- 公園を定期的に管理してくれている事に感謝している。しかし若者たちの利用の仕方に不満がある。夜の大声、花火、食べ散らかしなど。毎日ではないが特に週末など。パトロールの強化をお願いしたい。（男性, 50～59 歳, 北小学校区）
- 大学が多く、学生が多く、活気があるのは良いが、マナーが最悪。近所のアパートに住む学生のごみ出しマナー、夜中に外で大声を出すなど、心安らぐまちとはいえない。ごみのマナーについては、即刻改善するよう、アパートの大家さんや管理業者への指導をお願いする。（男性, 30～39 歳, 西小学校区）

4 文化・芸術（意見数：25）

- 「文化の家」の催しについて、子ども向けやお年寄りも楽しめるものなど、もっと様々な分野にわたったものにしてほしい。近いので利用したいと思っている。ロックコンサートや落語でも良いと思う。もっと盛り上げてほしい。（女性、40～49歳、市が洞小学校区）
- 素敵な公園がたくさんあるので、難しいとは思いますがニューヨークみたいに屋外でジャズや音楽を気軽に聞けると良いと思う。棒の手の踊りなどを小学校で学ぶと郷土愛が芽生えると思う。（女性、30～39歳、南小学校区）

5 スポーツ（意見数：30）

- スポーツ施設を増やしてほしい。特にプール、フィットネス。「大きい施設を1つ」ではなく「適度なものをいくつか」造ってほしい。体を鍛えることはプライベートなことでもあるので施設の選択を増やすため。また地域のみでなく他地域の市民などにもオープンであると長久手のアピールにもなって良いと思う。（女性、30～39歳、北小学校区）
- 私はスポーツが好きで市内の各体育館を利用するが、何もかも施設が中途半端で使いにくい。抽選が遅く予定が立てにくい。道具は古くて壊れている。体育館は狭くて使いにくい。何も良い所がない。名古屋市のスポーツセンターのようにもっとしっかりした体育館があるといい。（女性、40～49歳、南小学校区）

6 男女共同参画社会（意見数：7）

- 男女共同参画は重要だと思うが、日本の文化と関わる部分もあり、市の取り組みだけでは難しい気もする。また女性の社会進出が進むとさらなる少子化につながる可能性もあるため、様々な角度からの検討が必要だと思う。（男性、50～59歳、西小学校区）
- 私自身は近くに親類もおらず、出産と同時に長久手へ県外から転入したため退職を余儀なくされたが、女性も重要な社会の担い手。結婚・出産後も「仕事を続ける」こと前提の社会であるべきで、実際に続けるかどうか、労働形態は本人が決められるような社会であってほしいと切に願う。世界における日本の推進力低下が叫ばれる中、女性の経験、知識、知恵は国の財産として、まちづくり、国づくりに活かすべき時だと思う。（女性、30～39歳、北小学校区）

7 国際交流（意見数：3）

- 国際交流イベントやそのPRが不十分であると思う。市民が積極的に参加できるようなサポートがあればいいと思う。（女性、20～29歳、市が洞小学校区）
- 若者による社会作りを推進してほしい。海外の学校へより多く人が行けるように支援できる制度ができるのを望む。小中学時代に子どもが海外のホームステイに無料で行けるような制度があれば望ましく思う。（男性、60～64歳、市が洞小学校区）

5 みんなの力を結集する自治と協働のまち（意見数：208）

1 地域協働（意見数：18）

- 市民の意識調査は大変だとは思いますがとても良いと思う。行政だけでなく私たち市民が長久手市を良くしていこうと思うことで良い方向に向かっていくのだと思う。暮らし良く楽しいまちであり続けるよう願う。（女性、20～29歳、市が洞小学校区）
- まちづくりには行政と市民の連携が必要だが、市民個々の意識のずれをすり合わせるほうが先だと思う。あまり深入りせず、子どもが巣立ったり定年したら長久手を離れるという声もよく聞かれる。そういう人にとっては互いが干渉しない、行政サービスを利用する程度が楽。例えば、子どもを近所で預かりあってイザコザが起こるよりも、保育園に預けたい。そのほうがわずらわしくない。（女性、30～39歳、市が洞小学校区）

<p>2 地域自治（意見数：29）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域協力が盛んであると、自治への協力、防犯、犯罪抑止力の向上、文化、スポーツへの参加、協力も向上すると思う。まずは地域力、コミュニティから。次世代が住み続けたいと思うまちづくりをしてほしい。（女性, 30～39 歳, 市が洞小学校区） ● まちづくりにおいて地域活動は重要だと思うが、自治体や地区によって、若者と高齢者との比率が違うと思うので、その点を考えて市民に負担がかかり過ぎないような地域活動になればいいと思う。（女性, 30～39 歳, 南小学校区）
<p>3 大学連携（意見数：7）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 近隣に大学施設が密集しているので、若者の力を地域に反映できるようにボランティア教育をして、環境、スポーツ、芸術（美術・音楽など）を発揮できる環境づくりを行政に期待する。（男性, 30～39 歳, 南小学校区） ● 非常にまちづくりの進んでいる場所だと思う。大学生を利用して、様々なボランティア活動を展開できるとより良いまちになると思う。（女性, 20～29 歳, 長久手小学校区）
<p>4 広報・広聴（意見数：41）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 安心・安全で緑の多い子どもやお年寄りが住みやすいまちになってほしい。再開発する場合などはもっと情報を公開してほしい。まちがどのように変わっていくのかもっと知りたい。また議会がどのような仕事をしているのかももっと情報を公開してほしい。財政が健全なまちであってほしい。（女性, 20～29 歳, 長久手小学校区） ● 市のホームページをよく見るが、他の市町村のホームページに比べて知りたい情報にたどりつくまでが長いので、他の市町村のホームページを参考にしてわかりやすいものにしてほしい。（女性, 50～59 歳, 市が洞小学校区） ● 私を含め関心の無い人が多いと思う。漠然とした希望や要望は持っているのに伝える機会や自信がないことが原因と思われる。大きなまちになり、難しいことだと思うが、気軽に意見をつぶやける場があるといいと思う。そんな中から意外な問題点や改善点が見つかるかも。（女性, 50～59 歳, 市が洞小学校区）
<p>5 行政運営（意見数：43）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 開発が進み家や店が増えるのはいいが、マイナス面も出てきている。道路渋滞、緑の減少、学校の子どもの数のかたよりなど、住民は毎日そういった事に不満・不安を持っている。市側は現場に足を運び実際に見てほしい。市民からの意見に対して、場合によっては役所から出るべき。（女性, 40～49 歳, 市が洞小学校区） ● 他の都市のまちづくりを真似するのではなく、独自のまちづくりを貫き、長久手で育った子どもたちが故郷を誇りに思えるような理想のまちの実現を目指すべきだと思う。一時的な利益優先ではなく長期的な視点で、自然豊かな美しいまちをつくるのはもちろん、能力の高い多様な人材の育成が欠かせない。（女性, 30～39 歳, 東小学校区）
<p>6 人事管理（意見数：24）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 市の職員のサービス提供の意識や、市民に対する優しさを持った対応を期待する。事務的に仕事をこなすだけではゆとりのある社会にはならない。お金をかけなくても気持ちのこもった対応、声かけがあるだけでも十分なサービスといえるのではないか。（女性, 30～39 歳, 西小学校区） ● 住民課の窓口が土日祝日も利用できると助かる。仕事を持っているので平日にはなかなか利用できないため。（女性, 50～59 歳, 市が洞小学校区）
<p>7 財政運営（意見数：17）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 税金が高い。企業なり誘致して税収入（法人税）を増やし、住民税を軽減するか、維持した上で市民へのサービス向上を図っていかないと、まちの発展は望めない。あと、学生が素通りす

るまちではなく、お金を稼ぎ、使っていくまちにしていけないのでは。(男性, 40～49 歳, 南小学校区)

- 箱モノが、世間では批判されているのはわかっているが、人口が増えていく長久手市には、まだ必要だと思う。(女性, 30～39 歳, 北小学校区)

長久手市市民意識調査

ご協力をお願い

日ごろから、市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
長久手市では、平成21年3月に「第5次総合計画」を策定し、「人が輝き 緑があふれる 交流都市 長久手」を将来目標にまちづくりを進めています。さらに、平成24年6月に市長の所信表明に基づく今後4年間の重点的な取り組みをまとめた「新しいまちづくり行程表」を策定し、「日本一の福祉のまち」の実現に向けて、市民の皆様とともに汗をかきながら幸福度の高いまちを目指しているところです。

ついては、今後の市政を進めていくにあたり、これまでの市政全般の成果を検証し、今後の市政運営や今年度に策定する個別計画に反映するため、市民の皆様のお考えやご意見をお伺いする「長久手市市民意識調査」を実施します。

この調査は、市内にお住まいの満18歳以上の方の中から、無作為に選んだ5,000人の方にご協力をお願いするものです。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名でご回答ください。また、結果の集計や分析は統計的に処理いたしますので、個人の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してありません。

平成24年9月

長久手市長 吉田 一平

ご記入をお願い

●ご記入の際に

- 1 必ず封筒の宛名のご本人がご記入ください。氏名の記入は必要ありません。
- 2 質問によっては、お答えいただく数が1つの場合と複数の場合があります。
- 3 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内のとおりお答えください。
- 4 回答は、当てはまる番号に○をつけてください。ただし、「その他」を選んだ場合は、() にその内容を具体的にご記入ください。

●調査票の返送について

無記名のまま同封の返送用封筒に入れて、9月18日(火)までにポストへ入れてください。

●調査についてのお問い合わせ

長久手市企画部企画政策課 0561-56-0600 (直通)

あなたご自身についてお答えください。

問1 各質問にあなた自身が該当する項目を選んでください。

(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

1. 男	2. 女
------	------

(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

1. 18～19歳	4. 40～49歳	7. 65～69歳
2. 20～29歳	5. 50～59歳	8. 70～79歳
3. 30～39歳	6. 60～64歳	9. 80歳以上

(3) あなたの職業は、次のうちどれですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

1. 農林業	4. 公務員	7. 学生、生徒	10. その他
2. 自営業	5. 団体職員	8. 家事専従	()
3. 会社員	6. アルバイト、パートタイマー	9. 無職	

(4) あなたの家庭全体の年収はどのくらいですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

1. 100万円未満	3. 300～500万円未満	5. 700～1000万円未満
2. 100～300万円未満	4. 500～700万円未満	6. 1000万円以上

(5) あなたは、現在年金を受給していますか。【〇は1つ】

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(6) あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

1. 自宅(家事専従・無職を除く)	4. 尾張旭市	7. 日進市
2. 自宅以外の市内	5. 瀬戸市	8. 1～7以外の愛知県内
3. 名古屋市	6. 豊田市	9. 愛知県外

(7) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

1. 一戸建て持ち家	4. 賃貸マンション・アパート	7. その他
2. 一戸建て借家	5. 社宅、官舎、寮	()
3. 分譲マンション	6. 県営住宅	

(8) あなたの同居人の総数は、あなたを含めて何人ですか。次の中から選んでください。

【〇は1つ】

1. 1人	3. 3人	5. 5人	7. 7人	9. 9人以上
2. 2人	4. 4人	6. 6人	8. 8人	

(9) あなたのお宅にはどのような方が同居していますか。次のうちあてはまるものをすべて選んでください。【〇はすべて】

1. 小学生未満の乳幼児	3. 65歳上の高齢者	5. 同居人はいない
2. 小・中学生	4. 1～3以外の同居人	

(10) あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

1. 単身(一人暮らし)	3. 親子(2世代)	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 親・子・孫(3世代)	()

(11) あなたのお住まいはどこですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

1. 岩作地区	3. 熊張地区
2. 前熊地区	4. 1～3以外の地区

(12) あなたの小学校区はどこですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

《※ご不明の方は、18～19ページを参考にして選んでください。》

1. 長久手小学校区	3. 東小学校区	5. 南小学校区
2. 西小学校区	4. 北小学校区	6. 市が洞小学校区

(13) あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。次の中から選んでください。

【〇は1つ】

1. 3年未満	3. 6～9年	5. 20～29年
2. 3～5年	4. 10～19年	6. 30年以上

(14) あなたは、長久手市に住む以前はどこにお住まいでしたか。次の中から選んでください。

【〇は1つ】

1. 生まれた時から長久手市	3. 名古屋市以外の愛知県内
2. 名古屋市	4. 愛知県外

(15) あなたが長久手市に住んでいる理由は何ですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

1. 生まれた時から住んでいるため	6. 住環境がよいため
2. 結婚のため	7. 緑が多く、自然環境がよいため
3. 家族（親）と一緒に住むため	8. 長久手市のイメージがよいため
4. 就職、転職、転勤のため	9. 家賃や住居の購入価格が手頃なため
5. 通勤、通学の便がよいため	10. その他（ ）

(16) あなたは、次のア～キの生活行動について、主にどこで行動していますか。1～8からそれぞれ1つずつ選んでください。

生活行動	行動場所							
	1 長久手市	2 名古屋市	3 尾張旭市	4 瀬戸市	5 豊田市	6 日進市	7 の県内 1～6 以外	8 県外
ア 食料品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8
イ 実用衣料品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8
ウ 電化製品や家具などの大型商品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8
エ 通院	1	2	3	4	5	6	7	8
オ 金融機関の利用	1	2	3	4	5	6	7	8
カ スポーツ施設の利用	1	2	3	4	5	6	7	8
キ 映画、コンサート、演劇などの文化活動	1	2	3	4	5	6	7	8

長久手市の住み心地についてお答えください。

問2 あなたは、長久手を住みよいまちだと思いますか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 住みよい | 3. どちらでもない | 5. 住みにくい |
| 2. まあ住みよい | 4. やや住みにくい | |

問3 あなたは、長久手市に対してどのような印象をお持ちですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| 1. 名古屋市近郊の住宅都市 | 6. 芸大や博物館、美術館、文化施設がある文化都市 |
| 2. 古戦場に代表される歴史のまち | 7. 万博開催を機に新店舗や公共交通など都市基盤が整備されたまち |
| 3. まちづくりの計画に基づいて整然と整備されたまち | 8. 交通事故や犯罪が少ない安全なまち |
| 4. 緑が残された自然環境のよいまち | 9. その他 () |
| 5. 大学や研究機関のある学術研究都市 | |

問4 あなたは、今後も長久手市に住み続けたいですか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

- | | | |
|-----------|----------|---------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 転出したい | 3. わからない ⇒問5へ |
|-----------|----------|---------------|

↓

「住み続けたい」と思う理由は何ですか。
次の中から選んでください。【〇は3つまで】

- | |
|---------------------------|
| 1. 緑や田園が多く自然環境がよい |
| 2. 交通の便がよい |
| 3. 近所付き合いがあり人間関係がよい |
| 4. 住み慣れていて愛着がある |
| 5. 公共施設が整っている |
| 6. 道路などが整備されている |
| 7. 教育環境がよい |
| 8. 子育ての環境がよい |
| 9. 買い物に便利 |
| 10. 親類が近くににいる |
| 11. 住宅事情がよい |
| 12. 公園や遊び場が整備されている |
| 13. 上下水道・ごみ収集など生活基盤が整っている |
| 14. 交通事故や犯罪が少なく安全である |
| 15. 医療・福祉サービスが充実されている |
| 16. まちに将来性や魅力がある |
| 17. 通勤や通学に便利 |
| 18. その他 () |

↓

「転出したい」思う理由は何ですか。
次の中から選んでください。【〇は3つまで】

- | |
|----------------------------|
| 1. 緑や田園が少なく自然環境がよくない |
| 2. 交通の便がよくない |
| 3. 近所付き合いが少なく人間関係がよくない |
| 4. まちに愛着が持てない |
| 5. 公共施設が整っていない |
| 6. 道路などが整備されていない |
| 7. 教育環境がよくない |
| 8. 子育ての環境がよくない |
| 9. 買い物に不便 |
| 10. 親類が近くにいない |
| 11. 住宅事情がよくない |
| 12. 公園や遊び場が整備されていない |
| 13. 上下水道・ごみ収集など生活基盤が整っていない |
| 14. 交通事故や犯罪が多く安全でない |
| 15. 医療・福祉サービスが充実していない |
| 16. まちに将来性や魅力がない |
| 17. 通勤や通学に不便 |
| 18. その他 () |

問9 あなたは、次のそれぞれの項目についてどの程度満足していますか。(1)から(11)までの事柄について、あなたのお気持ちに最も近いものを1～5の中から1つずつ選んでください。

質問項目	回答項目				
	1 満足している	2 まあ満足している	3 どちらとも言えない	4 不満である どちらかといえば	5 不満である
(1) 生活全般	1	2	3	4	5
(2) 家計の状況 (所得・消費)	1	2	3	4	5
(3) 就業状況 (仕事の有無・安定)	1	2	3	4	5
(4) 健康状況	1	2	3	4	5
(5) 自由な時間、充実した余暇	1	2	3	4	5
(6) 仕事や趣味、社会貢献などの生きがい	1	2	3	4	5
(7) 家族関係 (子育て、教育、夫婦、父母)	1	2	3	4	5
(8) 友人関係	1	2	3	4	5
(9) 職場の人間関係	1	2	3	4	5
(10) 地域コミュニティや近所との関係	1	2	3	4	5
(11) 仕事と生活のバランス	1	2	3	4	5

問10 あなたは、家庭、地域、職場、学校等の日常生活の様々な場面において、孤立感やつながりの必要性をどのように感じていますか。孤立感、つながりの必要性について、あなたのお気持ちに最も近い番号を1～6の中から1つずつ選択してください。
該当する場面がない場合 (学生の方で「職場」に該当する場を持たない方など) は、「6」の「該当しない」を選んでください。

回答項目	孤立感						つながりの必要性					
	1 強く感じる	2 やや感じる	3 どちらでもない	4 あまり感じない	5 まったく感じない	6 該当しない	1 必要と思う	2 まあ必要と思う	3 どちらでもない	4 あまり必要と思わない	5 必要と思わない	6 該当しない
(1) 家庭 (家族)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2) 地域・近所	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3) 職場	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(4) 学校	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

行政サービスについてお答えください。

問 1 1 あなたは、市政にどの程度関心がありますか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 4. まったく関心がない |

問 1 2 あなたは、長久手市の情報をどのように得ていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで〇をつけてください。

- | | | |
|------------|----------|--------|
| 1. インターネット | 4. 議会だより | 7. その他 |
| 2. ケーブルテレビ | 5. 新聞 | () |
| 3. 広報紙 | 6. 回覧板 | |

問 1 3 あなたは、市政に関心を持ってもらうためには、市はどうしたらよいと思いますか。特に重要と思うものを次の中から選んでください。【〇は2つまで】

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 広報紙、パンフレットなどで市政について詳しく説明する | 5. ケーブルテレビ「Weekly ながくて」の市政情報を充実する |
| 2. 市のホームページで市政について詳しく説明する | 6. ツイッター(Twitter)やフェイスブック(Facebook)など、新たな情報伝達サービスを活用する |
| 3. 市民への事業説明や市民との対話を充実する | 7. 小中学校で地域に関する授業を充実する |
| 4. テレビ、新聞など報道機関へ積極的に情報提供する | 8. その他() |

問 1 4 あなたは、市役所の窓口サービス向上について、どのような点が重要と思いますか。最も重要と思うものを次の中から選んでください。【〇は1つ】

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1. 複数の手続きが1か所で完了するワンストップサービス（総合窓口）の導入 | |
| 2. 市民生活目線のわかりやすい案内看板の設置 | |
| 3. キッズコーナーの設置・待合スペースの充実 | |
| 4. 平日の開庁時間の延長 | |
| 5. 休日の開庁（土曜日、日曜日、祝日） | |
| 6. 市サービスコーナーの増設 | |
| 7. 各種証明書自動交付機の設置 | |
| 8. サービスの向上は費用負担を伴うため現状で十分 | |
| 9. その他 () | |

市民活動やこれからのまちづくりの進め方についてお答えください。

問15 あなたやあなたのご家族は、過去3年以内に地域の活動に参加しましたか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

1. 参加した (参加している)	2. 参加していない
↓	↓
<p>「参加した (参加している)」理由は何ですか。次の中から選んでください。 【〇は2つまで】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域での役割や居場所が実感できるから 2. 地域住民として地域の活動に参加することは当然の義務だから 3. 仲間とのふれあいが楽しいから 4. 地域のことはできるかぎり地域が役割を担うべきと考えるから 5. 興味のある活動が地域にあるから 6. 当番で回ってくるから 7. その他 () 	<p>「参加していない」理由は何ですか。次の中から選んでください。 【〇は2つまで】 ⇒問18へ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の活動に関わることが面倒だから 2. 家族の世話で家を空けられないから 3. 健康面の理由で参加することができない 4. 地域に愛着が持てないから 5. 長久手以外の地域で活動しているから 6. 興味のある活動が地域にないから 7. 地域のこともできるかぎり行政が担うべきと思うから 8. その他 ()

問16 問15で「1 参加した (参加している)」と回答した方にお聞きします。あなたやあなたのご家族は、地域でどのような活動に参加していますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 区や自治会の活動	8. 環境美化・自然保護活動
2. PTAの活動	9. まちおこし活動
3. 子ども会など子育てに関する活動	10. 地域のスポーツクラブ・サークル活動
4. シニアクラブの活動	11. 地域の趣味・教養のクラブ・サークル活動
5. 祭りなど伝統的な行事	12. 各種ボランティア活動
6. 防災・防犯の活動	13. その他 ()
7. 文化芸術の活動	

問17 問15で「1 参加した (参加している)」と回答した方にお聞きします。あなたやあなたのご家族は、地域の活動にどの程度参加していますか。(ご家族のうち複数の方が地域の活動に参加している場合、最も多く参加している方について回答してください。) 次の中から選んでください。【〇は1つ】

1. ほぼ毎日	4. 月に2回程度	7. 半年に1回程度
2. 週に3日程度	5. 月に1回程度	8. 1年に1回程度
3. 週に1日程度	6. 3か月に1回程度	

問18 現在市では、防災・防犯など日常生活に密着した地域活動について、小学校区単位での活動を進めていきたいと考えています。基本的な地域活動の単位について、あなたはどのように思いますか。(現在の自治会や区会を再編するものではありません。)

次の中から選んでください。【〇は1つ】

1. 小学校区単位が最も好ましい	
2. 中学校区単位が最も好ましい	
3. もっと細かな単位が最も好ましい (具体的に：)	
4. もっと大きな単位が最も好ましい (具体的に：)	
5. 現在のままでよい	
6. その他 ()	

問19 あなたは、市政運営への市民参画や、市民と行政との協働に関してどのように思いますか。(1)～(5)の項目について、1～4の中から1つずつ選んでください。

質問項目	回答項目			
	1 そう思う	2 まあそう思う	3 い あまりそう思わな	4 そう思わない
(1) 市政には市民の意向が反映されている	1	2	3	4
(2) 市民の意見を聞く機会が市は充実している	1	2	3	4
(3) 市政に関する情報提供が十分に行われている	1	2	3	4
(4) 地域活動やボランティア活動、NPO活動に参加したい	1	2	3	4
(5) これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要	1	2	3	4

問20 あなたは、まちづくりの基本的な進め方についてどのように思いますか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

- | | | | |
|--------------------|------------------------------------|---------------------------------------|------------|
| 1. 行政と議会が主体的に進めるべき | 2. 市民が主体的にまちづくりに関わり、行政は必要に応じて支援すべき | 3. 市民、行政、議会それぞれの役割を分担し、必要に応じて協働で進めるべき | 4. その他 () |
|--------------------|------------------------------------|---------------------------------------|------------|

問21 市では現在、市民・行政・議会それぞれの役割や、市政への市民参画の方法（例えば住民投票制度など）などを定めた、まちづくりの基本的なルールの制定について検討しています。あなたはどのように思いますか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

- | | | | | |
|------------|--------------|------------|----------------|-------------|
| 1. 有意義だと思う | 2. まあ有意義だと思う | 3. どちらでもない | 4. あまり有意義と思わない | 5. 有意義と思わない |
|------------|--------------|------------|----------------|-------------|

問22 あなたは、市民、行政、議会それぞれの役割や責任についてどのように考えますか。次の中から最も重要と考えるものを1つずつ選んでください。

- (1) 市民
- | | | | | | |
|-------------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|------------|
| 1. まちづくりへの関心を持つこと | 2. 地域の課題を解決すること | 3. まちづくりへ参画すること | 4. 地域での役割を持つこと | 5. 応分の費用を負担すること | 6. その他 () |
|-------------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|------------|

- (2) 行政
- | | | | | | |
|---------------------------|--------------------------|----------------|-----------------|------------------|------------|
| 1. 公正・誠実な姿勢を持ち、市民の信頼を得ること | 2. 専門知識を習得し、能力・資質を向上すること | 3. 市民参画を促進すること | 4. 常に市民の目線に立つこと | 5. 行政の責任を明確化すること | 6. その他 () |
|---------------------------|--------------------------|----------------|-----------------|------------------|------------|

- (3) 議会
- | | | | | | |
|--------------------|---------------------|----------------|-----------------|---------------------|------------|
| 1. 市政運営を監視・けん制すること | 2. 政策論議や立法活動を充実すること | 3. 開かれた議会にすること | 4. 市民と情報を共有すること | 5. 市民全体の利益を考え行動すること | 6. その他 () |
|--------------------|---------------------|----------------|-----------------|---------------------|------------|

第5次総合計画についてお答えください。

問23 あなたは、市政全般についてどの程度満足していますか。次の中から選んでください。【〇は1つ】

- | | | | | |
|-----------|-------------|--------------|------------|----------|
| 1. 満足している | 2. まあ満足している | 3. どちらとも言えない | 4. やや不満である | 5. 不満である |
|-----------|-------------|--------------|------------|----------|

問24 長久手市では、平成21年3月に「第5次長久手市総合計画」を策定し、「人が輝き 緑があふれる 交流都市 長久手」を将来目標に、5つの基本方針に基づきまちづくりに取り組んでいます。そこで、以下の30項目について、どの程度重要だと思いますか。また、どの程度進んでいると思いますか。
次の(1)～(30)の項目について、重要度と推進度を1～5の中から1つずつ選んでください。

質問項目	重要度					推進度				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	重要である	まあ重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	進んでいる	まあ進んでいる	どちらとも言えない	あまり進んでいない	進んでいない

基本方針1 万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち

(1) 低炭素で、環境美化意識の高いまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) ごみの減量化・資源化が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 憩いの場としての公園が整備されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 緑地や河川など身近な自然環境がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 農業の振興が行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本方針2 リニモでにぎわい交流するまち

(6) 道路や上下水道などの基盤が整っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 公共交通機関による移動が便利である	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 良好な都市景観がつけられている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 魅力ある商業施設の立地が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 観光イベントや交流が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本方針3 人がいきいきとつながるまち

(11) 災害に強いまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 地域の防犯力が高まっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 交通安全の意識が高まっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 障がい者にとって暮らしやすいまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 地域での支え合いが行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 高齢者が安心して暮らせるまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 安心して子育てできるまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 消防・救急サービスが充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 医療機関や保健サービスが充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 健康づくりがしやすいまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

市政全般についてお答えください。

問46 長久手市のまちづくりについてご意見がありましたら、自由にご記入ください。

【自由意見欄】

.....

.....

.....

.....

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
この調査票を同封の返送用封筒に入れて、**9月18日(火)**までにポストへ入れてください。

<参考> 問1(12) 小学校区

学校名	区 域
長久手 小学校	<p>○岩作地区 岩作雁又、岩作丸根、岩作寅山、岩作井戸ケ根、岩作申立花、岩作中立花、岩作酉立花、岩作色金、岩作宮後、岩作泥亀首、岩作元門、岩作宮前、岩作白針、岩作城の内、岩作五反田、岩作塚本、岩作八瀬ノ木、岩作欠花、岩作藪田、岩作西島、岩作寺山、岩作平地、岩作長池、岩作中繩手、岩作中島、岩作中脇、岩作溝添、岩作平子、岩作南島、岩作東中、岩作早稲田、岩作東島、岩作壁ノ本、岩作高根前、岩作向田、岩作向畑、岩作蛇洞、岩作権代、岩作狐洞、岩作権田、岩作中権代、岩作桃ノ木洞、岩作折戸ケ平、岩作北山の一部、岩作石田の一部、岩作床寒の一部、岩作福井の一部、岩作琵琶ヶ池の一部</p> <p>○長湫地区 菅池、深田、棒振、丸根、中池、下権田、大久手、勝入塚、坊の後、富士浦、先達、香桶、仏が根、東浦、宮脇、横道の一部</p> <p>○熊張地区 立花の一部</p>
西 小学校	<p>○長湫地区 作田一丁目、作田二丁目、打越、久保山、桜作、五合池、塚田、西浦、平池の一部、仲田の一部</p>
東 小学校	<p>○岩作地区 岩作三ヶ峯、岩作長鶴、岩作中根原、岩作寺田、岩作中根、岩作下堀越、岩作大根、岩作内万場、岩作高根</p> <p>○前熊地区 全域</p> <p>○熊張地区 立花の一部を除く全域</p>
北 小学校	<p>○岩作地区 岩作隅田、岩作下田、岩作下島、岩作長箕、岩作落合、岩作西浦、岩作高山、岩作浮江、岩作石田の一部、岩作北山の一部</p> <p>○長湫地区 櫛木、下川原、下山、中川原、西原山、東原山、南原山、西原、池田、東原、草掛、上川原、原山、段の上、原邸、野田農、山桶、鴨田、荒田、平池の一部、仲田の一部</p>
南 小学校	<p>○長湫地区 よし池、深廻間、氏神前、戸田谷、東狭間、城屋敷、武蔵塚、山越、砂子、山野田、喜婦嶽、杵ヶ池、長配一丁目、長配二丁目、長配三丁目、菅蒲池、横道の一部</p>
市が洞 小学校	<p>○長湫地区 卯塚、上井堀、片平、丁子田、市ヶ洞、根嶽、井堀、熊田、蟹原、根の神</p>

平成24年度 長久手市市民意識調査 報告書

平成24年12月

発行：長久手市

編集：企画部企画政策課

〒480-1196 愛知県長久手市岩作城の内 60 番地 1

TEL (0561) 56-0600

FAX (0561) 63-2110

ホームページ <http://www.city.nagakute.lg.jp/>